

海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事

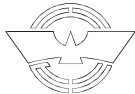
図 面 リ ス ト					
図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称
No. A - 00	表紙・図面リスト	No. A - 26	ステージ ブドウ棚 舞台装置 詳細図	No. E - 01	電気設備改修工事特記仕様書
No. A - 01	特記仕様書(1)	No. A - 27	既存改修 1階天井伏せ図	No. E - 02	キュービクル単線結線図
No. A - 02	特記仕様書(2)	No. A - 28	既存改修 吹抜部天井伏せ図	No. E - 03	配置図
No. A - 03	特記仕様書(3)	No. A - 29	1階 キープラン表	No. E - 04	分電盤結線図
No. A - 04	特記仕様書(4)	No. A - 30	吹抜け部 キープラン表	No. E - 05	動力設備 改修 1階平面図
No. A - 05	案内図・配置図	No. A - 31	建具表(1)	No. E - 06	電灯設備 既存 1階平面図
No. A - 06	特記事項・外壁改修内容一覧表	No. A - 32	建具表(2)	No. E - 07	電灯設備 改修 1階平面図・詳細図
No. A - 07	仕上表	No. A - 33	みんなのトイレ 仕上表・平面図・展開図	No. E - 08	電灯設備 既存 2階平面図
No. A - 08	既存 1階平面図	No. A - 34	既存改修 体育室床改修平面図	No. E - 09	電灯設備 改修 2階平面図
No. A - 09	改修 1階平面図	No. A - 35	体育室床 詳細図	No. E - 10	通信・情報設備 既存 1階平面図
No. A - 10	既存 吹抜部平面図	No. A - 36	コートライン詳細図・基礎配置図	No. E - 11	拡声設備・時刻表示設備 機器姿図
No. A - 11	改修 吹抜部平面図	No. A - 37	椅子収納台車・移動階段詳細図	No. E - 12	音響設備 システムブロック図・機器姿図
No. A - 12	既存 屋根伏せ図	No. A - 38	電動吊上式バスケットゴール詳細図	No. E - 13	通信・情報設備 改修 1階平面図
No. A - 13	改修 屋根伏せ図	No. A - 39	壁面折畳みバスケットゴール 詳細図	No. E - 14	通信・情報設備 既存 2階平面図
No. A - 14	既存改修 東側立面図	No. A - 40	防水改修標準図	No. E - 15	通信・情報設備 改修 2階平面図
No. A - 15	既存改修 西側立面図	No. A - 41	外壁の改修工法ディテールシート(1)	No. E - 16	自動火災報知設備 既存 1階平面図
No. A - 16	既存改修 南側立面図	No. A - 42	外壁の改修工法ディテールシート(2)	No. E - 17	自動火災報知設備 改修 1階平面図
No. A - 17	既存改修 北側立面図	No. A - 43	改修塗料等仕様書	No. E - 18	自動火災報知設備 既存 2階平面図
No. A - 18	既存 断面図	No. A - 44	雑詳細図	No. E - 19	自動火災報知設備 改修 2階平面図
No. A - 19	改修 断面図	No. A - 45	仮設計画図(参考)	No. E - 20	電動吊上式バスケットゴールの制御盤(参考)
No. A - 20	既存 矩計図			No. M - 01	機械設備特記仕様書
No. A - 21	改修 矩計図			No. M - 02	空調設備 改修 1階平面図
No. A - 22	既存 体育室展開図(1)			No. M - 03	換気設備 改修 1階平面図
No. A - 23	既存 体育室展開図(2)			No. M - 04	換気設備 改修 2階平面図
No. A - 24	改修 体育室展開図(1)			No. M - 05	計装設備 改修 1階平面図
No. A - 25	改修 体育室展開図(2)			No. M - 06	衛生設備 改修 1階平面図



特記仕様書 I 工事概要 1 工事番号・名称海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事 2 工事場所大谷中学校 海老名市大谷南2丁目10番1号 3 用途地域等 都市計画区域(内・外) 用途地域(指定なし) 防火地域等(・防火・準防火○指定なし・22条) その他の地域・地区() 4 主要用途屋内運動場 5 延床面積817.13 m² 6 工事の概要『屋内運動場の経年劣化に伴う改修及び機能向上改修工事を行うもの』 7 別途工事 8 その他 9 特配仕様書の範囲 特配仕様書は、本特配仕様書のほか以下の○印のもので構成する。 ○機械設備改修工事特配仕様書 ○電気設備改修工事特配仕様書				・その他の廃棄物(管理型) <table><tr><th>種類</th><th>受入施設名</th><th>所在地 (Km)</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器 ・有 ・無 [5.4.3] PCB含有シーリング材 ・有 ・無 [5.4.4] PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。 アスベストの処理 吹き付けアスベスト除去工事 ・有(図示) ・無 受け入れ施設名・所在地(km) ・有(図示) ・無 アスベスト含有保温材除去工事 受け入れ施設名・所在地(km) ・有(図示) ・無 アスベスト成形板除去工事 受け入れ施設名・所在地(km) ○有(図示) ・無 ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理 ヒ素又はカドミウムボード ・有(図示) ・無		種類	受入施設名	所在地 (Km)	備考															10. 建築基準法による風圧力等の指定 <table><tr><th colspan="4"><3.5.4><3.9.3><5.12.5>(13.2.3)(13.3.3)</th></tr><tr><th colspan="2">適用工事</th><th colspan="2">建築基準法の指定</th></tr><tr><td>・合成高分子系ルーフィングシート</td><td>風速(VO)</td><td>※34</td><td>・</td></tr><tr><td>・アルミニウム笠木</td><td>・金属屋根葺</td><td>・Ⅱ</td><td>・Ⅲ</td></tr><tr><td>・折板屋根葺</td><td>・ガラスブロック</td><td>多雪地域の指定</td><td>・有</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・無</td></tr></table> ※図示 ・現状平均地盤高 施工数量調査 ・既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。 <1.6.2> <1.6.3> <table><tr><th>調査項目</th><th>調査範囲</th><th>調査方法</th><th>成果品</th></tr><tr><td>外壁</td><td>全面</td><td>目視・打診</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 13. 技能士 ・下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。 ・下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。 <table><tr><th>工事種目</th><th>技能検定職種(技能検定作業)</th></tr><tr><td>以下の該当工事</td><td>・該当する作業がある以下の職種(作業)の全て</td></tr><tr><td>仮設工事</td><td>・とび(とび作業)</td></tr><tr><td>防水改修工事</td><td>・防水施工(・アスファルト防水工事業業・ウレタンゴム系塗膜防水工事業業・アクリルゴム系塗膜防水工事業業・合成ゴムシート防水工事業業・塩化ビニル系シート防水工事業業・セメント系防水工事業業・シーリング防水工事業業・改質アスファルトシート・防水工事業業・FRP防水工事業業)</td></tr><tr><td>外壁改修工事</td><td>・左官(左官作業)・タイル張り(タイル張り作業)・樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事業業)・塗装(建築塗装作業)</td></tr><tr><td>建具改修工事</td><td>・サッシ施工(ビル用サッシ施工作業)・ガラス施工(ガラス工事業業)・自動ドア施工(自動ドア施工作業)</td></tr><tr><td>内装改修工事</td><td>・内装仕上施工(・プラスチック系床仕上工事業業・カーベット系床仕上作業・ボード仕上工事業業・改質アスファルトシート・防水工事業業・FRP防水工事業業)</td></tr><tr><td>塗装改修工事</td><td>・表装(壁装作業)・塗装(建築塗装作業)</td></tr><tr><td>耐震改修工事</td><td>・鉄筋施工(鉄筋組立作業)・型枠施工(型枠工事業業)・とび(とび作業)・コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事業業)・鉄工(構造物鉄工作業)</td></tr><tr><td>コンクリートブロック・ALCパネル押出成形セメント板工事</td><td>・ブロック建築(コンクリートブロック工事業業)・ALCパネル施工(ALCパネル工事業業)</td></tr><tr><td>石工事</td><td>・石材施工(石張り作業)</td></tr><tr><td>排水工事</td><td>・配管(建築配管作業)</td></tr><tr><td>舗装工事</td><td>・路面表示施工(・溶融ヘイトマシマー・カー工事業業・加熱ヘイトマシマー・作業)</td></tr><tr><td>植栽工事</td><td>・造園(造園工事業業)</td></tr><tr><td>屋根及びとい工事</td><td>・建築板金(内外装板金作業)・スレート施工(スレート工事業業)</td></tr></table> ※ 見開きA3(製本A4判) 竣工図、施工図(検査後提出) 3部 ※ 本工事内容説明事項書に基づく市指定の工事書類 1式 ※ 建築物等の維持・保全に関する資料(検査後提出) 1式 ※ その他監督職員が指示したもの 1式 ④ 完成時提出書類 ⑤ 工事写真 ※ 作成する ・作成しない 工事写真は、「海老名市公共工事デジタル写真管理要領」により撮影する。 ⑥ 設備工事との取合い 施工範囲 各工事図面による。 施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承認を受ける。 ⑦ 火災保険等 工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険 保険期間 ※ 工事着手から工事目的物引き渡し日まで		<3.5.4><3.9.3><5.12.5>(13.2.3)(13.3.3)				適用工事		建築基準法の指定		・合成高分子系ルーフィングシート	風速(VO)	※34	・	・アルミニウム笠木	・金属屋根葺	・Ⅱ	・Ⅲ	・折板屋根葺	・ガラスブロック	多雪地域の指定	・有				・無	調査項目	調査範囲	調査方法	成果品	外壁	全面	目視・打診																														工事種目	技能検定職種(技能検定作業)	以下の該当工事	・該当する作業がある以下の職種(作業)の全て	仮設工事	・とび(とび作業)	防水改修工事	・防水施工(・アスファルト防水工事業業・ウレタンゴム系塗膜防水工事業業・アクリルゴム系塗膜防水工事業業・合成ゴムシート防水工事業業・塩化ビニル系シート防水工事業業・セメント系防水工事業業・シーリング防水工事業業・改質アスファルトシート・防水工事業業・FRP防水工事業業)	外壁改修工事	・左官(左官作業)・タイル張り(タイル張り作業)・樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事業業)・塗装(建築塗装作業)	建具改修工事	・サッシ施工(ビル用サッシ施工作業)・ガラス施工(ガラス工事業業)・自動ドア施工(自動ドア施工作業)	内装改修工事	・内装仕上施工(・プラスチック系床仕上工事業業・カーベット系床仕上作業・ボード仕上工事業業・改質アスファルトシート・防水工事業業・FRP防水工事業業)	塗装改修工事	・表装(壁装作業)・塗装(建築塗装作業)	耐震改修工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)・型枠施工(型枠工事業業)・とび(とび作業)・コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事業業)・鉄工(構造物鉄工作業)	コンクリートブロック・ALCパネル押出成形セメント板工事	・ブロック建築(コンクリートブロック工事業業)・ALCパネル施工(ALCパネル工事業業)	石工事	・石材施工(石張り作業)	排水工事	・配管(建築配管作業)	舗装工事	・路面表示施工(・溶融ヘイトマシマー・カー工事業業・加熱ヘイトマシマー・作業)	植栽工事	・造園(造園工事業業)	屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)・スレート施工(スレート工事業業)	2 仮設工事 ① 仮囲い ※ 設ける ・設けない 仮囲いの位置及び延長は図示による。 ○ガードフェンス(H=1800)・波形鉄板(H=)・単管シート(H=) ・シートゲート(H= , W=)× 箇所 ② 交通誘導員 ※ 配置する ・配置しない ③ 工事表示板 ※ 設置する ・設置しない 海老名市公共工事共通事項書による ④ 足場その他 内部足場 ※ 脚立、足場板等 ○枠組棚足場 <2.2.1> 防護シート ○設ける ・設けない 材料の運搬 ・A種 ・B種 ・C種 <表2.2.2> 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。 ⑤ 養生 家具の移動 ○行う(図示) ・行わない <2.3.1> 既存プラインド・カーテン等の養生及び保管 ・行う ・行わない 養生の方法 保管場所 ・設ける(図示) ・A種 ・B種 ※ C種 <2.3.2><表2.3.1> 7. 監督職員事務所 ※ 設けない(請負者事務所に打合せ会議室を確保する) <2.4.1> ・設ける(規模 m²程度 請負者事務所と同様 ・可 ・否) 備品(構内既存の施設 ・利用できる(※有償 ・無償) ※ 利用できない ⑧ 工事用水 ⑨ 工事用電力 ⑩ 工事用通路 11. その他の仮設 3 防水改修工事 1. アスファルト防水 改修工法の種別 <3.1.4><3.3.3><表3.1.1><表3.3.3～10> 新規防水層の種類別 改修工法の種類 施工箇所 ・ ・ ・E-1 アスファルトの種類 JIS K2207のJIS表示記号製品 ※3種 <3.2.2> 脱気装置 ・設ける ・設けない 種類 ・平面部脱気型 ・立ち上がり部脱気型 施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。 <3.3.3> 2. 伸縮調整目地 ※ 成型伸縮目地(天端 EPTゴム、サイド プチルゴム製) <3.3.2><3.3.5> 3. 改質アスファルトシート防水 改修工法の種別 <3.1.4><3.4.3><表3.1.1><表3.4.1～2> 新規防水層の種類別 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料 ・AS-T ・AS-U ・AS-I ・シルバー 脱気装置 ・設ける ・設けない 種類 ・平面部脱気型 ・立ち上がり部脱気型 施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。 <3.4.3> 4. 合成高分子系ルーフィングシート防水 改修工法の種別 <3.1.4><3.5.3><表3.1.1><表3.5.1> 新規防水層の種類別 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料 ・S-F2 ・S-M2 ・SI- ・シルバー 脱気装置 ・設ける ・設けない 種類 ・平面部脱気型 ・立ち上がり部脱気型 施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。 <3.5.3> ⑤ 塗膜防水 改修工法の種別 <3.1.4><3.6.3><表3.1.1><表3.6.1> 新規防水層の種類別 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料 ○X-1 ○X-2 ○Y-2 ※ カラー ・シルバー 脱気装置 ○設ける ・設けない 種類 ○平面部脱気型 ・立ち上がり部脱気型 施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。 <3.6.3> ⑥ シーリング 材料の種類 及び施工箇所 ※ 被着体に応じたものとし、<表3.7.1>を標準とする。 ・<表3.7.1>によらない箇所及びシーリング材料 <表3.7.1>によらない箇所 シーリング材料 ⑦ シーリング改修工法 改修工法の種別 <3.1.4><3.7.4～8><表3.1.2> 改修工法の種類 施工箇所 ○シーリング充てん工法 金属層根取合い ○シーリング再充てん工法 板間・建具取合い ・ 拡幅シーリング充てん工法 ・ブリッジ工法() ⑧ と い <3.8.2><表3.8.1><表3.8.3～4> 材 種 防 露 ・ 配管用鋼管(SGP) ※ <表3.8.3～4>により行う ○硬質塩化ビニル管(VP) ・ 特配無き限り既存のとい受け金物を使用する。 鋼管製といの防露巻き ※ <表3.8.5>による。 <3.8.3><表3.8.4>	
種類	受入施設名	所在地 (Km)	備考																																																																																																																		
<3.5.4><3.9.3><5.12.5>(13.2.3)(13.3.3)																																																																																																																					
適用工事		建築基準法の指定																																																																																																																			
・合成高分子系ルーフィングシート	風速(VO)	※34	・																																																																																																																		
・アルミニウム笠木	・金属屋根葺	・Ⅱ	・Ⅲ																																																																																																																		
・折板屋根葺	・ガラスブロック	多雪地域の指定	・有																																																																																																																		
			・無																																																																																																																		
調査項目	調査範囲	調査方法	成果品																																																																																																																		
外壁	全面	目視・打診																																																																																																																			
工事種目	技能検定職種(技能検定作業)																																																																																																																				
以下の該当工事	・該当する作業がある以下の職種(作業)の全て																																																																																																																				
仮設工事	・とび(とび作業)																																																																																																																				
防水改修工事	・防水施工(・アスファルト防水工事業業・ウレタンゴム系塗膜防水工事業業・アクリルゴム系塗膜防水工事業業・合成ゴムシート防水工事業業・塩化ビニル系シート防水工事業業・セメント系防水工事業業・シーリング防水工事業業・改質アスファルトシート・防水工事業業・FRP防水工事業業)																																																																																																																				
外壁改修工事	・左官(左官作業)・タイル張り(タイル張り作業)・樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事業業)・塗装(建築塗装作業)																																																																																																																				
建具改修工事	・サッシ施工(ビル用サッシ施工作業)・ガラス施工(ガラス工事業業)・自動ドア施工(自動ドア施工作業)																																																																																																																				
内装改修工事	・内装仕上施工(・プラスチック系床仕上工事業業・カーベット系床仕上作業・ボード仕上工事業業・改質アスファルトシート・防水工事業業・FRP防水工事業業)																																																																																																																				
塗装改修工事	・表装(壁装作業)・塗装(建築塗装作業)																																																																																																																				
耐震改修工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)・型枠施工(型枠工事業業)・とび(とび作業)・コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事業業)・鉄工(構造物鉄工作業)																																																																																																																				
コンクリートブロック・ALCパネル押出成形セメント板工事	・ブロック建築(コンクリートブロック工事業業)・ALCパネル施工(ALCパネル工事業業)																																																																																																																				
石工事	・石材施工(石張り作業)																																																																																																																				
排水工事	・配管(建築配管作業)																																																																																																																				
舗装工事	・路面表示施工(・溶融ヘイトマシマー・カー工事業業・加熱ヘイトマシマー・作業)																																																																																																																				
植栽工事	・造園(造園工事業業)																																																																																																																				
屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)・スレート施工(スレート工事業業)																																																																																																																				
工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事						海老名市		図面名称		特記仕様書（1）																																																																																																											
						縮尺		NO SCALE		図面番号		A - 01																																																																																																									

内装改修工事	⑭ ガラス	ガラスの留め材 ※ シーリング ・ ガスケット(可動アルミ製建具に限る) 防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。 ガラスの清幅については、〈表5.13.1〉による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの清幅は図示による。 複層ガラスの保証期間は引き渡し日から10年間とし、メーカー保証書を提出する。	15. 視覚障害者用床タイル	⑩ ビニル幅木	17. カーベット敷き	耐荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。	23. タイル張り	④ セルフレベルング材塗り	タイルの種類 施工箇所 形状寸法 大きさ 用薬 役物 色 再生材 備考 (mm) 磁器せっき器 陶器無釉施釉ありなし 標準注文 利用 タイルの見本焼き ※ 行わない ・ 行う 内装タイルの工法 ・ 積上げ張り 施工箇所() ・ 接着剤張り 施工箇所() 種別 ・ 石こう系 ⊙ セメント系 塗厚 ※ 10mm ・	B13 耐震改修工事(お施主(アンカー工事))	4. セメントの種類 5. 骨 材 6. 混和材料 7. 軽量コンクリート 8. 無筋コンクリート 9. 型 枠 10. コンクリートの打込み工法 11. 既存部分の撤去	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 <8.2.5> 細骨材の塩分含有量(NaCl換算) ※ 0.04 %wt 以下 <8.2.5> 混和剤 ※ AE減又はAE減水剤標準形Ⅰ種 <8.2.5> <8.9.1>〈表8.9.1〉 種 別 適 用 箇 所 気乾単位容積質量(t/m³) 適用箇所は(6.14.1)によるほか、下記による。 <8.11.1~4> 適 用 箇 所 せき板の種類 ※ 合板 ・ せき板の塗料 ※ 無 ・ 有 <8.2.7> ※ 流込み工法 ・ 圧入工法 <8.21.8> 既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ・ 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 ・ <8.19.2>
	6 ① 改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 <6.1.3> ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・ 図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・ 図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ⊙ 図示の範囲				18. 合成樹脂塗床 材料の種類 <6.10.2> ・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ・ 薄膜型塗床材(エポキシ樹脂系塗床材) 仕上の種類 <6.10.3> ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ			② 錆止め塗料塗り ③ 合成樹脂割合ペイント塗り(SOP) ④ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ⑤ 耐候性塗料塗り(DP)		1. あと施工アンカー 2. あと施工アンカーの試験	※ 接着系アンカー〔引張耐力 (KN)、せん断耐力 (KN)〕 ・ 接着剤 ※ 有機系 ・ 無機系 ・ 金属系アンカー〔引張耐力 (KN)、せん断耐力 (KN)〕 打込み方式 ※ 本体打込み式 性能確認試験 ※ 行わない ・ 行う <8.2.4> 施工確認試験 ※ 行う ・ 行わない <8.12.7>
	② 既存床の撤去 ・下地補修	合成樹脂塗床の除去方法 <6.2.2>				① フローリング張り 材料の種類 <6.10.2> ・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ・ 薄膜型塗床材(エポキシ樹脂系塗床材) 仕上の種類 <6.10.3> ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ			② 錆止め塗料塗り ③ 合成樹脂割合ペイント塗り(SOP) ④ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ⑤ 耐候性塗料塗り(DP)		1. 鉄骨製作工場 2. 鋼材の種類 3. 高力ボルト	※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場 <8.1.5> <8.2.8>〈表8.2.7> 材 質 規 格 ・SS400 ・SSC400 ・STK400 ・STKR400 ・SN400B・C ・SN490B・C ・SM400 ・SM490 JIS表示認証製品 <8.2.9> ボルト種別 セットの種類 ※トルシア形高力ボルト ※2種(S10T) ・ ・JIS形高力ボルト ※2種(F10T) ・ ・溶融亜鉛メッキ高力ボルト ※1種(F8T相当) ・
	③ 改修後の床の清掃範囲	① 当該室全体 ・ 図示の範囲 <6.2.2>				20. 畳敷き 畳の種類 ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ D種 <6.12.2>〈表6.12.1>			② 錆止め塗料塗り ③ 合成樹脂割合ペイント塗り(SOP) ④ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ⑤ 耐候性塗料塗り(DP)		4. 溶接部の試験 5. 錆止め塗装 6. 耐火被覆	※超音波探傷試験 <8.15.12> 〈7.3.3~4〉による。 <8.16.3> <8.18.2> 種 別 材料及び工法製造所 備 考 ・ラス張モルタル 改修標準仕様書6章15節による ・耐火材吹付け 建築基準法に基づく指定 ※半乾式 ・湿式 ・耐火板張り 又は認定を受けたもの ・耐火材巻付け
	④ 既存壁の撤去 ・下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法 <6.3.2>				21. 遮音シール材 遮音の種類 ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ D種 <6.12.2>〈表6.12.1>			② 錆止め塗料塗り ③ 合成樹脂割合ペイント塗り(SOP) ④ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ⑤ 耐候性塗料塗り(DP)		7. アンカーボルト 8. 既存部分の撤去	材質 ※SS400 ・SNR400B (7.2.4) 既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ・ 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 ・ <8.21.2>
	⑤ 木 材	含水率 下地材 ※ A種 ・ B種 造作材 ※ A種 ・ B種 <表6.5.1>				22. 壁紙張り 壁紙の種類 ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ D種 <6.12.2>〈表6.12.1>			② 錆止め塗料塗り ③ 合成樹脂割合ペイント塗り(SOP) ④ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ⑤ 耐候性塗料塗り(DP)		8. 1 1 耐震改修工事(鉄骨工事) 8. 1 5 耐震改修工事(鉄骨工事) 8. 1 6 耐震改修工事(その他)	※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場 <8.1.5> <8.2.8>〈表8.2.7> 材 質 規 格 ・SS400 ・SSC400 ・STK400 ・STKR400 ・SN400B・C ・SN490B・C ・SM400 ・SM490 JIS表示認証製品 <8.2.9> ボルト種別 セットの種類 ※トルシア形高力ボルト ※2種(S10T) ・ ・JIS形高力ボルト ※2種(F10T) ・ ・溶融亜鉛メッキ高力ボルト ※1種(F8T相当) ・
	6. 集成材	見 付 け 材 面 等 級 JASによる集成材 ※ 1等 ・ 2等 その他 ※ JAS集成材Ⅰ等同等 <6.5.2>				21. 遮音シール材 遮音の種類 ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ D種 <6.12.2>〈表6.12.1>			② 錆止め塗料塗り ③ 合成樹脂割合ペイント塗り(SOP) ④ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ⑤ 耐候性塗料塗り(DP)		8. 1 1 耐震改修工事(鉄骨工事) 8. 1 5 耐震改修工事(鉄骨工事) 8. 1 6 耐震改修工事(その他)	※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場 <8.1.5> <8.2.8>〈表8.2.7> 材 質 規 格 ・SS400 ・SSC400 ・STK400 ・STKR400 ・SN400B・C ・SN490B・C ・SM400 ・SM490 JIS表示認証製品 <8.2.9> ボルト種別 セットの種類 ※トルシア形高力ボルト ※2種(S10T) ・ ・JIS形高力ボルト ※2種(F10T) ・ ・溶融亜鉛メッキ高力ボルト ※1種(F8T相当) ・
	⑦ 床張り用合板	床下貼り用合板 <6.5.2>				22. 壁紙張り 壁紙の種類 ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ D種 <6.12.2>〈表6.12.1>			② 錆止め塗料塗り ③ 合成樹脂割合ペイント塗り(SOP) ④ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ⑤ 耐候性塗料塗り(DP)		8. 1 1 耐震改修工事(鉄骨工事) 8. 1 5 耐震改修工事(鉄骨工事) 8. 1 6 耐震改修工事(その他)	※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場 <8.1.5> <8.2.8>〈表8.2.7> 材 質 規 格 ・SS400 ・SSC400 ・STK400 ・STKR400 ・SN400B・C ・SN490B・C ・SM400 ・SM490 JIS表示認証製品 <8.2.9> ボルト種別 セットの種類 ※トルシア形高力ボルト ※2種(S10T) ・ ・JIS形高力ボルト ※2種(F10T) ・ ・溶融亜鉛メッキ高力ボルト ※1種(F8T相当) ・
	8. 防腐・防蟻・防虫処理	薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 <6.5.5>				22. 壁紙張り 壁紙の種類 ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ D種 <6.12.2>〈表6.12.1>			② 錆止め塗料塗り ③ 合成樹脂割合ペイント塗り(SOP) ④ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ⑤ 耐候性塗料塗り(DP)		8. 1 1 耐震改修工事(鉄骨工事) 8. 1 5 耐震改修工事(鉄骨工事) 8. 1 6 耐震改修工事(その他)	※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場 <8.1.5> <8.2.8>〈表8.2.7> 材 質 規 格 ・SS400 ・SSC400 ・STK400 ・STKR400 ・SN400B・C ・SN490B・C ・SM400 ・SM490 JIS表示認証製品 <8.2.9> ボルト種別 セットの種類 ※トルシア形高力ボルト ※2種(S10T) ・ ・JIS形高力ボルト ※2種(F10T) ・ ・溶融亜鉛メッキ高力ボルト ※1種(F8T相当) ・
	⑨ 軽量鉄骨天井下地材	野縁などの種類 <6.6.2>〈表6.6.1>				22. 壁紙張り 壁紙の種類 ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ D種 <6.12.2>〈表6.12.1>			② 錆止め塗料塗り ③ 合成樹脂割合ペイント塗り(SOP) ④ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ⑤ 耐候性塗料塗り(DP)		8. 1 1 耐震改修工事(鉄骨工事) 8. 1 5 耐震改修工事(鉄骨工事) 8. 1 6 耐震改修工事(その他)	※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場 <8.1.5> <8.2.8>〈表8.2.7> 材 質 規 格 ・SS400 ・SSC400 ・STK400 ・STKR400 ・SN400B・C ・SN490B・C ・SM400 ・SM490 JIS表示認証製品 <8.2.9> ボルト種別 セットの種類 ※トルシア形高力ボルト ※2種(S10T) ・ ・JIS形高力ボルト ※2種(F10T) ・ ・溶融亜鉛メッキ高力ボルト ※1種(F8T相当) ・
	⑩ 軽量鉄骨壁下地材	屋内 ※ 19型 ・ 25型 (室名:) 屋外 ・ 19型 ※ 25型 <6.6.4>				22. 壁紙張り 壁紙の種類 ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ D種 <6.12.2>〈表6.12.1>			② 錆止め塗料塗り ③ 合成樹脂割合ペイント塗り(SOP) ④ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ⑤ 耐候性塗料塗り(DP)		8. 1 1 耐震改修工事(鉄骨工事) 8. 1 5 耐震改修工事(鉄骨工事) 8. 1 6 耐震改修工事(その他)	※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場 <8.1.5> <8.2.8>〈表8.2.7> 材 質 規 格 ・SS400 ・SSC400 ・STK400 ・STKR400 ・SN400B・C ・SN490B・C ・SM400 ・SM490 JIS表示認証製品 <8.2.9> ボルト種別 セットの種類 ※トルシア形高力ボルト ※2種(S10T) ・ ・JIS形高力ボルト ※2種(F10T) ・ ・溶融亜鉛メッキ高力ボルト ※1種(F8T相当) ・
	⑪ 体育館の鋼製床下地	※ JIS A 6519のJIS表示認証製品 <6.6.2>〈表6.6.1>				22. 壁紙張り 壁紙の種類 ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ D種 <6.12.2>〈表6.12.1>			② 錆止め塗料塗り ③ 合成樹脂割合ペイント塗り(SOP) ④ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ⑤ 耐候性塗料塗り(DP)		8. 1 1 耐震改修工事(鉄骨工事) 8. 1 5 耐震改修工事(鉄骨工事) 8. 1 6 耐震改修工事(その他)	※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場 <8.1.5> <8.2.8>〈表8.2.7> 材 質 規 格 ・SS400 ・SSC400 ・STK400 ・STKR400 ・SN400B・C ・SN490B・C ・SM400 ・SM490 JIS表示認証製品 <8.2.9> ボルト種別 セットの種類 ※トルシア形高力ボルト ※2種(S10T) ・ ・JIS形高力ボルト ※2種(F10T) ・ ・溶融亜鉛メッキ高力ボルト ※1種(F8T相当) ・
	⑫ ビニル床シート張り	JIS A5705のJIS表示認証製品 <6.8.2>〈表6.8.3>				22. 壁紙張り 壁紙の種類 ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ D種 <6.12.2>〈表6.12.1>			② 錆止め塗料塗り ③ 合成樹脂割合ペイント塗り(SOP) ④ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ⑤ 耐候性塗料塗り(DP)		8. 1 1 耐震改修工事(鉄骨工事) 8. 1 5 耐震改修工事(鉄骨工事) 8. 1 6 耐震改修工事(その他)	※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場 <8.1.5> <8.2.8>〈表8.2.7> 材 質 規 格 ・SS400 ・SSC400 ・STK400 ・STKR400 ・SN400B・C ・SN490B・C ・SM400 ・SM490 JIS表示認証製品 <8.2.9> ボルト種別 セットの種類 ※トルシア形高力ボルト ※2種(S10T) ・ ・JIS形高力ボルト ※2種(F10T) ・ ・溶融亜鉛メッキ高力ボルト ※1種(F8T相当) ・
	13. ビニル床タイル張り	JIS A5705のJIS表示認証製品 <6.8.2>〈表6.8.3>				22. 壁紙張り 壁紙の種類 ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ D種 <6.12.2>〈表6.12.1>			② 錆止め塗料塗り ③ 合成樹脂割合ペイント塗り(SOP) ④ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ⑤ 耐候性塗料塗り(DP)		8. 1 1 耐震改修工事(鉄骨工事) 8. 1 5 耐震改修工事(鉄骨工事) 8. 1 6 耐震改修工事(その他)	※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場 <8.1.5> <8.2.8>〈表8.2.7> 材 質 規 格 ・SS400 ・SSC400 ・STK400 ・STKR400 ・SN400B・C ・SN490B・C ・SM400 ・SM490 JIS表示認証製品 <8.2.9> ボルト種別 セットの種類 ※トルシア形高力ボルト ※2種(S10T) ・ ・JIS形高力ボルト ※2種(F10T) ・ ・溶融亜鉛メッキ高力ボルト ※1種(F8T相当) ・
	14. ビニル床タイル・ビニル床シートの特殊機能	JIS A5705のJIS表示認証製品 <6.8.2>〈表6.8.3>				22. 壁紙張り 壁紙の種類 ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ D種 <6.12.2>〈表6.12.1>			② 錆止め塗料塗り ③ 合成樹脂割合ペイント塗り(SOP) ④ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ⑤ 耐候性塗料塗り(DP)		8. 1 1 耐震改修工事(鉄骨工事) 8. 1 5 耐震改修工事(鉄骨工事) 8. 1 6 耐震改修工事(その他)	※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場 <8.1.5> <8.2.8>〈表8.2.7> 材 質 規 格 ・SS400 ・SSC400 ・STK400 ・STKR400 ・SN400B・C ・SN490B・C ・SM400 ・SM490 JIS表示認証製品 <8.2.9> ボルト種別 セットの種類 ※トルシア形高力ボルト ※2種(S10T) ・ ・JIS形高力ボルト ※2種(F10T) ・ ・溶融亜鉛メッキ高力ボルト ※1種(F8T相当) ・

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

特記仕様書（３）

縮尺

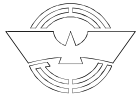
NO SCALE

図面番号

A - 03

9 ― 1 環境配慮 改修工事 (石綿含有 建材の処理 工事)	① 一般事項	石綿等の取扱については、石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)(以下、「石綿則」という。)を遵守すること。 施工調査 ・ 行わない。 ※ 行う(調査結果は図面等に記録し、監督職員に提出すること。 調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。) 調査箇所 ※ 図示 ・ () 調査事項 ※ 石綿含有建材等の使用部位 ※ 石綿含有建材等の種類、厚さ ※ 施工範囲と工事範囲区分 ※ 廃棄物などの搬出方法 ・ ・ 石綿含有分析 ○ 行わない ・ 行う(分析結果は監督職員に提出する。) 分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。 <table><tr><th>材 料 名</th><th>定性分析</th><th>定量分析</th></tr><tr><td></td><td>・(試料数:)</td><td>・(試料数:)</td></tr><tr><td></td><td>・(試料数:)</td><td>・(試料数:)</td></tr><tr><td></td><td>・(試料数:)</td><td>・(試料数:)</td></tr><tr><td></td><td>・(試料数:)</td><td>・(試料数:)</td></tr></table> 石綿粉じん濃度測定 ・ 行わない。 ※ 行う(測定する時期・場所等は下表による) 「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法―第1部― :光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法による。 <table><tr><th>適用</th><th>測定名称</th><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点 (各施工箇所ごと)</th><th>室 名 等</th></tr><tr><td>・</td><td>測定1</td><td>処理作業前</td><td>処理作業室内 (注1)</td><td>※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>測定2</td><td></td><td>施工区画周辺 又は敷地境界</td><td>※2点 ・点 ※2点 ・点</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>測定3</td><td>処理作業中</td><td>処理作業室内 (注1)</td><td>※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>測定4</td><td></td><td>セキュリティ ゾーン入口 (空気の流れを 確認)</td><td>※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>測定5</td><td></td><td>負圧・粉じん装 置の排出吹出口 (除じん装置の 性能確認)</td><td>※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点</td><td></td></tr><tr><td>○</td><td>測定6</td><td></td><td>施工区画周辺 又は敷地境界</td><td>※2点 ○1点 ※2点 ・点</td><td></td></tr><tr><td>○</td><td>測定7</td><td>処理作業後 シート 撤去前</td><td>処理作業室内</td><td>※2点 ○1点 ※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>測定8</td><td></td><td>施工区画周辺 又は敷地境界</td><td>※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>測定9</td><td>処理作業後 シート 撤去後</td><td>処理作業室内</td><td>※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td><td></td></tr><tr><td colspan="5">測 定 点 総 計</td><td>点</td></tr><tr><td colspan="6">注1:周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 (例)石綿粉じん濃度測定方法 <table><tr><th></th><th>測点3</th><th>測点1, 2, 4, 6, 7, 8</th><th>測点5</th></tr><tr><td>計数機器</td><td colspan="2">位相差・分散顕微鏡</td><td></td></tr><tr><td>メンブレン フィルタの直径</td><td colspan="2">25mm</td><td>47mm</td></tr><tr><td>試料の吸引流量</td><td>1L/min</td><td>5L/min</td><td>10L/min</td></tr><tr><td>試料の吸引時間</td><td>5min</td><td>120min</td><td>240min</td></tr><tr><td>試料の透明化</td><td colspan="3">アセトン固定ー有機物灰化ー屈折率浸液法</td></tr><tr><td>計数条件</td><td colspan="3">総合肥率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野</td></tr><tr><td>計数アスベスト</td><td colspan="3">幅3 μ m未満、長さ5 μ m以上、アスペクト比(長さ/幅)</td></tr><tr><td>定量限界</td><td>50本/L</td><td>0. 47本/L</td><td>0. 3本/L</td></tr></table> 記録する項目 ア. 測定結果 イ. 測定時間 ウ. 測定位置(測定高さとともに図面上に記載する。) エ. サンプリング条件 (メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量) オ. マウンティング法 カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数 キ. 測定時(各測定場所ごと)の 天候、温度、湿度、外気の風速及び風量 測定機関 都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関 施工記録報告書の提出 1. 施工計画書 2. 工事記録及び工事写真 3. 産業廃棄物処理記録(廃石綿) 4. 施工調査等記録(条規施行調査、含有分析、粉じん濃度測定等) 5. 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録 6. その他必要事項 提出部数 3部作成</td></tr><tr><td>② 除去工事 共通事項</td><td>専門工事業者 石綿含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に 相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。 作業主任者の選出 石綿作業主任技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者 技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければ ならない。 除去作業者の教育 作業者は、就業時に石綿則に基づく教育を受けた者とする。 また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者と し、肺機能に異常のない者とする。 特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを 配置しなければならない。 石綿含有吹き付け材の除去工事 ・ 行う(適用範囲・図示 ・) ・ 行わない ・ 集塵機付高圧洗浄工法 作業場等の隔離等 ※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により 飛散防止をすること。 <table><tr><th colspan="2">隔離シートの性能</th></tr><tr><td>※ 床面</td><td>※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重</td></tr><tr><td>※ 壁面</td><td>※ 0.08mm以上のプラスチックシート等</td></tr></table> ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による 「吹き付け石綿粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書 (以下、「審査証明書」という。))を取得している工法と同等の飛散 防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の 承認を得ること。 セキュリティゾーンの設置 ※ 下表による <table><tr><th>適用</th><th>室名</th><th>状態</th><th></th></tr><tr><td>※</td><td>更衣室</td><td></td><td>※ 更衣ロッカー ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 新品の保護具 ※ 洗顔、うがい設備 ・</td></tr><tr><td>※</td><td>洗浄室</td><td>負圧</td><td>※ エアシャワー(温水シャワー) ・</td></tr><tr><td>※</td><td>前室</td><td>負圧</td><td>・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご</td></tr></table> ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による 「吹き付け石綿粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書 (以下、「審査証明書」という。))を取得している工法と同等の飛散 防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の 承認を得ること。 除去物及び汚染等 処理方法 ※ 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空 掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・ セメント固化 4. 石綿 含有保温材等 の除去 石綿含有保温材の除去工事 ・ 行う(適用範囲・図示 ・) ・ 行わない 養生等 ※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。 掻き落とし、破砕、切断による除去方法 ※ 行わない ・ 行う(<9.1.3>「石綿含有吹き付け材の除去」による) 除去工法 ※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。 ※ 除去物については<9.1.3(b)>により、密封処理とする。 5. 石綿 含有成形板の 処理 石綿含有成形板の除去工事 ○ 行う(適用範囲○ 図示 ・) ・ 行わない 養生 ○ 行う(適用範囲○ 図示 ・) ・ 行わない 除去工法 ※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。 ※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した 状態で行うこと。 ※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕された 石綿含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋 に入れる等の飛散防止措置を講ずること。 6. 石綿 含有仕上塗材 の除去 石綿含有仕上塗材の除去工事 ○ 行う(適用範囲○ 図示 ・) ・ 行わない 養生 ○ 行う(適用範囲○ 図示 ・) ・ 行わない 除去工法 ・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 ・ 集じん装置併用手工具ケレン方法 ・ 集じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下、30～50MPa程度) ・ 集じん装置付き超高圧水洗工法(100MPa以上) ・ 剥離剤併用超音波ケレン工法 ○ 剥離剤併用手工具ケレン工法 ※ 除去物の保管、運搬及び処分は、<9.1.5(3)>による。 ※ 確認及び後片付けは、<9.1.5(4)>による。 ※ 石綿含有仕上塗材面に足場つなぎを設置する場合は、集じん機付き ドリルを使用する。</td></tr><tr><td>① 断 熱 材</td><td>断熱材の打込み及び現場発泡工法 <table><tr><th>種 類</th><th>箇 所</th><th>厚さ(mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※ ポリスチレン フォーム (発泡プラス チック保温材)</td><td>・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキン層付き) ・</td><td>下配以外 ・</td><td>※ 25 JIS A 9511の JIS表示認証製品</td></tr><tr><td>・ 硬質ウレタン フォーム保温材</td><td>※A種 ・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・ フェノール フォーム保温材</td><td>※A種 ・</td><td>・</td><td>JIS A 9511の JIS表示認証製品</td></tr><tr><td>○ 吹付け硬質 ウレタン フォーム保温材</td><td>※A種1 ・</td><td>・</td><td>※ 20 JIS A 9526 による難燃性 ・2級 ※3級</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> ※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。 上記以外に用いる断熱材 <table><tr><th>種 類</th><th>箇 所</th><th>厚さ(mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ JISA発泡 プラスチック 保温材</td><td>・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキン層付き) ・</td><td>下配以外 ・</td><td>※ 25 JIS表示認証製品</td></tr><tr><td>・ グラスウール 保温材</td><td></td><td>・</td><td>※ 100 ※ 24K品 ・</td></tr></table> ※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート ※ 被覆品 ・防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り(重ね100)</td></tr><tr><td>10 ― 2 土 工 事</td><td>① 埋戻し及び 盛土の種別 ② 建設発生土の 処理 1. コンクリート ブロック塀壁 及び塀 2. 押出成形セメント板 コンパ ンクル ・押出 成形 ブロック ・セメント 板工 事</td></tr><tr><td>11 ― 3 コ ン パ ン ク ル ・ 押 出 成 形 ブ ロ ッ ク ・ セ メ ン ト 板 工 事</td><td>1. コンクリート ブロック塀壁 及び塀 2. 押出成形セメント板 ブロックの種類 ※ 空洞ブロック 16 (ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック08とすることができる。) 貼替を行う(割れた押出成形セメント板)</td></tr></table> <table><tr><td rowspan="10">12 ― 3 舗 装 工 事</td><td>① 再生材 2. 盛土材料 3. フィルター層及び 凍上抑制層用 材料 4. 路床土の 支持力比 (CBR)試験 5. 路床締固め度 の試験 ⑥ 路盤材料 7. アスファルト 舗装 8. コンクリート 舗装 9. ブロック系 舗装 ⑩ 縁石及び側溝 ⑪ 砂 利 敷 き 12. 区 画 線</td><td>※ 使用する 路床の盛土材料 フィルター層 凍上抑制層 ※ 行わない ・ 行う(※ 乱した土 ・ 乱さない土) ※ 行わない ・ 行う ※ 再生クラッシャーラン RC-40 加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.4) 表 層 ※ 再生密粒度アスファルト混合物(13) ・ 密粒度アスファルト混合物(13F) ・ 細粒度アスファルト混合物(13) アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない ・行う 早強セメント ・使用する ※ 使用しない 溶接金網 ※ あり ・なし ・コンクリート平板 ※ t60 ・ インターロック型ブロック舗装 ・t80(曲げ強度5.0N/㎡) ・() ・ 舗石舗装 基 層 ※ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 地盤の材料 ○再生クラッシャーラン ・ A種(通路) ※ B種(建物周辺) ※ 3種1号白 ・</td></tr><tr><td>1. フリー アクセス フロア 2. 可動間仕切 (パーテーション) 3. 移動間仕切 (スライディング ドア) 4. トイレブース 5. 階段滑り止め (ノンスリップ) 6. 床目地棒 7. 鏡 8. 表 示 9. 点検口 10. 視覚障害者用 誘導ブロック</td><td>(20.2.2) ・ 図示による ・</td></tr></table>	材 料 名	定性分析	定量分析		・(試料数:)	・(試料数:)		・(試料数:)	・(試料数:)		・(試料数:)	・(試料数:)		・(試料数:)	・(試料数:)	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	室 名 等	・	測定1	処理作業前	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		・	測定2		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点		・	測定3	処理作業中	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		・	測定4		セキュリティ ゾーン入口 (空気の流れを 確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点		・	測定5		負圧・粉じん装 置の排出吹出口 (除じん装置の 性能確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点		○	測定6		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ○1点 ※2点 ・点		○	測定7	処理作業後 シート 撤去前	処理作業室内	※2点 ○1点 ※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		・	測定8		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		・	測定9	処理作業後 シート 撤去後	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		測 定 点 総 計					点	注1:周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 (例)石綿粉じん濃度測定方法 <table><tr><th></th><th>測点3</th><th>測点1, 2, 4, 6, 7, 8</th><th>測点5</th></tr><tr><td>計数機器</td><td colspan="2">位相差・分散顕微鏡</td><td></td></tr><tr><td>メンブレン フィルタの直径</td><td colspan="2">25mm</td><td>47mm</td></tr><tr><td>試料の吸引流量</td><td>1L/min</td><td>5L/min</td><td>10L/min</td></tr><tr><td>試料の吸引時間</td><td>5min</td><td>120min</td><td>240min</td></tr><tr><td>試料の透明化</td><td colspan="3">アセトン固定ー有機物灰化ー屈折率浸液法</td></tr><tr><td>計数条件</td><td colspan="3">総合肥率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野</td></tr><tr><td>計数アスベスト</td><td colspan="3">幅3 μ m未満、長さ5 μ m以上、アスペクト比(長さ/幅)</td></tr><tr><td>定量限界</td><td>50本/L</td><td>0. 47本/L</td><td>0. 3本/L</td></tr></table> 記録する項目 ア. 測定結果 イ. 測定時間 ウ. 測定位置(測定高さとともに図面上に記載する。) エ. サンプリング条件 (メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量) オ. マウンティング法 カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数 キ. 測定時(各測定場所ごと)の 天候、温度、湿度、外気の風速及び風量 測定機関 都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関 施工記録報告書の提出 1. 施工計画書 2. 工事記録及び工事写真 3. 産業廃棄物処理記録(廃石綿) 4. 施工調査等記録(条規施行調査、含有分析、粉じん濃度測定等) 5. 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録 6. その他必要事項 提出部数 3部作成							測点3	測点1, 2, 4, 6, 7, 8	測点5	計数機器	位相差・分散顕微鏡			メンブレン フィルタの直径	25mm		47mm	試料の吸引流量	1L/min	5L/min	10L/min	試料の吸引時間	5min	120min	240min	試料の透明化	アセトン固定ー有機物灰化ー屈折率浸液法			計数条件	総合肥率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野			計数アスベスト	幅3 μ m未満、長さ5 μ m以上、アスペクト比(長さ/幅)			定量限界	50本/L	0. 47本/L	0. 3本/L	② 除去工事 共通事項	専門工事業者 石綿含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に 相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。 作業主任者の選出 石綿作業主任技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者 技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければ ならない。 除去作業者の教育 作業者は、就業時に石綿則に基づく教育を受けた者とする。 また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者と し、肺機能に異常のない者とする。 特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを 配置しなければならない。 石綿含有吹き付け材の除去工事 ・ 行う(適用範囲・図示 ・) ・ 行わない ・ 集塵機付高圧洗浄工法 作業場等の隔離等 ※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により 飛散防止をすること。 <table><tr><th colspan="2">隔離シートの性能</th></tr><tr><td>※ 床面</td><td>※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重</td></tr><tr><td>※ 壁面</td><td>※ 0.08mm以上のプラスチックシート等</td></tr></table> ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による 「吹き付け石綿粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書 (以下、「審査証明書」という。))を取得している工法と同等の飛散 防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の 承認を得ること。 セキュリティゾーンの設置 ※ 下表による <table><tr><th>適用</th><th>室名</th><th>状態</th><th></th></tr><tr><td>※</td><td>更衣室</td><td></td><td>※ 更衣ロッカー ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 新品の保護具 ※ 洗顔、うがい設備 ・</td></tr><tr><td>※</td><td>洗浄室</td><td>負圧</td><td>※ エアシャワー(温水シャワー) ・</td></tr><tr><td>※</td><td>前室</td><td>負圧</td><td>・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご</td></tr></table> ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による 「吹き付け石綿粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書 (以下、「審査証明書」という。))を取得している工法と同等の飛散 防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の 承認を得ること。 除去物及び汚染等 処理方法 ※ 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空 掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・ セメント固化 4. 石綿 含有保温材等 の除去 石綿含有保温材の除去工事 ・ 行う(適用範囲・図示 ・) ・ 行わない 養生等 ※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。 掻き落とし、破砕、切断による除去方法 ※ 行わない ・ 行う(<9.1.3>「石綿含有吹き付け材の除去」による) 除去工法 ※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。 ※ 除去物については<9.1.3(b)>により、密封処理とする。 5. 石綿 含有成形板の 処理 石綿含有成形板の除去工事 ○ 行う(適用範囲○ 図示 ・) ・ 行わない 養生 ○ 行う(適用範囲○ 図示 ・) ・ 行わない 除去工法 ※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。 ※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した 状態で行うこと。 ※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕された 石綿含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋 に入れる等の飛散防止措置を講ずること。 6. 石綿 含有仕上塗材 の除去 石綿含有仕上塗材の除去工事 ○ 行う(適用範囲○ 図示 ・) ・ 行わない 養生 ○ 行う(適用範囲○ 図示 ・) ・ 行わない 除去工法 ・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 ・ 集じん装置併用手工具ケレン方法 ・ 集じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下、30～50MPa程度) ・ 集じん装置付き超高圧水洗工法(100MPa以上) ・ 剥離剤併用超音波ケレン工法 ○ 剥離剤併用手工具ケレン工法 ※ 除去物の保管、運搬及び処分は、<9.1.5(3)>による。 ※ 確認及び後片付けは、<9.1.5(4)>による。 ※ 石綿含有仕上塗材面に足場つなぎを設置する場合は、集じん機付き ドリルを使用する。	隔離シートの性能		※ 床面	※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重	※ 壁面	※ 0.08mm以上のプラスチックシート等	適用	室名	状態		※	更衣室		※ 更衣ロッカー ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 新品の保護具 ※ 洗顔、うがい設備 ・	※	洗浄室	負圧	※ エアシャワー(温水シャワー) ・	※	前室	負圧	・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご	① 断 熱 材	断熱材の打込み及び現場発泡工法 <table><tr><th>種 類</th><th>箇 所</th><th>厚さ(mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※ ポリスチレン フォーム (発泡プラス チック保温材)</td><td>・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキン層付き) ・</td><td>下配以外 ・</td><td>※ 25 JIS A 9511の JIS表示認証製品</td></tr><tr><td>・ 硬質ウレタン フォーム保温材</td><td>※A種 ・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・ フェノール フォーム保温材</td><td>※A種 ・</td><td>・</td><td>JIS A 9511の JIS表示認証製品</td></tr><tr><td>○ 吹付け硬質 ウレタン フォーム保温材</td><td>※A種1 ・</td><td>・</td><td>※ 20 JIS A 9526 による難燃性 ・2級 ※3級</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> ※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。 上記以外に用いる断熱材 <table><tr><th>種 類</th><th>箇 所</th><th>厚さ(mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ JISA発泡 プラスチック 保温材</td><td>・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキン層付き) ・</td><td>下配以外 ・</td><td>※ 25 JIS表示認証製品</td></tr><tr><td>・ グラスウール 保温材</td><td></td><td>・</td><td>※ 100 ※ 24K品 ・</td></tr></table> ※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート ※ 被覆品 ・防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り(重ね100)	種 類	箇 所	厚さ(mm)	備 考	※ ポリスチレン フォーム (発泡プラス チック保温材)	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキン層付き) ・	下配以外 ・	※ 25 JIS A 9511の JIS表示認証製品	・ 硬質ウレタン フォーム保温材	※A種 ・	・	・	・ フェノール フォーム保温材	※A種 ・	・	JIS A 9511の JIS表示認証製品	○ 吹付け硬質 ウレタン フォーム保温材	※A種1 ・	・	※ 20 JIS A 9526 による難燃性 ・2級 ※3級	・	・	・	・	種 類	箇 所	厚さ(mm)	備 考	・ JISA発泡 プラスチック 保温材	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキン層付き) ・	下配以外 ・	※ 25 JIS表示認証製品	・ グラスウール 保温材		・	※ 100 ※ 24K品 ・	10 ― 2 土 工 事	① 埋戻し及び 盛土の種別 ② 建設発生土の 処理 1. コンクリート ブロック塀壁 及び塀 2. 押出成形セメント板 コンパ ンクル ・押出 成形 ブロック ・セメント 板工 事	11 ― 3 コ ン パ ン ク ル ・ 押 出 成 形 ブ ロ ッ ク ・ セ メ ン ト 板 工 事	1. コンクリート ブロック塀壁 及び塀 2. 押出成形セメント板 ブロックの種類 ※ 空洞ブロック 16 (ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック08とすることができる。) 貼替を行う(割れた押出成形セメント板)	12 ― 3 舗 装 工 事	① 再生材 2. 盛土材料 3. フィルター層及び 凍上抑制層用 材料 4. 路床土の 支持力比 (CBR)試験 5. 路床締固め度 の試験 ⑥ 路盤材料 7. アスファルト 舗装 8. コンクリート 舗装 9. ブロック系 舗装 ⑩ 縁石及び側溝 ⑪ 砂 利 敷 き 12. 区 画 線	※ 使用する 路床の盛土材料 フィルター層 凍上抑制層 ※ 行わない ・ 行う(※ 乱した土 ・ 乱さない土) ※ 行わない ・ 行う ※ 再生クラッシャーラン RC-40 加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.4) 表 層 ※ 再生密粒度アスファルト混合物(13) ・ 密粒度アスファルト混合物(13F) ・ 細粒度アスファルト混合物(13) アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない ・行う 早強セメント ・使用する ※ 使用しない 溶接金網 ※ あり ・なし ・コンクリート平板 ※ t60 ・ インターロック型ブロック舗装 ・t80(曲げ強度5.0N/㎡) ・() ・ 舗石舗装 基 層 ※ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 地盤の材料 ○再生クラッシャーラン ・ A種(通路) ※ B種(建物周辺) ※ 3種1号白 ・	1. フリー アクセス フロア 2. 可動間仕切 (パーテーション) 3. 移動間仕切 (スライディング ドア) 4. トイレブース 5. 階段滑り止め (ノンスリップ) 6. 床目地棒 7. 鏡 8. 表 示 9. 点検口 10. 視覚障害者用 誘導ブロック	(20.2.2) ・ 図示による ・
	材 料 名	定性分析	定量分析																																																																																																																																																																																																	
		・(試料数:)	・(試料数:)																																																																																																																																																																																																	
		・(試料数:)	・(試料数:)																																																																																																																																																																																																	
		・(試料数:)	・(試料数:)																																																																																																																																																																																																	
		・(試料数:)	・(試料数:)																																																																																																																																																																																																	
	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	室 名 等																																																																																																																																																																																														
	・	測定1	処理作業前	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																															
	・	測定2		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																															
	・	測定3	処理作業中	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																															
・	測定4		セキュリティ ゾーン入口 (空気の流れを 確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点																																																																																																																																																																																																
・	測定5		負圧・粉じん装 置の排出吹出口 (除じん装置の 性能確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点																																																																																																																																																																																																
○	測定6		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ○1点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																
○	測定7	処理作業後 シート 撤去前	処理作業室内	※2点 ○1点 ※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																
・	測定8		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																
・	測定9	処理作業後 シート 撤去後	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																
測 定 点 総 計					点																																																																																																																																																																																															
注1:周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 (例)石綿粉じん濃度測定方法 <table><tr><th></th><th>測点3</th><th>測点1, 2, 4, 6, 7, 8</th><th>測点5</th></tr><tr><td>計数機器</td><td colspan="2">位相差・分散顕微鏡</td><td></td></tr><tr><td>メンブレン フィルタの直径</td><td colspan="2">25mm</td><td>47mm</td></tr><tr><td>試料の吸引流量</td><td>1L/min</td><td>5L/min</td><td>10L/min</td></tr><tr><td>試料の吸引時間</td><td>5min</td><td>120min</td><td>240min</td></tr><tr><td>試料の透明化</td><td colspan="3">アセトン固定ー有機物灰化ー屈折率浸液法</td></tr><tr><td>計数条件</td><td colspan="3">総合肥率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野</td></tr><tr><td>計数アスベスト</td><td colspan="3">幅3 μ m未満、長さ5 μ m以上、アスペクト比(長さ/幅)</td></tr><tr><td>定量限界</td><td>50本/L</td><td>0. 47本/L</td><td>0. 3本/L</td></tr></table> 記録する項目 ア. 測定結果 イ. 測定時間 ウ. 測定位置(測定高さとともに図面上に記載する。) エ. サンプリング条件 (メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量) オ. マウンティング法 カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数 キ. 測定時(各測定場所ごと)の 天候、温度、湿度、外気の風速及び風量 測定機関 都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関 施工記録報告書の提出 1. 施工計画書 2. 工事記録及び工事写真 3. 産業廃棄物処理記録(廃石綿) 4. 施工調査等記録(条規施行調査、含有分析、粉じん濃度測定等) 5. 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録 6. その他必要事項 提出部数 3部作成							測点3	測点1, 2, 4, 6, 7, 8	測点5	計数機器	位相差・分散顕微鏡			メンブレン フィルタの直径	25mm		47mm	試料の吸引流量	1L/min	5L/min	10L/min	試料の吸引時間	5min	120min	240min	試料の透明化	アセトン固定ー有機物灰化ー屈折率浸液法			計数条件	総合肥率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野			計数アスベスト	幅3 μ m未満、長さ5 μ m以上、アスペクト比(長さ/幅)			定量限界	50本/L	0. 47本/L	0. 3本/L																																																																																																																																																											
	測点3	測点1, 2, 4, 6, 7, 8	測点5																																																																																																																																																																																																	
計数機器	位相差・分散顕微鏡																																																																																																																																																																																																			
メンブレン フィルタの直径	25mm		47mm																																																																																																																																																																																																	
試料の吸引流量	1L/min	5L/min	10L/min																																																																																																																																																																																																	
試料の吸引時間	5min	120min	240min																																																																																																																																																																																																	
試料の透明化	アセトン固定ー有機物灰化ー屈折率浸液法																																																																																																																																																																																																			
計数条件	総合肥率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野																																																																																																																																																																																																			
計数アスベスト	幅3 μ m未満、長さ5 μ m以上、アスペクト比(長さ/幅)																																																																																																																																																																																																			
定量限界	50本/L	0. 47本/L	0. 3本/L																																																																																																																																																																																																	
② 除去工事 共通事項	専門工事業者 石綿含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に 相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。 作業主任者の選出 石綿作業主任技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者 技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければ ならない。 除去作業者の教育 作業者は、就業時に石綿則に基づく教育を受けた者とする。 また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者と し、肺機能に異常のない者とする。 特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを 配置しなければならない。 石綿含有吹き付け材の除去工事 ・ 行う(適用範囲・図示 ・) ・ 行わない ・ 集塵機付高圧洗浄工法 作業場等の隔離等 ※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により 飛散防止をすること。 <table><tr><th colspan="2">隔離シートの性能</th></tr><tr><td>※ 床面</td><td>※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重</td></tr><tr><td>※ 壁面</td><td>※ 0.08mm以上のプラスチックシート等</td></tr></table> ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による 「吹き付け石綿粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書 (以下、「審査証明書」という。))を取得している工法と同等の飛散 防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の 承認を得ること。 セキュリティゾーンの設置 ※ 下表による <table><tr><th>適用</th><th>室名</th><th>状態</th><th></th></tr><tr><td>※</td><td>更衣室</td><td></td><td>※ 更衣ロッカー ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 新品の保護具 ※ 洗顔、うがい設備 ・</td></tr><tr><td>※</td><td>洗浄室</td><td>負圧</td><td>※ エアシャワー(温水シャワー) ・</td></tr><tr><td>※</td><td>前室</td><td>負圧</td><td>・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご</td></tr></table> ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による 「吹き付け石綿粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書 (以下、「審査証明書」という。))を取得している工法と同等の飛散 防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の 承認を得ること。 除去物及び汚染等 処理方法 ※ 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空 掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・ セメント固化 4. 石綿 含有保温材等 の除去 石綿含有保温材の除去工事 ・ 行う(適用範囲・図示 ・) ・ 行わない 養生等 ※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。 掻き落とし、破砕、切断による除去方法 ※ 行わない ・ 行う(<9.1.3>「石綿含有吹き付け材の除去」による) 除去工法 ※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。 ※ 除去物については<9.1.3(b)>により、密封処理とする。 5. 石綿 含有成形板の 処理 石綿含有成形板の除去工事 ○ 行う(適用範囲○ 図示 ・) ・ 行わない 養生 ○ 行う(適用範囲○ 図示 ・) ・ 行わない 除去工法 ※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。 ※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した 状態で行うこと。 ※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕された 石綿含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋 に入れる等の飛散防止措置を講ずること。 6. 石綿 含有仕上塗材 の除去 石綿含有仕上塗材の除去工事 ○ 行う(適用範囲○ 図示 ・) ・ 行わない 養生 ○ 行う(適用範囲○ 図示 ・) ・ 行わない 除去工法 ・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 ・ 集じん装置併用手工具ケレン方法 ・ 集じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下、30～50MPa程度) ・ 集じん装置付き超高圧水洗工法(100MPa以上) ・ 剥離剤併用超音波ケレン工法 ○ 剥離剤併用手工具ケレン工法 ※ 除去物の保管、運搬及び処分は、<9.1.5(3)>による。 ※ 確認及び後片付けは、<9.1.5(4)>による。 ※ 石綿含有仕上塗材面に足場つなぎを設置する場合は、集じん機付き ドリルを使用する。	隔離シートの性能		※ 床面	※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重	※ 壁面	※ 0.08mm以上のプラスチックシート等	適用	室名	状態		※	更衣室		※ 更衣ロッカー ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 新品の保護具 ※ 洗顔、うがい設備 ・	※	洗浄室	負圧	※ エアシャワー(温水シャワー) ・	※	前室	負圧	・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご																																																																																																																																																																													
隔離シートの性能																																																																																																																																																																																																				
※ 床面	※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重																																																																																																																																																																																																			
※ 壁面	※ 0.08mm以上のプラスチックシート等																																																																																																																																																																																																			
適用	室名	状態																																																																																																																																																																																																		
※	更衣室		※ 更衣ロッカー ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 新品の保護具 ※ 洗顔、うがい設備 ・																																																																																																																																																																																																	
※	洗浄室	負圧	※ エアシャワー(温水シャワー) ・																																																																																																																																																																																																	
※	前室	負圧	・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご																																																																																																																																																																																																	
① 断 熱 材	断熱材の打込み及び現場発泡工法 <table><tr><th>種 類</th><th>箇 所</th><th>厚さ(mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※ ポリスチレン フォーム (発泡プラス チック保温材)</td><td>・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキン層付き) ・</td><td>下配以外 ・</td><td>※ 25 JIS A 9511の JIS表示認証製品</td></tr><tr><td>・ 硬質ウレタン フォーム保温材</td><td>※A種 ・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・ フェノール フォーム保温材</td><td>※A種 ・</td><td>・</td><td>JIS A 9511の JIS表示認証製品</td></tr><tr><td>○ 吹付け硬質 ウレタン フォーム保温材</td><td>※A種1 ・</td><td>・</td><td>※ 20 JIS A 9526 による難燃性 ・2級 ※3級</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> ※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。 上記以外に用いる断熱材 <table><tr><th>種 類</th><th>箇 所</th><th>厚さ(mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ JISA発泡 プラスチック 保温材</td><td>・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキン層付き) ・</td><td>下配以外 ・</td><td>※ 25 JIS表示認証製品</td></tr><tr><td>・ グラスウール 保温材</td><td></td><td>・</td><td>※ 100 ※ 24K品 ・</td></tr></table> ※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート ※ 被覆品 ・防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り(重ね100)	種 類	箇 所	厚さ(mm)	備 考	※ ポリスチレン フォーム (発泡プラス チック保温材)	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキン層付き) ・	下配以外 ・	※ 25 JIS A 9511の JIS表示認証製品	・ 硬質ウレタン フォーム保温材	※A種 ・	・	・	・ フェノール フォーム保温材	※A種 ・	・	JIS A 9511の JIS表示認証製品	○ 吹付け硬質 ウレタン フォーム保温材	※A種1 ・	・	※ 20 JIS A 9526 による難燃性 ・2級 ※3級	・	・	・	・	種 類	箇 所	厚さ(mm)	備 考	・ JISA発泡 プラスチック 保温材	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキン層付き) ・	下配以外 ・	※ 25 JIS表示認証製品	・ グラスウール 保温材		・	※ 100 ※ 24K品 ・																																																																																																																																																															
種 類	箇 所	厚さ(mm)	備 考																																																																																																																																																																																																	
※ ポリスチレン フォーム (発泡プラス チック保温材)	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキン層付き) ・	下配以外 ・	※ 25 JIS A 9511の JIS表示認証製品																																																																																																																																																																																																	
・ 硬質ウレタン フォーム保温材	※A種 ・	・	・																																																																																																																																																																																																	
・ フェノール フォーム保温材	※A種 ・	・	JIS A 9511の JIS表示認証製品																																																																																																																																																																																																	
○ 吹付け硬質 ウレタン フォーム保温材	※A種1 ・	・	※ 20 JIS A 9526 による難燃性 ・2級 ※3級																																																																																																																																																																																																	
・	・	・	・																																																																																																																																																																																																	
種 類	箇 所	厚さ(mm)	備 考																																																																																																																																																																																																	
・ JISA発泡 プラスチック 保温材	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキン層付き) ・	下配以外 ・	※ 25 JIS表示認証製品																																																																																																																																																																																																	
・ グラスウール 保温材		・	※ 100 ※ 24K品 ・																																																																																																																																																																																																	
10 ― 2 土 工 事	① 埋戻し及び 盛土の種別 ② 建設発生土の 処理 1. コンクリート ブロック塀壁 及び塀 2. 押出成形セメント板 コンパ ンクル ・押出 成形 ブロック ・セメント 板工 事																																																																																																																																																																																																			
11 ― 3 コ ン パ ン ク ル ・ 押 出 成 形 ブ ロ ッ ク ・ セ メ ン ト 板 工 事	1. コンクリート ブロック塀壁 及び塀 2. 押出成形セメント板 ブロックの種類 ※ 空洞ブロック 16 (ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック08とすることができる。) 貼替を行う(割れた押出成形セメント板)																																																																																																																																																																																																			
12 ― 3 舗 装 工 事	① 再生材 2. 盛土材料 3. フィルター層及び 凍上抑制層用 材料 4. 路床土の 支持力比 (CBR)試験 5. 路床締固め度 の試験 ⑥ 路盤材料 7. アスファルト 舗装 8. コンクリート 舗装 9. ブロック系 舗装 ⑩ 縁石及び側溝 ⑪ 砂 利 敷 き 12. 区 画 線	※ 使用する 路床の盛土材料 フィルター層 凍上抑制層 ※ 行わない ・ 行う(※ 乱した土 ・ 乱さない土) ※ 行わない ・ 行う ※ 再生クラッシャーラン RC-40 加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.4) 表 層 ※ 再生密粒度アスファルト混合物(13) ・ 密粒度アスファルト混合物(13F) ・ 細粒度アスファルト混合物(13) アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない ・行う 早強セメント ・使用する ※ 使用しない 溶接金網 ※ あり ・なし ・コンクリート平板 ※ t60 ・ インターロック型ブロック舗装 ・t80(曲げ強度5.0N/㎡) ・() ・ 舗石舗装 基 層 ※ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 地盤の材料 ○再生クラッシャーラン ・ A種(通路) ※ B種(建物周辺) ※ 3種1号白 ・																																																																																																																																																																																																		
	1. フリー アクセス フロア 2. 可動間仕切 (パーテーション) 3. 移動間仕切 (スライディング ドア) 4. トイレブース 5. 階段滑り止め (ノンスリップ) 6. 床目地棒 7. 鏡 8. 表 示 9. 点検口 10. 視覚障害者用 誘導ブロック	(20.2.2) ・ 図示による ・																																																																																																																																																																																																		

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

特記仕様書（４）

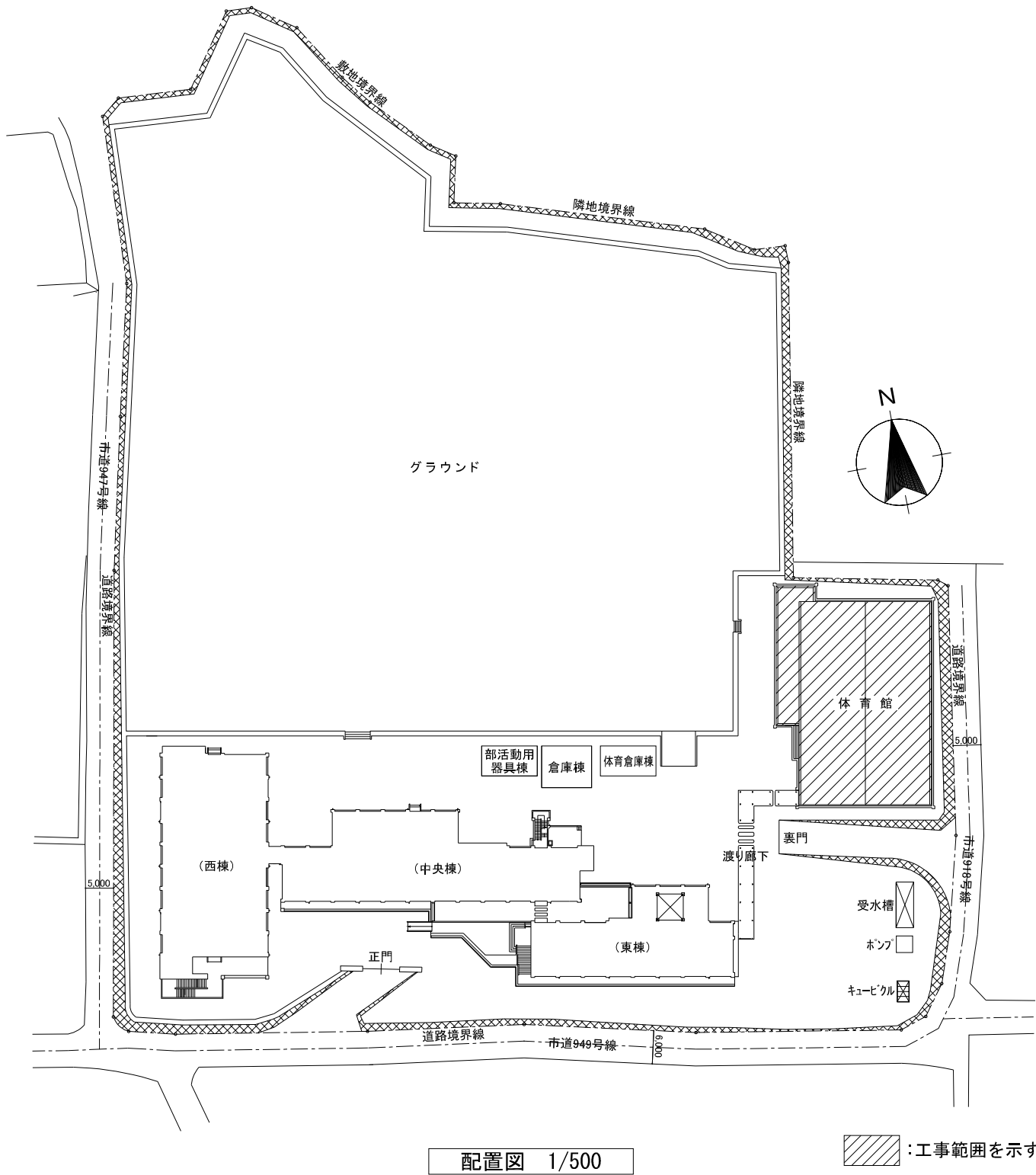
縮尺

NO SCALE

図面番号

A - 04

工 事 概 要		
工 事 名 称	工事名称	海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事
	工事場所	海老名市大谷南2丁目10番1号
	建物用途	屋内運動場
	工事種別	大規模改修工事
構 造 ・ 規 模	敷地面積	22,035.59 ㎡
	階 数	平屋建
	構 造	1階：鉄筋コンクリート造・吹抜け部：鉄骨造
	建築面積	877.72 ㎡
	延床面積	817.13 ㎡



■ 特記事項

【安全対策】 1. 工事搬入出車両の出入りは児童・生徒の登下校時、施設利用者の時間を極力避けること。 2. 敷地内での工事車両安全速度は「5km/h」以下とすること。 3. 外部足場の昇降口や資材置き場の出入口は常に施錠し第三者の工事エリア進入を防ぐこと。 4. 外部仮囲い等は強固に固定し、施設利用者が触れても危険が無いよう設置すること。 仮囲い等の仮設物の設営後は常に点検を行い、不備が認められた際には速やかに是正処置を請うること。 5. 火気使用時(アーク溶接等)には床・壁共防災シートの養生を行い消火器を設置する。 また、火気使用2時間後に、作業場所の安全を確認すること。 6. 急な暴風雨、豪雨等にも迅速に対応出来るよう、予め体制を整備しておくこと。 7. 震度4以上の地震発生時や暴風・大雨警報などの「悪天候」が予想される時は、事前に点検し対策を実施して災害防止に備えるとともに点検結果を報告すること。 8. 搬入に伴う工事車両の運用、荷揚げ等、やむを得ず一時的に工事エリア外での作業を行う際には、カラーコーン・コーンバー等にて区画を行うこと。 9. 関係法令、各種規準を遵守し、第三者の安全確保対策を充分に行うこと。	【一般事項（共通）】 1. 工事着手に先立ち本図を参考とし、監督員・施設管理者ほかの関係機関と綿密な協議の上施設運営に支障のない工事計画を行うこと。 2. 工事区域及び周囲の作業通路ほか、工事関連箇所は既存部分の養生を行い、完成検査（引渡し）前に清掃（クリーニング）を行うこと。 3. コンクリートの壁及び床のはつりやコア抜きを行う場合は、事前に施設で保管している図面等を参照し、現場調査を急に入行すること。また作業前にレントゲン調査等を行うなど、埋設物を破壊させない準備を行うこと。 土間解体及び、掘削等の作業には以下に注意すること。 ・範囲内及び中埋設物を損傷させないよう、解体掘削は慎重に行い急激な作業を行わないこと。 ・状況に応じ重機を使わず、手はつり、手掘で作業を行うこと。 4. 自動火災報知機感知器が誤発報しないよう、以下による適切な対応を行うこと。 また、工事範囲内の感知器への対応は以下とすること。 ・感知器には専用カバー等で養生を行う。作業時間帯以外は取り外すこと。 ・室内温度差等により感知器が作動しないよう、投光器等の熱源は感知器から距離を置き熱の影響を受けないよう考慮すること。 ・万一自動火災報知機感知器が発報した際、工事によるものか否かを確認する方法や発報を停止する措置（施設側対応）に関して、事前に施設管理者と協議を行ってのこと。
【足場設置基準】 <外部足場> 1. 枠組足場・くさび緊結式足場は手すり先行据置方式とすること。 2. 壁つなぎの設置は以下とすること。（推奨） 垂直方向：根がらみから2スパン毎に取り付ける。 水平方向：外壁角から近い縦地から2スパン毎及び最上部は全縦地に取り付ける。 鉄骨造：鉄骨から直に壁つなぎを取るものとし、ALC版等の外壁部材からとらないこと。 □ 壁つなぎ穿孔作業は石綿作業主任者が常駐のうえ、「石綿作業主任者」又は「石綿作業従事者特別教育修了者」が行い集塵機及び、HEPAフィルタ付きドリルを使用し既存外壁塗材の飛散を防止すること。 3. 壁つなぎ用後施工アンカーはコンクリート躯体にしっかり固定すること。 4. 足場の脚部には、短・長辺方向に根がらみを設置すること。 5. 外部足場の外側には防災1 類ネット状養生シートをGLまで設置し、下記養生枠を設置すること。 □ H1,800までは金網式養生枠を設置する。 □ H2,000の塗装した仮囲鉄板を足元の隙間がないよう設置する。 □ H3,000の塗装した仮囲鉄板を足元の隙間がないよう設置する。 6. 手すり、下棧、幅木は四方に設置すること。 7. 層間ネットは専用金具を使用し、2層毎に設置すること。 8. 足場の出隅は緩衝材等で養生を行うこと。 9. 足場の外部に金物等の突起物が出る場合は緩衝材や既製の養生材で養生を行うこと。 10. 外部足場は設置場所を汚さないようシート養生を行った上に設置する。 11. 足場組立等作業主任者の掲示、最大荷重の表示を行うこと。	■一般事項-2(屋根改修) 1. 「金属板カバー工法」で施工した屋根に関しては引き渡し日より10年間の防水保証、シーリング材を施工した部分に関しては引き渡し日より5年間の防水保証、（請負業者、施工工会社、材料製造会社）を行う。 2. 工事に先立ち、施工計画、施工仕様、安全対策等を記載した「施工計画書」を提出し、監督員の承認を得ること。 3. 屋根での作業は、JIS A 8971、屋根工用足場及び施工方法に準じて行うこと。 4. 作業動線全ての屋上屋根工事すり設置等の堅落、また屋根面には踏み抜き防止ネットを敷設すること。 5. 体育館天井面作業の際、破損の恐れのある空気管（自動火災報知設備）は、事前に空気管の保護や注意喚起表示を行うこと。 6. 既存屋根大波スレート葺きについては、石綿含有として作業を行うこと。 ＜特記事項＞ ・ 既存耐酸被覆鋼板については、石綿含有とみなして作業を行うこと。
<移動式足場（ローリングタワー）> 1. 組立高は制限高さ（7.7m×（足場の短辺幅÷枠組出寸法）-5m）かつ5段以下。 2. 使用中はキャスターのブレーキを4か所確実に効かせる。 3. 手すりは90cm以上とし中棧を設置する。 4. はしごでの昇降には安全ブロックを使用すること。 5. 作業床でははしごや脚立は使用しない。 6. 作業者を乗せたままで移動は絶対行わない。 7. 作業者は安全帯を確実に使用する。 8. 最大積載量の表示を行う。	■一般事項-3(外壁改修) 1. 外壁モルタルの浮き処理に使用するアンカーピンの長さは、試し孔をあけ決定すること。 試験体は各面100m2ごと及びその端数につき1か所以上、かつ各面3か所以上行い、モルタル部を穿孔してその最大厚みを確認し、その厚さに30mmを加えた長さをピンの長さとする。 2. 監督員下検査時膜厚計を用意すること。測定位置として上階部・中階部・下階部とする。（膜厚基準として1mm以上を目安とする。） 3. 雑金物周囲には三方シーリング打ちを行う。 4. 原則として0.2mm未満のクラック補修は、下地調整材・アクリル系塗膜防水による処理とする。ただし、漏水等があり補修方法が前記では不十分と判断される部分は、監督員と協議の上、工法を変更する。 5. 足場架設後、改修範囲の外壁施工数量調査を実施し、調査報告書を作成し監督員と協議の上、作業は施工範囲及び、数量を計画に確定した上で着手すること。なお設計数量に変更が生じた場合、原則設計変更をこなう。 ※ 施工面が多い場合は、一定の範囲を調査後、上記を行うこととする。 6. 施工完了後、施工数量報告書を提出すること。 ＜特記事項＞ ・ 既存外壁小波スレート、石綿大平板については、石綿含有とみなして作業を行うこと。

■ 外壁改修内容一覽表

※本工事に関係する項目のみ適用するものとする。

[illegible]

図面名称	特記事項・外壁改修内容一覧表		
縮尺	NO SCALE	図面番号	A - 06

外 部 仕 上 表					
部 位	改 修 前	改 修 後	部 位	改 修 前	改 修 後
屋 根	ガルバリウム鋼板瓦葺葺 厚0.4（カバー工法）、発泡ポリエチレン 厚25 カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 裏貼 ガラス繊維断熱材 厚25、鋼製タルキφ490 垂鉛メッキOP塗装	遮熱塗料塗布、下地調整 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整	樋	軒樋：耐酸被覆銅板 厚0.6 受金物：L-50×50×6φ600 防球ネット（撤去） 堅樋：硬質塩ビ管 100φ NAD塗装 撤去	軒樋：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め、下地調整、防球ネット（新設）、清掃 堅樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設
軒 裏	ケイ酸カルシウム板 厚5 E P 塗装 ㊶・㊶6 通り面 撤去	EP-G塗装、下地調整 ㊶2・㊶6 通り面 ケイ酸カルシウム板 厚5 新設	外部建具	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去（ガラス：網入ガラス厚6.8） スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミバネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設（建具表による） スチールドア：引き分けハンガードア 新設（建具表による） 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装（建具表による）
1階屋根	ウレタン塗膜防水、ﾙﾌﾟﾝ撤去 モルタル金ゴテ仕上 厚60、アスファルト防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地	ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 改修ﾄﾞﾚﾝ新設	手洗い場	人造石研出し	クリーニング
庇	庇上面：ウレタン塗膜防水、防水モルタル金ゴテ 庇下面：防水形複層塗材 E	庇上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa	タラップ	ステンレス製	クリーニング
外 壁	DP塗装、カラー鉄板貼 厚0.5、木毛板 厚25、軽鉄下地	カラー鉄板貼面：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整	踊場・階段 スロープ・犬走	塗床塗装 コンクリート金ゴテ押え	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修
	防水形複層塗材 E（△）、コンクリート打放	コンクリート打放面：防水形複層塗材E（凹凸模様）、下地調整、高圧水洗10～15Mpa クラック補修：樹脂注入工法、建具廻りシーリング打替え（PU-2）	犬走	コンクリート金ゴテ押え（一部撤去）	既存のまま（一部新設）
巾 木	防水型複層塗材 E（△） モルタル金ゴテ、コンクリート打放	防水形複層塗材 E（ゆず肌）、下地調整、高圧水洗10～15Mpa			

内 部 仕 上 表									
室 名	区 分	床	巾 木		腰 壁	壁	天 井	備 考	
体 育 室	改 修 前	カエデフローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装 耐水ラワン合板 厚15下地 撤去 鋼製床下地 一部撤去（全体10%程度）	ラワン材 厚30 100H OP塗装 撤去		ラワン合板 厚9 目透し張り OP塗装 撤去	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り OP塗装 撤去	ガラス繊維断熱材あらかし 鉄骨部：OP塗装、垂木： OP塗装 ブドウ棚鋼材：OP塗装	コートライン引き・体育器具床金物：撤去、肋木：撤去 吊り上げバスケットゴール（2カ所）・バスケットゴール（4カ所）：撤去、室名札：撤去 防球ネット・校章：校内移設	
	改 修 後	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗、サンダー掛け2回 カバ 単層フローリング厚18、パーチクルボード厚15 鋼製床下地 一部復旧（全体10%程度）	ラワン材 厚30 100H EP塗装		EP塗装、ラワン合板 厚9 目透し張り 外壁面：発泡ウレタン吹付 厚25	EP塗装、有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り 外壁面：発泡ウレタン吹付 厚25	剥離・脆弱部分撤去の上、飛散防止塗料塗 鉄骨部：SOP塗装 下地調整	コートライン引き直し、体育器具床金物・室名札・収納フック（30カ所）携帯用スロープ 長さ90cm（アルミ2折式）：新設 電動耐震型吊り上げバスケット板（2カ所）・壁面手動折畳みバスケットゴール（4カ所）：新設 防球格子（枠共）・鉄部：SOP塗装 錆止め塗装、防球ネット・校章：再設置	
ステージ	改 修 前	耐水ラワン合板 厚15下地	ラワン材 厚30 100H OP塗装 撤去		――	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り OP塗装 撤去	ガラス繊維断熱材あらかし 鉄骨部：OP塗装、垂木： OP塗装	各種幕：撤去、舞台装置：撤去 木製可動式階段2カ所 OSV塗装：撤去 三方枠：OSV塗装、ブドウ棚・鉄部：OP塗装、グランドピアノ：体育器具室移設	
	改 修 後	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗（床見切材共） サンダー掛け2回 既存部サンダー掛け	ラワン材 厚30 100H EP塗装		――	EP塗装、有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り 外壁面：発泡ウレタン吹付 厚25	剥離・脆弱部分撤去の上、飛散防止塗料塗 鉄骨部：SOP塗装 下地調整 ブドウ棚鋼材：SOP塗 下地調整	各種幕：新設、吊りバー等の舞台装置：新設 可動式階段2カ所：新設 三方枠：OSUC塗装 下地調整の上、ブドウ棚・鉄部：SOP塗装 錆止め塗装、グランドピアノ：再設置（観律共）	
放 送 室	改 修 前	長尺塩ビシート貼（※） 撤去 モルタル金ゴテ押え	ラワン材 厚30 100H OP塗装 撤去		――	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り OP塗装 撤去	ガラス繊維断熱材あらかし 鉄骨部：OP塗装、垂木： OP塗装	タラップ OP塗装、手摺 OP塗装、笠木 OP塗装 アンプ収納戸棚 OP塗装 暗幕：撤去、室名札：撤去	
	改 修 後	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地調整	ラワン材 厚30 100H EP塗装		――	EP塗装、有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り 外壁面：発泡ウレタン吹付 厚25	剥離・脆弱部分撤去の上、飛散防止塗料塗 鉄骨部：SOP塗 下地調整	タラップ・手摺・鉄部：SOP塗装 錆止め塗装、笠木下地補修の上 EP塗装 アンプ収納戸棚 EP-G塗装 室名札：新設、暗幕：新設	
控 室	改 修 前	長尺塩ビシート貼（※） 撤去 モルタル金ゴテ押え	ラワン材 厚30 100H OP塗装 撤去		――	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り OP塗装 撤去	ガラス繊維断熱材あらかし 鉄骨部：OP塗装、垂木： OP塗装	タラップ OP塗装、手摺 OP塗装、笠木 OP塗装 暗幕：撤去、室名札：撤去	
	改 修 後	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地調整	ラワン材 厚30 100H EP塗装		――	EP塗装、有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り 外壁面：発泡ウレタン吹付 厚25	剥離・脆弱部分撤去の上、飛散防止塗料塗 鉄骨部：SOP塗 下地調整	タラップ・手摺・鉄部：SOP塗装 錆止め塗装、笠木下地補修の上 EP塗装 室名札：新設、暗幕：新設 消火器BOX：新設	
体育器具室	改 修 前	長尺塩ビシート貼（※） モルタル金ゴテ押え	――		――	コンクリート打放	コンクリート打放	器具棚 OSV塗装 器具掛けプレート、竿掛け金物、室名札：撤去	
	改 修 後	既存のまま	――		――	既存のまま	既存のまま	室名札：新設	
みんなのトイレ・前室 （男子更衣室）	改 修 前	長尺塩ビシート貼（※） 撤去 モルタル金ゴテ押え RC立上りH100 撤去	――		――	吹付タイル（△） コンクリート打放 一部RC壁撤去（石綿含有塗材 はく離剤併用手工具ケレン）	リシン吹付（△） コンクリート打放 一部RC壁撤去（石綿含有塗材 はく離剤併用手工具ケレン）		
	改 修 後	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地調整 嵩上げコンクリート 18-18（ワイヤーメッシュφ6 150×150）	ソフト巾木 H=100		――	可とう型改修塗材E EP塗装 ケイ酸カルシウム板 厚6 目透し貼 シーシング石膏ボード 厚12.5	化粧石膏ボード厚9.5、LGS下地（インサート共） 廻縁（塩ビ製）	ビクトサイン（平付けタイプ）、可動手すり、ベビーチェア、収納式多目的シート、フック（コート掛け）：新設 軽量棚 W1,460×D455×H1,800：新設	
女子更衣室	改 修 前	長尺塩ビシート貼（※） モルタル金ゴテ押え	――		――	吹付タイル（△） コンクリート打放	リシン吹付（△） コンクリート打放	更衣棚 OSV塗装、室名札	
	改 修 後	既存のまま	――		――	既存のまま、建具周り：EP塗装、下地調整 建具周り：石綿含有塗材撤去（下地調整材） （はく離剤併用手工具ケレン）	既存のまま		
男子手洗室 女子手洗室	改 修 前	長尺塩ビシート貼 モルタル金ゴテ押え	――		――	可とう型改修塗材E（△） コンクリート打放	可とう型改修塗材E（△） コンクリート打放	床下点検口	
		既存のまま	――		――	既存のまま	既存のまま		
男子ﾄｲﾚ（A） 女子ﾄｲﾚ（A）	改 修 前	長尺塩ビシート貼 モルタル金ゴテ押え	――		――	可とう型改修塗材E（△） コンクリート打放	可とう型改修塗材（△） コンクリート打放	トイレブース、掃除用具入れ、ビクトサイン	
	改 修 後	既存のまま	――		――	既存のまま	既存のまま		
男子ﾄｲﾚ（B） 女子ﾄｲﾚ（B）	改 修 前	モルタル金ゴテ押え	――		――	吹付タイル（△） コンクリート打放	リシン吹付（△） コンクリート打放	トイレブース、ビクトサイン、床下点検口	
	改 修 後	既存のまま	――		――	既存のまま	既存のまま		
ギャラリー	改 修 前	モルタル金ゴテ押え	――		モルタル金ゴテ VP塗装 コンクリート打放	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り OP塗装 撤去	ガラス繊維断熱材あらかし 鉄骨部：OP塗装、垂木： OP塗装	カーテンボックス OP塗装・カーテンレール：撤去、暗幕：撤去 防球ネット：移設 手摺 OP塗装	
	改 修 後	既存のまま 既存バスケットゴール固定金物部 補修	――		EP塗装 下地調整	EP塗装、有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り 外壁面：発泡ウレタン吹付 厚25	剥離・脆弱部分撤去の上、飛散防止塗料塗 鉄骨部：SOP塗装 下地調整	カーテンボックス・カーテンレール：新設、暗幕：新設 防球ネット：再設置 手摺・フレース・鉄部：SOP塗装 錆止め塗装	
ステージ下部 台車入れ	改 修 前	モルタル金ゴテ押え	――		――	――	――	台車8台 収納装置：撤去	
	改 修 後	台車入れ新設部 補修	――		――	――	――	台車8台 収納装置：新設	

- ・（※）石綿含有建材（みなし）、（△）石綿含有仕上塗材（下地調整材）
- ・飛散防止塗料塗は、ロックウール粉塵飛散防止処理工法（表面固化 吹付仕様）とする

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

仕上表

縮尺

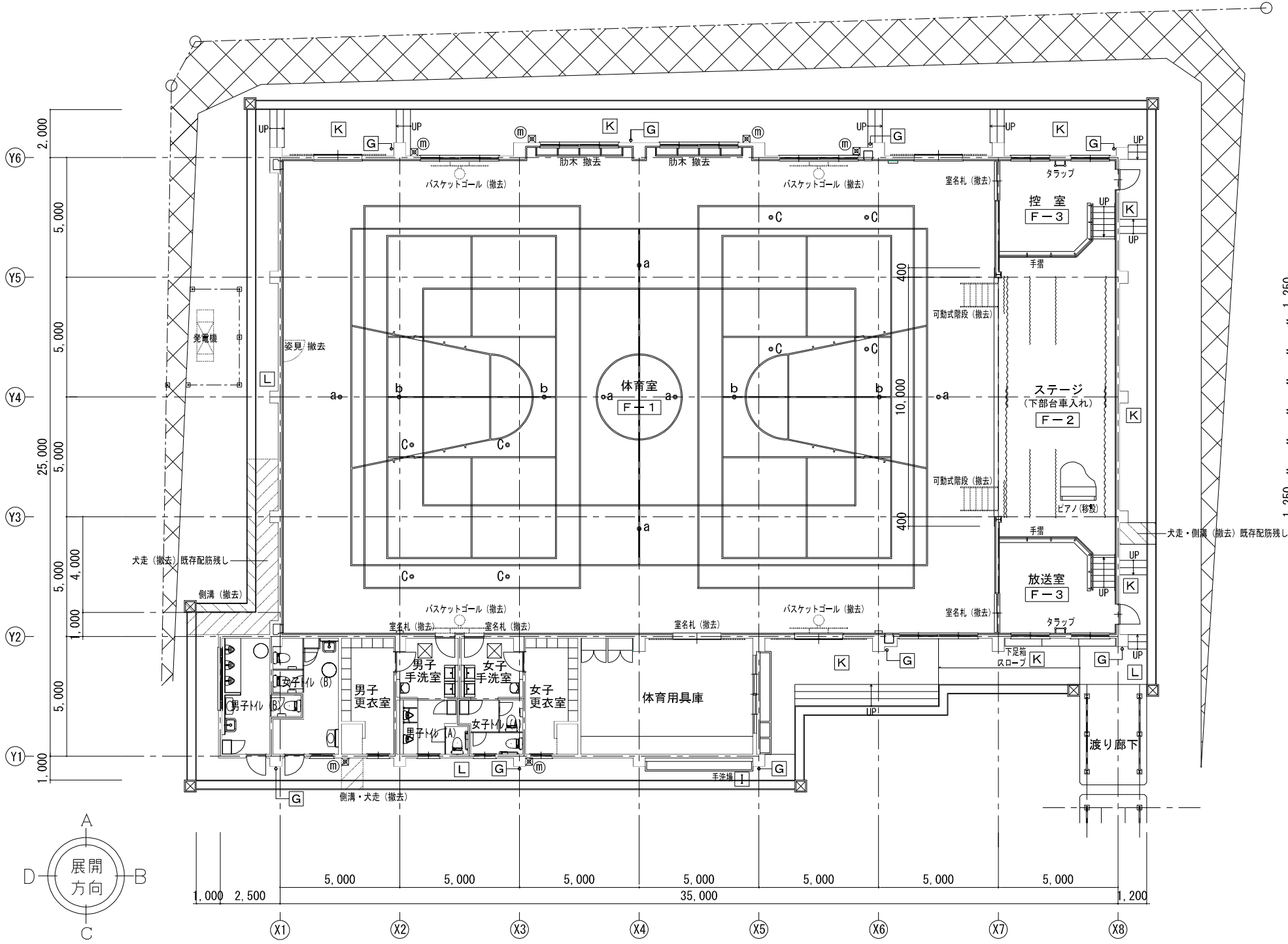
N0 SCALE

図面番号

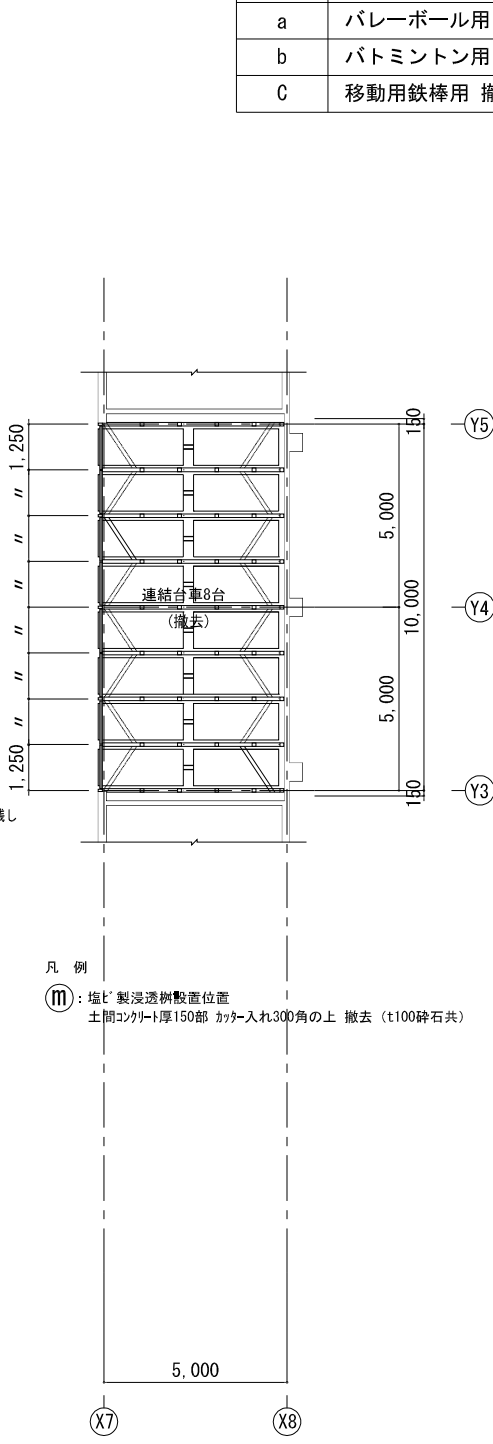
A - 07

外 部 既 存 仕 上 表			内 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
手洗い場	I	人造石研出し	床	F-1	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地 撤去、鋼製床下地 一部撤去（全体10%程度）
踊場・階段 スロープ・犬走	K	コンクリート金ゴテ押え、塗床塗装		F-2	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え（一部撤去）		F-3	長尺塩ビシート貼 撤去、モルタル金ゴテ押え

支柱基礎（ボルト上蓋・中筒金物共）リスト		
凡 例	競技名	か所
a	バレーボール用 撤去	6
b	バトミントン用 撤去	4
C	移動用鉄棒用 撤去	8



既存 1 階平面図 1/100



既存 1 階下部台車入れ部平面図 1/100

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

既存 1 階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

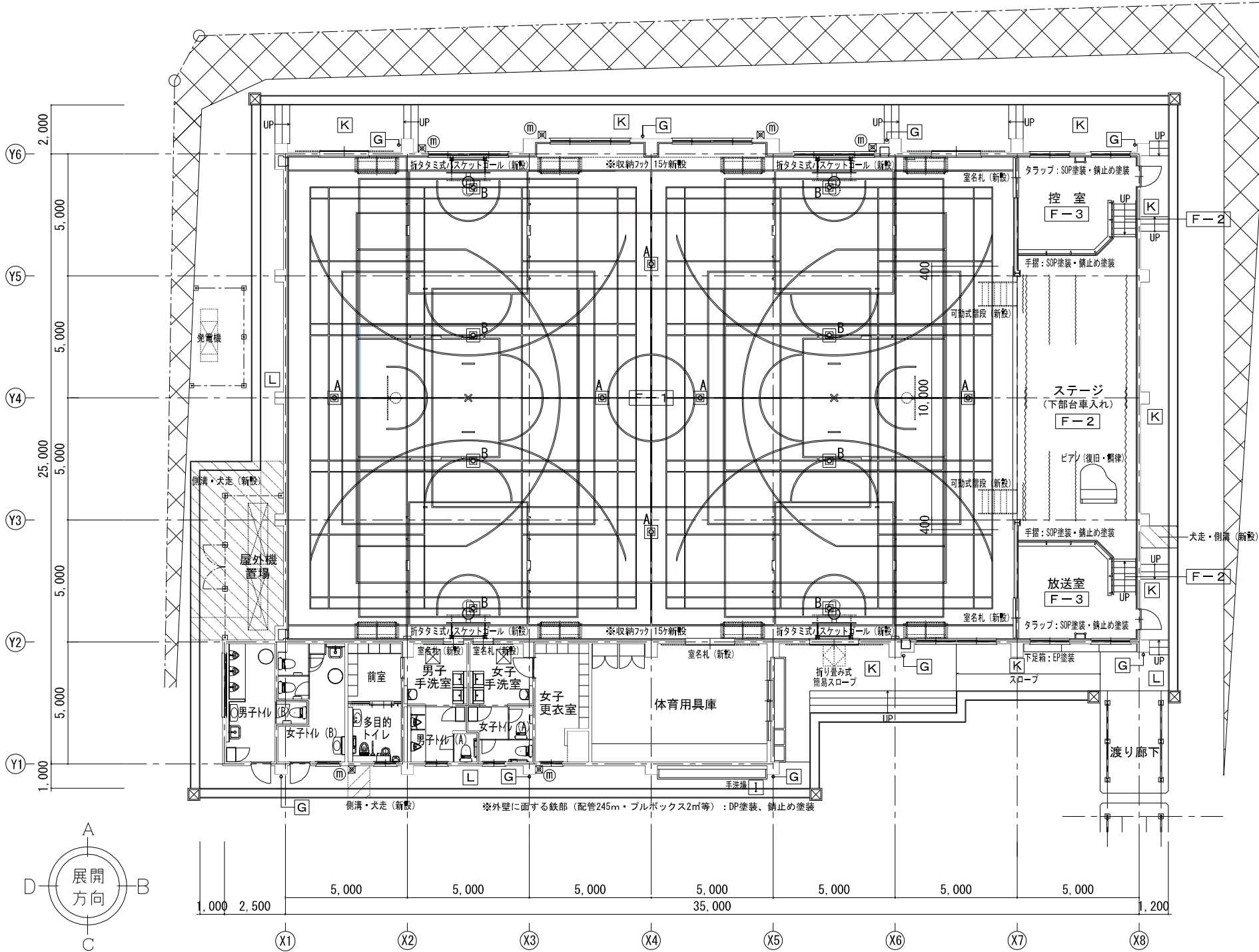
図面番号

A - 08

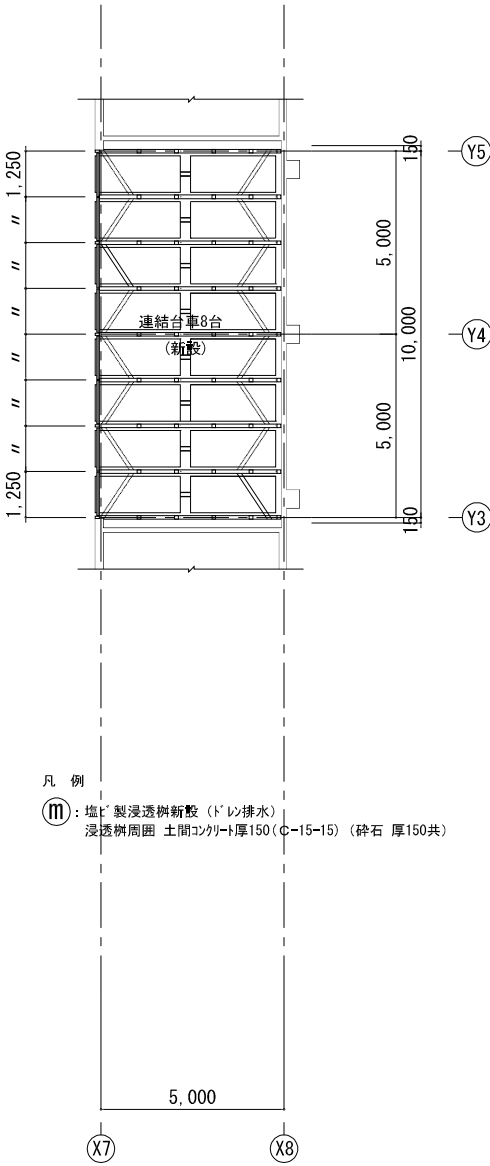
外 部 改 修 仕 上 表			内 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
手洗い場	I	クリーニング	床	F-1	2液形ポリウレタン樹脂フニス3回塗、サンダー掛け2回、カバ 単層フローリング厚18、パーティクルボード厚15 鋼製床下地 一部復旧（全体10%程度）
踊場・階段 スロープ・犬走	K	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修		F-2	2液形ポリウレタン樹脂フニス3回塗（床見切材共）、サンダー掛け2回 既存部サンダー掛け
犬走	L	既存のまま（一部新設）		F-3	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地補修

支柱基礎（ボルト上蓋・中筒金物共）リスト

凡 例	競技名	か所
A	バレーボール用 新設	6
B	バトミントン用 新設	8



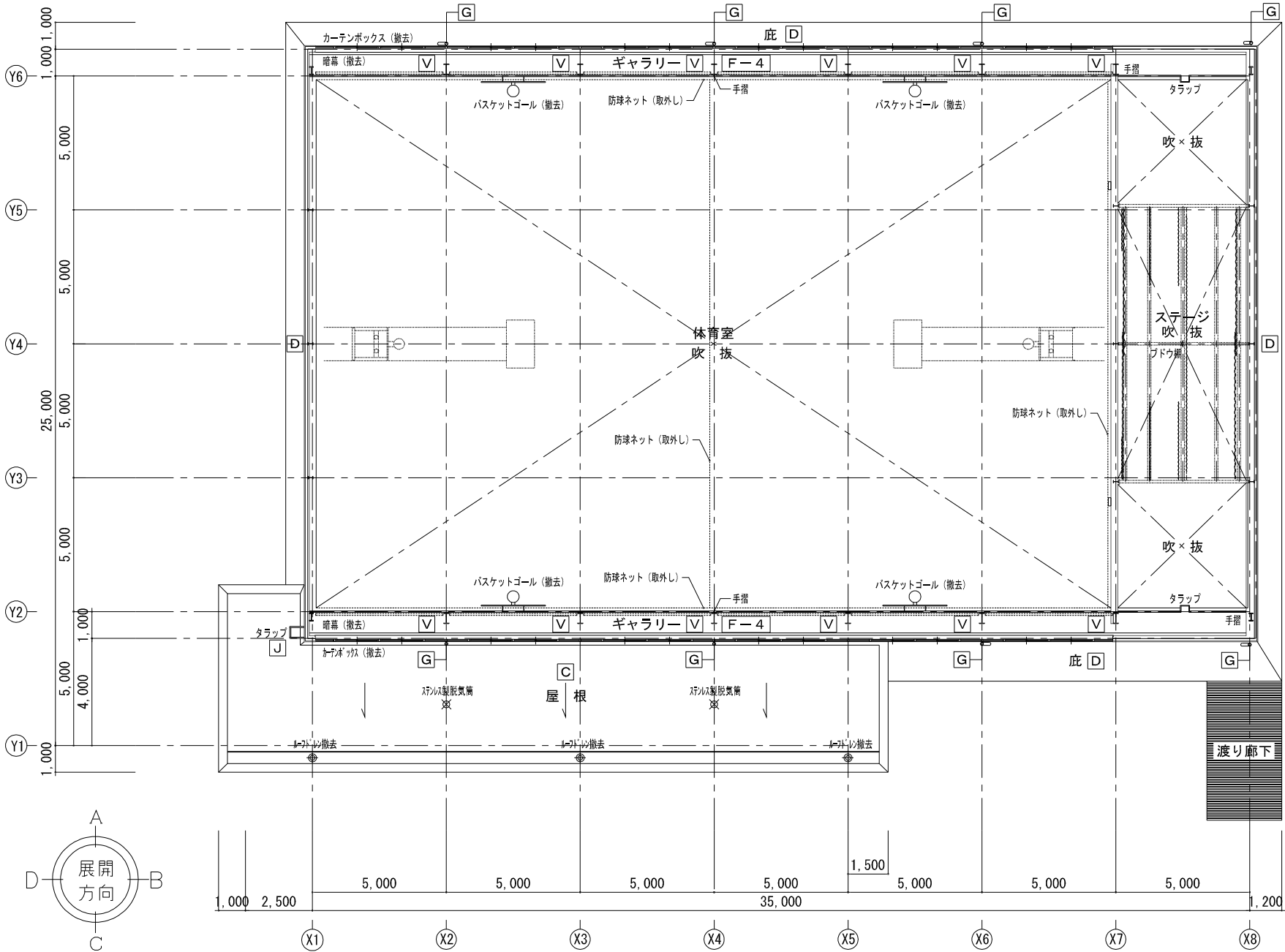
改修 1 階平面図 1/100



改修 1 階下部台車入れ部平面図 1/100



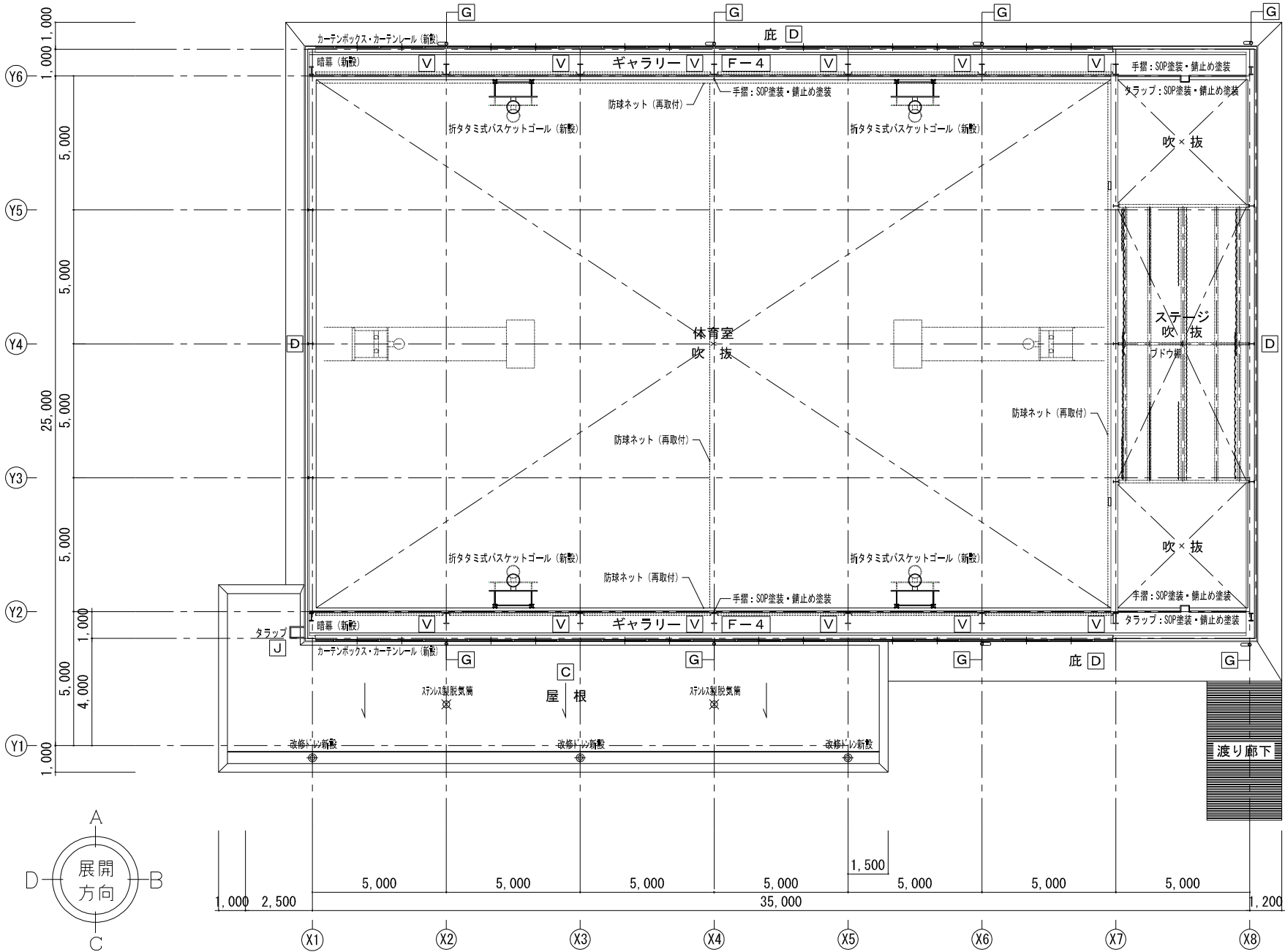
外 部 既 存 仕 上 表			内 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水、ルーフィング撤去 モルタル金ゴテ仕上 厚60、アスファルト防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地	床（ギャラリー）	F-4	モルタル金ゴテ押え
庇	D	庇上面：ウレタン塗膜防水、防水モルタル金ゴテ 庇下面：防水形複層塗材E	壁ブレース	V	L-75×75×6
タラップ	J	ステンレス製			



既存吹抜部分平面図 1/100



外 部 改 修 仕 上 表			内 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 改修ドレン新設	床（ギャラリー）	F-4	既存のまま、既存バスケットゴール固定金物部 補修
庇	D	庇上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa	壁ブレース	V	SOP塗装、錆止め塗装
タラップ	J	クリーニング			



改修吹抜部分平面図 1/100

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

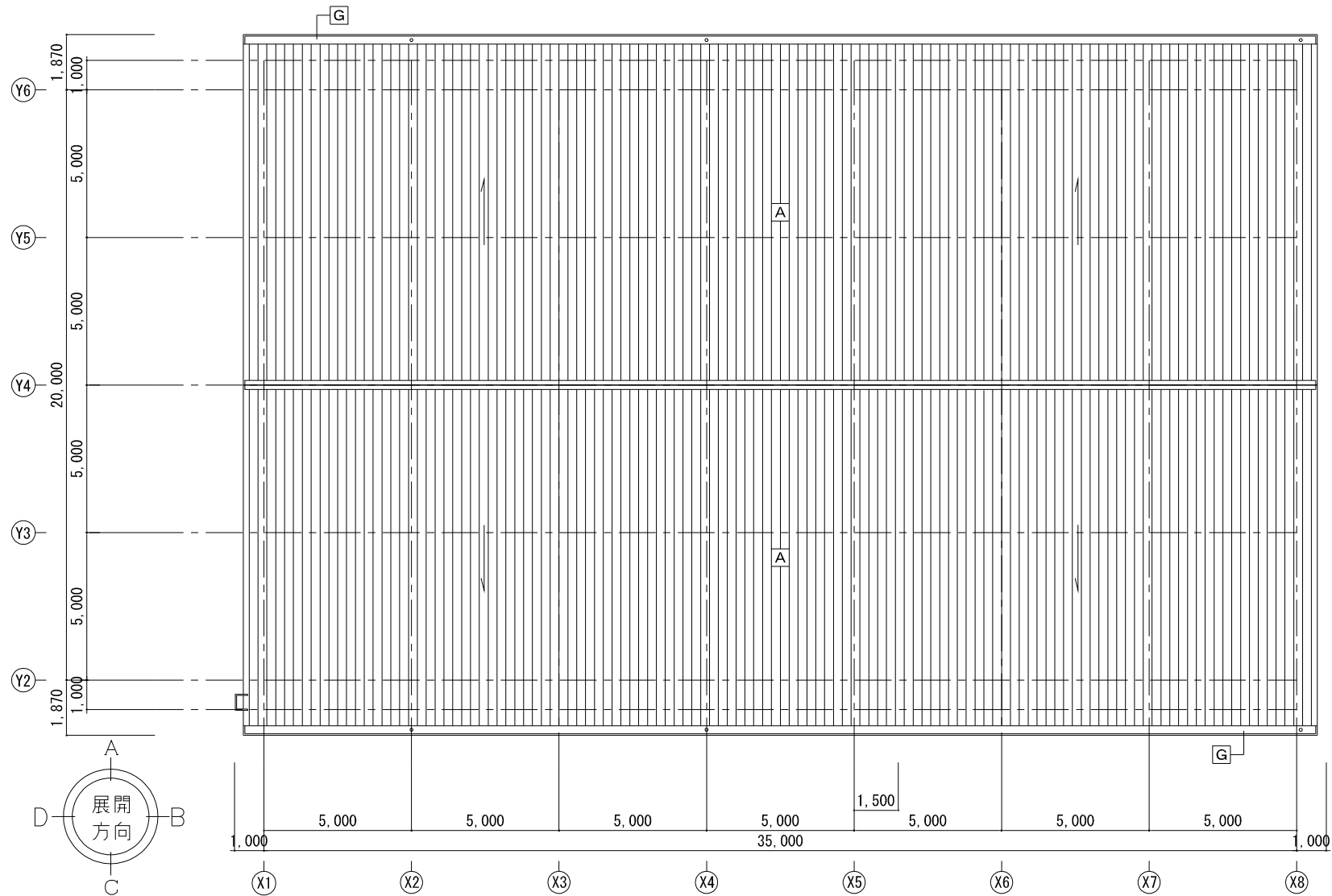
図面名称
縮尺

改修 吹抜部平面図
A1:1/100 A3:1/200

図面番号

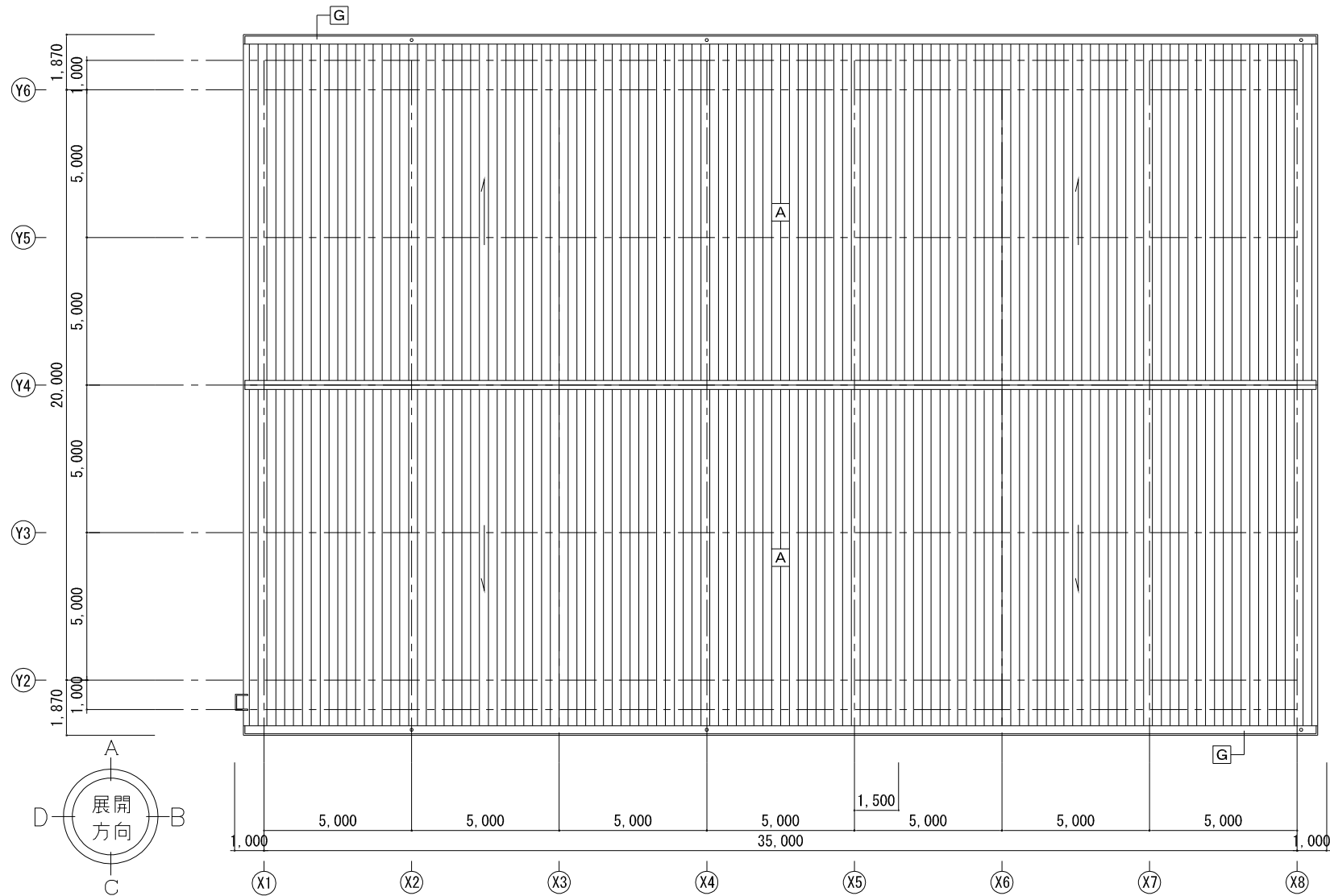
A - 11

外 部 既 存 仕 上 表					
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	ガルバリウム銅板縦ハゼ葺 厚0.4（カバー工法）、発泡ポリエチレン 厚25 カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 裏貼、アスファルトルーフィング17kg ガラス繊維断熱材 厚25、グラスベーパー貼（着色）、銅製タルキ@490 垂鉛メッキOP塗装	樋	G	軒樋：オリエンタルメタル 厚0.5 曲加工 受食物：ロ~30×60×23@600 防球ネット付（撤去） 壁樋：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去

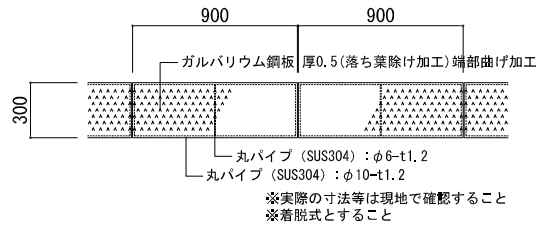


既存屋根伏せ図 1/100

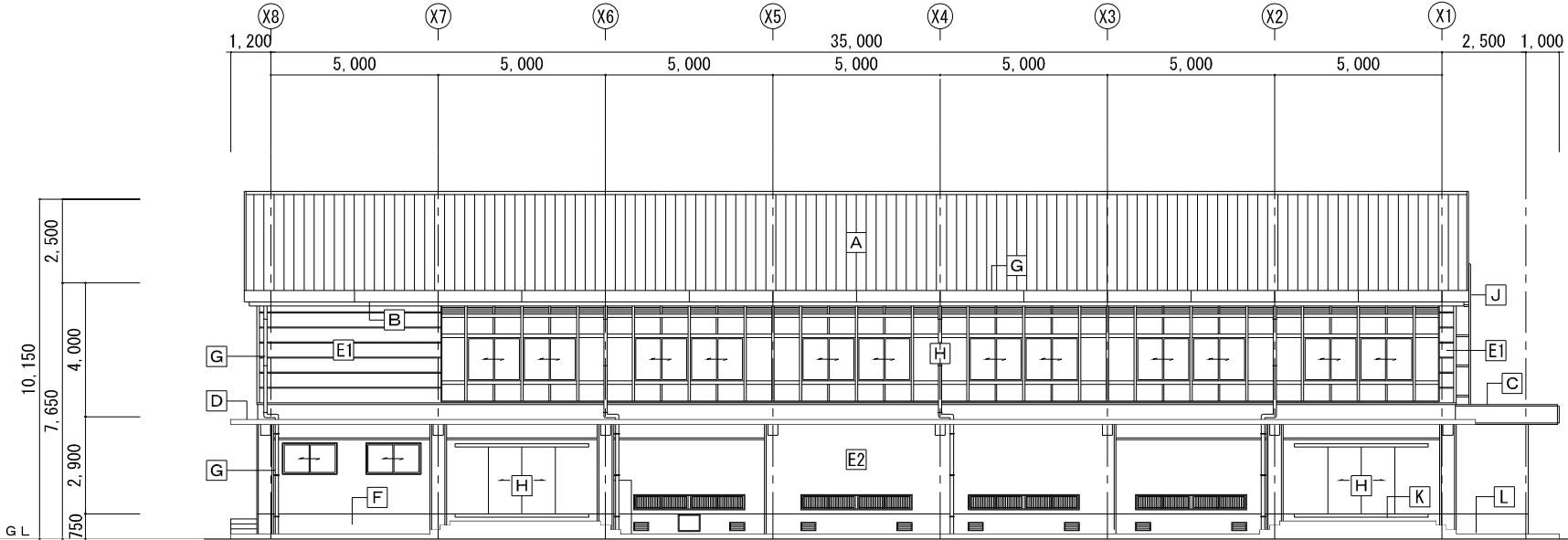
外 部 既 存 仕 上 表					
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	遮熱塗料塗布、下地調整 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整	樋	G	軒樋：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め、下地調整、防球ネット（新設）、清掃 縦樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設



改修屋根伏せ図 1/100

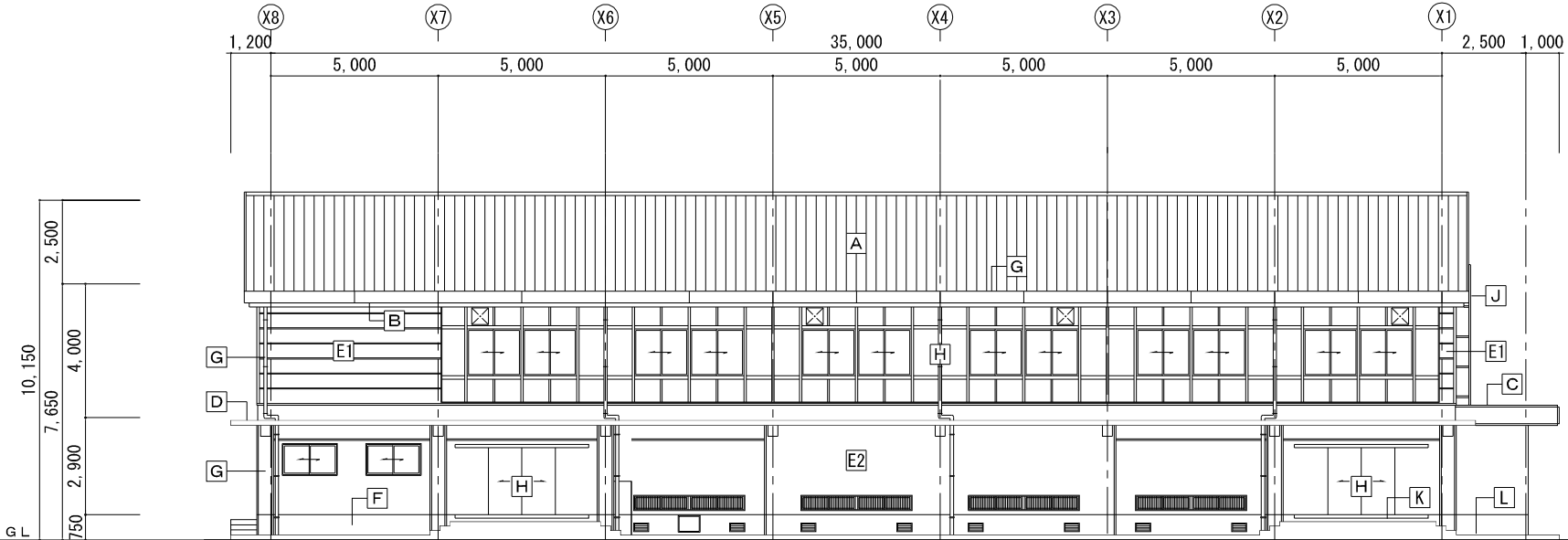


【防球ネット詳細図 1/20】



既存東側立面図 1/100

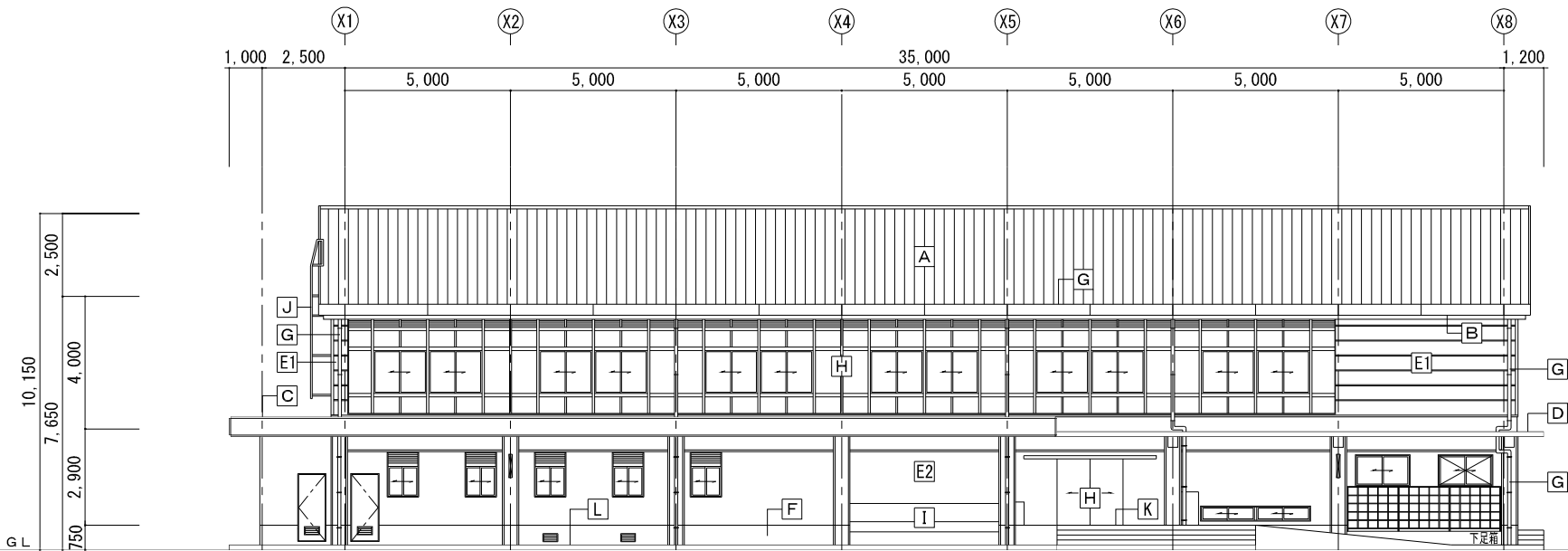
外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	ガルバリウム鋼板瓦棒葺 厚0.4（カバー工法）、発泡ポリエチレン 厚25 カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 表貼 ガラス繊維断熱材 厚25、鋼製タルキ@490 垂鉛メッキDP塗装
軒 裏	B	ケイ酸カルシウム板 厚5 E P 塗装 ⑫・⑩ 通り面 撤去
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水、ル・フ・レ撤去 モルタル金ゴテ仕上 厚60、アスファルト防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地
庇	D	底上面：ウレタン塗膜防水、防水モルタル金ゴテ 底下面：防水形複層塗材 E
外 壁	E1	DP塗装、カラー鉄板貼 厚0.5、木毛板 厚25、軽鉄下地
	E2	防水形複層塗材 E、コンクリート打放
巾 木	F	防水型複層塗材 E モルタル金ゴテ、コンクリート打放
樋	G	軒樋：耐酸被膜鋼板 厚0.6 受金物：L-50×50×6@600 防球ネット（撤去） 竖樋：硬質塩ビ管 100φ NAD塗装 撤去
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去（ガラス：納入ガラス厚6.8） スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場	I	人造石研出し
タラップ	J	ステンレス製
踊場・階段 スロープ・犬走	K	塗床塗装 コンクリート金ゴテ押え
犬 走	L	コンクリート金ゴテ押え（一部撤去）



改修東側立面図 1/100

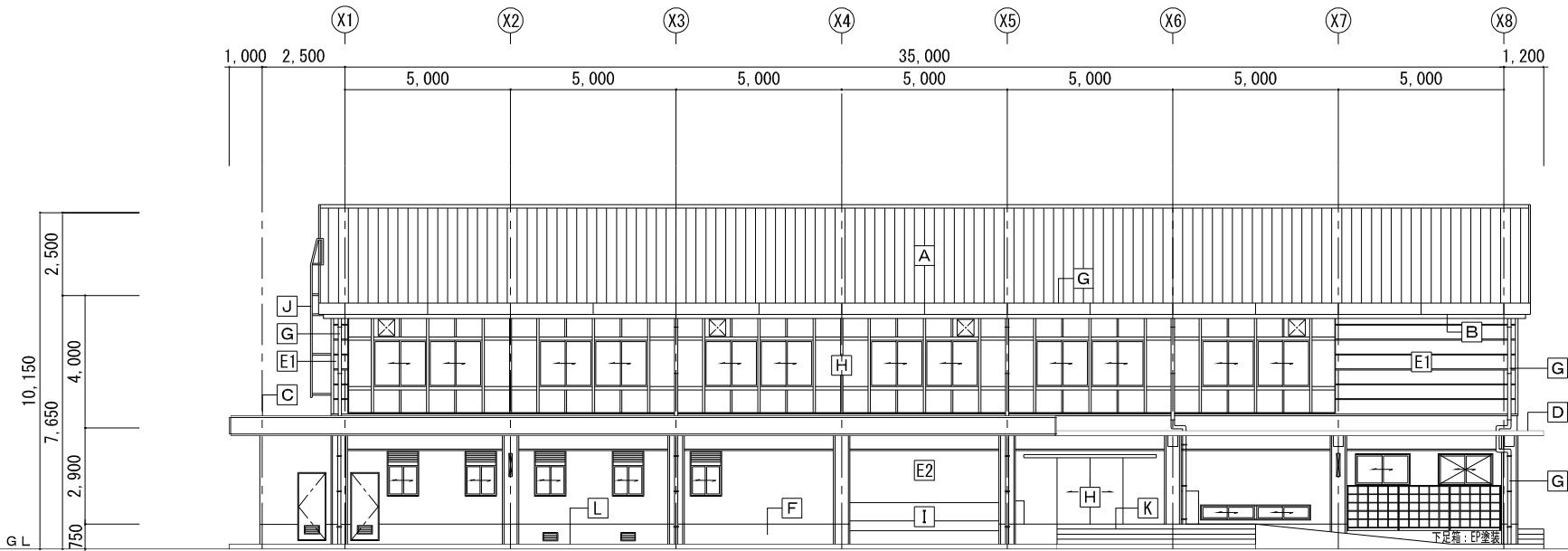
外 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	遮熱塗料塗布、下地調整 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整
軒 裏	B	EP-G塗装、下地調整 ⑫・⑩ 通り面 ケイ酸カルシウム板 厚5 新設
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 改修ドレ新設
庇	D	底上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 底下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
外 壁	E1	カラー鉄板貼面：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整
	E2	コンクリート打放面：防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa クラック補修：樹脂注入工法、建具廻りシーリング打替え（PU-2）
巾 木	F	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
樋	G	軒樋：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め、下地調整、防球ネット（新設）、清掃 竖樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設（建具表による） スチールドア：引き分けハンガードア 新設（建具表による） 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装（建具表による）
手洗い場	I	クリーニング
タラップ	J	クリーニング
踊場・階段 スロープ・犬走	K	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修
犬 走	L	既存のまま（一部新設）





既存西側立面図 1/100

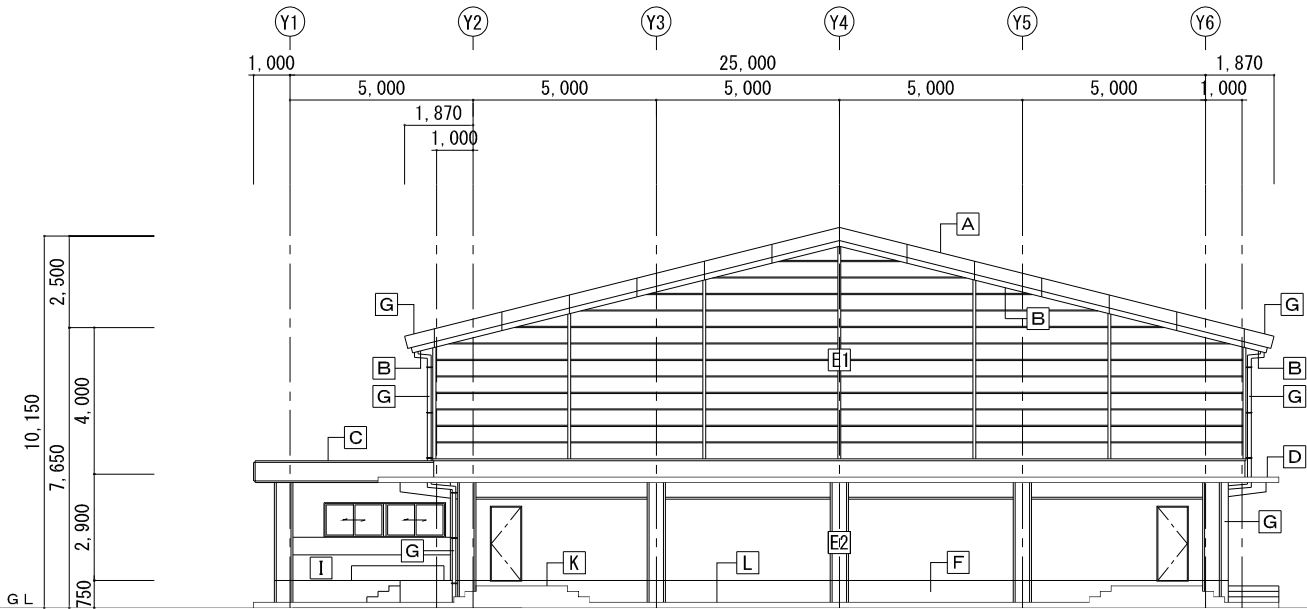
外部既存仕上表		
部位	記号	仕上
屋根	A	ガルバリウム鋼板瓦棒葺 厚0.4（カバー工法）、発泡ポリエチレン 厚25 カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 表貼 ガラス繊維断熱材 厚25、鋼製タルキ@490 垂鉛メッキDP塗装
軒裏	B	ケイ酸カルシウム板 厚5 EP塗装 ⑫・⑩ 通り面 撤去
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水、ﾙｰﾌﾟﾚ撤去 モルタル金ゴテ仕上 厚60、アスファルト防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地
庇	D	庇上面：ウレタン塗膜防水、防水モルタル金ゴテ 庇下面：防水形複層塗材E
外壁	E1	DP塗装、カラー鉄板貼 厚0.5、木毛板 厚25、軽鉄下地
	E2	防水形複層塗材E、コンクリート打放
巾木	F	防水形複層塗材E モルタル金ゴテ、コンクリート打放
樋	G	軒樋：耐酸被膜鋼板 厚0.6 受金物：L-50×50×6@600 防球ネット（撤去） 縦樋：硬質塩ビ管 100φ NAD塗装 撤去
建具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去（ガラス：納入ガラス厚6.8） スチールドア：SOP塗装 撤去 床下換気口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場	I	人造石研出し
タラップ	J	ステンレス製
踊場・階段 スロープ・犬走	K	塗床塗装 コンクリート金ゴテ押え
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え（一部撤去）



改修西側立面図 1/100

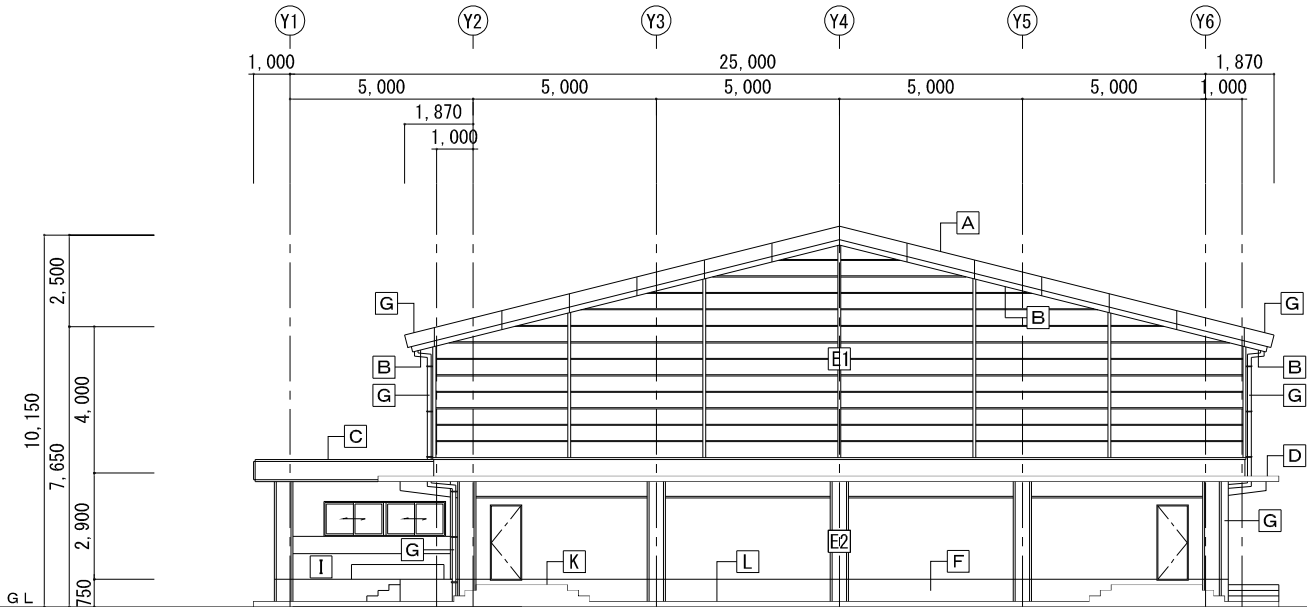
外部改修仕上表		
部位	記号	仕上
屋根	A	遮熱塗料塗布、下地調整 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整
軒裏	B	EP-G塗装、下地調整 ⑫・⑩ 通り面 ケイ酸カルシウム板 厚5 新設
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 改修ﾄﾞﾚ新設
庇	D	庇上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
外壁	E1	カラー鉄板貼面：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整
	E2	コンクリート打放面：防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa クラック補修：樹脂注入工法、建具廻りシーリング打替え（PU-2）
巾木	F	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
樋	G	軒樋：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め、下地調整、防球ネット（新設）、清掃 縦樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設
建具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設（建具表による） スチールドア：引き分けハンガードア 新設（建具表による） 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装（建具表による）
手洗い場	I	クリーニング
タラップ	J	クリーニング
踊場・階段 スロープ・犬走	K	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修
犬走	L	既存のまま（一部新設）





既存南側立面図 1/100

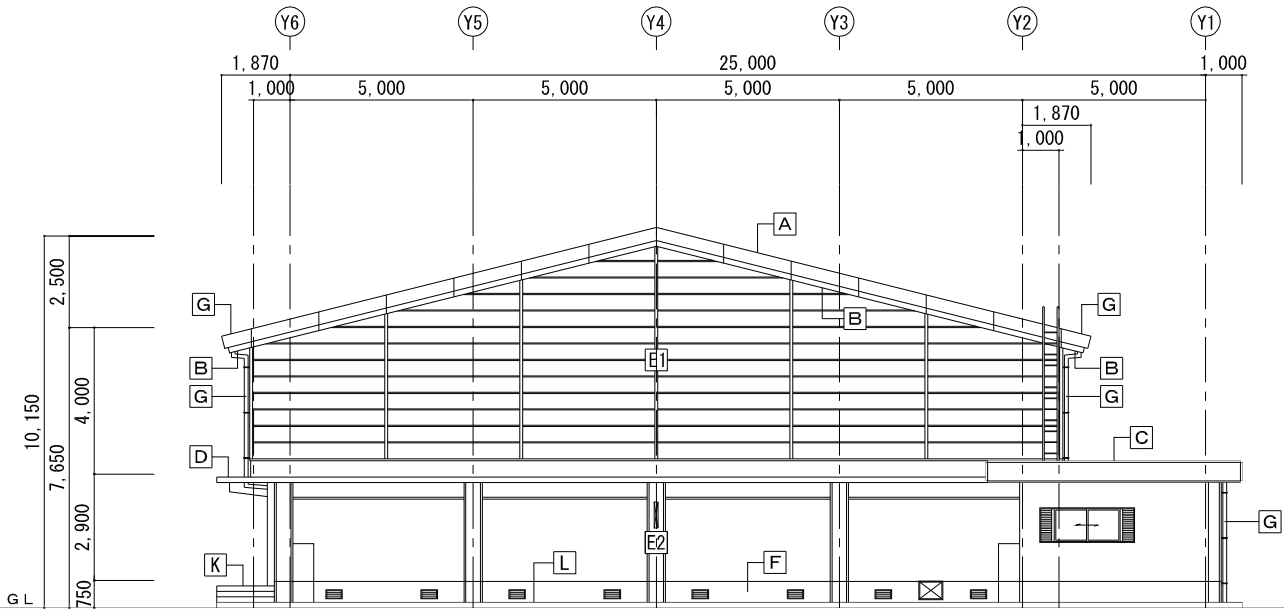
外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	ガルバリウム鋼板瓦棒葺 厚0.4（カバー工法）、発泡ポリエチレン 厚25 カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 表貼 ガラス繊維断熱材 厚25、鋼製タルキ@490 垂鉛メッキDP塗装
軒 裏	B	ケイ酸カルシウム板 厚5 E P 塗装 ⑫・⑯ 通り面 撤去
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水、ﾙｰﾌﾟﾚ撤去 モルタル金ゴテ仕上 厚60、アスファルト防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地
庇	D	庇上面：ウレタン塗膜防水、防水モルタル金ゴテ 庇下面：防水形複層塗材 E
外 壁	E1	DP塗装、カラー鉄板貼 厚0.5、木毛板 厚25、軽鉄下地
	E2	防水形複層塗材 E、コンクリート打放
巾 木	F	防水型複層塗材 E モルタル金ゴテ、コンクリート打放
樋	G	軒樋：耐酸被膜鋼板 厚0.6 受金物：L-50×50×6@600 防球ネット（撤去） 竖樋：硬質塩ビ管 100φ NAD塗装 撤去
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去（ガラス：網入ガラス厚6.8） スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場	I	人造石研出し
タラップ	J	ステンレス製
踊場・階段 スロープ・犬走	K	塗床塗装 コンクリート金ゴテ押え
犬 走	L	コンクリート金ゴテ押え（一部撤去）



改修南側立面図 1/100

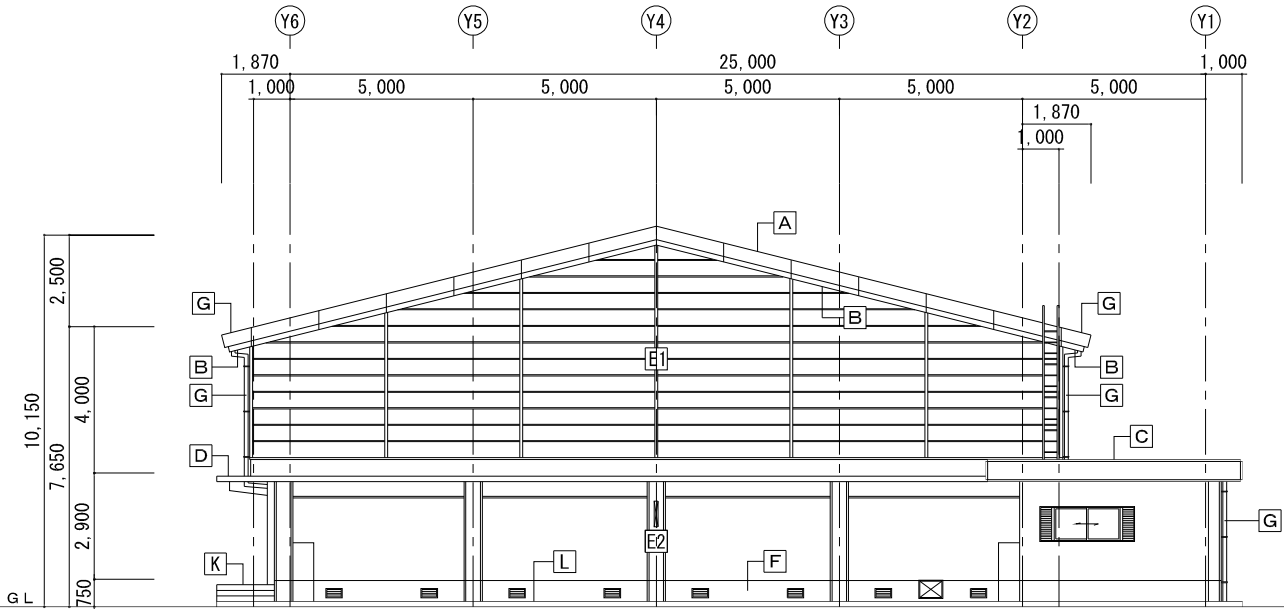
外 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	遮熱塗料塗布、下地調整 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整
軒 裏	B	EP-G塗装、下地調整 ⑫・⑯ 通り面 ケイ酸カルシウム板 厚5 新設
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 改修ﾄﾚﾝ新設
庇	D	庇上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
外 壁	E1	カラー鉄板貼面：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整
	E2	コンクリート打放面：防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa クラック補修：樹脂注入工法、建具廻りシーリング打替え（PU-2）
巾 木	F	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
樋	G	軒樋：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め、下地調整、防球ネット（新設）、清掃 竖樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設（建具表による） スチールドア：引き分けハンガードア 新設（建具表による） 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装（建具表による）
手洗い場	I	クリーニング
タラップ	J	クリーニング
踊場・階段 スロープ・犬走	K	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修
犬 走	L	既存のまま（一部新設）





既存北側立面図 1/100

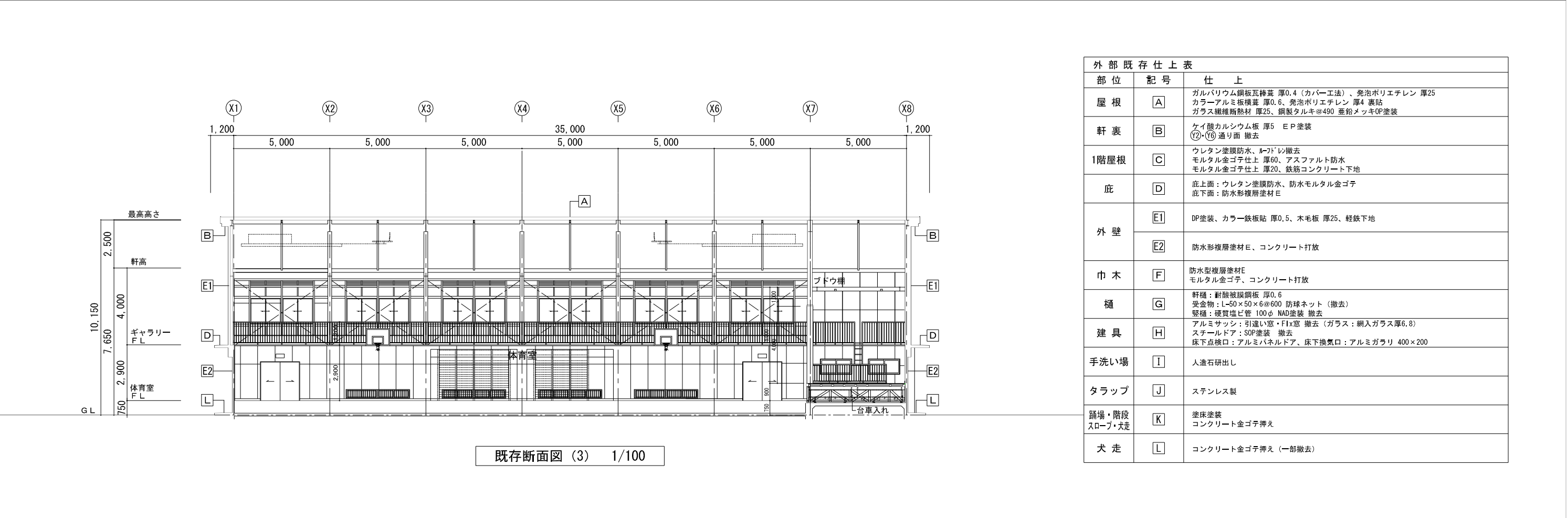
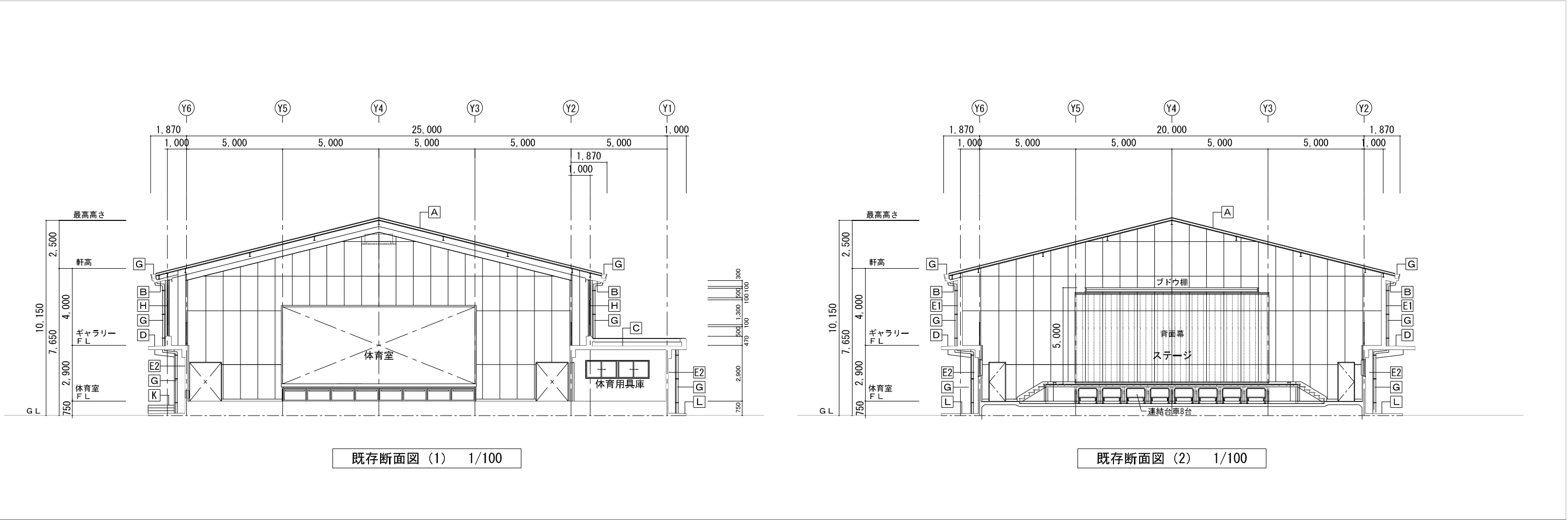
外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	ガルバリウム鋼板瓦棒葺 厚0.4（カバー工法）、発泡ポリエチレン 厚25 カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 表貼 ガラス繊維断熱材 厚25、鋼製タルキ@490 垂鉛メッキDP塗装
軒 裏	B	ケイ酸カルシウム板 厚5 E P 塗装 ⑫・⑩ 通り面 撤去
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水、ﾙｰﾌﾟﾚ撤去 モルタル金ゴテ仕上 厚60、アスファルト防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地
庇	D	庇上面：ウレタン塗膜防水、防水モルタル金ゴテ 庇下面：防水形複層塗材 E
外 壁	E1	DP塗装、カラー鉄板貼 厚0.5、木毛板 厚25、軽鉄下地
	E2	防水形複層塗材 E、コンクリート打放
巾 木	F	防水型複層塗材 E モルタル金ゴテ、コンクリート打放
樋	G	軒樋：耐酸被膜鋼板 厚0.6 受金物：L-50×50×6@600 防球ネット（撤去） 竖樋：硬質塩ビ管 100φ NAD塗装 撤去
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去（ガラス：網入ガラス厚6.8） スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場	I	人造石研出し
タラップ	J	ステンレス製
踊場・階段 スロープ・犬走	K	塗床塗装 コンクリート金ゴテ押え
犬 走	L	コンクリート金ゴテ押え（一部撤去）



改修北側立面図 1/100

外 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	遮熱塗料塗布、下地調整 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整
軒 裏	B	EP-G塗装、下地調整 ⑫・⑩ 通り面 ケイ酸カルシウム板 厚5 新設
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 改修ﾄﾚ新設
庇	D	庇上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
外 壁	E1	カラー鉄板貼面：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整
	E2	コンクリート打放面：防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa クラック補修：樹脂注入工法、建具廻りシーリング打替え（PU-2）
巾 木	F	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
樋	G	軒樋：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め、下地調整、防球ネット（新設）、清掃 竖樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設（建具表による） スチールドア：引き分けハンガード 新設（建具表による） 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装（建具表による）
手洗い場	I	クリーニング
タラップ	J	クリーニング
踊場・階段 スロープ・犬走	K	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修
犬 走	L	既存のまま（一部新設）





工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

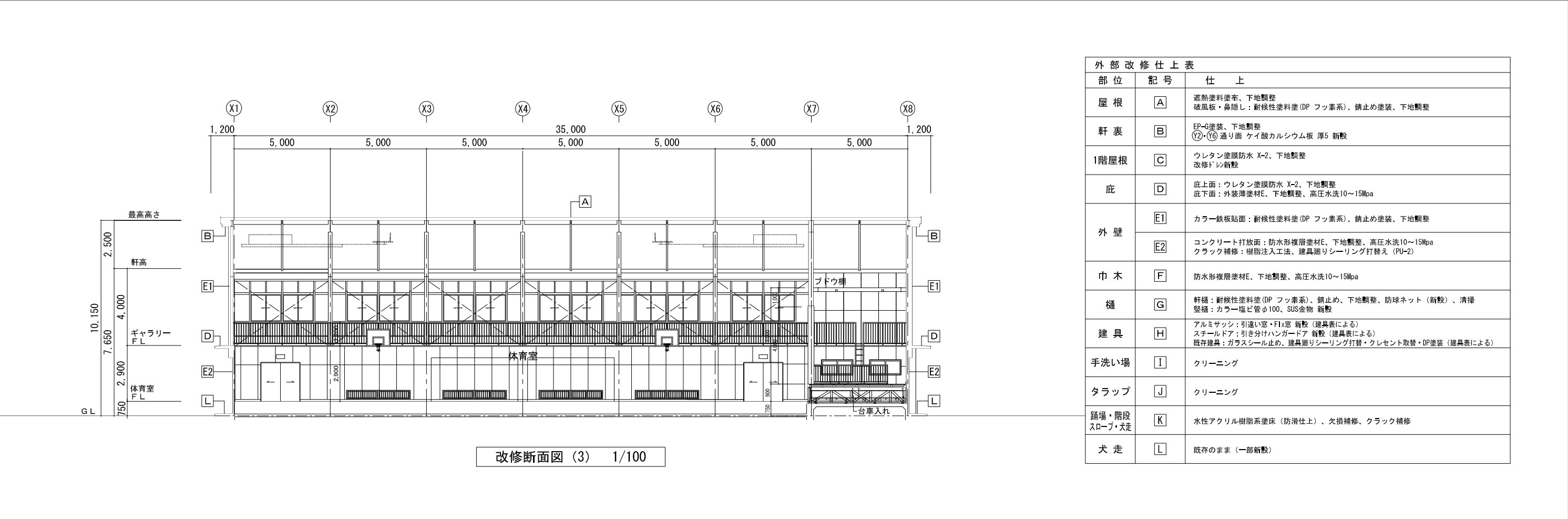
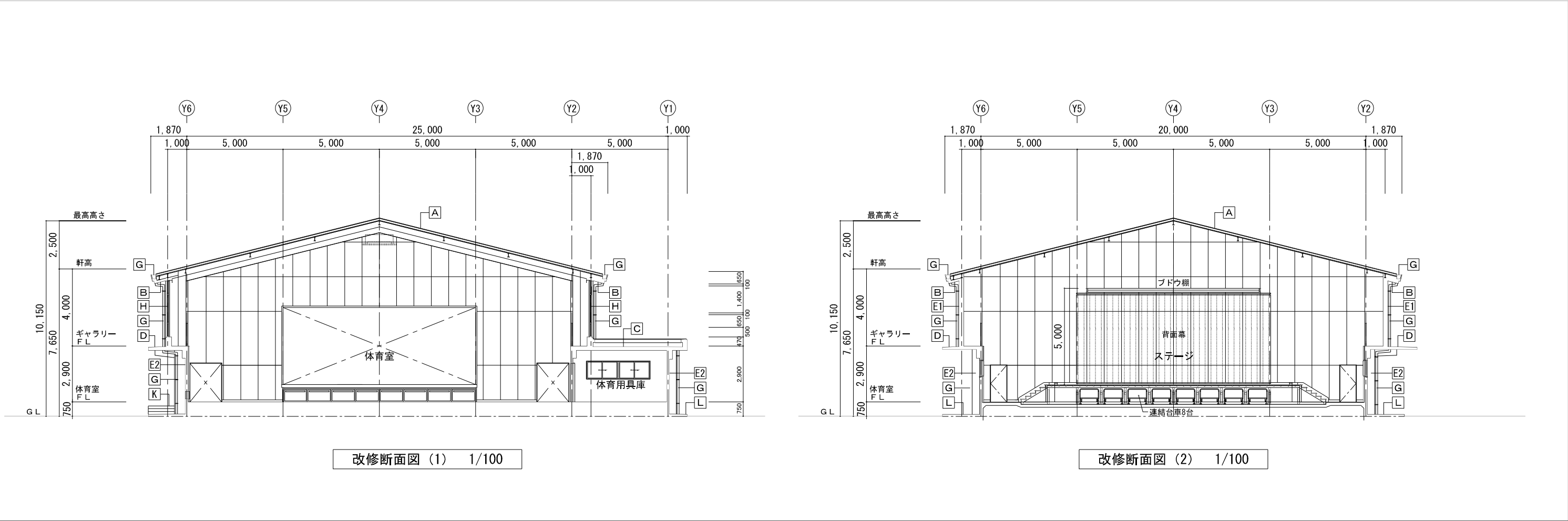
既存 断面図

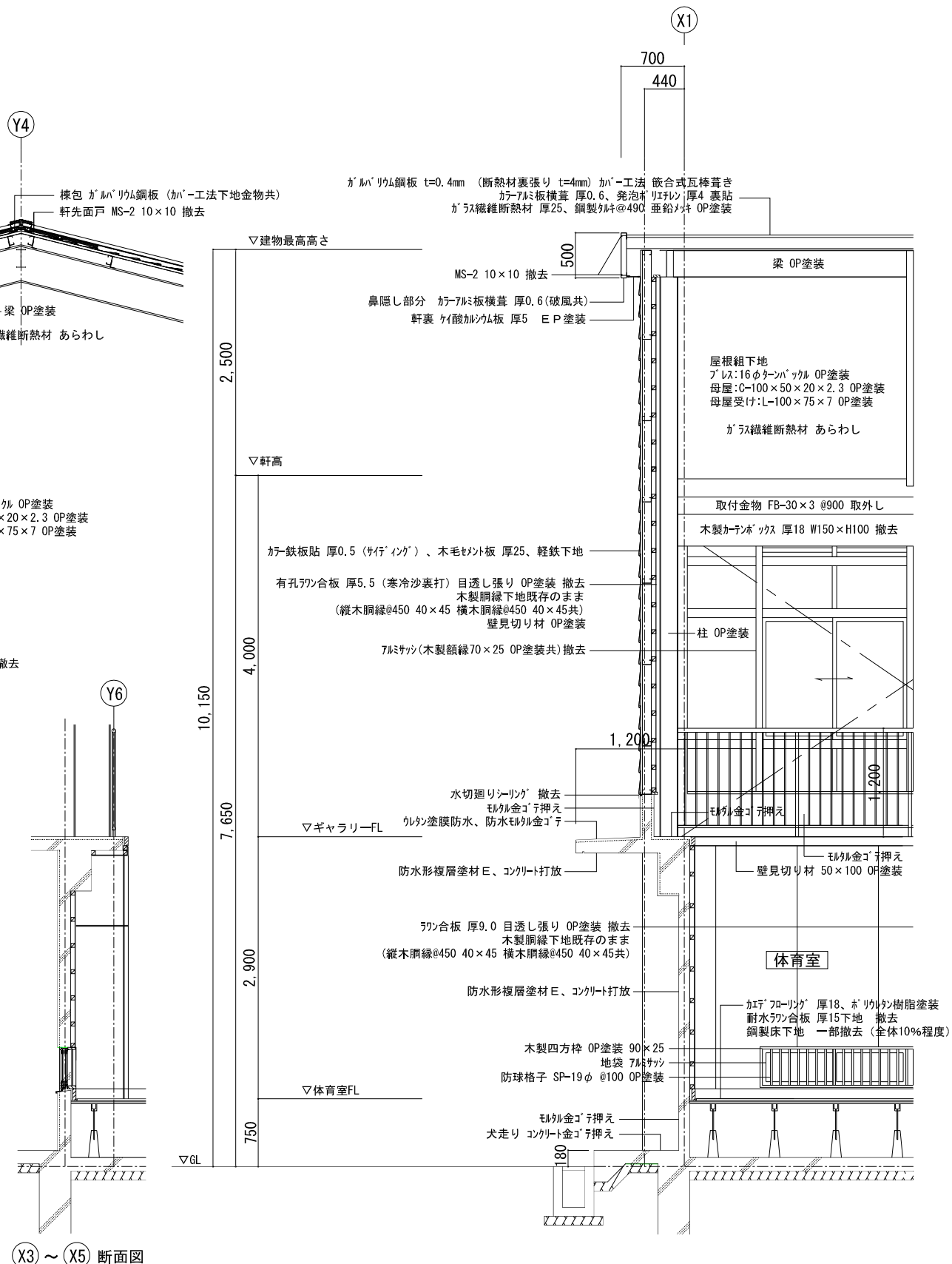
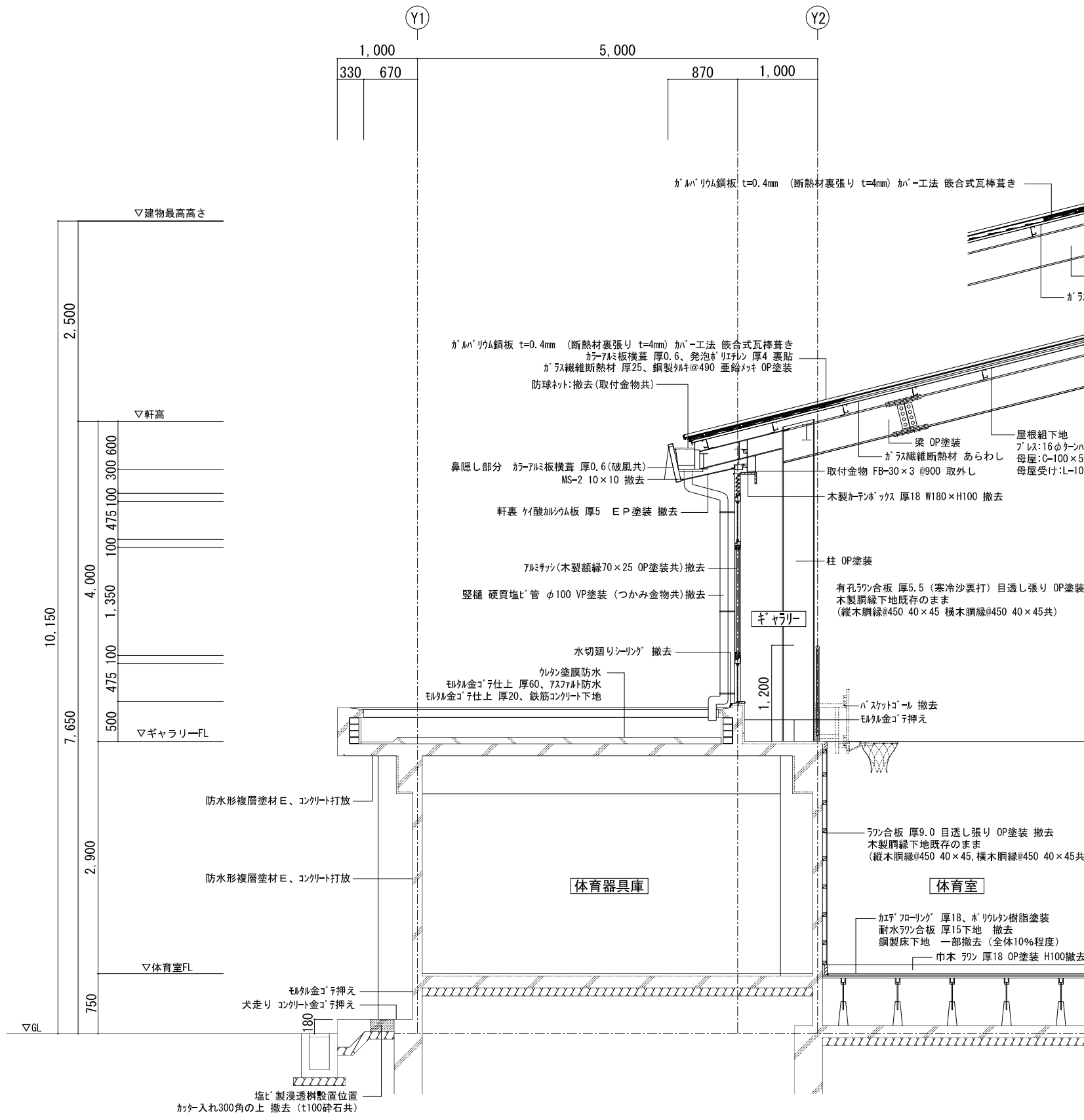
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

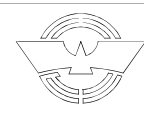
図面番号

A - 18



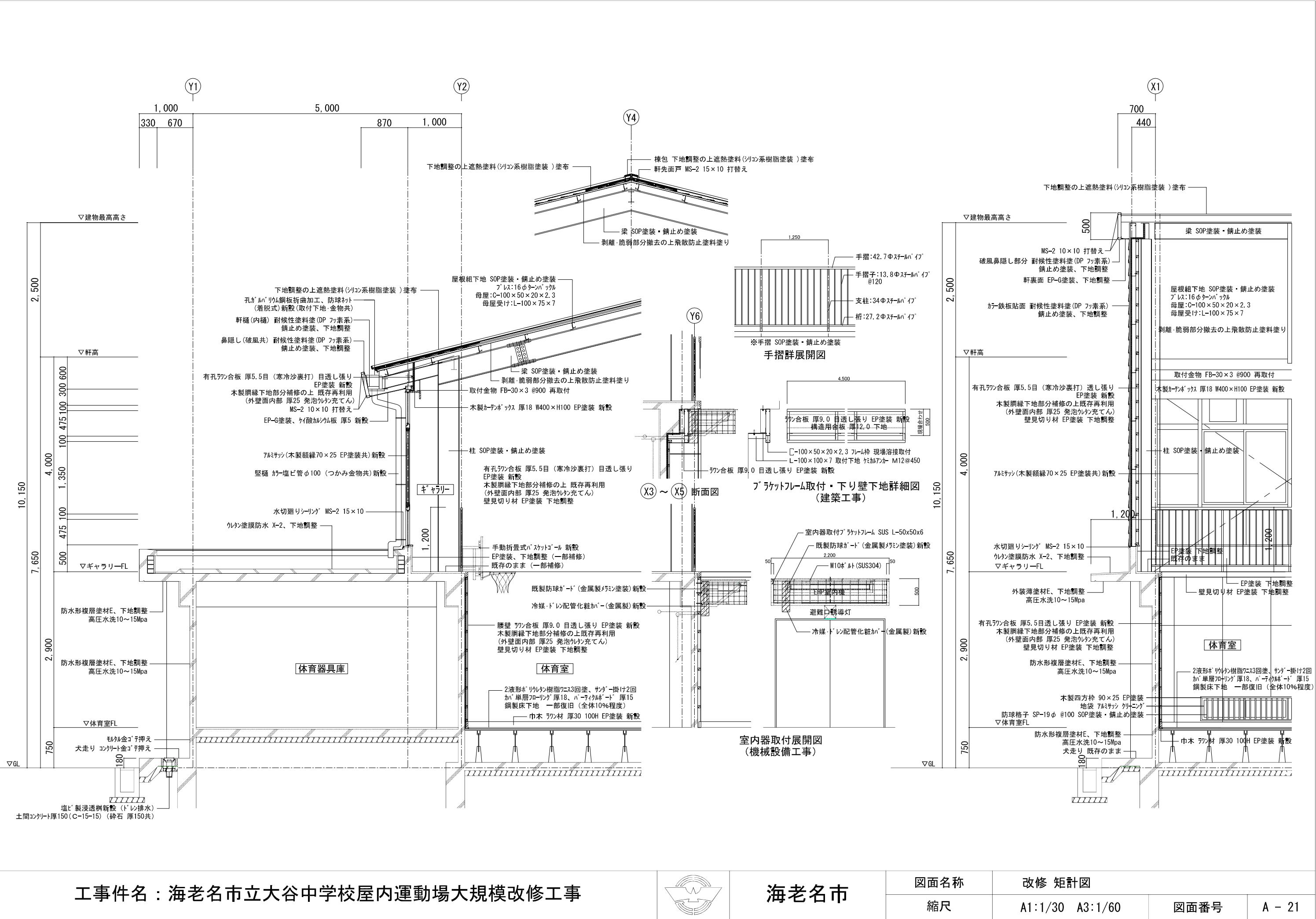


工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称		既存 矩計図	
縮尺		A1:1/30 A3:1/60	図面番号
			A - 20



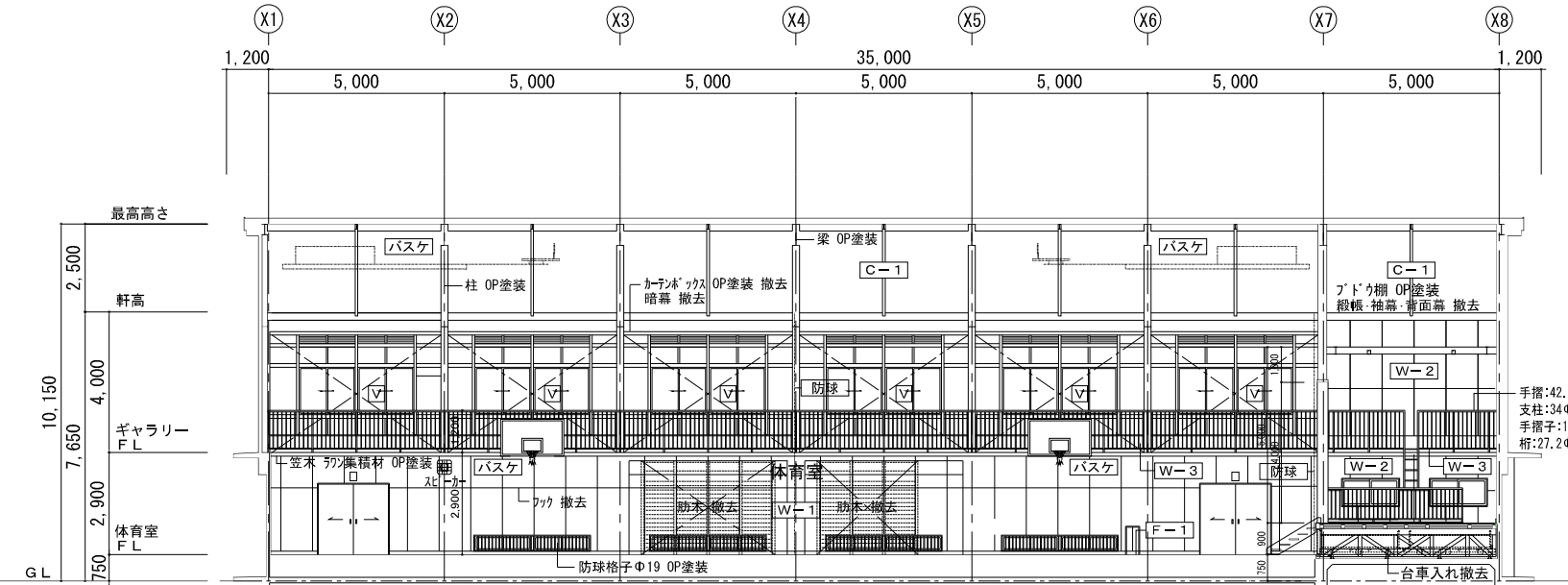
工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



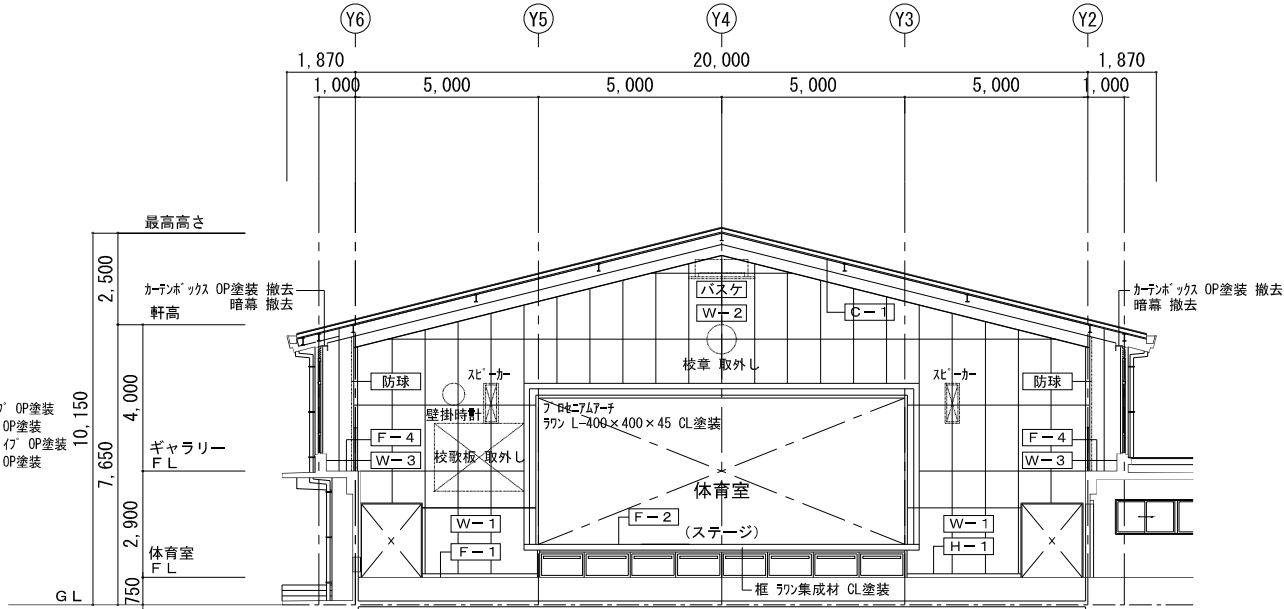
海老名市

図面名称		改修 矩計図	
縮尺		A1:1/30 A3:1/60	図面番号
			A - 21

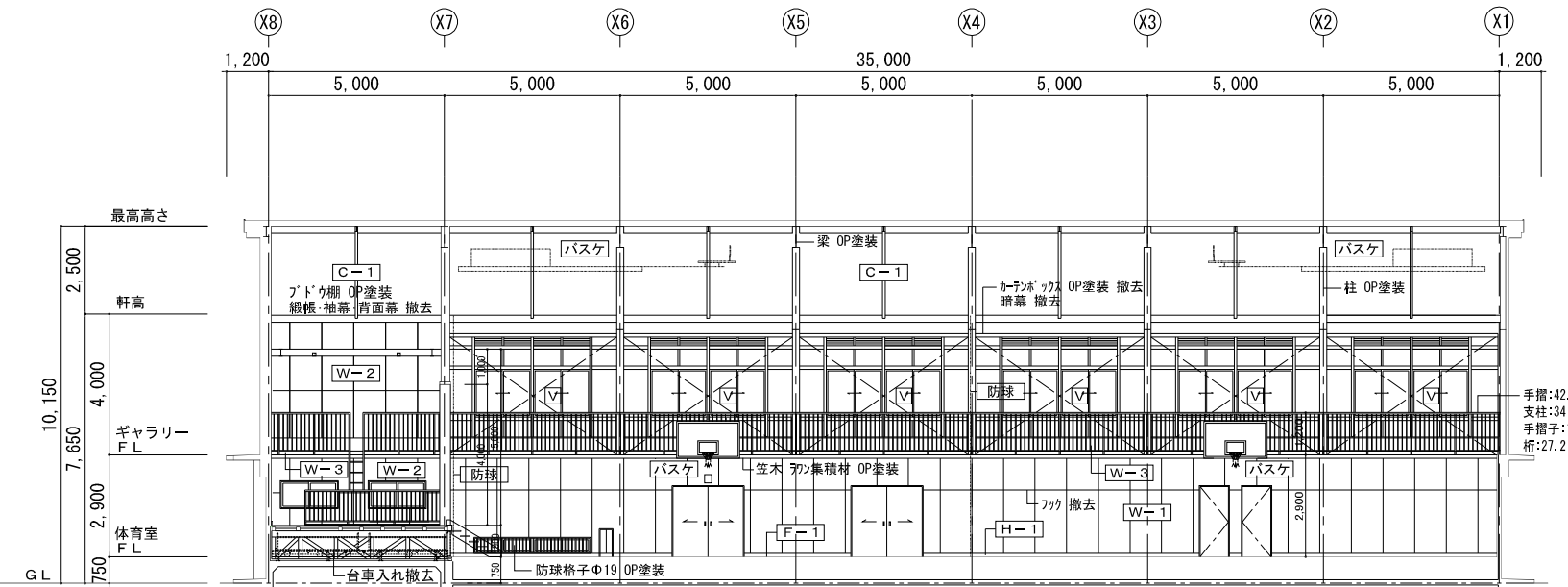
内 部 既 存 仕 上 表								
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
床	F－1	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地 撤去 銅製床下地 一部撤去（全体10%程度）	巾木	H－1	ラワン材 厚30 H100 OP塗装 撤去	天井	C－1	ガラス繊維断熱材 あらわし、鉄骨部・垂木：OP塗装
	F－2	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地	壁	W－1	ラワン合板 厚9 目透し張り OP塗装 撤去	バスケットゴール	バスケ	吊上式バスケットゴール・バスケットゴール 撤去
	F－3	長尺塩ビシート張り 撤去、モルタル金ゴテ押え		W－2	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷紗裏打）目透し張り OP塗装 撤去	防球ネット	防球	取外し
	F－4	モルタル金ゴテ押え		W－3	長尺塩ビシート貼 撤去、モルタル金ゴテ押え	壁ブレース	V	L-75×75×6



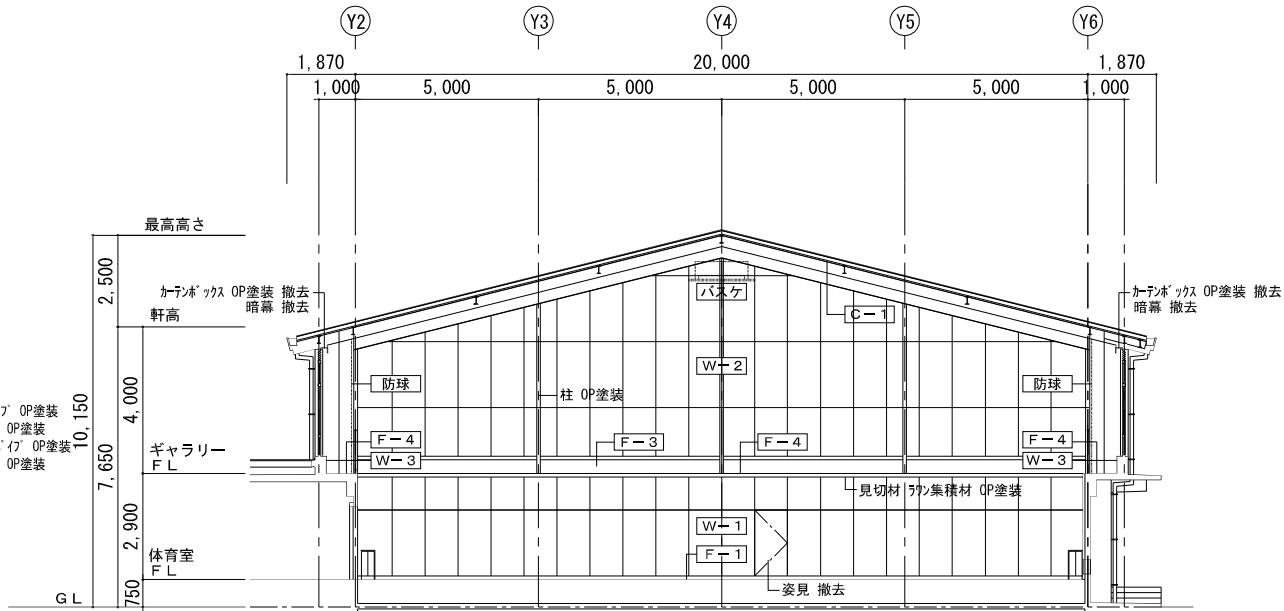
既存体育室 展開図 A面 1/100



既存体育室 展開図 B面 1/100

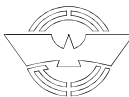


既存体育室 展開図 C面 1/100



既存体育室 展開図 D面 1/100

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

既存 体育室展開図 (1)

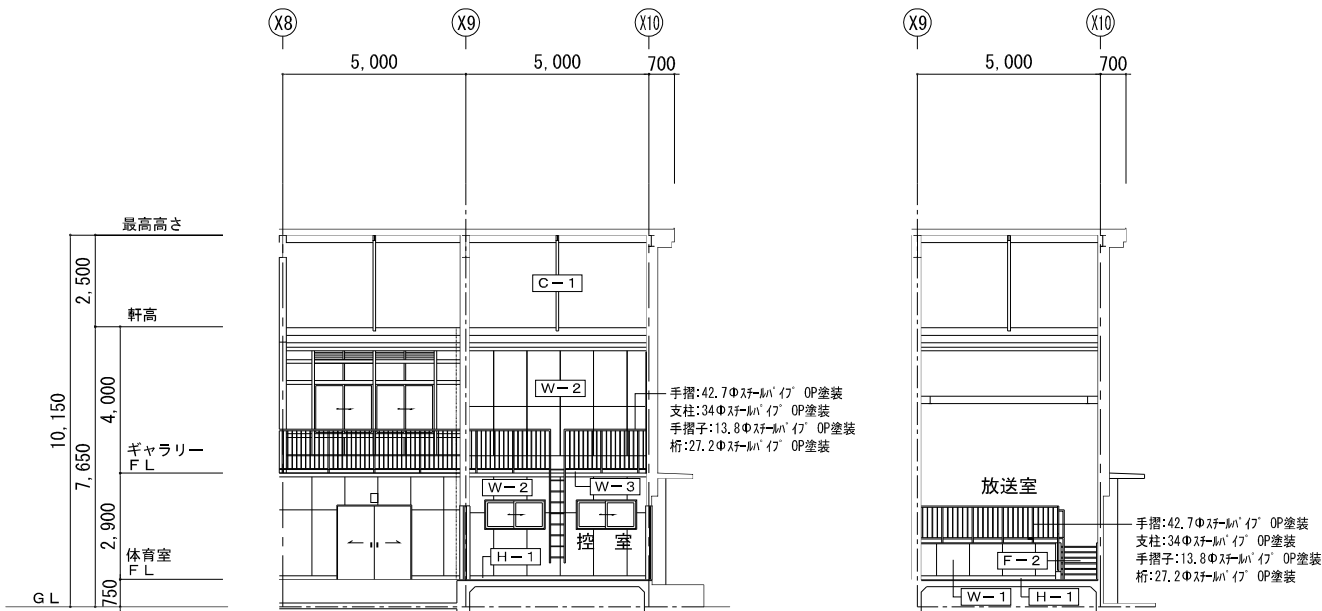
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

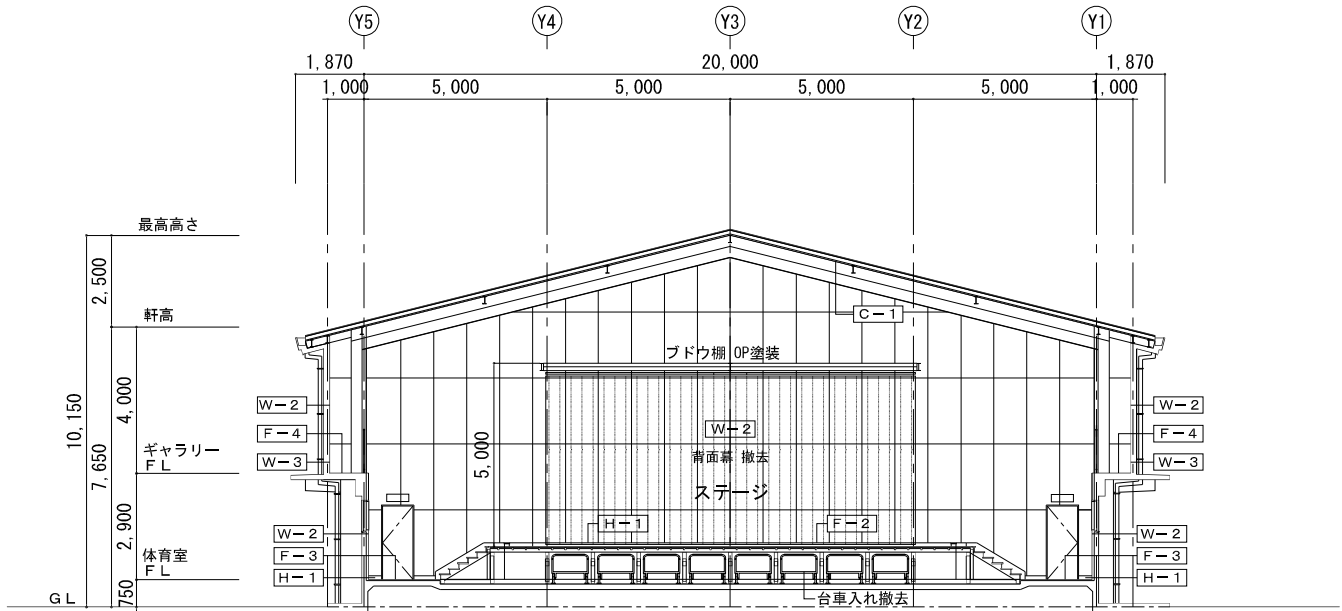
図面番号

A - 22

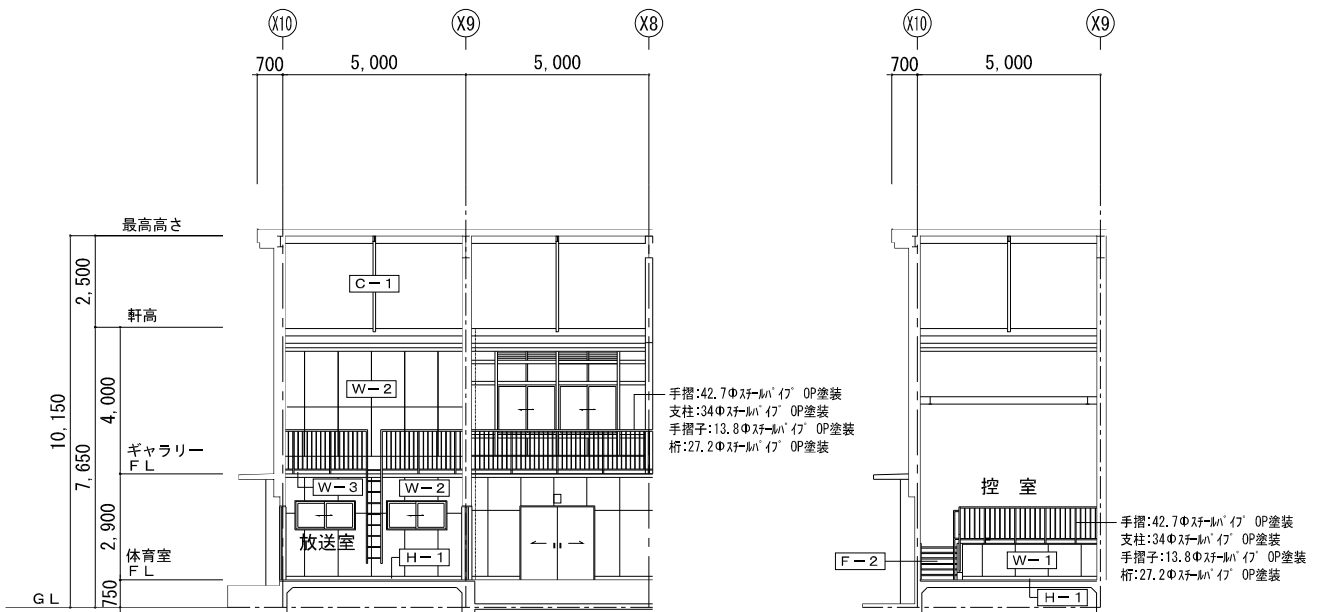
内 部 既 存 仕 上 表								
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
床	Fー1	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地 撤去 鋼製床下地 一部撤去（全体10%程度）	巾木	Hー1	ラワン材 厚30 H100 OP塗装 撤去	天井	Cー1	ガラス繊維断熱材 あらわし、鉄骨部・垂木：OP塗装
	Fー2	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地	壁	Wー1	ラワン合板 厚9 目透し張り OP塗装 撤去	バスケット ゴール	バスケ	吊上式バスケットゴール・バスケットゴール 撤去
	Fー3	長尺塩ビシート張り 撤去、モルタル金ゴテ押え		Wー2	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷紗裏打）目透し張り OP塗装 撤去	防球ネット	防球	取外し
	Fー4	モルタル金ゴテ押え		Wー3	長尺塩ビシート貼 撤去、モルタル金ゴテ押え	壁ブレース	V	L-75×75×6



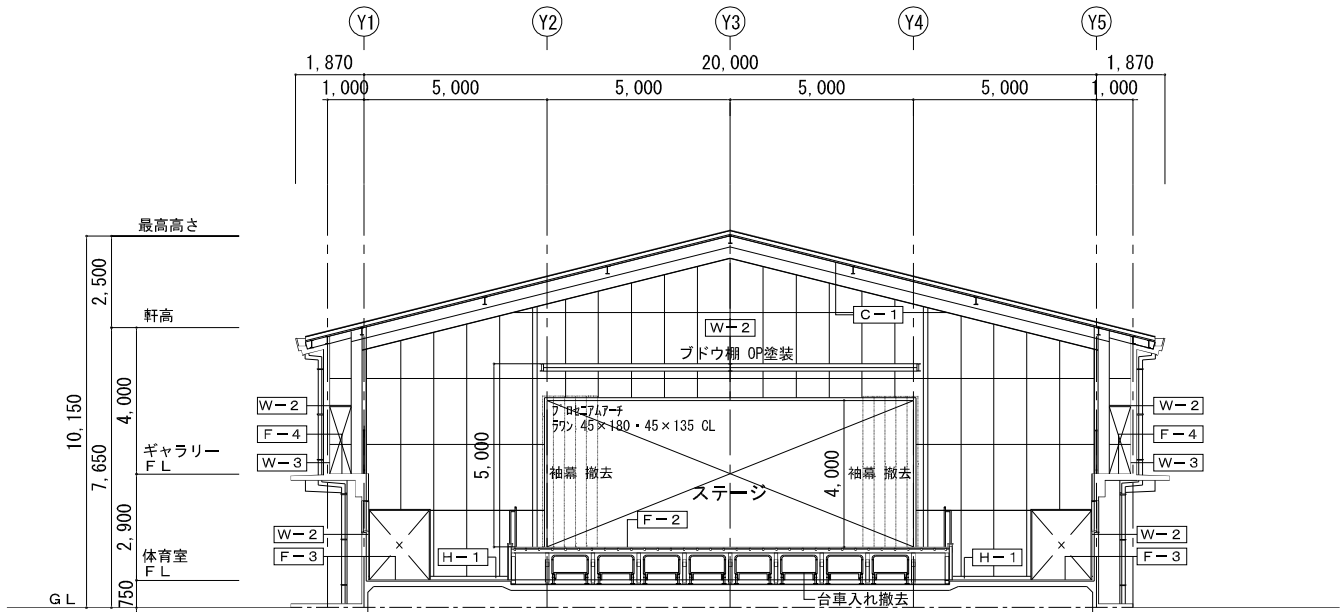
既存放送室・控室 展開図 A面 1/100



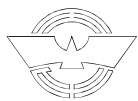
既存体育室 展開図 B面 1/100



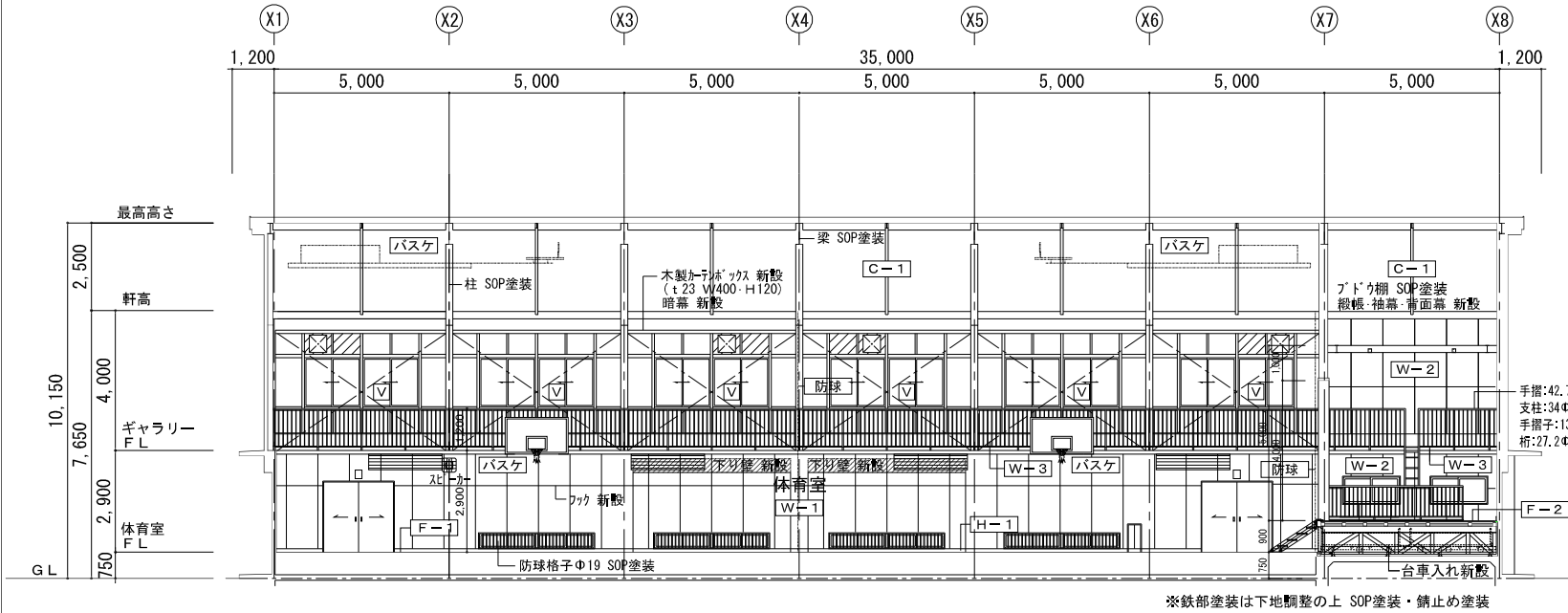
既存放送室・控室 展開図 C面 1/100



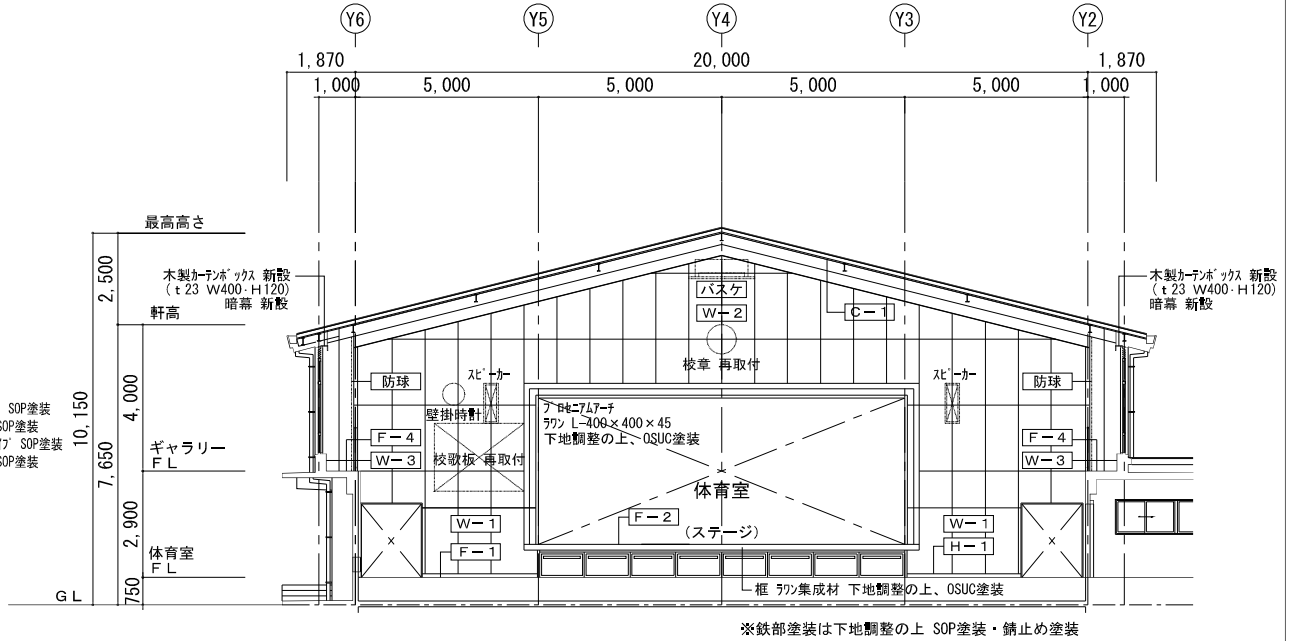
既存体育室 展開図 D面 1/100



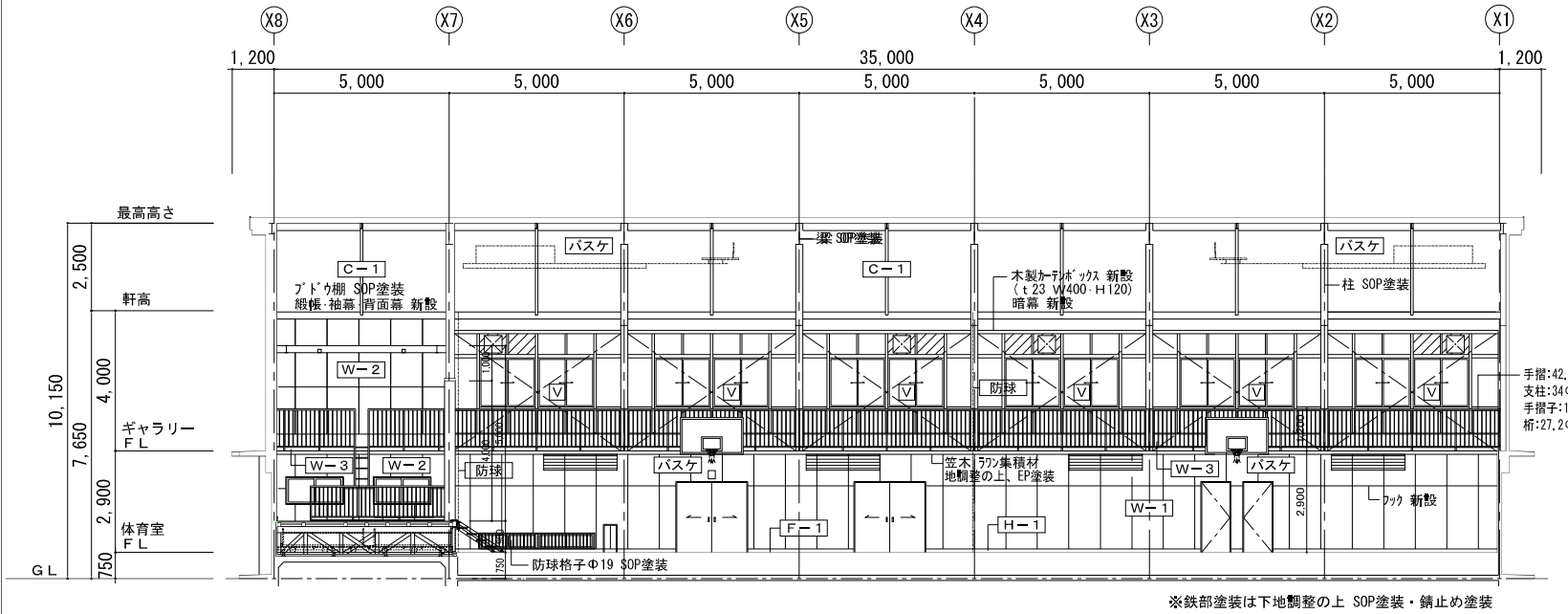
内 部 改 修 仕 上 表																			
部 位			記 号			仕 上			部 位			記 号			仕 上				
床	Fー1		2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗、サンダー掛け2回、カバ 単層フローリング厚18、パーティクルボード厚15 銅製床下地 一部復旧（全体10%程度）			巾木	Hー1		ラウン材 厚30 H100 EP塗装 新設			天井	Cー1		ガラス繊維断熱材 あらわし部：飛散防止塗料塗り、鉄骨部・垂木：下地調整の上 SOP塗装・錆止め塗装				
	Fー2		2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗（床見切材共）、サンダー掛け2回 既存部サンダー掛け				Wー1		ラウン合板 厚9（寒冷紗裏打）目透し張り EP塗装 新設、 外壁面：発泡ウレタン 厚25充填				バスケット ゴール		バスケ		電動吊上式バスケットゴール・手動折畳式バスケットゴール 新設		
	Fー3		長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地補修				Wー2		有孔ラウン合板 厚5.5（寒冷紗裏打）目透し張り EP塗装 新設、 外壁面：発泡ウレタン 厚25充填				防球ネット		防球		再取付		
	Fー4		既存のまま 既存バスケットゴール固定金物部 補修				Wー3		EP塗装、下地補修				壁ブレース		V		L-75×75×6 下地調整の上 SOP塗装・錆止め塗装		



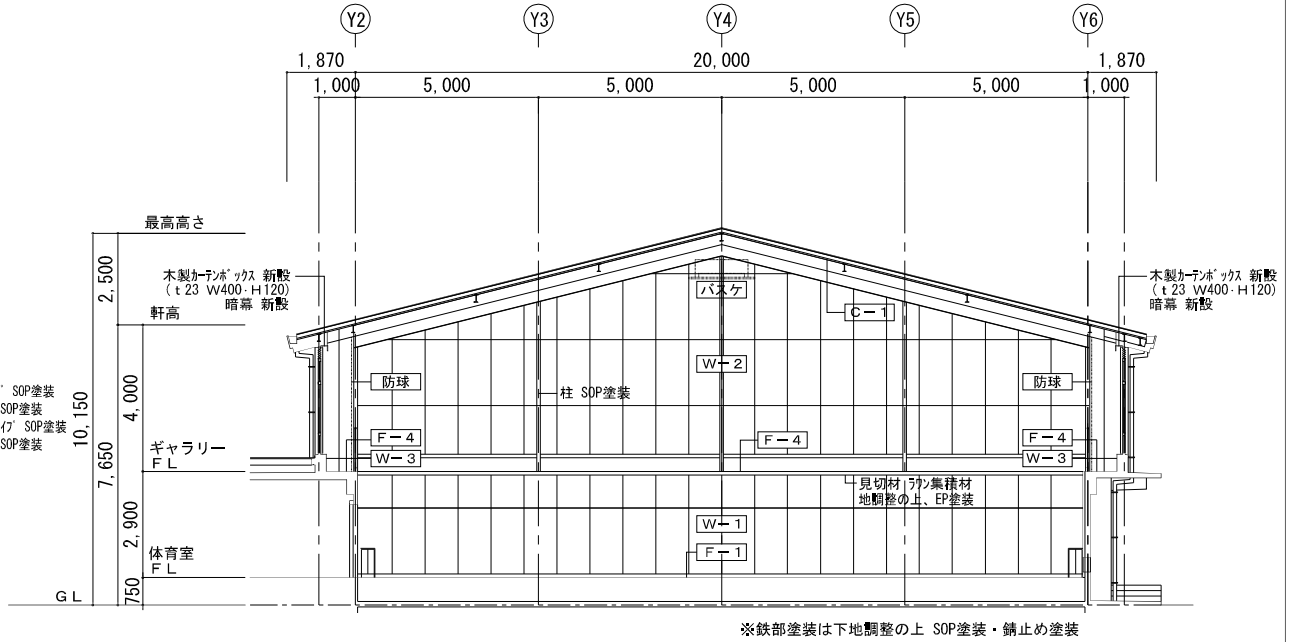
改修体育室 展開図 A面 1/100



改修体育室 展開図 B面 1/100

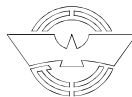


改修体育室 展開図 C面 1/100



改修体育室 展開図 D面 1/100

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

改修 体育室展開図（1）

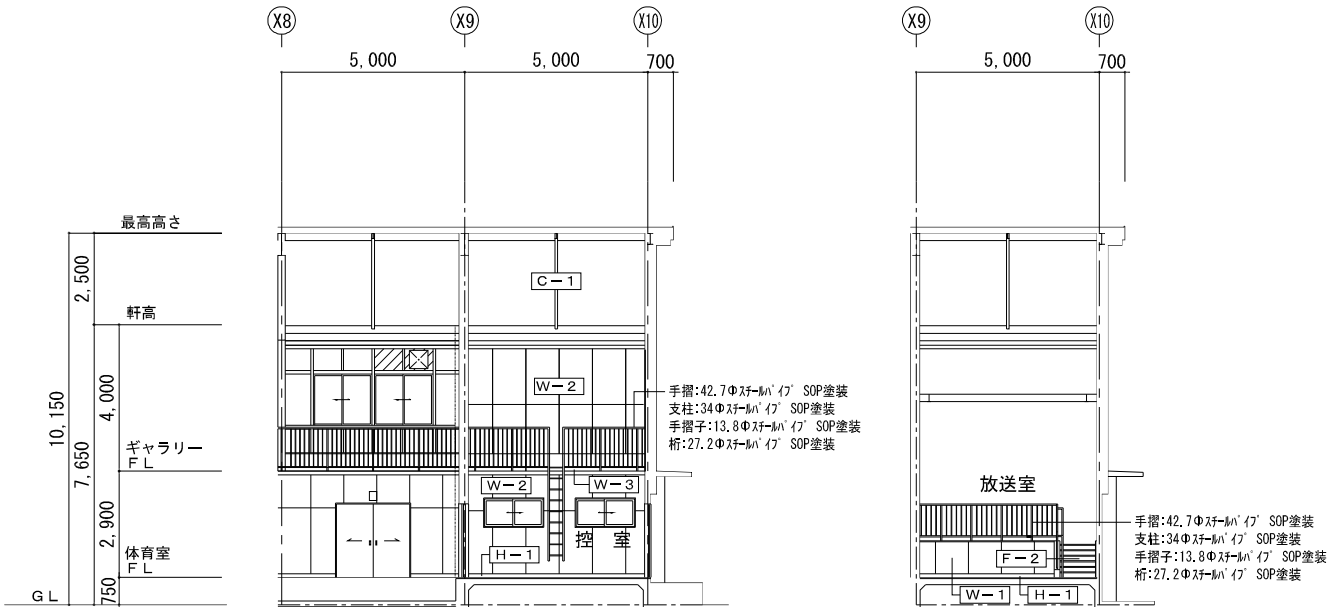
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

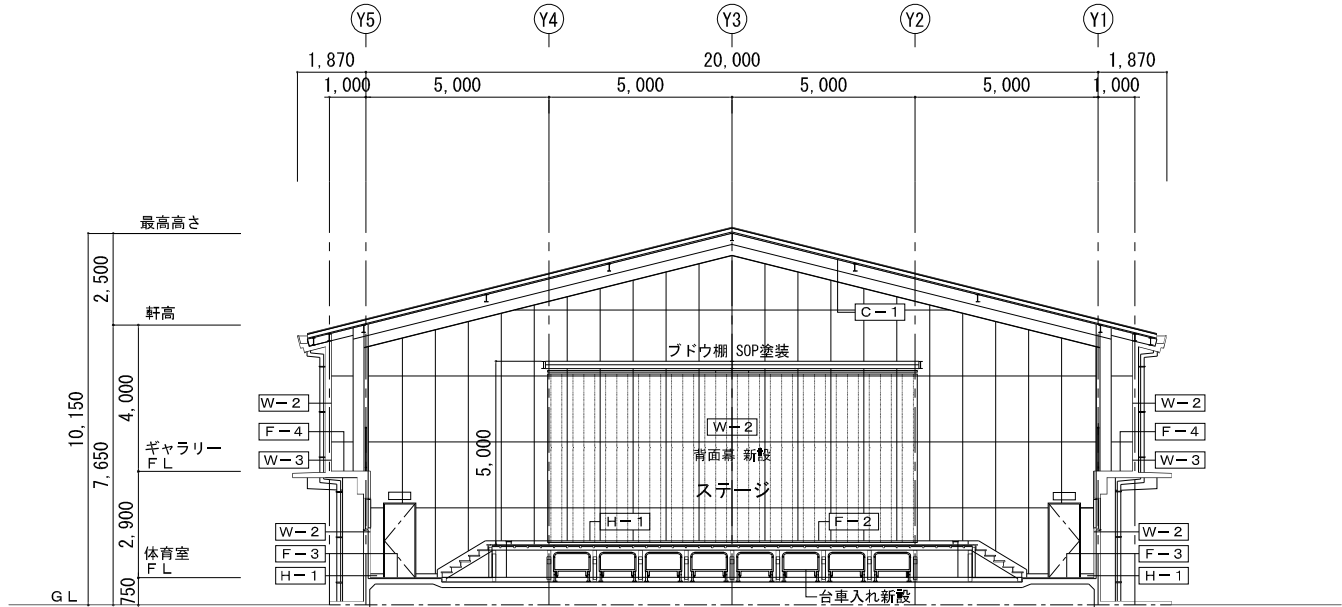
図面番号

A - 24

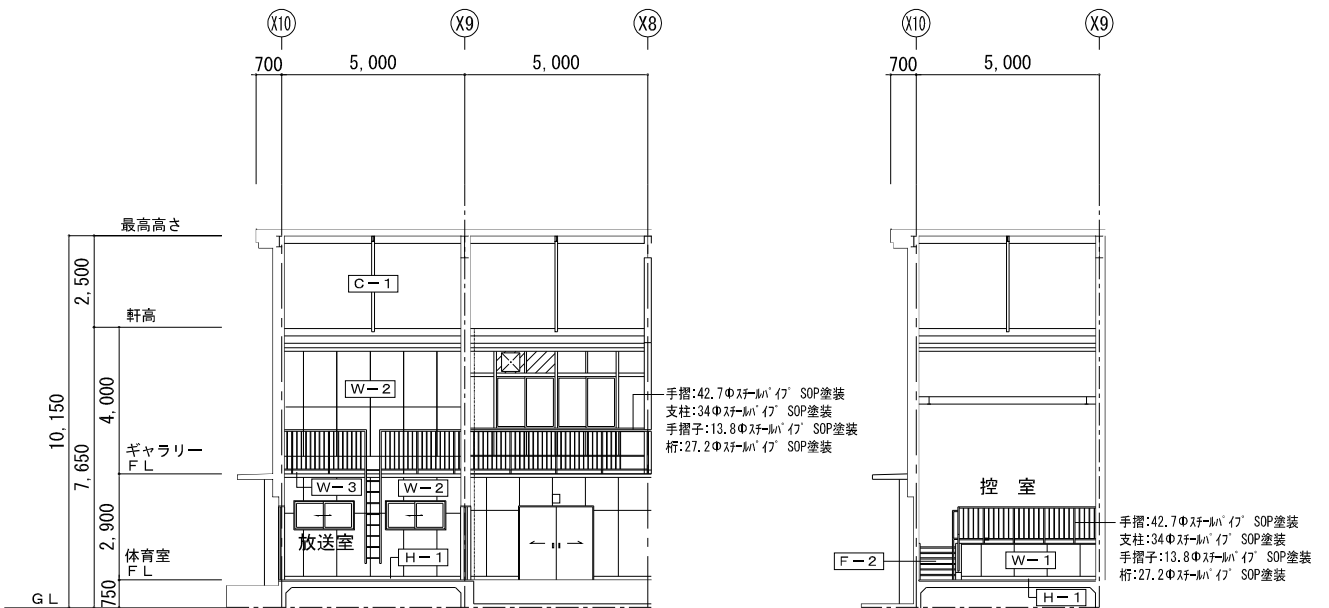
内 部 改 修 仕 上 表								
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
床	F－1	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗、サンダー掛け2回、カバ 単層フローリング厚18、パーティクルボード厚15 銅製床下地 一部復旧（全体10%程度）	巾木	H－1	ラワン材 厚30 H100 EP塗装 新設	天井	C－1	ガラス繊維断熱材 あらわし部：飛散防止塗料塗り、鉄骨部・垂木：下地調整の上 SOP塗装・錆止め塗装
	F－2	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗（床見切材共）、サンダー掛け2回 既存部サンダー掛け	壁	W－1	ラワン合板 厚9 （寒冷紗裏打）目透し張り EP塗装 新設、 外壁面：発泡ウレタン 厚25充填	バスケット ゴール	バスケ	電動吊上式バスケットゴール・手動折畳式バスケットゴール 新設
	F－3	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地補修		W－2	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷紗裏打）目透し張り EP塗装 新設、 外壁面：発泡ウレタン 厚25充填	防球ネット	防球	再取付
	F－4	既存のまま 既存バスケットゴール固定金物部 補修		W－3	EP塗装、下地補修	壁フリース	V	L-75×75×6 下地調整の上 SOP塗装・錆止め塗装



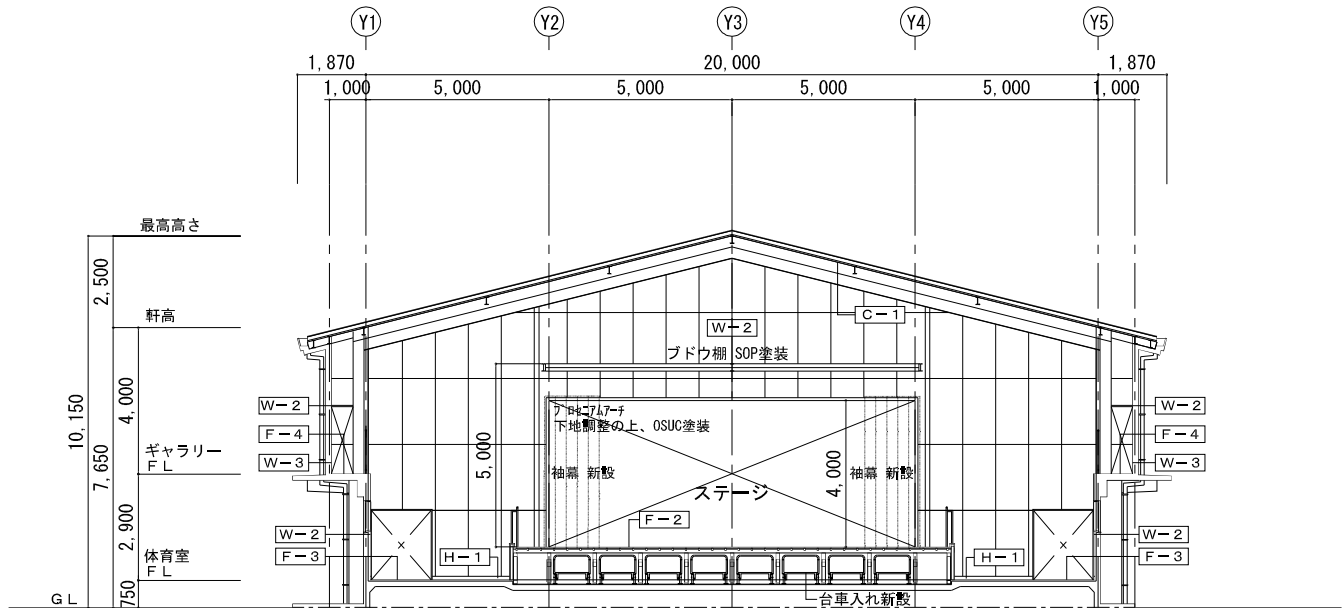
改修放送室・控室 展開図 A面 1/100



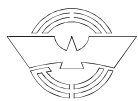
改修体育室 展開図 B面 1/100

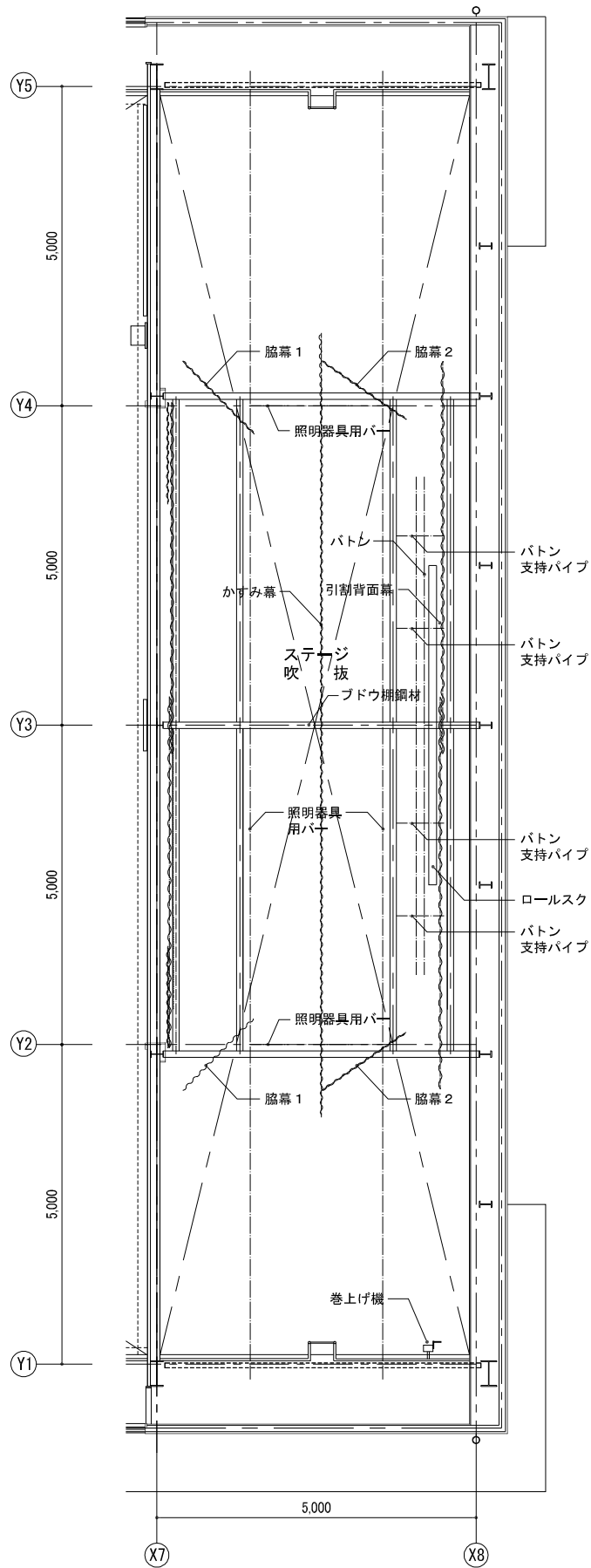


改修放送室・控室 展開図 C面 1/100



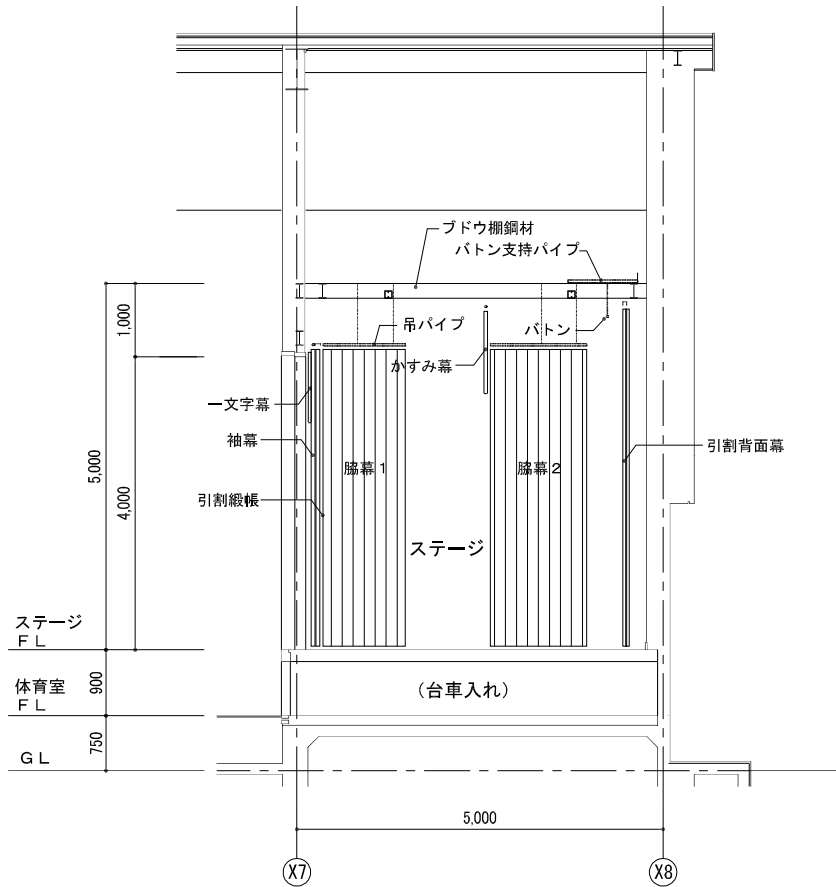
改修体育室 展開図 D面 1/100



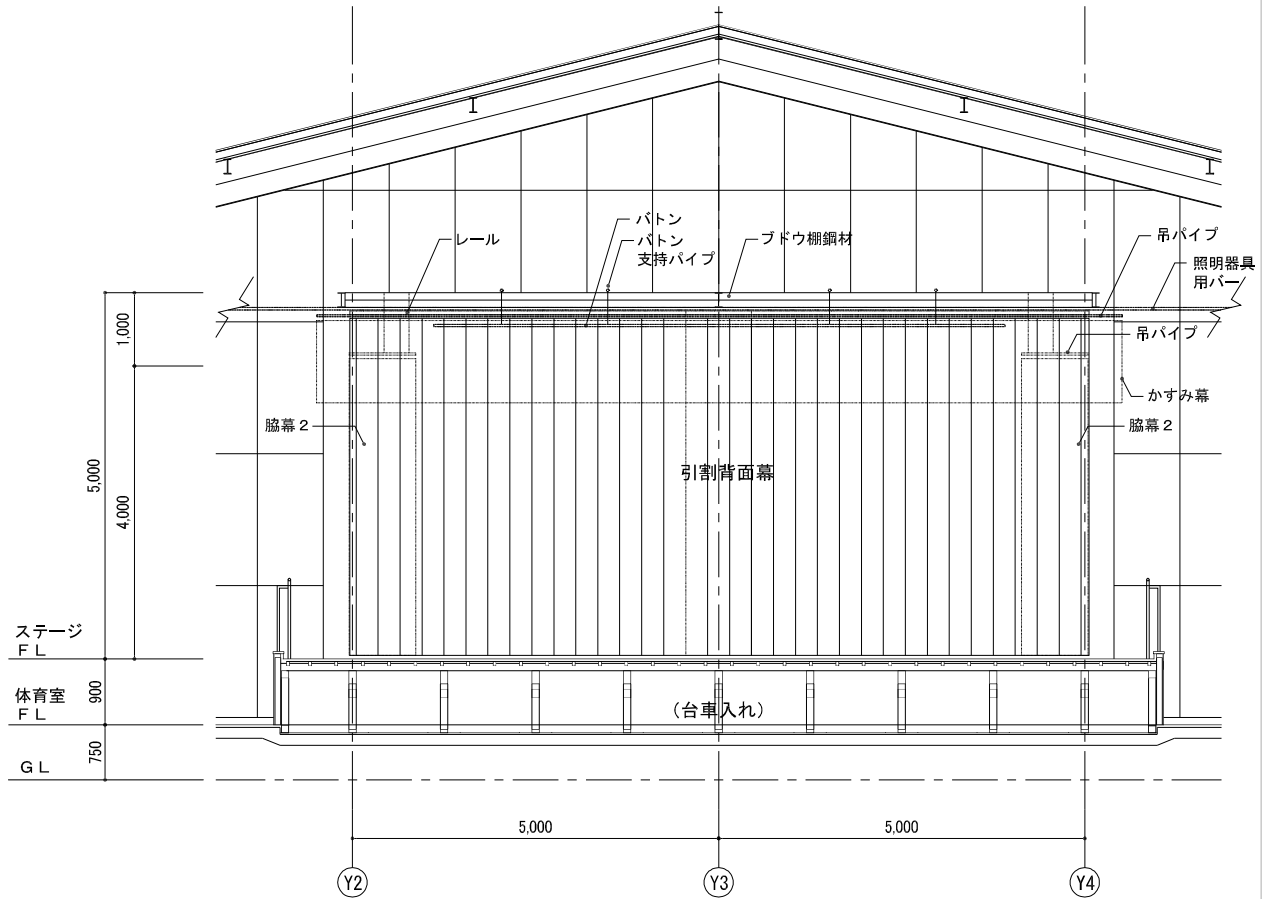


ステージ ブドウ棚 舞台装置 平面図 1/50

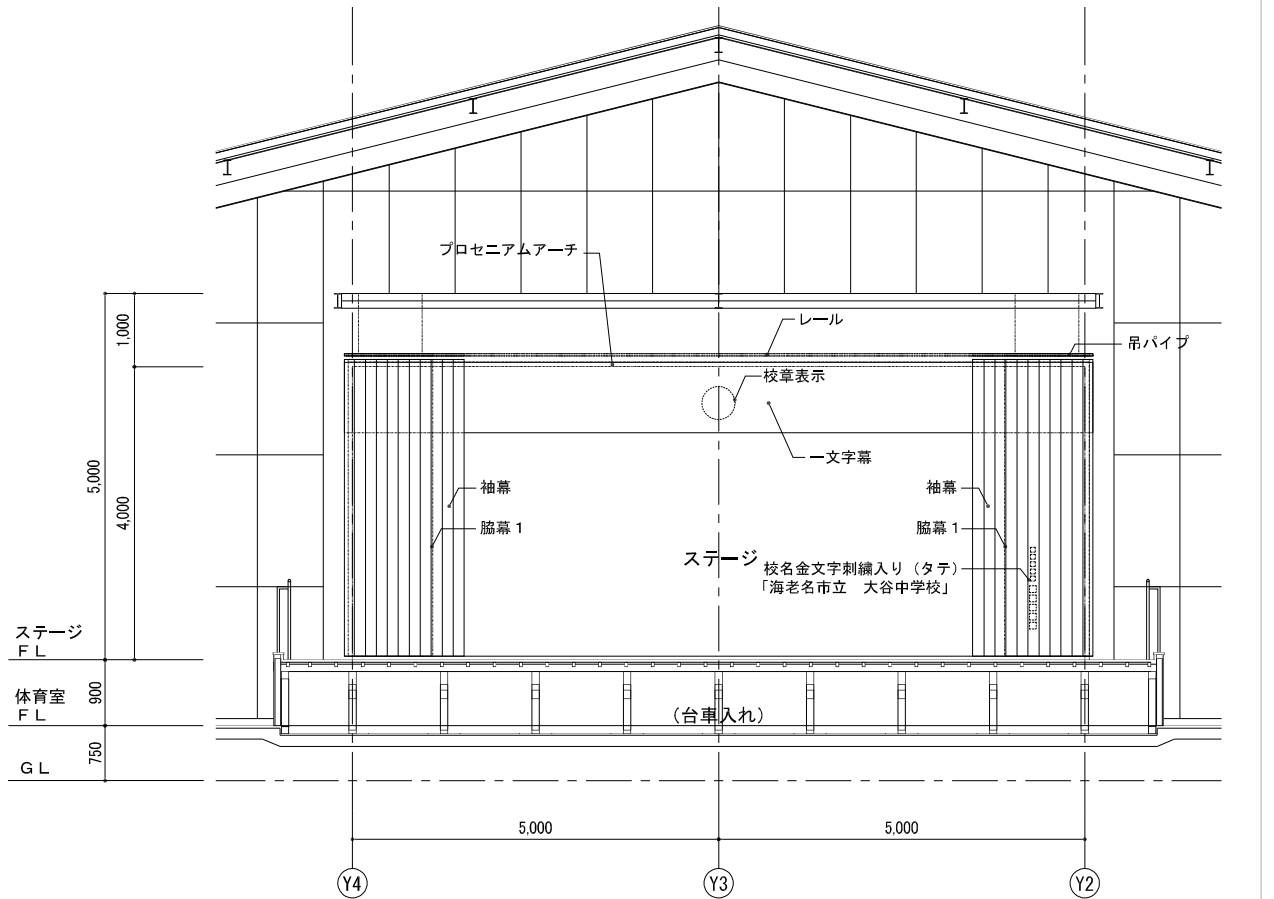
名 称	サイズ（W × H）	数量	駆動方式他
袖幕：撤去新設	W850 × H4,100	2	右側 学校名 「海老名市大谷中学校」刺繍
引割縦帳：撤去新設	W5,700 × H4,100	2	
一文字幕：撤去新設	W11,700 × H850	1	校章 φ450 本刺繍
脇幕1：撤去新設	W1,800 × H4,000	2	
脇幕2：撤去新設	W1,800 × H4,000	2	
かすみ幕：新設	W12,500 × H1,100	1	
引割背面幕：撤去新設	W5,700 × H4,500	2	
バトン：撤去新設 支持パイプ・ワイヤー共	6m	2	昇降ウインチ×2
ロールスクリーン：取外し再取付		1	
暗幕（ギャラリー）：撤去新設	W29,780 × H2,900（撤去） W720 × H2,900（新設） W1,670 × H2,250（新設） W8,330 × H2,900（新設） W5,000 × H2,900（新設）	2 4 8 4 2	
暗幕（控室・放送室）：撤去新設	W1,600 × H750	2	



A面（C面）展開図 1/50

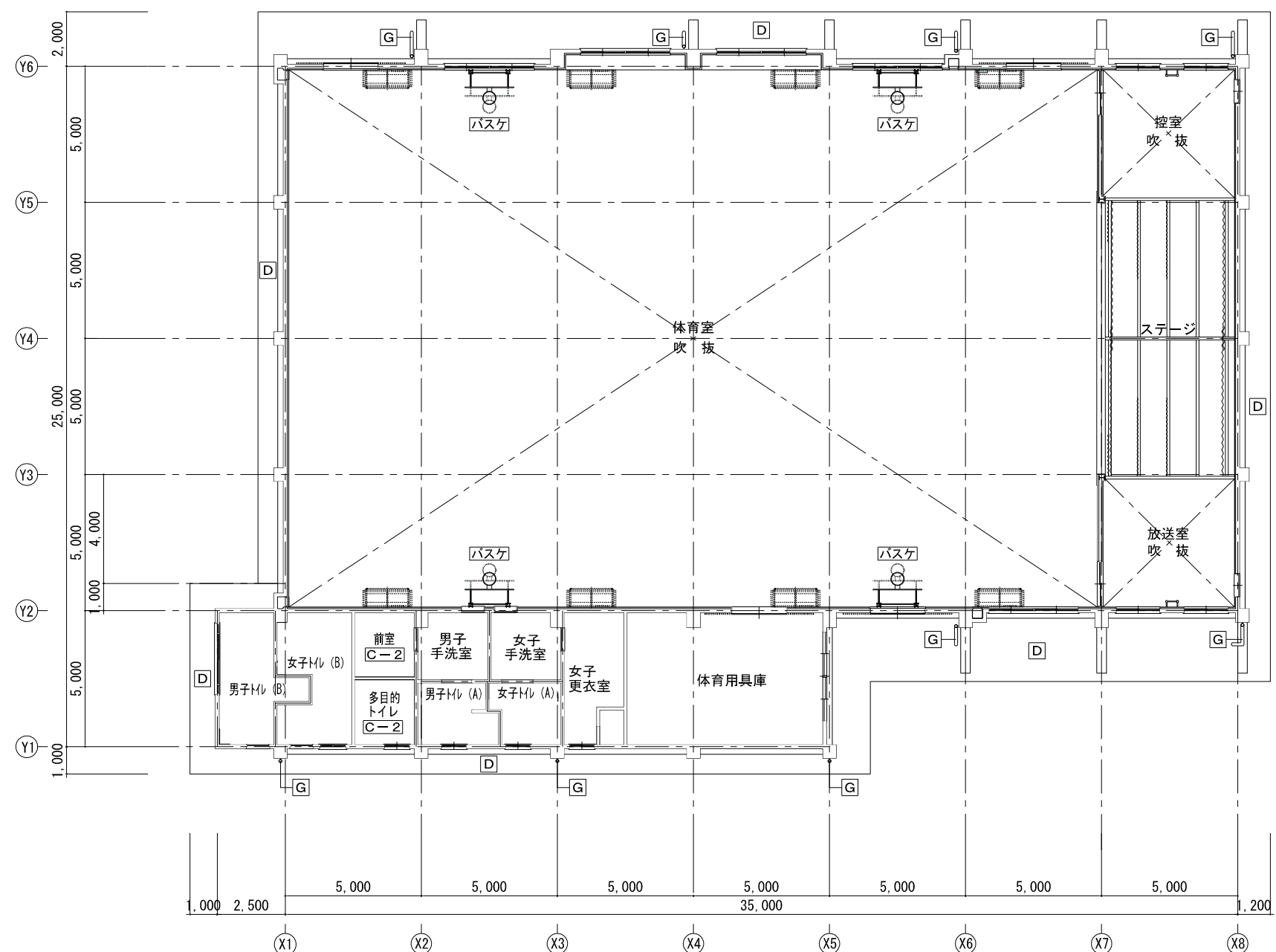


B面 展開図 1/50



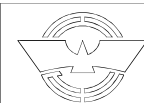
D面 展開図 1/50



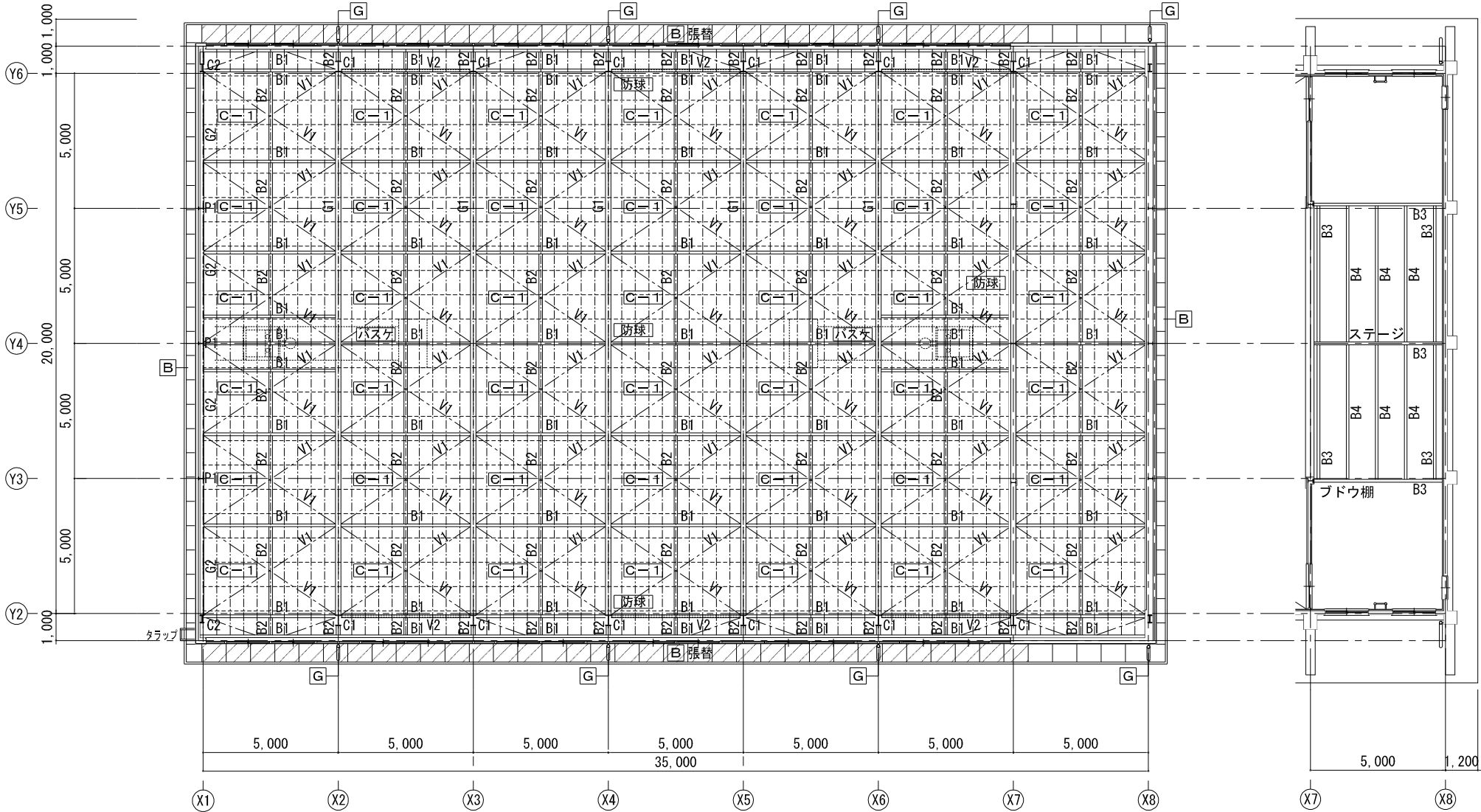


1階天井伏せ図 1/100

外 部 仕 上 表			内 部 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
庇	D	既存（庇下面）：防水形複層塗材E 改修（庇下面）：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa	天 井	C-2	化粧石膏ボード厚9.5 軽量鉄骨天井下地 新設
樋	G	既存（縦樋）：硬質塩ビ管 100φ NAD塗装 撤去 改修（縦樋）：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設、養生管：DP塗装・錆止め塗装	バスケット ゴール	バスケ	バスケットゴール板 撤去・手動折畳式バスケットゴール 新設



既存部材リスト								
符 号	部 材 断 面	改 修 内 容	符 号	部 材 断 面	改 修 内 容	符 号	部 材 断 面	改 修 内 容
C 1	H-400×200×8×13	SOP塗装、錆止め塗装	G 1	H-600×200×11×17	SOP塗装、錆止め塗装	押え金物	W-100 @500	SOP塗装、錆止め塗装
C 2	H-300×150×6.5×9	SOP塗装、錆止め塗装	G 2	H-300×150×6.5×9	SOP塗装、錆止め塗装	V 1	1-16φ	SOP塗装、錆止め塗装
P 1	H-200×100×5.5×8	SOP塗装、錆止め塗装	B 1	H-200×100×5.5×8	SOP塗装、錆止め塗装	V 2	2L-65×65×6	SOP塗装、錆止め塗装
			B 2	H-150×75×5×7	SOP塗装、錆止め塗装	B 3	H-200×100×5.5×8	SOP塗装、錆止め塗装
			母屋	□-100×50×20×2.3 @900	SOP塗装、錆止め塗装	B 4	□2-100×50×20×2.3	SOP塗装、錆止め塗装



吹抜部分天井伏せ図 1/100

外 部 仕 上 表			内 部 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
軒 裏	B	既存：ケイ酸カルシウム板 厚5 E P 塗装 (Y2)・(Y6) 通り面 撤去 改修：EP-G塗装、下地調整 (Y2)・(Y6) 通り面 ケイ酸カルシウム板 厚5	天 井	C-1	既存：ガラス繊維断熱材あらわし 改修：剥離・脆弱部分撤去の上、飛散防止塗料塗
樋	G	既存（縦樋）：硬質塩ビ管 100φ NAD塗装 撤去 改修（縦樋）：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設	バスケット ゴール	バスケ	吊上式バスケットゴール 撤去・電動吊上式バスケットゴール 新設
			防球ネット	防球	取外し・再取付

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

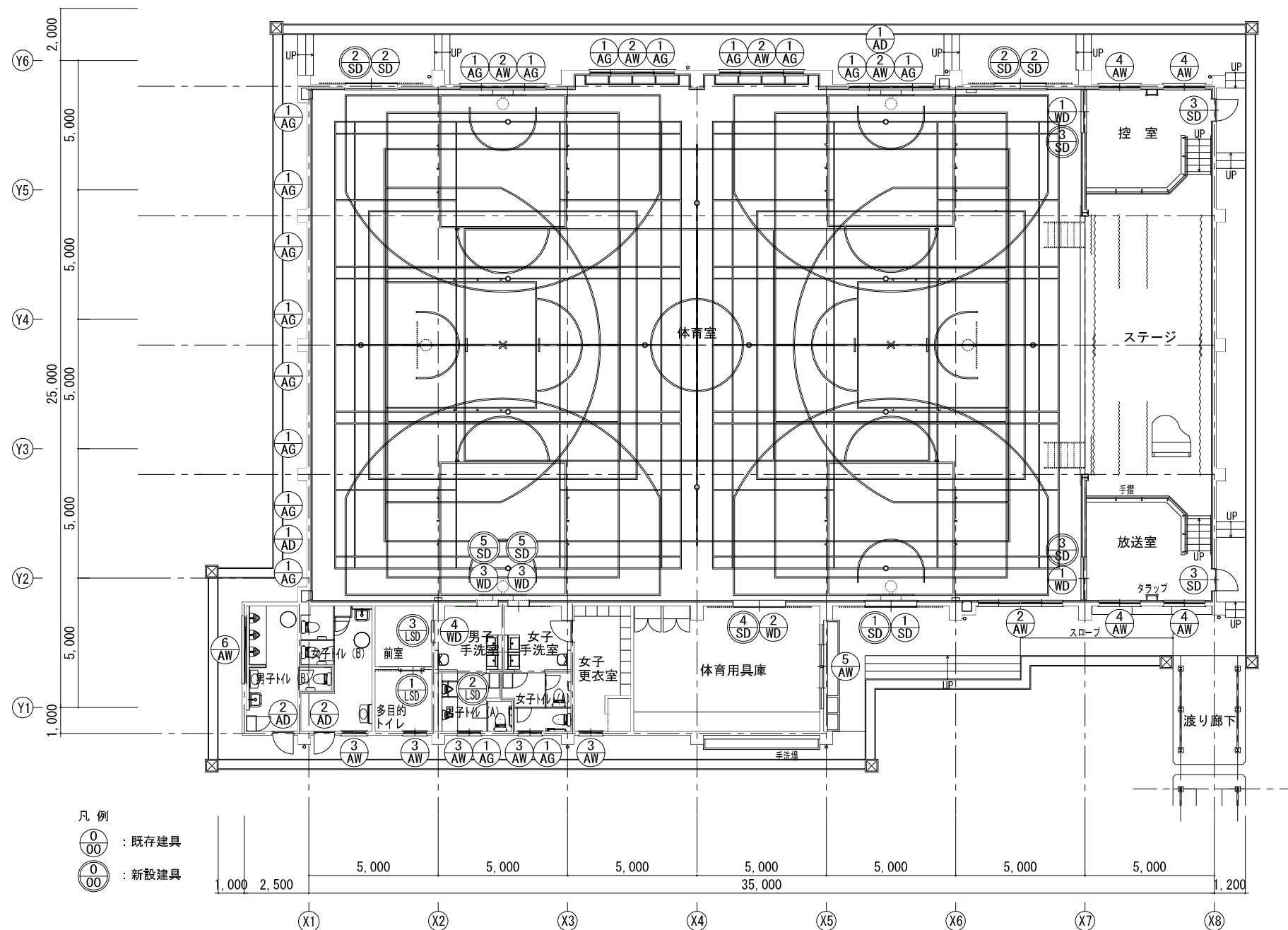
既存改修 吹抜部天井伏せ図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

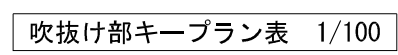
図面番号

A - 28

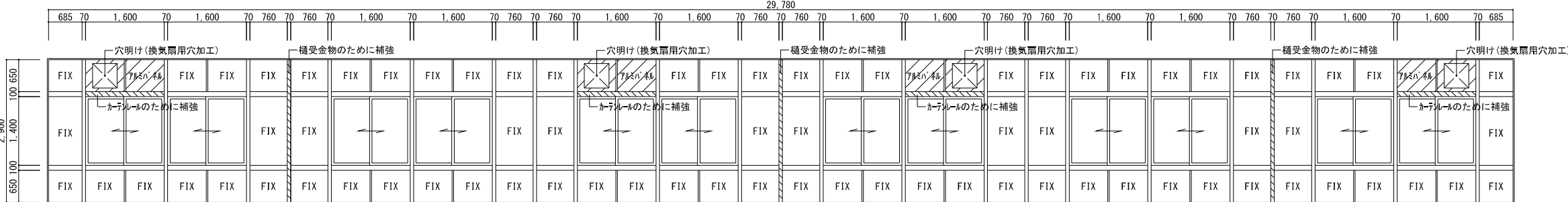
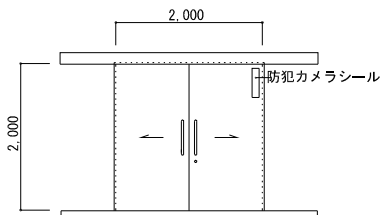
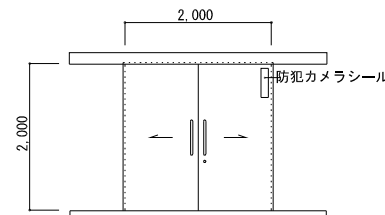
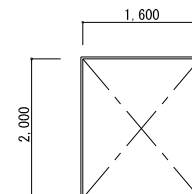
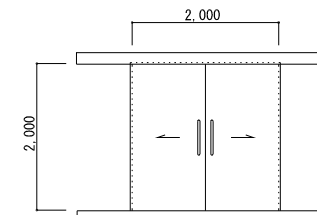
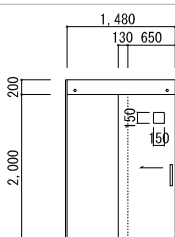
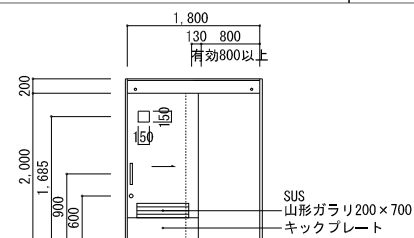
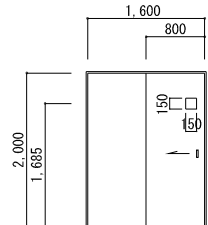
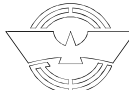


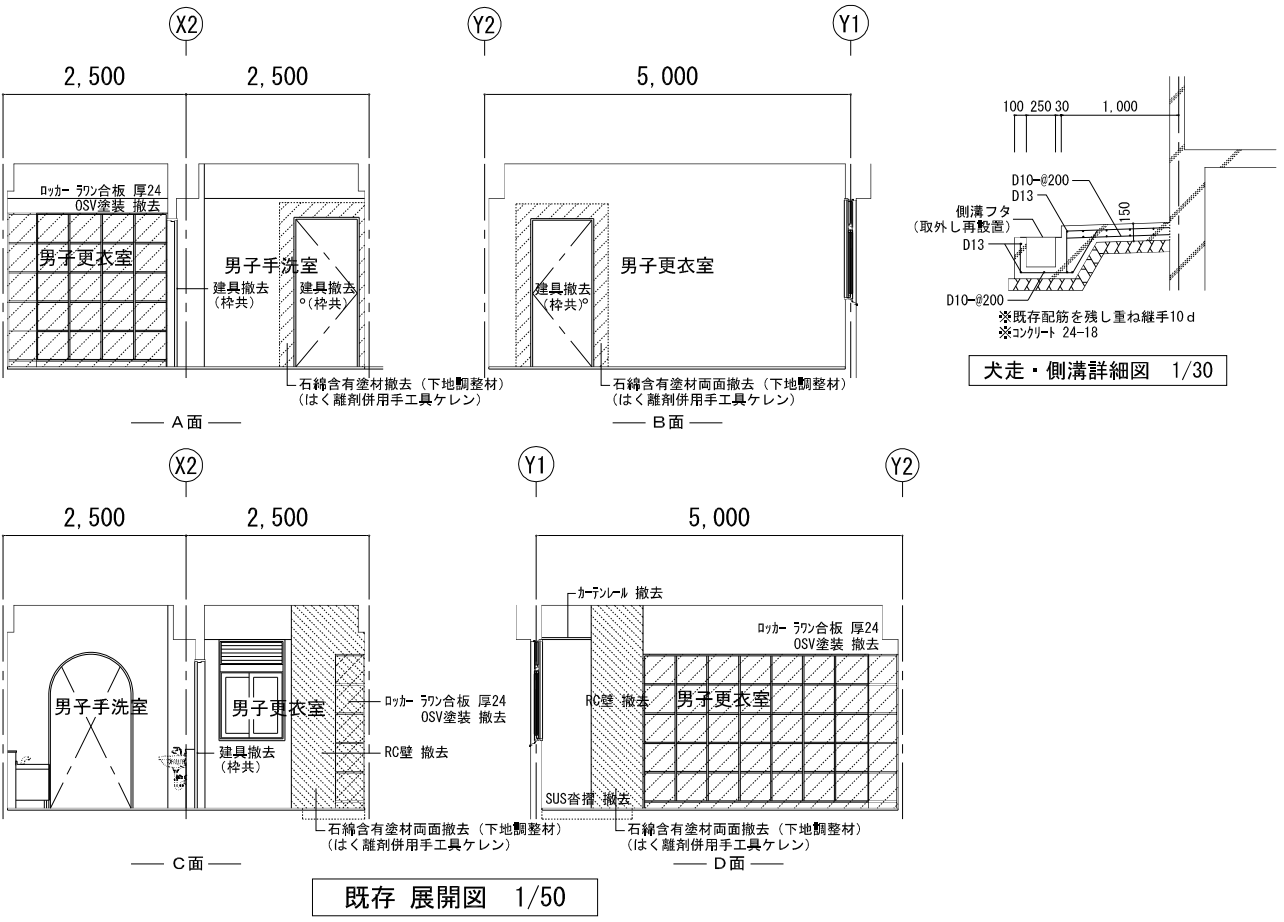
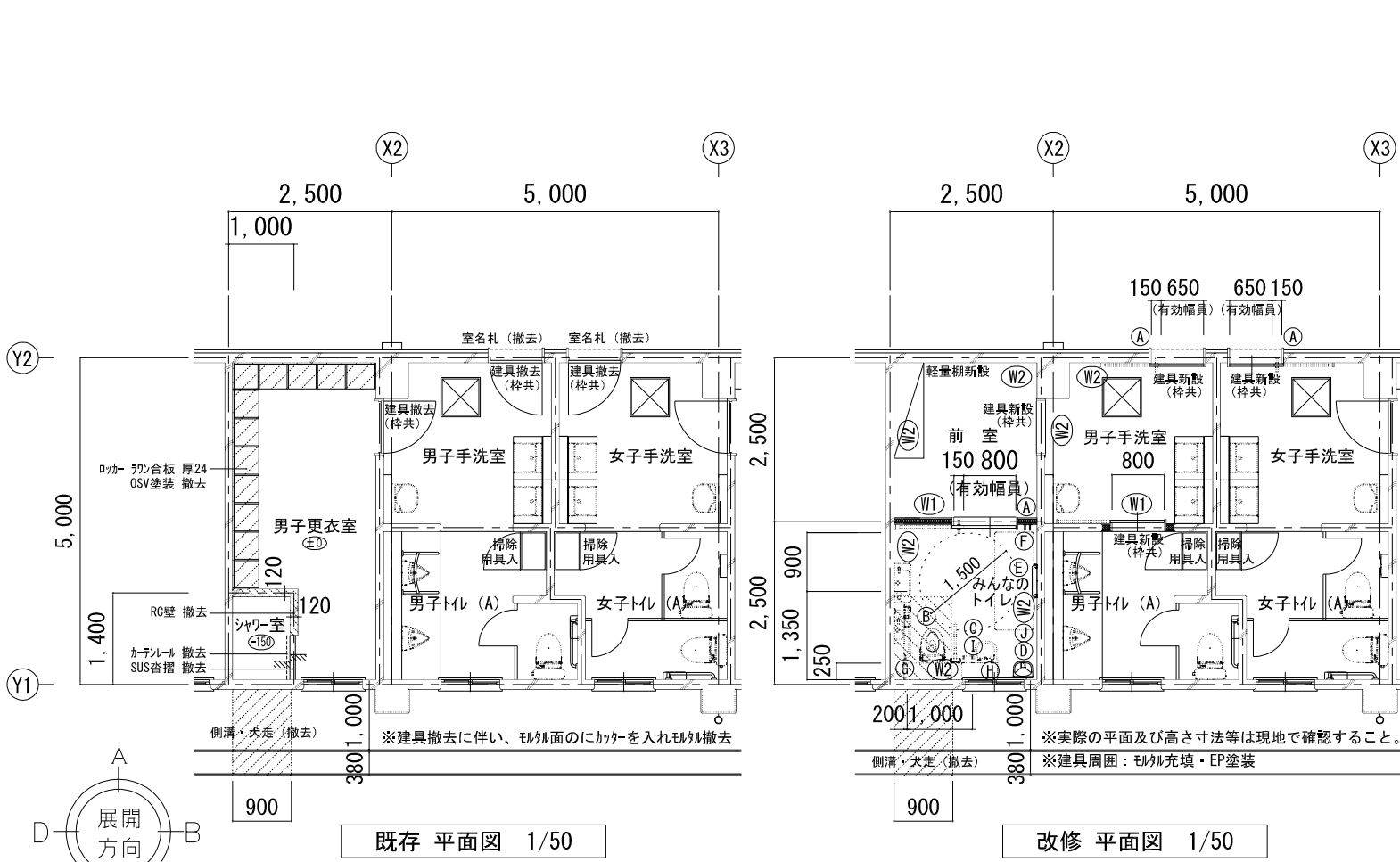
1階キープラン表 1/100





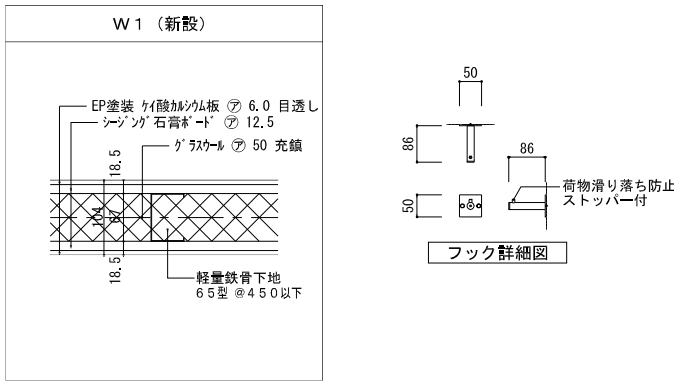
符 号 名	連窓、アルミサッシ 引違窓(嵌殺し窓・ガラリ付)(撤去)										
姿 図	29,780 685701,600701,6007076070760701,600701,6007076070760701,600701,6007076070760701,600701,6007076070760701,600701,6007076070760701,600701,6007076070760701,600701,60070685 2,900 100 100 500 FIX										

名 称		連窓、アルミサッシ 引違窓(嵌殺し窓) (新設)										2																													
姿 図												※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること																													
場 所		体育室																																							
仕 上		アルミ、アルマイト処理																																							
見 込		70 mm																																							
ガラス		Low-E複層ガラス 厚 4.0+ A6 + T4.0 飛散防止フィルム張り、一部7mmシシ厚5.0																																							
金 物		クレセント、引手、縦線、ストッパー、転落防止付																																							
		水切、付属金物一式																																							
備 考																																									
符 号 名 称		① スチール 引き分けハンガードア・3方枠 (新設)		1		② スチール 引き分けハンガードア・3方枠 (新設)		2		③ スチール 3方枠 (新設)		2		④ スチール 引き分けハンガードア・3方枠 (新設)		1		⑤ スチール 片引きハンガードア・3方枠 (新設)		2																					
姿 図						※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること								※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること								※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること								※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること								※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること			
場 所		体育室				体育室				体育室				体育室				体育室				体育室				男子手洗室・女子手洗室															
仕 上		高耐候性粉体焼付塗装、亜鉛メッキ鋼板				高耐候性粉体焼付塗装、亜鉛メッキ鋼板				高耐候性粉体焼付塗装、亜鉛メッキ鋼板				高耐候性粉体焼付塗装、亜鉛メッキ鋼板				高耐候性粉体焼付塗装、亜鉛メッキ鋼板				高耐候性粉体焼付塗装、亜鉛メッキ鋼板				SOP塗装、亜鉛メッキ鋼板															
見 込		235、扉厚38 mm				235、扉厚38 mm				235、扉厚38 mm				235、扉厚38 mm				235、扉厚38 mm				235、扉厚38 mm				235、扉厚：38															
ガラス																																									
金 物		SUS引手L450、錠前、シリンダー錠(内側サムターン)				SUS引手L450、錠前、シリンダー錠(内側サムターン)				SUS引手L450、錠前、シリンダー錠(内側サムターン)				SUS引手L450、錠前、シリンダー錠(内側サムターン)				SUS引手L450、錠前、シリンダー錠(内側サムターン)				SUS引手L450				小窓：ポリカーボネート板 厚6 (型)															
		ハンガーレール、ガイドレール、SUS下枠、SUS宙摺、附属金物一式				ハンガーレール、ガイドレール、SUS下枠、SUS宙摺、附属金物一式				ハンガーレール、ガイドレール、SUS下枠、SUS宙摺、附属金物一式				ハンガーレール、ガイドレール、SUS下枠、SUS宙摺、附属金物一式				ハンガーレール、ガイドレール、SUS下枠、SUS宙摺、附属金物一式				ハンガーレール、ガイドレール、SUS下枠、SUS宙摺、附属金物一式				ステンレスガイドレール、ドアストッパー付、SUSVレール															
備 考		断熱仕様 (発泡ウレタン充填)				断熱仕様 (発泡ウレタン充填)				断熱仕様 (発泡ウレタン充填)				断熱仕様 (発泡ウレタン充填)				断熱仕様 (発泡ウレタン充填)				断熱仕様 (発泡ウレタン充填)				断熱仕様 (発泡ウレタン充填)				外れ止め付、自動開閉装置、7mmハンドル L400(内外共)、附属金物一式											
符 号 名 称		① 軽量スチール 片引きハンガードア・3方枠 (新設)		1		② 軽量スチール 片引きドア (新設)		1		③ 軽量スチール 3方枠 (新設)		1																													
姿 図						※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること								※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること																											
場 所		みんなのトイレ				男子前室				男子前室																															
仕 上		SOP塗装、亜鉛メッキ鋼板				SOP塗装、亜鉛メッキ鋼板				SOP塗装、亜鉛メッキ鋼板																															
見 込		125、扉厚：38				60、扉厚：38				60、扉厚：38																															
ガラス		小窓：ポリカーボネート板 厚6 (型)				小窓：ポリカーボネート板 厚6 (型)				小窓：ポリカーボネート板 厚6 (型)																															
金 物		キックプレート：SUS t2 H300(両面)、ステンレスガイドレール、ドアストッパー付				SUS引手L100、SUSVレール				SUS引手L100、SUSVレール																															
		外れ止め付、自動開閉装置、7mmハンドル L400(内外共)、附属金物一式																																							
備 考		鍵(表示装置、非常解除装置、内部大型サムターン付)、ガラリ(山形)																																							
符 号 名 称																																									
姿 図																																									
場 所																																									
仕 上																																									
見 込																																									
ガラス																																									
金 物																																									
備 考																																									
工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事														海老名市		図面名称		建具表(2)																							
																縮尺		A1:1/50 A3:1/100		図面番号		A - 32																			

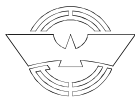


仕 上 表						
室 名	床		壁		天井	
	現況	改修	現況	改修	現況	改修
みんなのトイレ	長尺塩ビシート貼 (撤去) モルタル金ゴテ押え	長尺塩ビシート貼 (新設) 下地調整 高上げコンクリート H150 18-18 (ワイヤーメッシュφ6 150×150)	吹付タイル コンクリート打放 RC壁 撤去 (石綿含有塗材) (はく離剤併用手工具ケレン)	可とう形改修塗材E (W2) ソフト巾木 H=100 新設壁 (W1) EP塗装 ケイ酸カルシウム板 厚6.0 目隠し シーリング石膏ボード 厚12.5	リシン吹付 コンクリート打放 RC壁 撤去廻り (石綿含有塗材) (はく離剤併用手工具ケレン)	化粧石膏ボード厚9.5 LGS下地 (インサート共) 廻縁 (塩ビ製)
前 室	長尺塩ビシート貼 (撤去) モルタル金ゴテ押え	長尺塩ビシート貼 (新設) 下地調整	吹付タイル コンクリート打放 建具周囲撤去 (石綿含有塗材) (はく離剤併用手工具ケレン)	可とう形改修塗材E (W2) ソフト巾木 H=100 新設壁 (W1) EP塗装 ケイ酸カルシウム板 厚6.0 目隠し シーリング石膏ボード 厚12.5	リシン吹付 コンクリート打放	化粧石膏ボード厚9.5 LGS下地 (インサート共) 廻縁 (塩ビ製)

備品等リスト (みんなのトイレ)				
記号	備品名	数量	寸法	備考
①	ビレット付(平付けタイプ)	2	200×200	雑群細図 (1) 参照
②	洋便器用手すり(衛生設備工事)	1	400×200	
③	可動手すり(衛生設備工事)	1	L600	
④	ペーパーホルダー	1		コーナー設置タイプ
⑤	収納式多目的シート	1		収納タイプ
⑥	フック(コート掛け)	2		フック詳細図参照 H=1,300, H=1,700
⑦	膳板(ラミネート) (衛生設備工事)		W200・W250	
⑧	オストメイトバケツ(衛生設備工事)	1	W550	
⑨	汚物入れ(蓋付)	1		備品
⑩	姿見	各1	450×1,300 450×800	雑群細図 (1) 参照



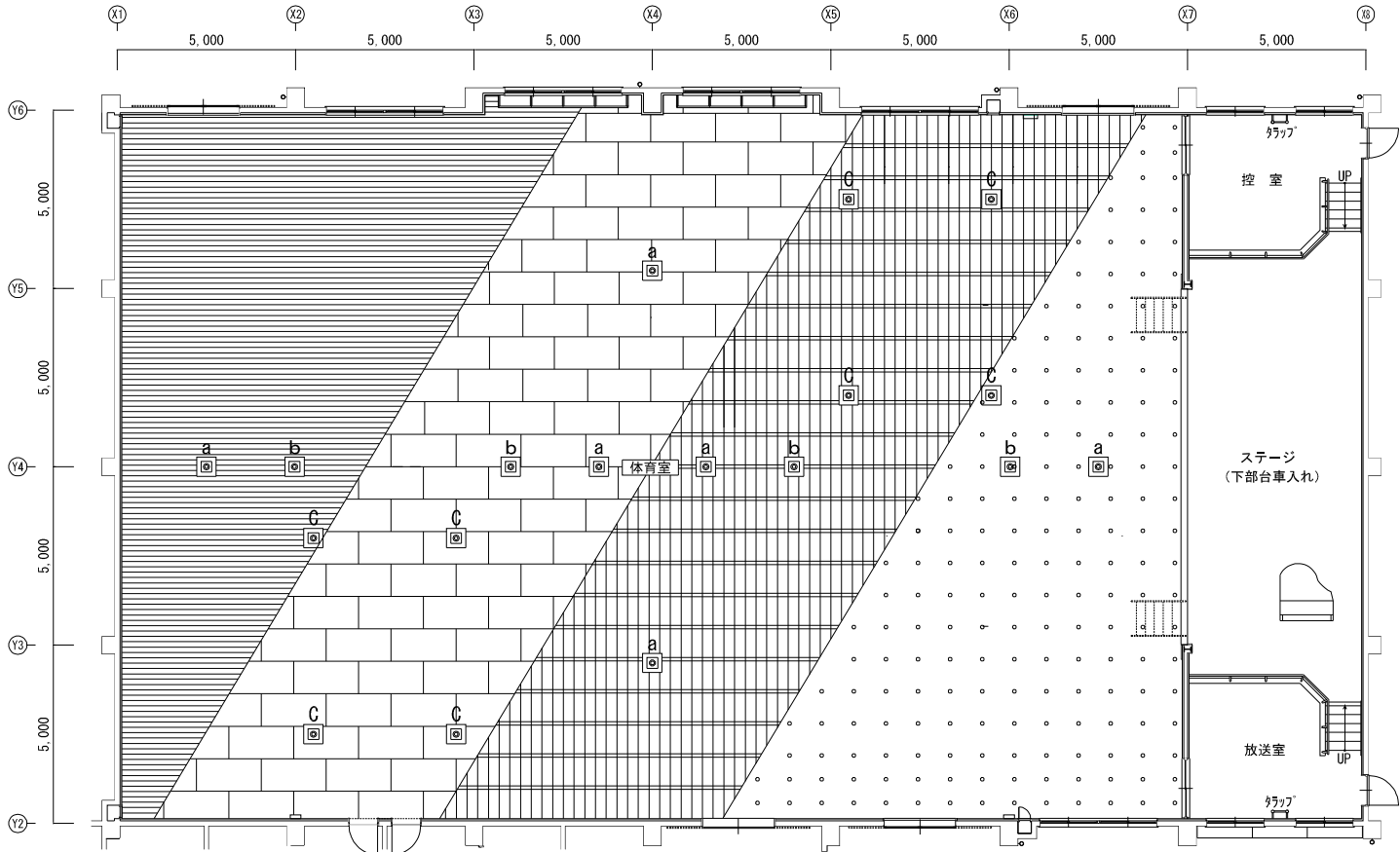
工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称 縮尺	みんなのトイレ 仕上表・平面図・展開図		
	A1:1/50	A3:1/100	図面番号 A - 33

床仕上表	体育室	ステージ
仕 上	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗 サタ-掛け2回 か-単層フローリング 厚18 端部周囲緩衝材：EXPフォーム18×25	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗 サタ-掛け2回 既存仕上 サタ-掛け
下 地 材	バ-チャージ-ド 厚15	――
床 組	置床式鋼製床下地 一部撤去新設（全体10%） 根太：溶融亜鉛メッキ鋼板（SPCC）@300 JL-29×34×64×t1.2 大引：溶融亜鉛メッキ鋼板（SPCC）@900 M-50×50×t2.3 支持脚@900（備弁製作所GT707-同等品以上） ※亜鉛メッキ処理 撤去部分の床材の補修	――



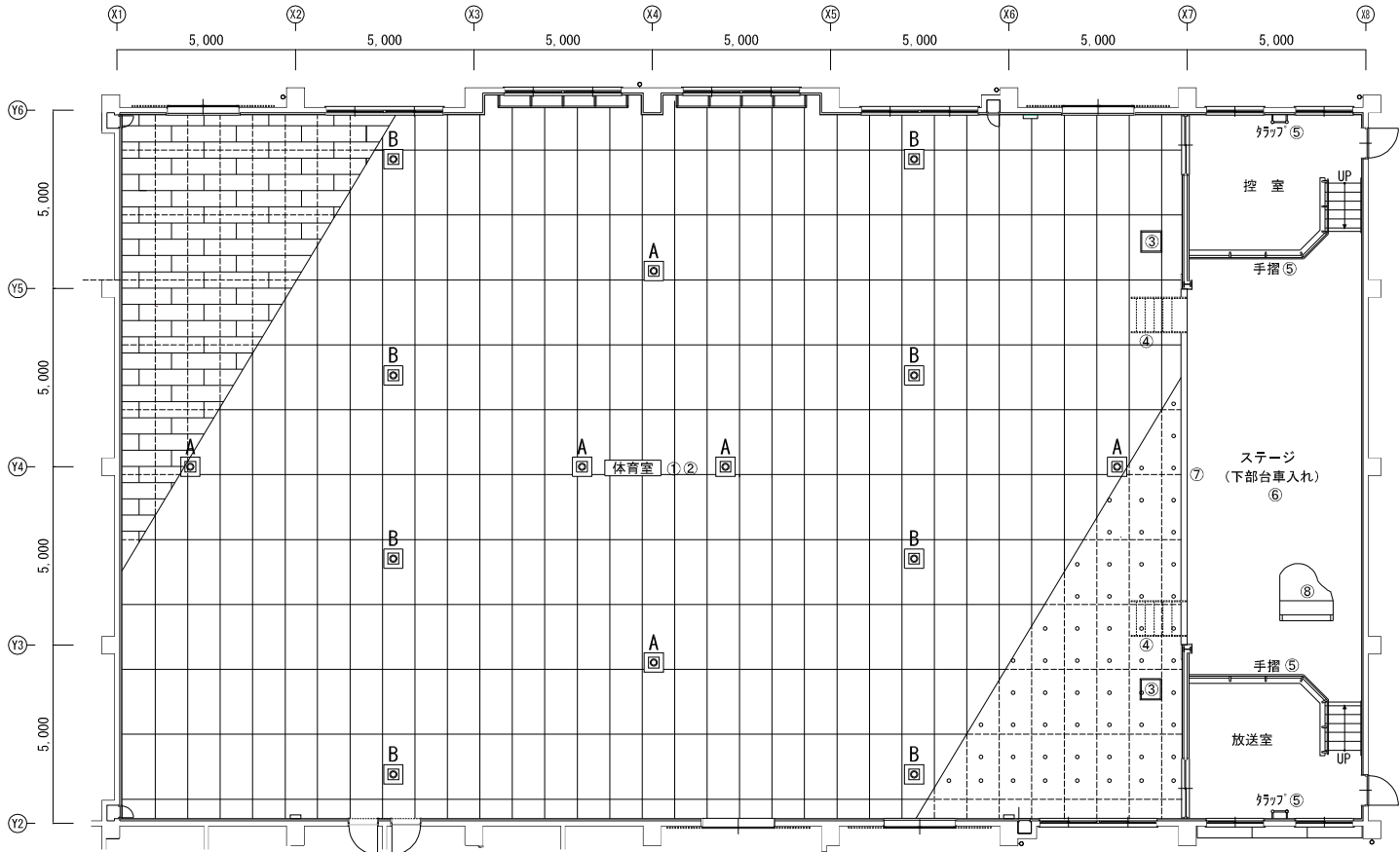
床平面図（改修前）1/100

撤去リスト

体育室床	加デ-フローリング 厚18張り ：撤去	捨張り板 厚15合板 ：撤去	大引、根太、束共スチ-ル製 ：一部撤去	緩衝材全周 クロ-レング-ム ：撤去	幅木：撤去	バレーボール用支持基礎 6カ所：撤去 バトミントン用基礎 4カ所：撤去 低鉄棒用支持基礎 8カ所：撤去		
ステージ床	加デ-フローリング 厚18張り ：既存残置 框：既存残置	捨張り板 厚15合板 ：既存残置	大引、根太：既存残置	緩衝材 クロ-レング-ム ：既存残置	幅木：撤去	椅子収納：撤去		

支柱基礎（ボ-スト上蓋・中筒金物共）リスト

凡 例	競技名	か所
a	バレーボール用 撤去	6
b	バトミントン用 撤去	4
c	移動用鉄棒用 撤去	8



床平面図（改修後）1/100

改修リスト

No.	項 目	摘 要	No.	項 目	摘 要
①	鋼製床組一部撤去新設	仕上表による	⑥	椅子収納台車：撤去新設	詳細図参照
②	床フローリング（下地合板共）撤去新設	仕上表による	⑦	既存スチ-ル 框：塗替え	下地調整R8種 OSUC塗装
③	床点検口：新設	600角 4周囲フローリング 共（PU-2 20×20）	⑧	ビ-7：移動再設置	韻律共
④	スチ-ル 階段：撤去新設	詳細図参照			
⑤	既存スチ-ル 手摺・フラップ・キャットウォーク手摺：塗替	SOP塗装 錆止め塗装下地調整			

支柱基礎（ボ-スト上蓋・中筒金物共）リスト

凡 例	競技名	か所
A	バレーボール用 新設	6
B	バトミントン用 新設	8

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

既存改修 体育室床改修平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

A - 34

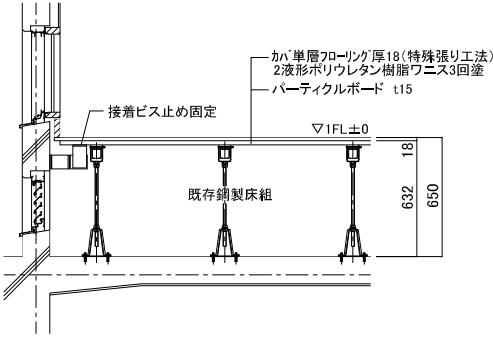
【特記仕様】

フローリングは単層フローリング特殊張り工法
許容荷重は上記を基準とする

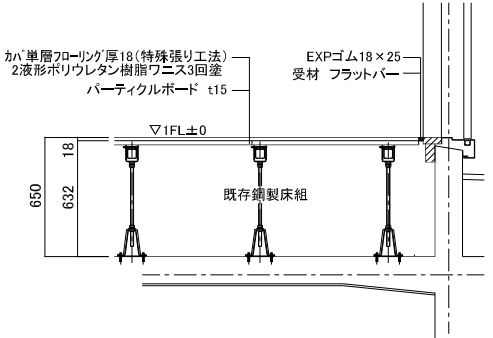
○2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗
F☆☆☆☆
※荒掛け・中掛け・仕上研磨をした上

【体育館床使用フローリング】

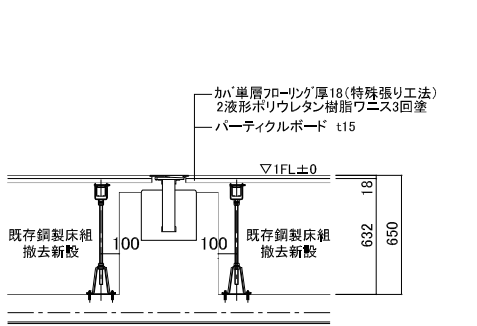
カバ単層フローリング
75×500以上×t18(2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗)
F☆☆☆☆



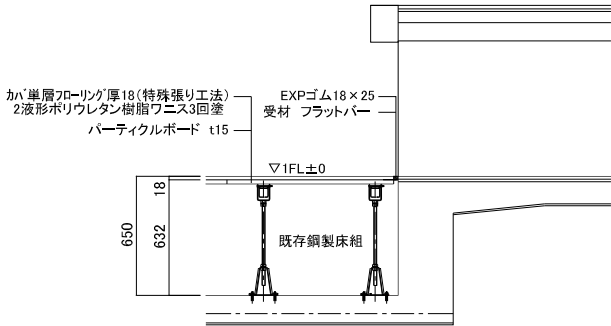
【壁廻り納まり図 S=1/20】



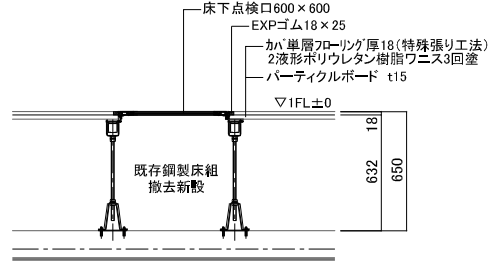
【出入口廻り納まり図 S=1/20】



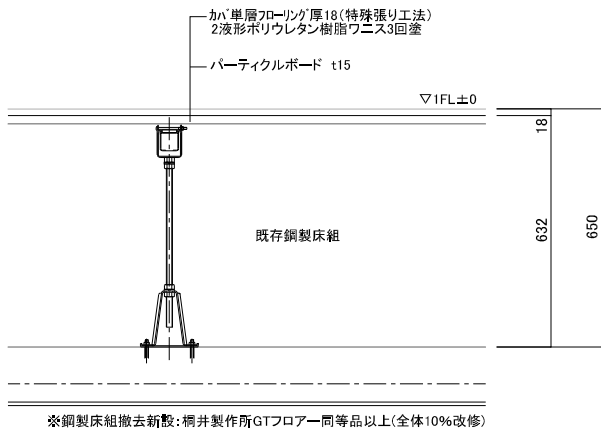
【体育館体育器具基礎廻り納まり S=1/20】



【体育館～ステージ廻り納まり S=1/20】



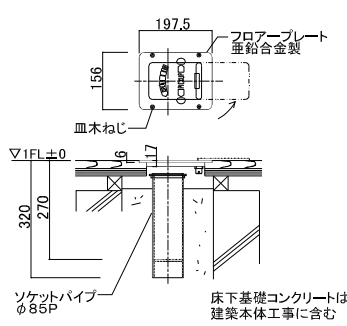
【体育館床下点検口廻り納まり S=1/20】



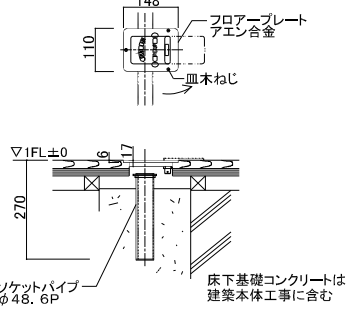
【体育館床基本断面 S=1/10】

バレーボール用支柱 3セット
ベベルギア式
日本バレーボール協会推薦品
鋼管 φ76.3 アルミ製
底部ゴム・ネット巻器付
床下250

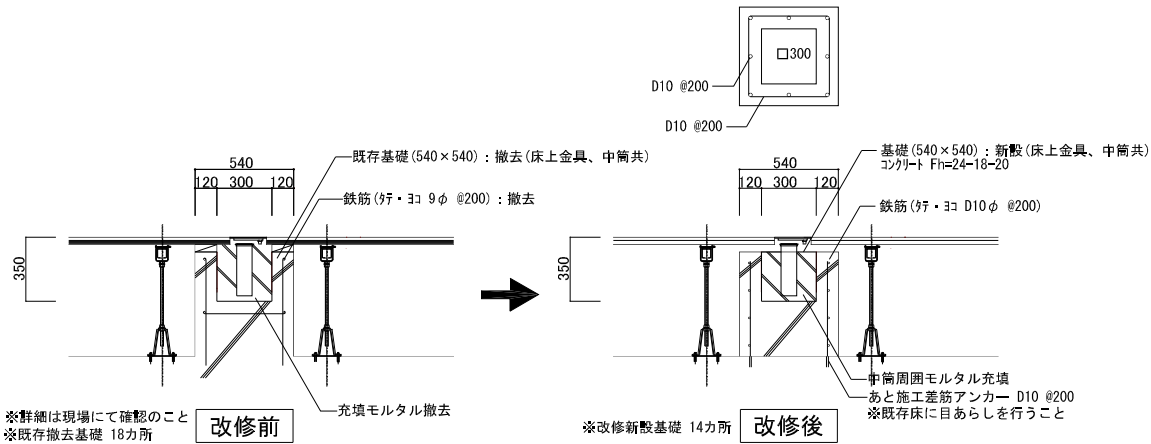
バドミントン用支柱 4セット
差込式
日本バドミントン協会検定品
鋼管 φ40 t3.5
床下150



【バレー用床金具 S=1/10】

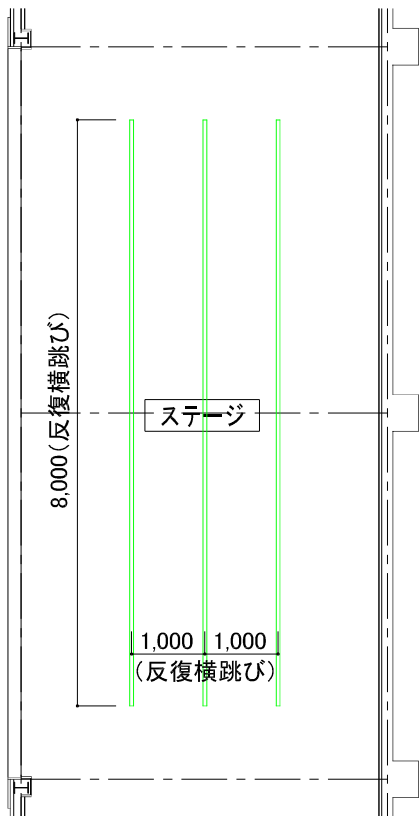
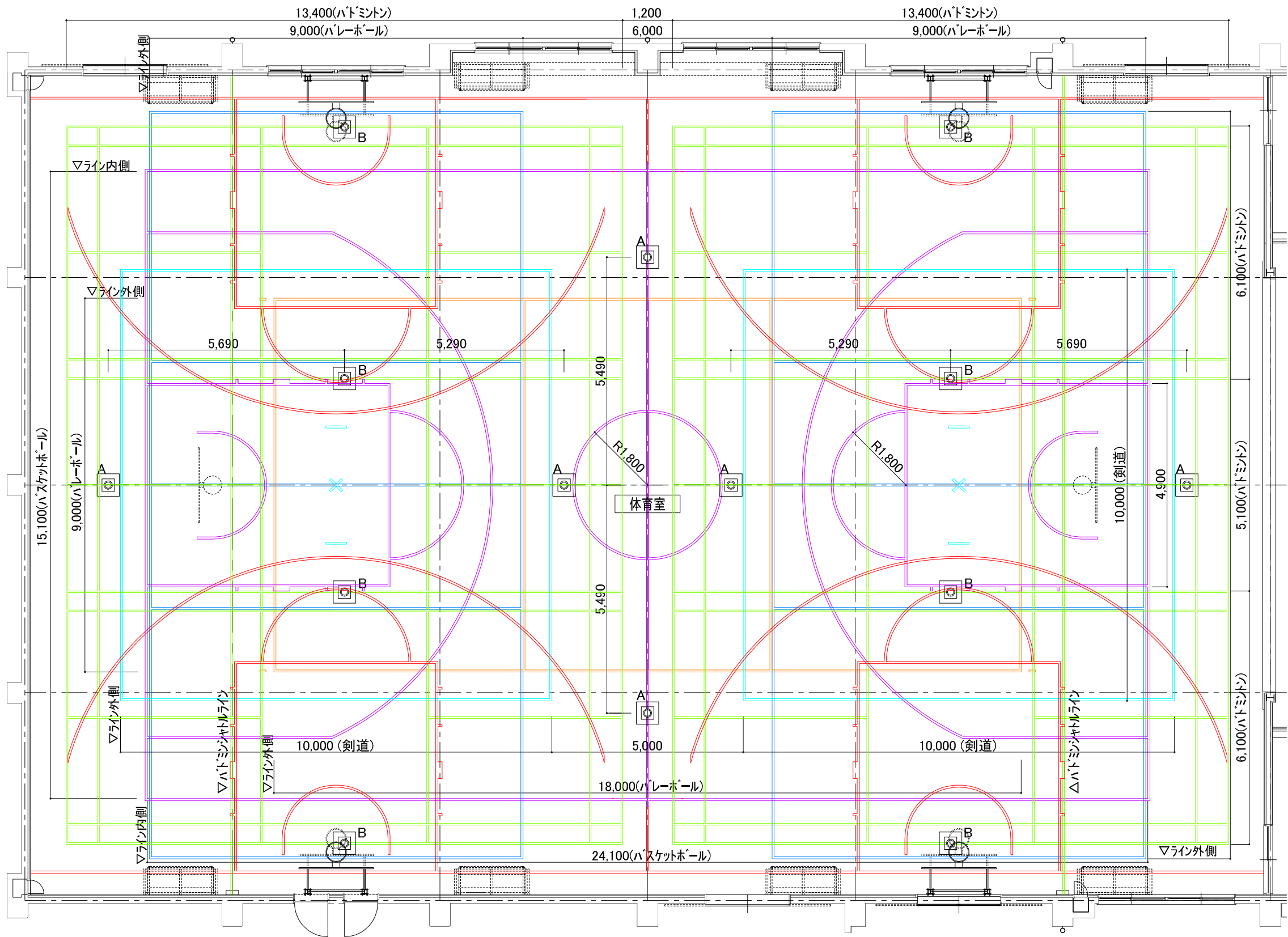


【バドミントン用床金具 S=1/10】



【体育館体育器具基礎納まり S=1/20】





支柱基礎(ポスト上蓋・中筒金物共) リスト

凡 例	競技名	か所
A	バレーボール	6
B	バドミントン	8

※ 詳細は、各部詳細図 参照

※ 支柱共新設

コートライン一覧表

優先順位	表示	コートライン名	線幅・色	コート寸法	コート数
①		メインバスケットコートライン	50mm 白線	24,100×15,100	1面
②		バスケットコートライン (ニュートラルのみ)	50mm 青線		2面
③		バレーボールコートライン	50mm 赤線	9,000×18,000	1面
④		バレーボールコートライン	50mm 赤線	9,000×18,000	2面
⑤		バドミントンコートライン	50mm 黄線	13,400×6,100	6面
⑤		バドミントンコートライン	50mm 黄線		25面
⑥		剣道	50mm 黒線	10,000×10,000	2面
⑦		反復横跳び	50mm 緑線	8,000	3本

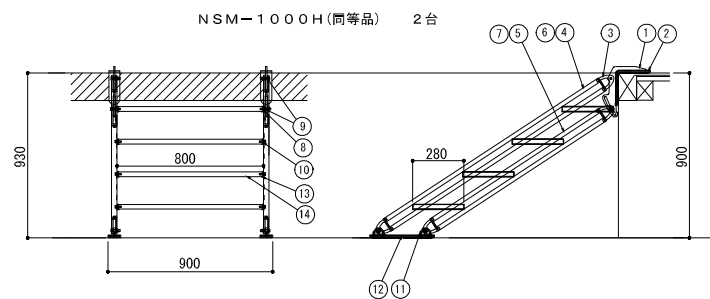
※ 各コートラインは既存位置優先とする

※ 各コートラインの交差部は重ね塗りとする

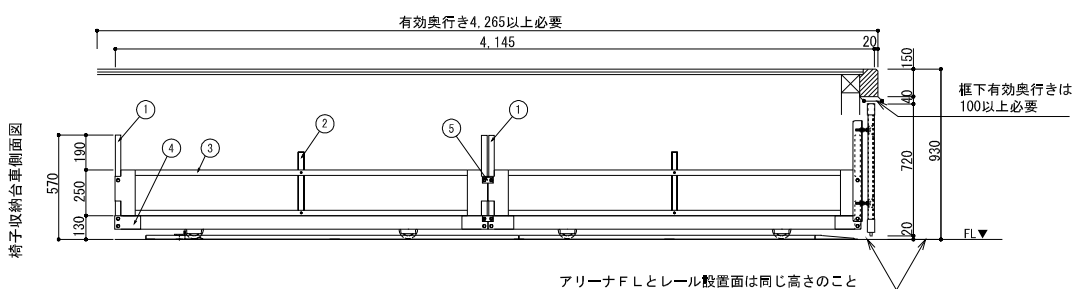
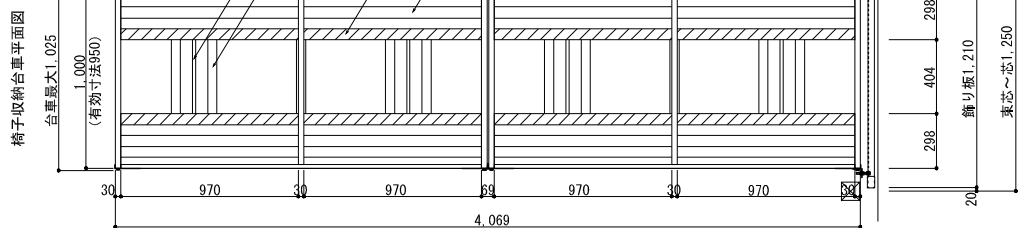
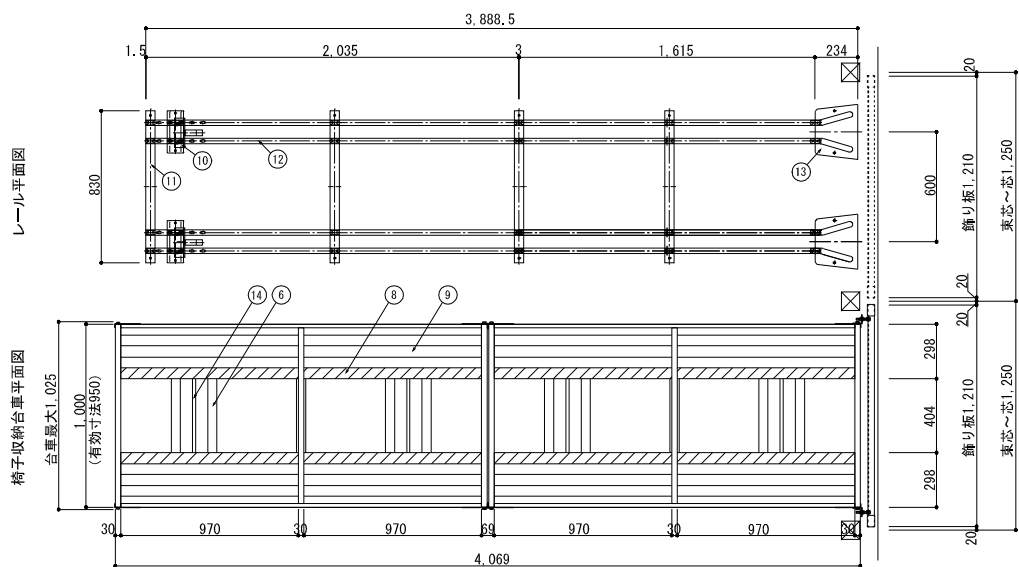
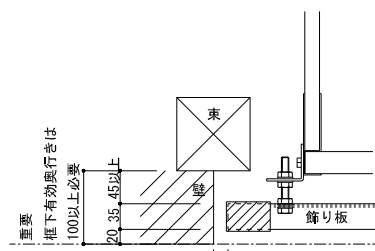
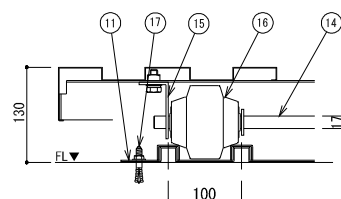
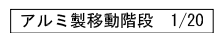
※ コートライン寸法は、競技用ポスト及び既存バスケットゴールと整合するよう十分調査の上、監督員の承諾を受けること

※ ポスト等の基礎の位置とコートラインについては施工図を作成し、監督員の承諾を受けること

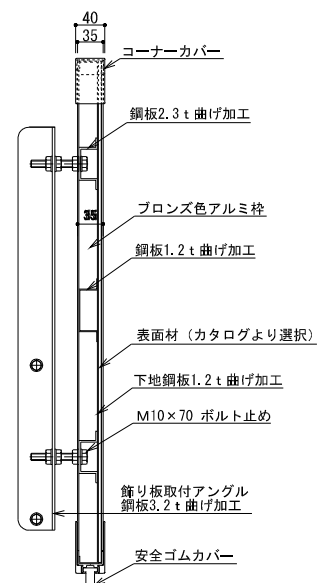
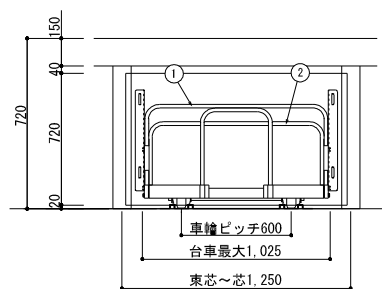
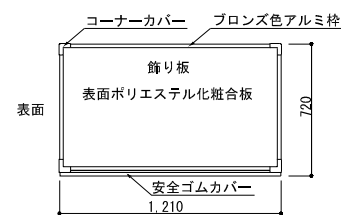
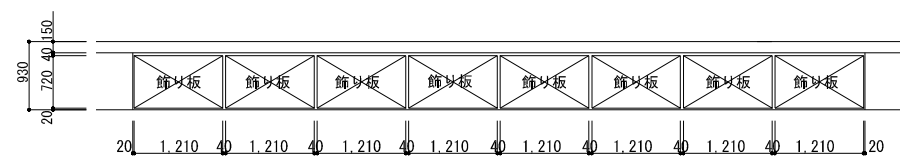
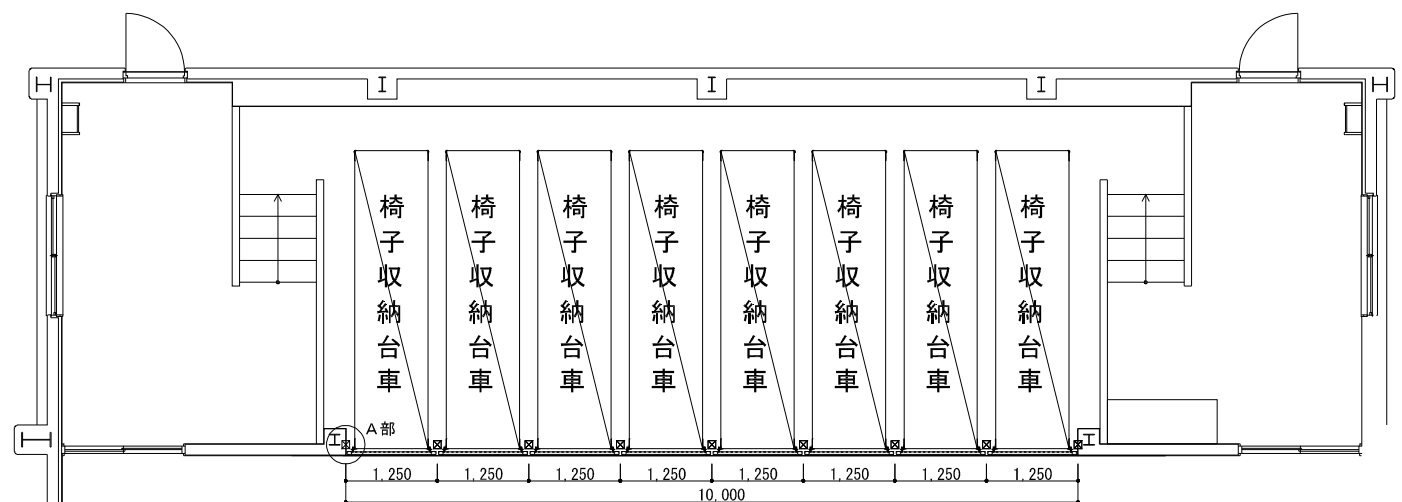




アルミ製移動階段主要構成部品仕様書			
品番	名称	材料・加工等	表面処理
1	フック	ALMダイキャスト製	粉体塗装
2	滑り止めゴム	成形品 6ミリ 差込	
3	Bkt 1	強化プラスチック製 (成型)	
4	支柱材 1	ALM押出し成形品 (80×30×3t)	粉体塗装
5	支柱材 2	ALM押出し成形品 (80×30×3t)	粉体塗装
6	支柱用フタ 1	ALM押出し成形品	粉体塗装
7	支柱用フタ 2	ALM押出し成形品	粉体塗装
8	カー 1	φ22×5t 穴径φ8.5	
9	カー 2	鋼スベアー (G080)	
10	カー 3	φ22×3t 穴径φ8.5	
11	Bkt 2&k 2	ALM押出し成形品	粉体塗装
12	脚ベース	ALM押出し成形品	粉体塗装
13	ステップカバー	ALM押出し成形品	粉体塗装
14	ステップ材	ALM押出し成形品	粉体塗装

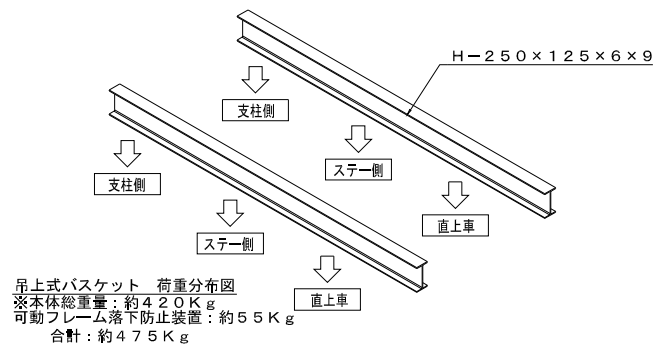
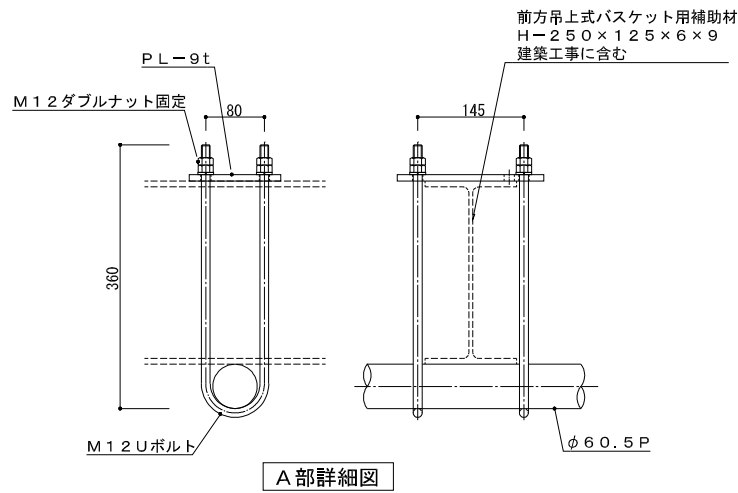


收納台車 1/20

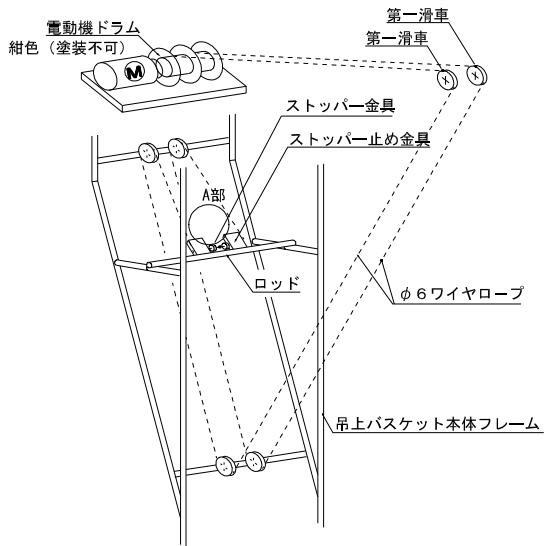


仕様
１. ＭＴトラック（同等品） 椅子収納台車 ８ビット ８台 寸法 W1,000×L4,000×H570
２. 篩り板 ８ビット ８枚
３. アルミ製移動階段NSM－１００Ｈ（同等品） ２台
４. レール地下 モルタル金ゴテ仕上げ

主 要 構 成 部 品 仕 様 書			
品番	品 名	材 料 ・ 加 工 等	表面処理
1	押 手	角鋼管 30×20×1.2	亜鉛メッキ
2	椅子倒れ止め	角鋼管 30×20×1.2	亜鉛メッキ
3	サ イ ド棒	角鋼管 30×20×1.2	亜鉛メッキ
4	コーナガセット	鋼板 2.3 t	黒色焼付
5	連結ＰＬＴ	鋼板 2.3 t	亜鉛メッキ
6	車輪サポート	鋼板 2.3 t	黒色焼付
7	補助サポート	鋼板 2.3 t	黒色焼付
8	椅子滑り止め	ポリエチレンシート	
9	床 板	亜鉛メッキ鋼板 1.0 t	亜鉛メッキ
10	ストッパー	鋼材 4.5 t	黒色焼付
11	レールサポート	鋼板 1.6 t	亜鉛メッキ
12	ガイドレール	鋼板 1.6 t	亜鉛メッキ
13	車輪ガイドベア	鋼板 1.6 t	亜鉛メッキ
14	車 輪	丸棒 φ17	亜鉛メッキ
15	軸 受	鋼材 4.5 t	黒色焼付
16	車 輪	車輪外径 φ100 MTトラック専用車輪	本体は 亜鉛メッキ
17	オールアンカー	M8×40	亜鉛メッキ
18	飾り板	表面材（カタログより選択） 下地鋼板 1.2 t	黒色焼付

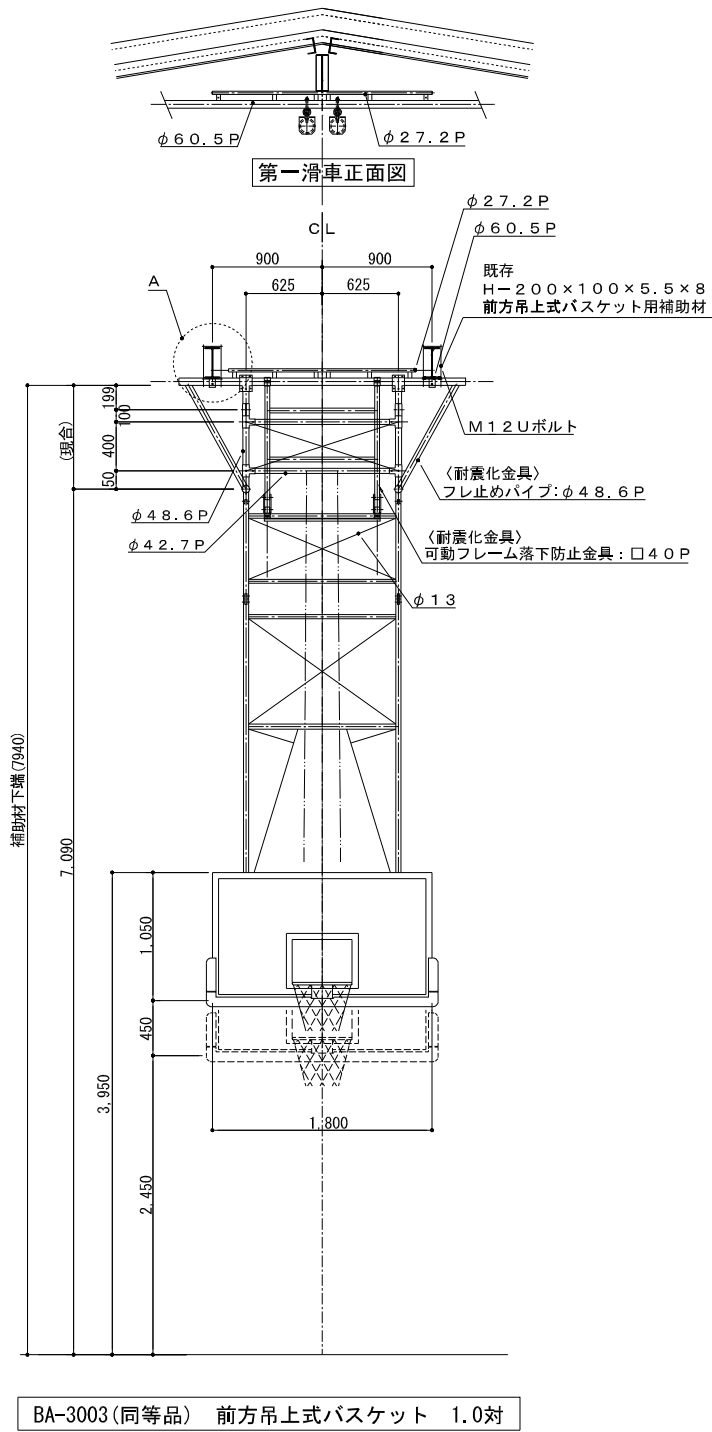
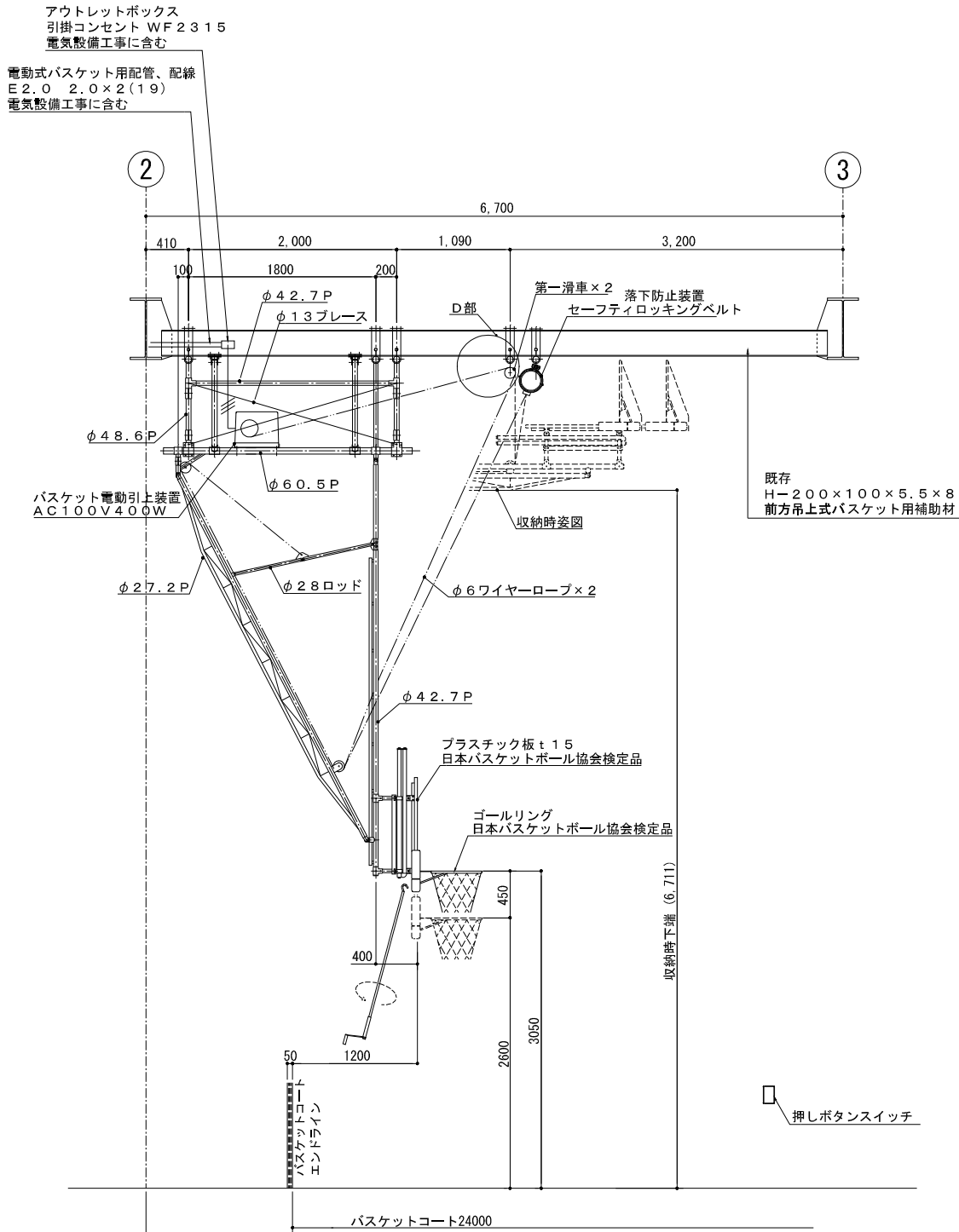


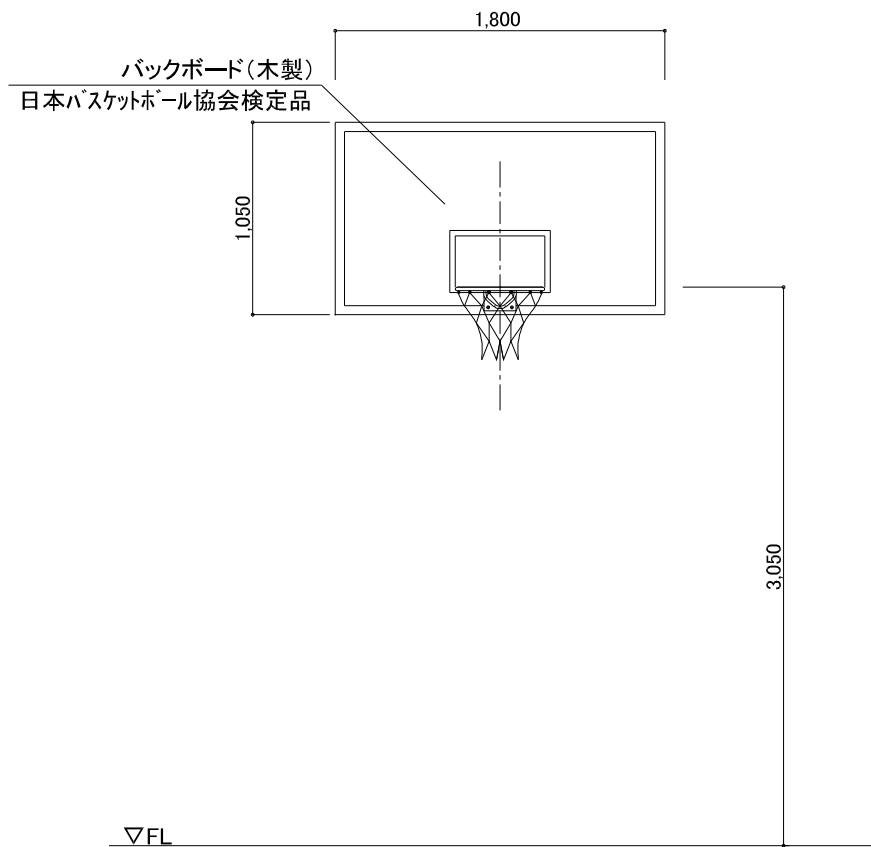
短期（ダンク時先端に1.5KNの荷重）		長期（通常線出時）	
直上車	0.13 (kN)	直上車	0.13 (kN)
支柱側	1.23 (kN)	支柱側	1.98 (kN)
ステー側	1.20 (kN)	ステー側	1.20 (kN)



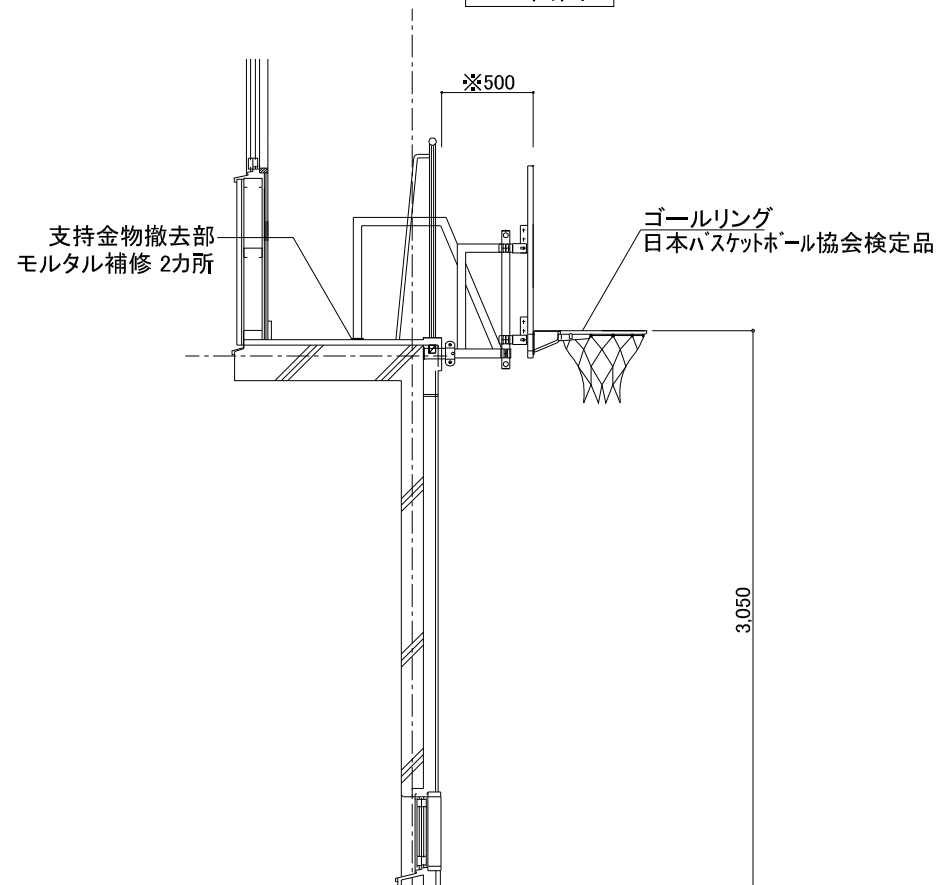
落下防止装置付（Wワイヤ方式）

- ・2本のワイヤロープは本体中央部で連結しており、端部は電動機（Wドラム）で巻取ります。
- ・どちらかのワイヤロープがどの箇所でも破断しても、本体中央部にあるストッパー金具により約100mmの移動後（落下後）、停止します。
- ※前方吊上式バスケット取付位置に昇降式照明、電気配管などの障害物が無い事。
- ※現地確認後、形状等変更になる場合があります。ご了承ください。
- ※落下の安全を確保するために、セーフティローockingベルト付とする。

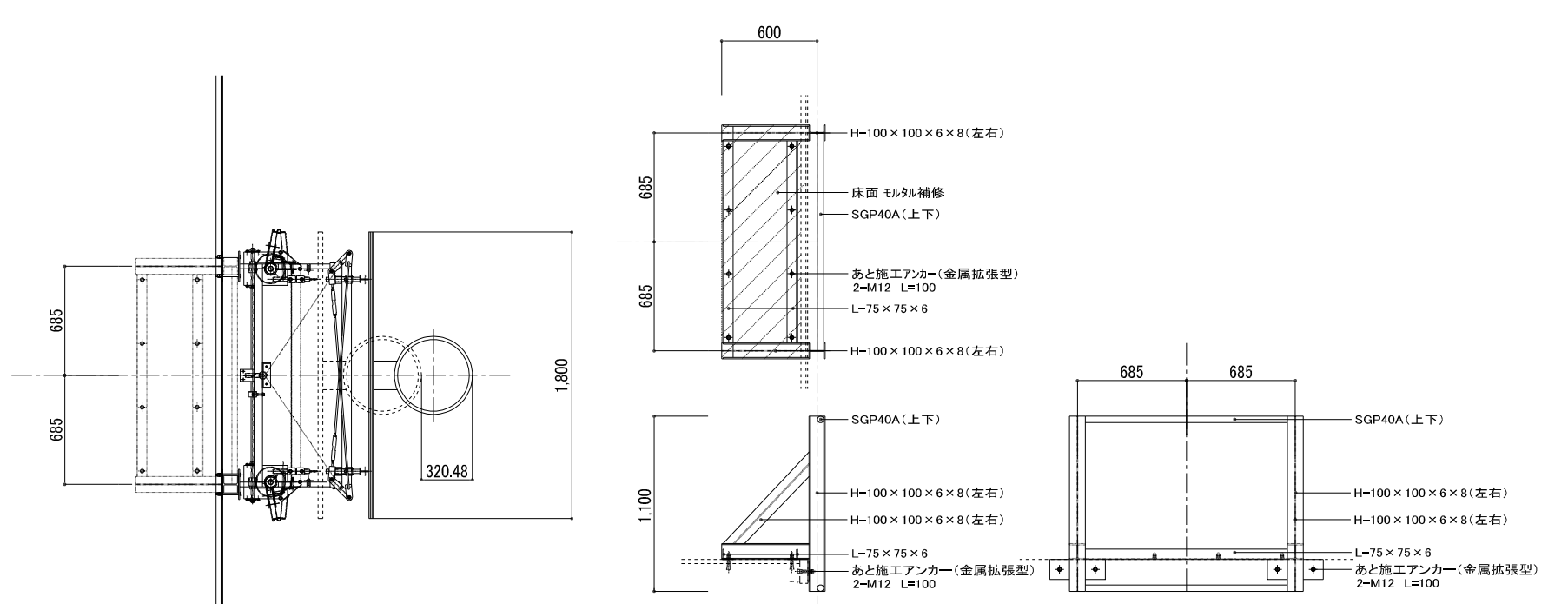




正面図

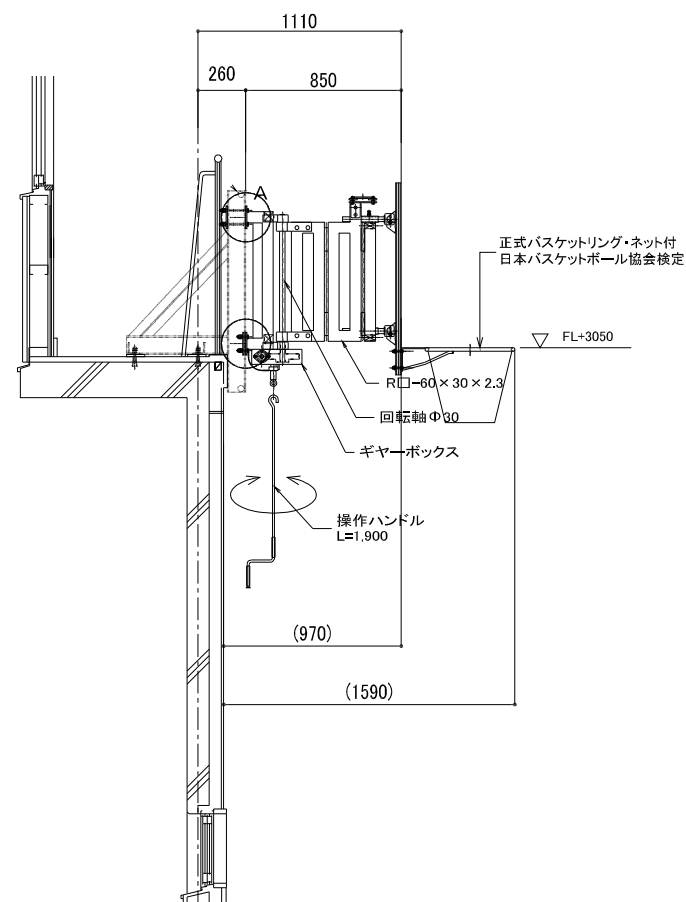


断面図

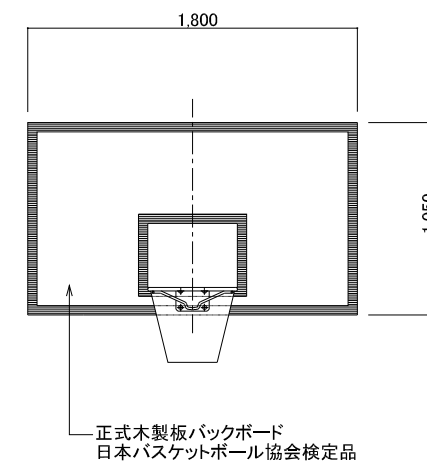


取付用鉄骨下地 建築工事

※鉄部は下地調整の上 SOP塗装・錆止め塗装



断面図



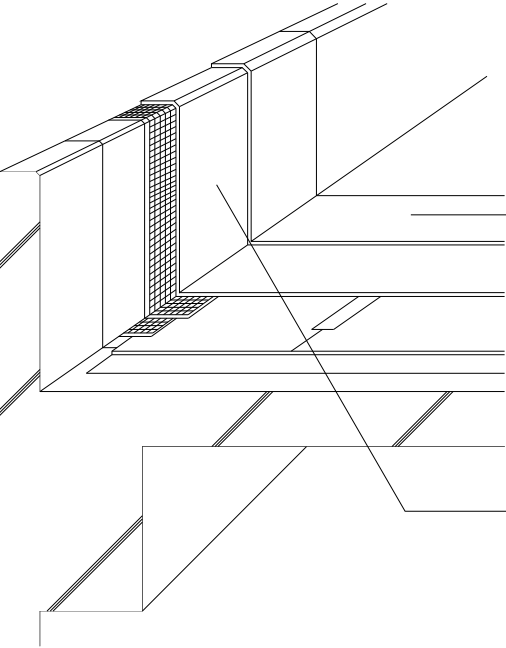
壁面固定折畳み式バスケット装置 (S=1/20)
イノコ BG-25F (同等品以上)
日本バスケットボール協会装置普及検定品

壁面固定式バスケット装置取り換え
既設バスケット装置 撤去処分



1. 標準仕様

- 1) 平 場:ウレタン塗膜防水(X-2)
- 2) 立上り:ウレタン塗膜防水(X-2)
- ※ 使用材料は全て環境対応型 とし、日本ウレタン建材工業会の「環境対応工法」認定品とする



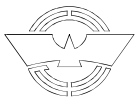
種別	平場:X-2工法	
工程	材料・工法	使用量(kg/㎡)
1	プライマー塗り	0.2
2	ウレタン防水材塗り、補強布張り	0.3
3	ウレタン防水材塗り	1.5
4	ウレタン防水材(1類)塗り	1.2
5	仕上塗料塗り	0.2

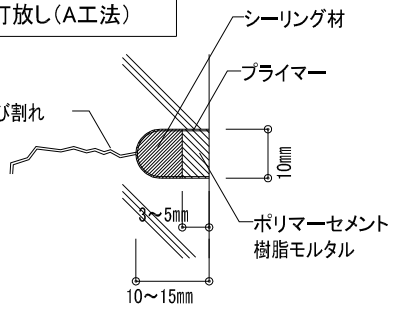
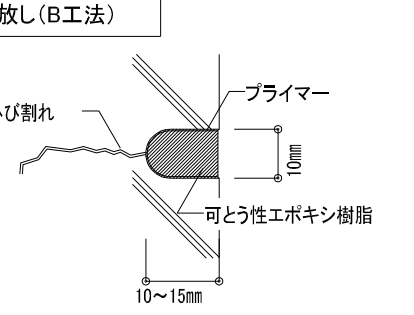
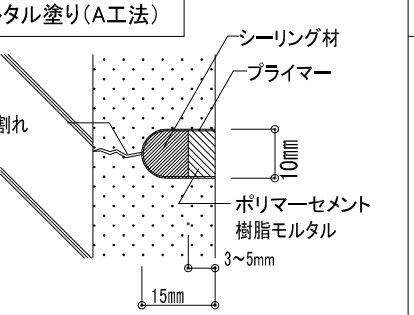
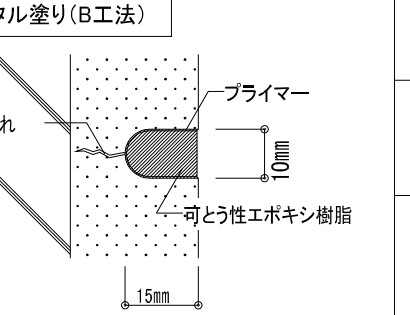
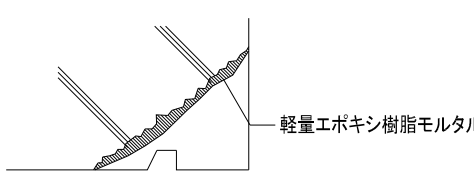
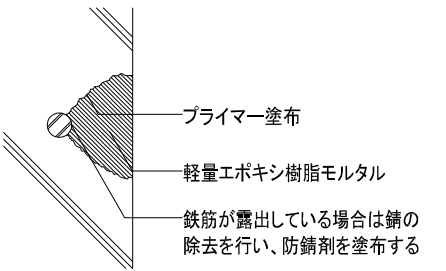
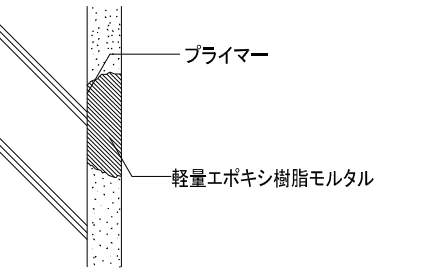
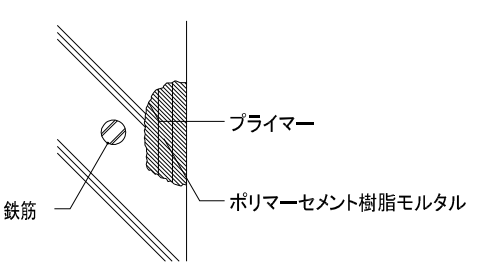
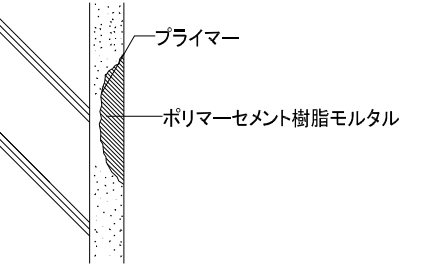
種別	立上り:X-2工法	
工程	材料・工法	使用量(kg/㎡)
1	プライマー塗り	0.2
2	ウレタン防水材塗り、補強布張り	0.3
3	ウレタン防水材塗り	0.9
4	ウレタン防水材(1類)塗り	0.8
5	仕上塗料塗り	0.2

施工留意事項:防水材塗継ぎの重ねは幅を100mm以上、補強布の重ねは幅を50mm以上とする

2. 下地処理:公共建築改修工事標準仕様書による

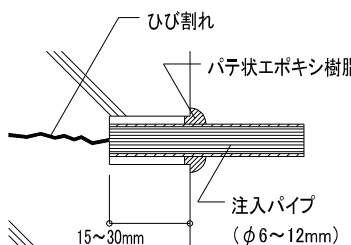
- 1) 既存下地に付着している異物はケレンし、全面を高圧水洗浄(加圧力10～15MPa)を行う
- 2) ルーフドレン部の改修を行う(改修用ドレン設置)
- 3) 平場・立上り面共、樹脂モルタルにて下地調整を行う
 - ※コンクリート面等のひび割れ部は、樹脂モルタルにて補修を行う
 - ※既存下地の欠損部及びぜい弱部は、樹脂モルタルにて補修を行う
 - ※ひび割れ幅が2mm以上の場合はUカットのうえ、ポリウレタン系シーリング材等を充填する



Uカットシーリング材充填工法				充填工法(軽量エポキシ樹脂モルタル)					
打放し(A工法)	 ※挙動あり:ひび割れ幅＞1.0mm	打放し(B工法)	 ※挙動あり:0.2mm≦ひび割れ幅≦1.0mm ※挙動なし:ひび割れ幅＞1.0mm	モルタル塗り(A工法)	 ※挙動あり:ひび割れ幅＞1.0mm				
モルタル塗り(B工法)	 ※挙動あり:0.2mm≦ひび割れ幅≦1.0mm ※挙動なし:ひび割れ幅＞1.0mm	打放 モルタル塗り	 軽量エポキシ樹脂モルタル						
補修範囲の確認 ↓ Uカット ↓ 孔内の清掃 ↓ プライマー塗布 ↓ シーリング材の計量 および混練 ↓ ・ひび割れの状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・ひび割れに沿って、幅10mm、深さ10～15mm程度のU字型の溝を設ける。 ・Uカット溝内部の切粉等をワイヤーブラシ、刷毛等で除去し、清掃する。 ・プライマーを溝内部に塗残しがないように均一に塗布する。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、気泡を巻き込まないよう充分混練する。計量は、可使時間内に使い切る量とする。 仕上げ塗材・下地調整材のいずれか、または両者に石綿含有の場合は「Uカットシーリング材充填工法」の採用不可		シーリング材の充填 ↓ 仕上げ ↓ 養生 ↓ 清掃 ↓ 自主検査 ・溝内にシーリング材をコーキングガンで、空隙や打残し等のないよう加圧しながら充てんし、表面を平滑に仕上げる。 ※A工法の場合はシーリング材をコンクリート表面から3～5mm程度低めに充てんする。 ・A工法:シーリング材の硬化後、ポリマーセメントモルタルをコンクリート表面に合わせて平滑に塗り込み仕上げる。 ・B工法:可とう性エポキシ樹脂の上に仕上塗材、塗料等を施す場合は、硬化前に表面にけい砂を散布する。 ・シーリング材が硬化するまで損傷、汚染等のないようにする。また降雨等からも養生する。 ・シーリング部以外の汚れ等を除去し、清掃する。 ・シーリング材の仕上がり状態、硬化状態および後片付けを確認する。							
充填工法(軽量エポキシ樹脂モルタル) ※ 危険性「大」の場合									
打放し	 プライマー塗布 軽量エポキシ樹脂モルタル 鉄筋が露出している場合は錆の除去を行い、防錆剤を塗布する	モルタル塗り	 プライマー 軽量エポキシ樹脂モルタル	打放し	 プライマー ポリマーセメント樹脂モルタル 鉄筋				
モルタル塗り	 プライマー ポリマーセメント樹脂モルタル								
補修範囲の確認 ↓ 下地処理 ↓ ケレン清掃 ↓ プライマー塗布 ↓ 軽量エポキシ樹脂 モルタルの計量・混練 ↓ ・欠損部の状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・欠損部の脆弱部分などを 手工具(※1)にて はつり取った後、ほこり等を除去して清浄で強固なコンクリート下地を出す。 ・鉄筋が露出している場合は、錆を除去する。 ・浮き錆はワイヤーブラシやサンダーでケレン清掃する。 ・防錆のためエポキシプライマーを塗布する。 刷毛で充分に浸透させながら行う。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、充分に混練する。		補修範囲の確認 ↓ 下地処理 ↓ ケレン清掃 ↓ プライマー塗布 ↓ ポリマーセメント樹脂 モルタルの割合・充てん ↓ ・欠損部の状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・手工具(※1)にて はつり取り、ほこり等を除去して清浄で強固なコンクリート下地を出す。 ・鉄筋が露出している場合は、錆を除去する。 ・浮き錆はワイヤーブラシやサンダーでケレン清掃する。 ・仕様に沿ったプライマーの調整を行う。 ・プライマーを被着面に塗り残しのないように塗布する。 ・ポリマーセメント樹脂モルタルは、仕様に基づいて割合してから充分に混練する。 ・欠損の状態の合わせ、数層に分けてポリマーセメント樹脂モルタルを充てん又は塗り付ける。 ・各層塗り厚は7mm程度とする。							
工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事				海老名市		図面名称	外壁の改修工法ディテールシート (1)		
						縮尺	NO SCALE	図面番号	A - 41

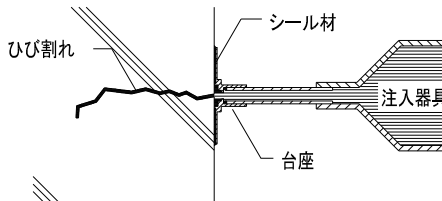
樹脂注入工法

打放し



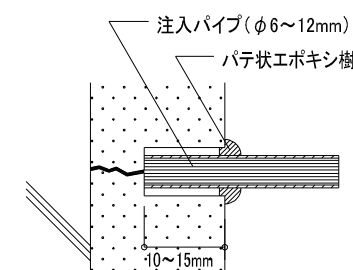
手動式樹脂注入工法
※挙動なし:ひび割れ幅＞1.0mm

打放し



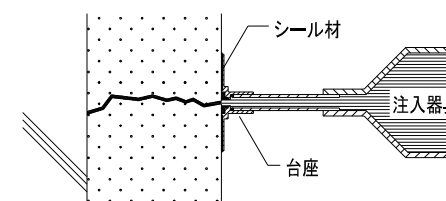
自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
※ひび割れ幅＞0.2mm

モルタル塗り



手動式樹脂注入工法
※挙動なし:ひび割れ幅＞1.0mm

モルタル塗り



自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
※ひび割れ幅＞0.2mm

補修範囲の確認

ひび割れ部の清掃

注入孔位置決め

台座の貼り付け

仮止めシール

- ひび割れの状況を確認し、補修範囲を決定する。
- ひび割れ部を中心に幅50mm程度の表面をワイヤーブラシ等で清掃する。
ひび割れ部が濡れている場合は、乾燥するまで作業は中止する。
- 注入孔位置を下記の表によりスケール等で測定し、チョークなどでマーキングする。

ひび割れ幅 (mm)	0.3以下	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0以上
注入孔の間隔 (mm)	50～100	100～200	150～250	200～300
- 台座または専用器具の注入口を塞がないように接着剤で固定する。
- メーカー仕様に基づき、仮止めシール材を施工する。
硬化するまで出来るだけ振動を与えないように注意する。

エポキシ樹脂の計量・混練

エポキシ樹脂の注入

エポキシ樹脂の硬化・養生

専用器具・仮止めシール材の除去

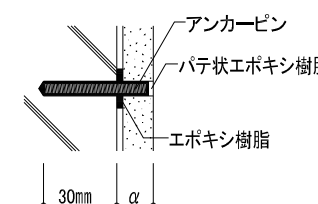
自主検査

- 主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、均一になるまで充分混練する。
- 専用器具にエポキシ樹脂を充填し、注入を行う。
注入状態を確認し、必要に応じてエポキシ樹脂を補充する。
- 注入作業完了後も専用器具を設置したまま硬化養生する。
・12時間以上の放置養生
- 皮スキ、ディスクサンダー、ホットエアガンなどを用いて専用器具及び、仮止めシール材を除去し、下地面を平滑に仕上げる。
- エポキシ樹脂の使用量及び、専用器具内の残量から注入量を確認する。

仕上げ塗材・下地調整材のいずれか、または両者に石綿含有の場合は、「自動式低圧エポキシ樹脂注入工法」を採用する。

アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

モルタル塗り

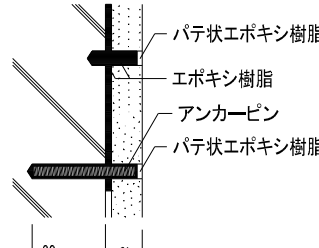


アンカーピン本数	
一般部分	16本／m2
指定部分	25本／m2
狭幅部	5本／m

※ 1ヶ所の浮き面積が0.25m2未満の場合

アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

モルタル塗り



アンカーピン本数(本／㎡)		
種類	項目	
一般部分	アンカーピンの本数	13本／m2
	注入口の本数	12本／m2
指定部分	アンカーピンの本数	20本／m2
	注入口の本数	20本／m2
狭幅部	アンカーピンの本数	5本／m
	注入口の本数	5本／m

※ 1ヶ所の浮き面積が0.25m2以上の場合

補修範囲の確認

アンカーピンニングの本数と配置の決定

せん孔 (※2)

孔内の清掃

アンカーピン固定用エポキシ樹脂の計量・混練

アンカーピン固定用エポキシ樹脂の注入

- テストハンマー等で打診し、浮きの状態と範囲を調べてマーキングする。
- アンカーピンニングのせん孔位置を右上表にてチョークでマーキングする。

せん孔径	30mm
せん孔深さ	α
- アンカーピンニング用のせん孔深さは、躯体コンクリートに30mm以上とする。
せん孔径は使用するアンカーピンの直径より2mm程度大きい直径とする。
- 孔内の切粉等をブラシや圧縮空気等で除去する。
- 主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、充分に混練する。
- グリスポンプを用いて、せん孔部の最深部から徐々にアポキシ樹脂を注入する。充填量は指定がある場合を除き1ヶ所当り25ccとする。
- 規定のアンカーピンを孔最深部まで埋め込む。
- 適切な長さのアンカーピンのねじ切り部分にアンカーピン固定用エポキシ樹脂を塗布してから、気泡の巻込みに注意して孔内最深部まで確実に挿入する。

アンカーピンの挿入

養生

アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

清掃

自主検査

- アンカーピン:ステンレス製全ネジφ4mm
アンカーピンの頭は仕上げ面から5mm程度引っ込むようにする。孔内よりはみ出したエポキシ樹脂は除去し、目立たぬ色のパテ状エポキシ樹脂で穴うめする。
- アンカーピン固定用エポキシ樹脂注入後、夏期15時間、冬季24時間以上は衝撃や振動を与えないようにし、また降雨等からも養生する。
- 注入部以外に付着した汚れを除去し、清掃する。
- テストハンマーで打診して注入状態を確認するとともに、後片付けも確認する。

残存浮き部への注入孔の位置決め

注入孔のせん孔 (※2)

孔内の清掃

ひび割れ等のシール

残存浮きへの注入

養生

仕上げ

清掃

自主検査

- テストハンマーで打診して残存浮き範囲を再確認し、注入孔位置をチョーク等でマーキングする。
- アンカーピン固定用エポキシ樹脂硬化後、躯体コンクリートに5mm以上の深さまでせん孔する。
- 孔内の切粉等をブラシや圧縮空気等で除去する。
- 注入時にエポキシ樹脂が流出する恐れのあるひび割れや開口部等は確実にシールし、硬化養生する。
- グリスポンプを用いてエポキシ樹脂を適切な注入圧を保ちながら、ゆっくり注入を行う。
注入順序は下部から上部へ、片端部から他端部へ打診しながら残存浮き部全面に注入する。
注入後注入孔をパッキン等でふさぐ。
- エポキシ樹脂注入後、夏期15時間、冬季24時間以上は衝撃や振動を与えないようにし、また降雨等からも養生する。
- アンカーピンニングおよび注入孔にパテ状エポキシ樹脂等を充てんし、仕上げを行う。
- 注入部以外に付着した汚れを除去し、清掃する。
- テストハンマーで打診して注入状態を確認するとともに、あとかたづけも確認する。

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事

海老名市

図面名称

外壁の改修工法ディテールシート (2)

縮尺

NO SCALE

図面番号

A - 42

■ 金属屋根改修塗装仕様		
遮熱塗料塗り(屋根用高日射反射率(遮熱)弱溶剤系高耐候型変性シリコン樹脂塗料)		[ガルバリウム鋼板屋根面]
工程・材料	工法	所要量
下地調整	「高圧水洗機」による水洗い工法」又は、 「水洗い」にて汚れ・付着物・下地に適さない 劣化した既存塗膜を除去後、十分に乾燥させる	加圧力10～15MPa
下塗り	刷毛・全面にローラー塗り 塗装間隔(23℃)8H～7D	0.22kg／㎡以上 ウエット膜厚150 μ m ドライ膜厚55 μ m
上塗り(1～2回) 屋根用高日射反射率(遮熱)弱溶剤系高耐候型変性シリコン樹脂塗料 (ミラクールS100 各色 同等品)	刷毛・全面にローラー塗り 塗装間隔(23℃)4H～7D	0.22～0.25kg／㎡以上 ウエット膜厚180 μ m ドライ膜厚70 μ m

■ 外壁改修塗装仕様		
防水形複層塗材E (JIS A 6909)		[外壁垂直面・外壁水平面・小庇等小面積の上裏・ALCパネル(凸凹模様)]
工程・材料	工法	所要量
下地調整	「高圧水洗機」による水洗い工法」又は、 「水洗い」にて汚れ・付着物・下地に適さない 劣化した既存塗膜を除去	加圧力10～15MPa
下地調整塗材(C-1 ポリマーセメント系) (※1)	全面にローラー塗り	0.8kg／㎡以上
下塗り 防水形複層塗材用下塗材 (JIS A 6909)	全面に吹付 1回	0.1kg／㎡以上
増塗り 防水形複層塗材用下塗材 (JIS A 6909)	出隅・入隅・目地部・開口部回り等には はけ又はローラー塗りにより、端部に段差の ないように塗り分ける	0.9kg／㎡以上
主材基層塗り	全面に吹付 2回	1.7kg／㎡以上
主材模様塗り(パラペット天端等の平場はフラット)	全面に吹付	0.9kg／㎡以上
上塗り(JIS A 6909) フッ素系・1液・水系	全面に吹付 2回	0.25kg／㎡以上

外装合成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材(外装薄塗材E) (JIS A 6909)		[庇・軒裏コンクリート面]
工程・材料	工法	所要量
下地調整(既存下地の場合)	「高圧水洗機」による水洗い工法」又は、 「水洗い」にて汚れ・付着物・下地に適さない 劣化した既存塗膜を除去	加圧力10～15MPa
下地調整塗材(C-1 ポリマーセメント系) (※1)	全面に吹付け、またはローラー塗り	0.8kg／㎡以上
下塗り	全面に吹付	0.1kg／㎡以上
主材塗り	全面に吹付 2回	1.5kg／㎡以上

(※1)下地補修等で不陸が著しく生じる部分は下地調整塗材(C-2 ポリマーセメント系)を使用すること

水性アクリル樹脂系塗床(防滑仕上) 塗替え		[階段,通路]
工程・材料	工法	所要量
下地調整	「高圧水洗機」による水洗い工法」又は、 「水洗い」にて汚れ・付着物・下地に適さない 劣化した既存塗膜を除去	加圧力10～15MPa
下地調整塗材(C-1 ポリマーセメント系) (※1)	全面にローラー塗り	0.8kg／㎡以上
下塗り 水性アクリル樹脂系塗床材	全面にローラー塗り	0.4kg／㎡以上
仕上塗料塗り(防滑仕上) 水性アクリル樹脂系塗床材	全面にローラー塗り	0.6kg／㎡以上

■ ガラス繊維天井改修塗装仕様		
飛散防止塗料塗り(表面固化粉塵飛散防止処理工法)		[ガラス繊維天井面]
工程・材料	工法	所要量
下地調整	小さな傷・ほつれ等は押えて補修する 剝離・脆弱部分は撤去	
表面固化 飛散防止塗料塗り(表面固化粉塵飛散防止処理工法) (ロックシール工法R 同等処理工法)	エアレススプレー 工程内2以上	0.6～1.0kg／㎡ 18～30㎡／18kg(2回での量)

■ 外部鉄部改修塗装仕様		
耐候性塗料塗り DP塗装(鉄鋼面改修)		
工程・材料	工法	所要量
下地調整(RB種) 既存塗膜の除去 汚れ、付着物除去 油類除去 研磨紙ざり	ディスクサンダー、スクレーパー等により劣化部分を全面除去し活膜は残す 素地を傷つけないようにワイヤブラシ等により除去する 溶剤ぶき 研磨紙P120～220で全面を平らに研磨する	
下塗り(2回) 変性エポキシ樹脂プライマー E種	はけにて全面塗り付け 塗装間隔(20℃)24時間以上～7日以内	0.14kg／㎡以上
研磨紙ざり	研磨紙P120～220で研磨する	
中塗り 鋼構造物用耐候性塗料(JIS K5659) 中塗り塗料	はけにて全面塗り付け、塗料用シンナーA 塗装間隔(20℃)24時間以上～7日以内	0.14kg／㎡以上 希釈率0～10%
上塗り 鋼構造物用耐候性塗料(JIS K5659)フッ素系塗料 1級	はけにて全面塗り付け、塗料用シンナーA	0.10kg／㎡以上 希釈率0～10%

■ 内部鉄部改修塗装仕様		
合成樹脂調合ペイント塗り SOP塗装(鉄鋼面改修)		
工程・材料	工法	所要量
下地調整(RB種) 既存塗膜の除去 汚れ、付着物除去 油類除去 研磨紙ざり	ディスクサンダー、スクレーパー等により劣化部分を全面除去し活膜は残す 素地を傷つけないようにワイヤブラシ等により除去する 溶剤ぶき 研磨紙P120～220で全面を平らに研磨する	
下塗り(1回目)+研磨紙ざり下塗り(2回目) 鉛・クロムフリー錆止めペイント(JIS K5674) A種 パテかい(JASS18M-110)+研磨紙ざり	はけにて全面塗り付け、研磨紙P120～180で全面研磨する 塗装間隔(20℃)24時間以上～7日以内	0.10kg／㎡以上
中塗り(1回目)+研磨紙ざり+中塗り(2回目) 合成樹脂調合ペイント塗料(JIS K5516) 1種	はけにて全面塗り付け、塗料用シンナーA、研磨紙P220～240で全面研磨する 塗装間隔(20℃)24時間以上～7日以内	0.09kg／㎡以上
上塗り 合成樹脂調合ペイント塗料(JIS K5516) 1種	はけにて全面塗り付け、塗料用シンナーA	0.08kg／㎡以上

■ 内部木部改修塗装仕様		
OSCU塗り 水性1液ウレタン塗料塗り(木部面改修)		
工程・材料	工法	所要量
新設の場合 :素地ごしらえ,木部B種 既存塗膜ある場合:下地調整,木部RA種(既存塗膜全面除去)		
着色(2回) 水性自然系木部用浸透型着色剤 OS (VATON FX各色同等品) ふき取り	刷毛塗り/ローラーにて全面塗り付け 塗装間隔(23℃)16時間以上 全面白木綿布片でふき取る	0.03kg／㎡以上
下塗り・中塗り(艶有り) 水性ウレタン塗料(無黄変タイプ)(水性VATON FXフロアNX同等品) 研磨紙刷り	羊毛モップ塗り/刷毛塗りにて全面塗り付け 塗装間隔(23℃)16時間以上 研磨紙P240～320	0.05kg／㎡以上 (0.08～0.10)
上塗り(各艶) 水性ウレタン塗料(無黄変タイプ)(水性VATON FXフロアNX同等品)	羊毛モップ塗り/刷毛塗りにて全面塗り付け	0.05kg／㎡以上 (0.08～0.10)

2液形ポリウレタン樹脂ワニス塗料(床面改修)		[ステージ床、体育室床面]
工程・材料	工法	所要量
体育室床の場合:素地ごしらえ,木部B種 ステージ床の場合(既存塗膜ある場合):下地調整,木部RA種(既存塗膜全面除去)		
下塗り(1回) 水性2液型ポリウレタンワニス 研磨紙ざり(研磨紙240～320)	専用アプリケーションター(ムートン等)/刷毛塗り 塗装間隔(20℃)16時間以上3日間以下	0.06kg／㎡以上
中塗り(1回) 水性2液型ポリウレタンワニス 研磨紙ざり(研磨紙240～320)	専用アプリケーションター(ムートン等)/刷毛塗り 塗装間隔(20℃)6時間以上	0.06kg／㎡以上
コートライン引き(体育室床) 溶剤型1液ポリウレタン樹脂塗料 50mm(コートライン一覧表による)	刷毛塗り 塗装間隔(20℃)12時間以上3日間以下	0.06kg／㎡以上
上塗り(1回) 水性2液型ポリウレタンワニス	専用アプリケーションター(ムートン等)/刷毛塗り	0.06kg／㎡以上

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

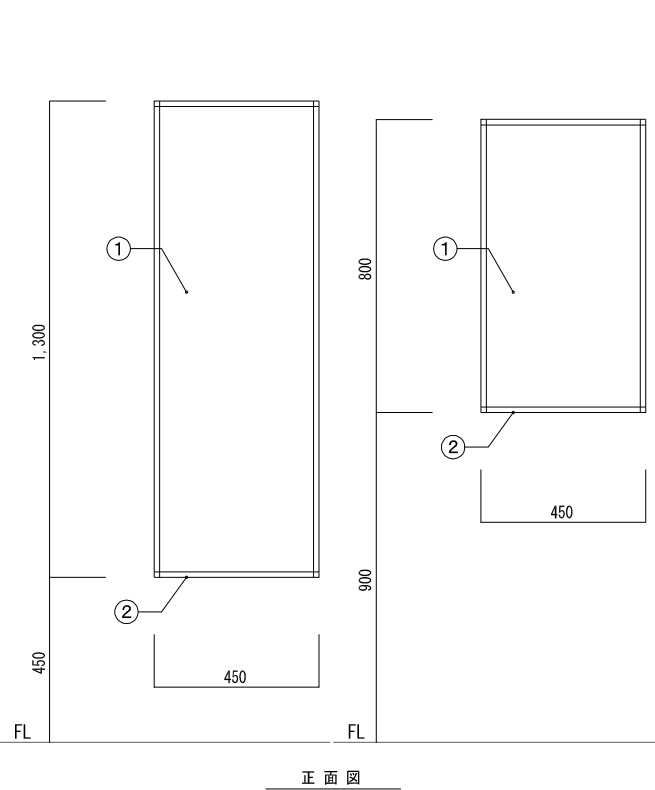
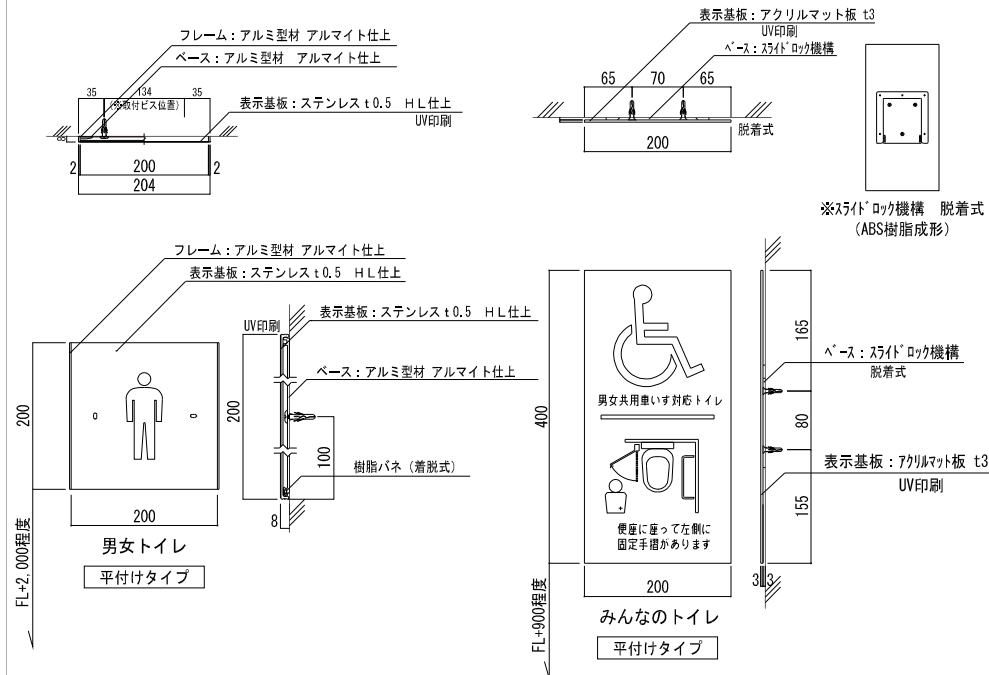
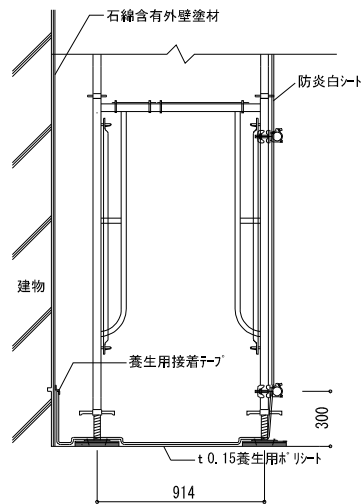
改修塗料等仕様書

縮尺

NO SCALE

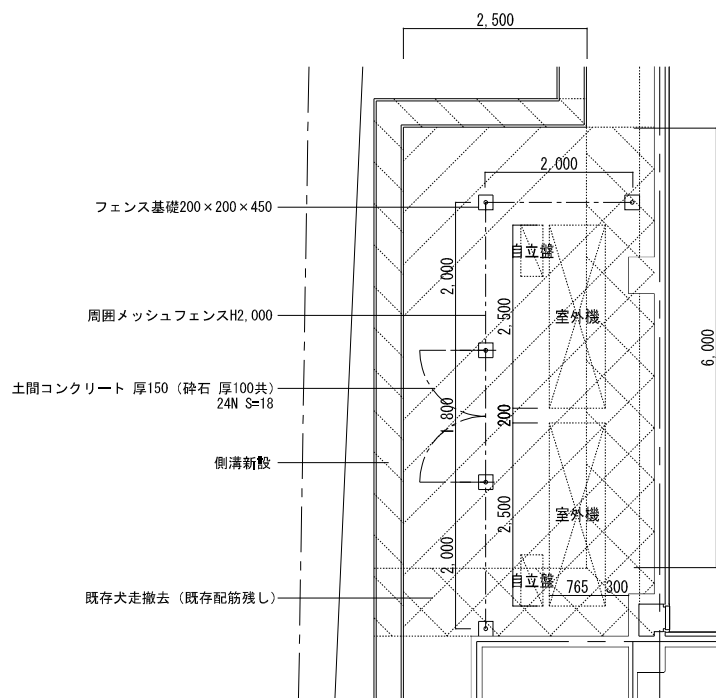
図面番号

A - 43

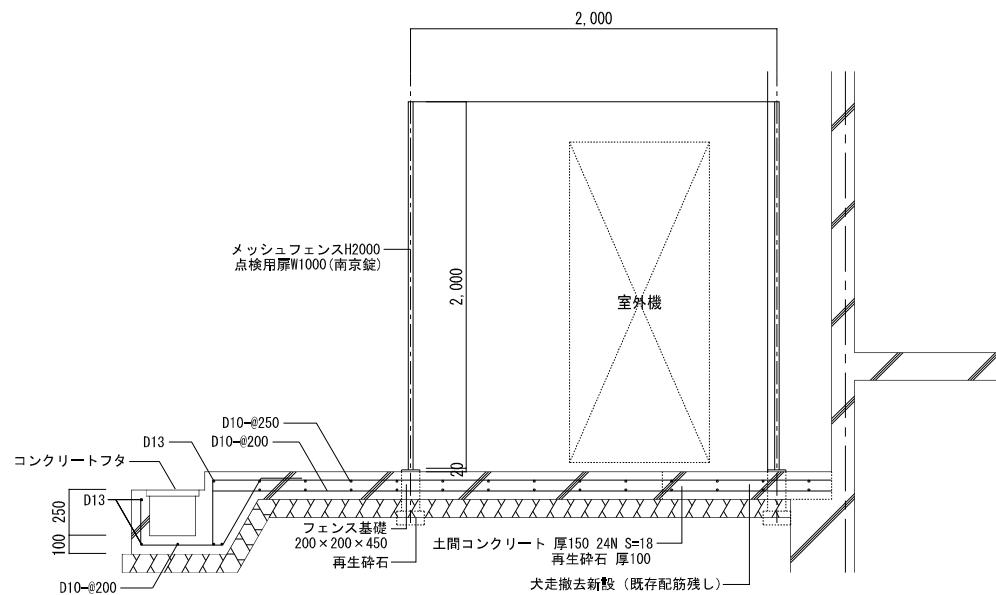
[illegible]

※高圧水洗工法を行う際に、汚染水の流出防止のため防水性能のあるシートを用いて床養生を敷ける。

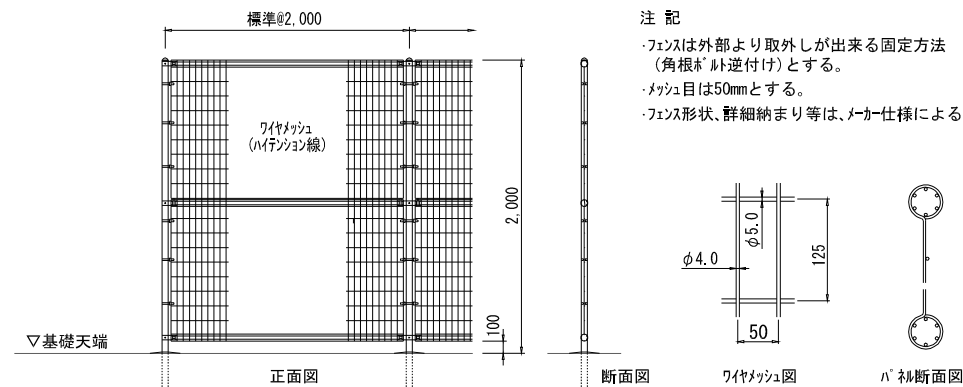
※石綿含有仕上塗材面に足場つなぎを設置する場合は、集じん機付きドリルを使用する。



【空調室外機周圍平面図 1/50】



【空調室外機周囲断面図 1/20】



【ネットフェンス詳細図 1/30】

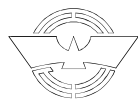
注記

・フェンスは外部より取外しが出来る固定方法
(角根ボルト逆付け)とする。

・メッシュ目は50mmとする。

・フェンス形状、詳細納まり等は、メーカー仕様による。

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

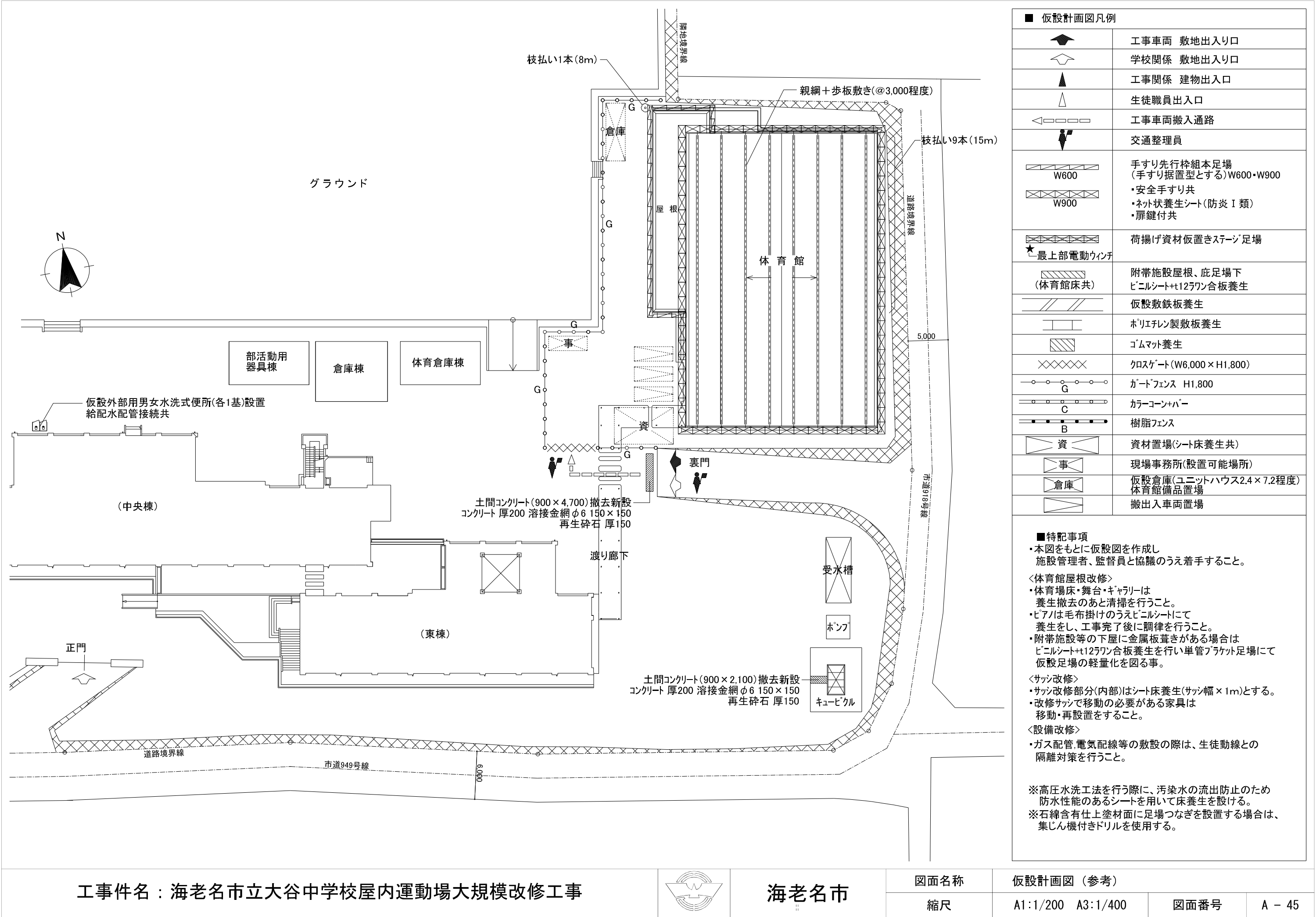
図面名称

雜詳細圖

縮尺

A1:1/10 ▪ 20 ▪ 30 ▪ 50 A3:1/20 ▪ 40 ▪ 60 ▪ 100

A - 44



工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

仮設計画図（参考）

縮尺

A1:1/200 A3:1/400

図面番号

A - 45

1. 工事概要						
1. 工事名称		海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事				
2. 工事場所		海老名市大谷南2丁目10番1号				
3. 建物概要						
建物用途	工事種別	敷地面積	階 数	構 造	建築面積	延床面積
屋内運動場	大規模改修工事	22,035.59㎡	平屋建	1階：鉄筋コンクリート造・吹抜付部：鉄骨造	877.72㎡	817.13㎡

(対策部分：)

Ⅱ 特記仕様書

1. 特記事項

(1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁審判部監修の公共建築工事標準仕様書(電気設備仕様書、最新版)、公共建築改修工事標準仕様書(設備設備工事編、最新版)以下(標準仕様書という。)、同部監修・同部監修監定の「公共建築設備工事標準図(電気設備仕様書、最新版)以下(標準図という。)、及び国土交通省大臣官庁官庁審判部監修の「公共建築工事標準図(最新版)」による。

(2) 機械設備工事及び建築工事を含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を用いる。

2. 特記事項

(1) 項目は番号に○印の付いたものを用いる。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを用いる。○印の付かない場合は、×印の付いたものを用いる。

○印と×印の付いた場合は、共に適用するものとする。

事	⑤ 施工計画書および 施工図等	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画書と当該施工計画書を作成し、監査監理員に提出する。 工事別施工要領書及び施工図等を作成し、監査監理員の承認を受ける。
項	⑥ 工事実施情報の登録	積負額が500万円以上の場合は、CORISに登録する。 労務費、資材費及び完成品とあつたの監査監理員等に提出し、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を監査監理員に提出すること。
	⑦ 手続き	工事の着手、施工及び完成において、官公署その他関係機関へ必要の手続き等とは監査監理員と協議の上、積負員が滞滞なく処理する。なお、当該手続きに係る費用は積負者の負担とする。

・ 現場において再利用を図るもの()

・ 再資源化を図るもの()

・ その他安定型廃棄物 ()

・ 受入施設名・所在地 ()

・ その他管理型廃棄物 ()

・ 受入施設名・所在地 ()

PCBを含有する機器等については、飛散・流出がないよう現場において適切な場所に保管すること。
その他環境に配慮した取扱いを要するものは、飛散・流出がないよう現場において適切な場所に保管すること。

重要機器類
・ 配電盤 ・ 発電装置 ・ UPS装置 ・ 直流電源装置
・ 交換機 ・ 受信機(自立型) ・ 中央監視装置 ・ 情報通信ラック
重量が100kg以下の軽量の機器(標準仕様書の適用を受けるものは除く)においても、耐震を考慮し、据付等を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。

30 接地地の選別・表示等	接地地は図面に特記なき場合、下表に示る。なお、Eの値は、500mmとする。 ただし、D=10は、1,000mm、W=30は、1,200mmとする。 装設機器及び屋内打用接地地の強度規格は不適用。	接地地抵抗値	接地地の規格、数量
接地地の区分	記号	接地地抵抗値	接地地の規格、数量
・ 避雷保護用接地	ELA	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3道－組
・ 避雷保護用接地	ELA	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3道－組
・ 避雷保護用接地	E1A・E2・ELH	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3道－組
・ 共同接地	E1A・E2・C・ED	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3道－組
・ A種	EA	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3道－組
・ B種	EB	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×2道
・ C種	ED	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3道－組
・ D種	EC	100Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3道
・ 構内交換機(隠隠)用	E t	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3道－組
・ 機架設置の保安装置	E a t	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3道－組
・ 電圧計口の保安装置	ED	100Ω以下	EB(D=14又はW=40)×1
・ 配電盤絶縁	E o	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×1
・ 防犯装置用	ES	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3道－組
・ 測定用	E o	—	EB(D=10又はW=30)×1
・ 測定器用(低圧用)	EL L	100Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3道－組
・ 測定器用(高圧用)	EL H	100Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3道－組
・ 構造用接地地	—	—	建築構造体利用(適用用も含む)

--	--

1. 工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 制御室類
2. 電気方式	・ 幹線 三相3線式 200V 50Hz ・ 分岐 三相3線式 200V
3. 施工方法	幹線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 分岐 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 屋外露出 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ボックス ・ 合成樹脂製 ・ 金属製 ・ ケーブル配線
4. 警報警	※ 壁掛形（電器装置 ※ 内蔵 ・ 別置 ） ・
5. 電圧・電流（電圧閉鎖器用押扣（遠方操作用）	※ 遠達用形配線器具 ・
6. 機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。
7. 電線管等の接地	図示以外は金属管接地とする。
8. 進相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。
9. 電気自動車用急速充電装置	・ 機器類 ・ ・ 定格容量 kVA

機内交換設備	1. 工事範囲	・ 交換機	・ 電話機	・ 配線 (全部)	・ 端子盤以降)
	2. 電話交換機	形式 回線数	・ ボタン電話装置 局線	・ PBX 回線	・ 内線 回線
	3. 電話機への配線	・ EM-BTIEE ・ ワイヤプロテクタ	(標準型) 外形寸法約 20×8×1.5m		
	4. ローテーションアウト レット (龜甲型)	※ 一般型適用 種別各金型	個 (・ 納入する ・ 取り付ける) アルミ製		

		ホックス	・ 管成樹園裏	・ 笠島裏		
情	2. 構内情報通信設備	種類	・ 10BASE-T	・ 100BASE-TX	・ 1000BASE-T	・ ATM
報	3. 情報表示設備		・ 情報表示盤（ ・ 発光ダイオード式 ・ プラズマ式 ・ 液晶式 ） ・ 観時計 回線（ ※ 壁掛形 ・ 自立形 ） （ ・ 電子チャイム組込 ・ プログラムタイマー組込 ）			

	① 工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器類
火	② 火災報知装置	・ 警報器 ・ 自立形 ・ 受信機 ・ 設 ・ 送信機 型 線 回路（アドレス） ・ 制御機能 線 回路（緑線、自動閉鎖 回路、ガス漏れ 回路） ・ 測定機能 線 回路 ○ 機器収容箱 ・ 専用形（・ 埋込形 ・ 露出形） ・ 屋内消火栓箱に組み込み ・ 感知器具 スポット型 線紋 傷（ ・ 自動試験機能付）
災	3. 非常警報装置	・ 非常ベル（自動式サイレンを含む） ・ 非常放送装置
報	4. 自動閉鎖装置	・ 連動制御盤 回路（遠方復帰機構 回路） ・ 単独 ・ 連動器（自立形） ・ 火災受変機などとの複合型 ・ 自動閉鎖機能 ・ 防火戸開（本工事、電気式又は手押し、DC24V、0.6A以下） ・ 防煙シャッター（別送、時常常電式又は電動式、DC24V、0.6A以下、 遠方復帰機構（電動式）、DC24V、0.7A以下） ・ 防火シャッター用（別送、DC24V、0.6A以下）
地		

備	5、ガス漏れ電警装置 ・ 受信機 国線 (・ 都市ガス用 ・ 液化石油ガス用) ・ 単独 ・ 壁掛形 ・ 自立形 ・ 火災受信機などとの複合座 ・ 感知器 ・ 併設 ・ 運動 ・ 定格電圧 (・ AC100V ・ DC24V) ・ ガス検知出力信号 (・ 有電圧出力方式 ・ 無電圧接点方式)
備	6、消火器類 ・ 消火器 種類 ・ 数量 本 ・ 消火器収納箱 仕様 ・ 材質 ・ 数量 面

電 力 配 備				通 信 配 備				
	電 源	測 点	取付高さ (mm)		通 信	測 点	取付高さ (mm)	
電力 共通	取付計器	地上・中心	約 1,400	電	刃込線路配線	地上・引込部	200	
	引込開閉器	床土上中心	1,800～2,200		集合電気室器	天井下上端	200	
	分電盤	床土上中心	1,500上端、1,900以下		純子室(廊下・室内)	床土下下端	300	
					〃 (E・F・S など)	床土上中心	1,600	
電	スイッチ (一般)	床土上中心	1,300	結	壁付アクトレック (一般)	床土上中心	900	
	〃 (和室)	〃	1,200		〃 (和室)	〃	150～200	
	コンセント (一般)	〃	1,200		時	壁掛時計時計	床土上中心	1,500上端、2,000以下
	〃 (和室)	〃	150～200		子持箱	〃	2,300	
	〃 (台上)	台上上中心	100		和	壁掛形式エアコン	〃	2,300
	〃 (ファン用)	床土下下端	ファン下端		〃	壁付エアコンター	〃	1,300
	〃 (廊下)	〃	800～1,000		通	壁付アクトレック (一般)	〃	1,800
	〃 (廊下)	〃	1,300		〃 (和室)	〃	1,500～200	
	〃 (板橋室)	〃	500～1,900		鏡	後背り窓鏡	天井下上端	200
	〃 (土間)	〃	800～1,300		鏡	直列ユニット (一般)	床土上中心	300
灯	ブラケット (一般)	床土上中心	2,100～2,300	〃	〃 (和室)	〃	2,100	
	〃 (鏡)	〃	2,000～2,200		警	表示板	床土上中心	2,300
	〃 (鏡上)	鏡上端上中心	150		報	壁付受信機	〃	2,300
	避難口誘導灯	床土下下段	1,500以上		表	ベル・ブザー・チャイム	〃	2,300
	廊下廊下誘導灯	床土上下段	1,000以下	〃	壁付押ボタン (一般)	床土上中心	1,300	
				〃 (身体障害者玄関)	〃	900		
配	壁掛形制面鏡	床土上中心	1,500上端、2,000以下	示	受電機	床土上中心	800～1,500	
	開閉器箱	〃	1,500		受電装置	〃	800～1,500	
	非常用照明用ボタン	〃	1,300		火	非常用照明	〃	800～1,500
	非常用表示(使用所)	床土上中心	〃		災	火災機	〃	800～1,500
身 体 用	壁付インターホン(機械)	〃	〃	報 知 留	表示灯	床土上中心	2,100	
	〃 (電話用)	〃	1,100		ベル	〃	2,300	
	廊下表示灯 (電圧不付付)	〃	1,300		応急処置箱(火災用後援器)	床土上上端	150	
	身障表示ランプ	〃	1,500		館内火災用除障器 (時置)	天井上上端	150	
	スイッチ	〃	1,100		〃 (重賞)	床土上上端	250	

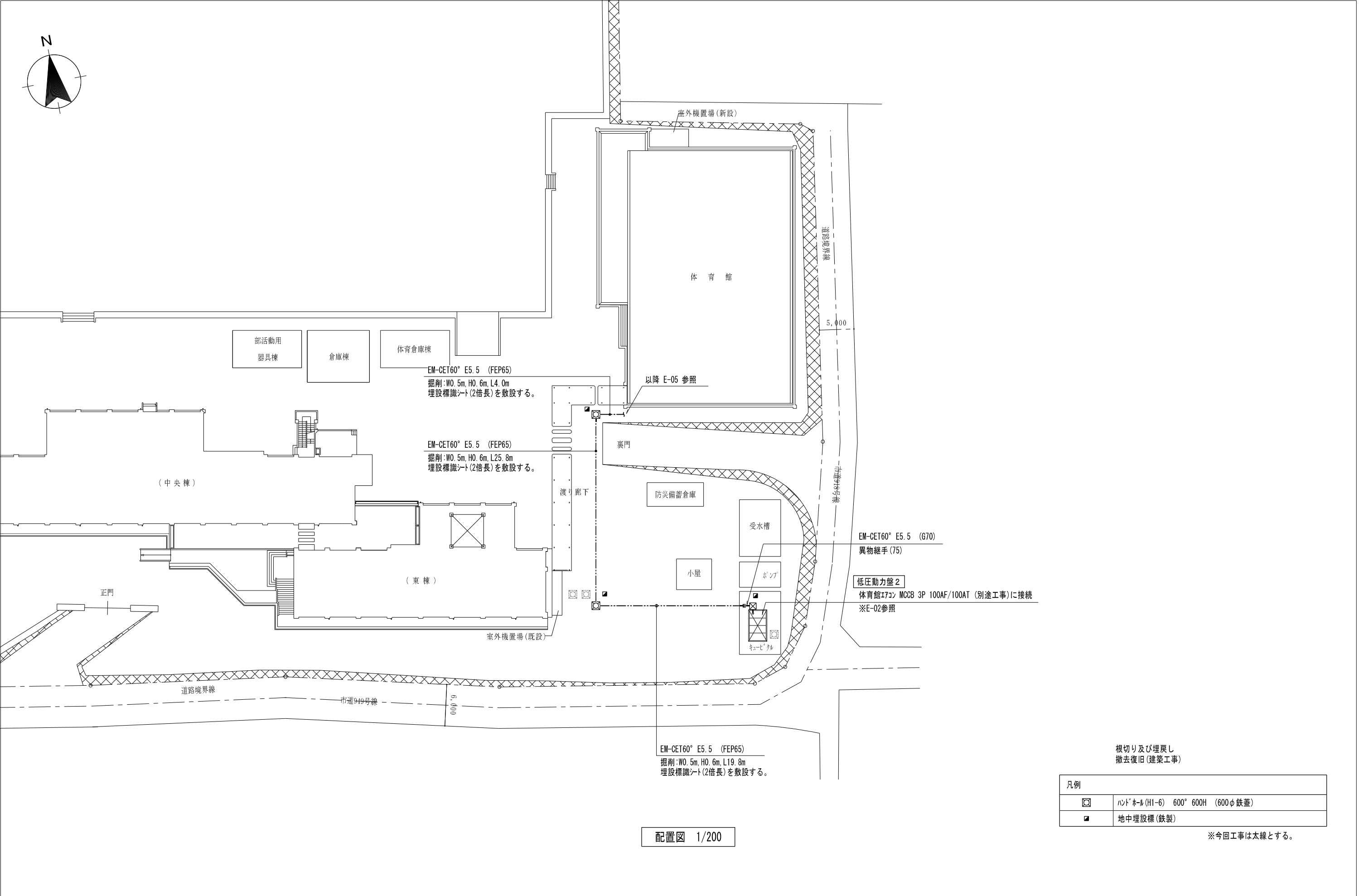
工事写真
※ 作成する ・ 作成しない
工事写真は、「海老名市公共工事デジタル写真管理要領」により撮影する。

注記：機器及びシステム参考図について

本図面中で、機器又はシステムの品質・グレードを規定する目的で、対象品の寸法形状、諸元及びシステム構成等を参考図として記載している。

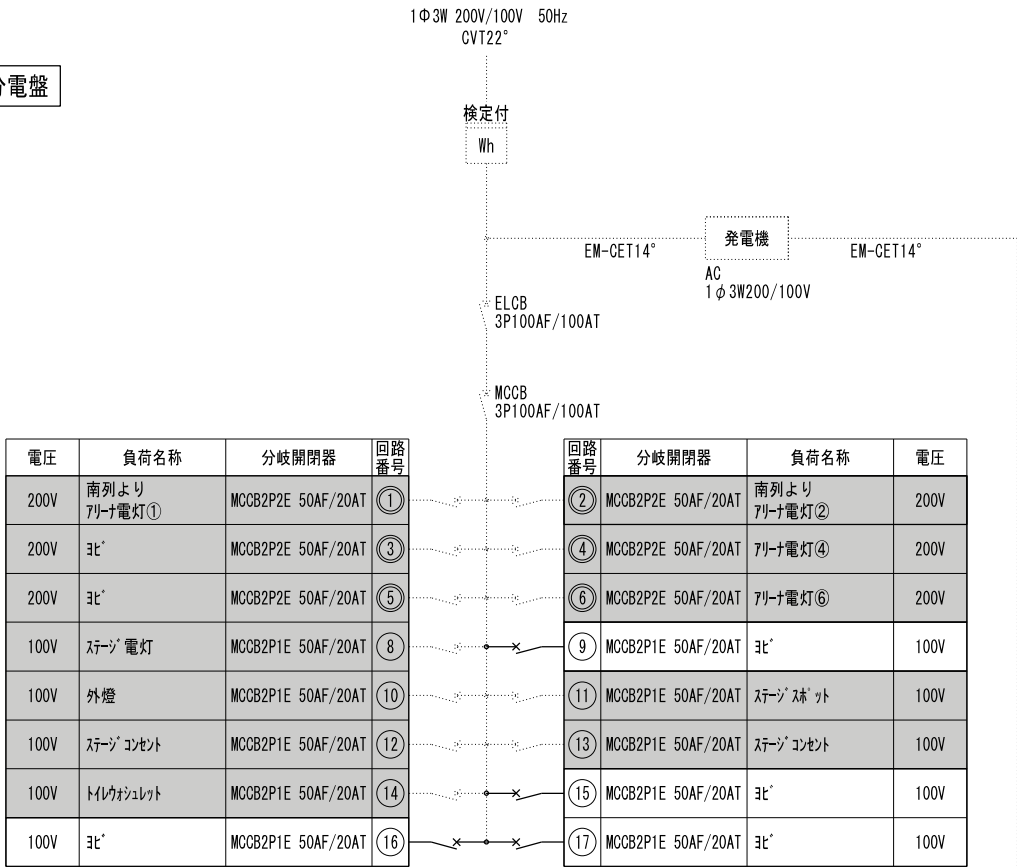
これらのものについては、その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

E- 02



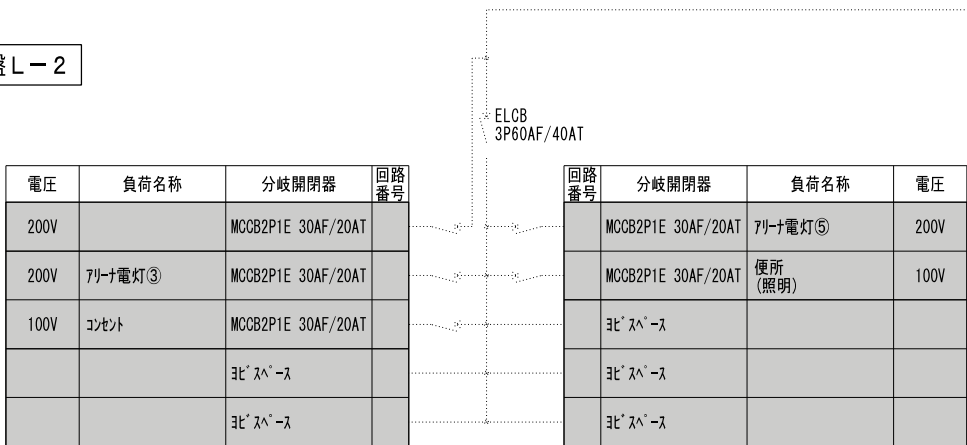
(既設)

電灯分電盤



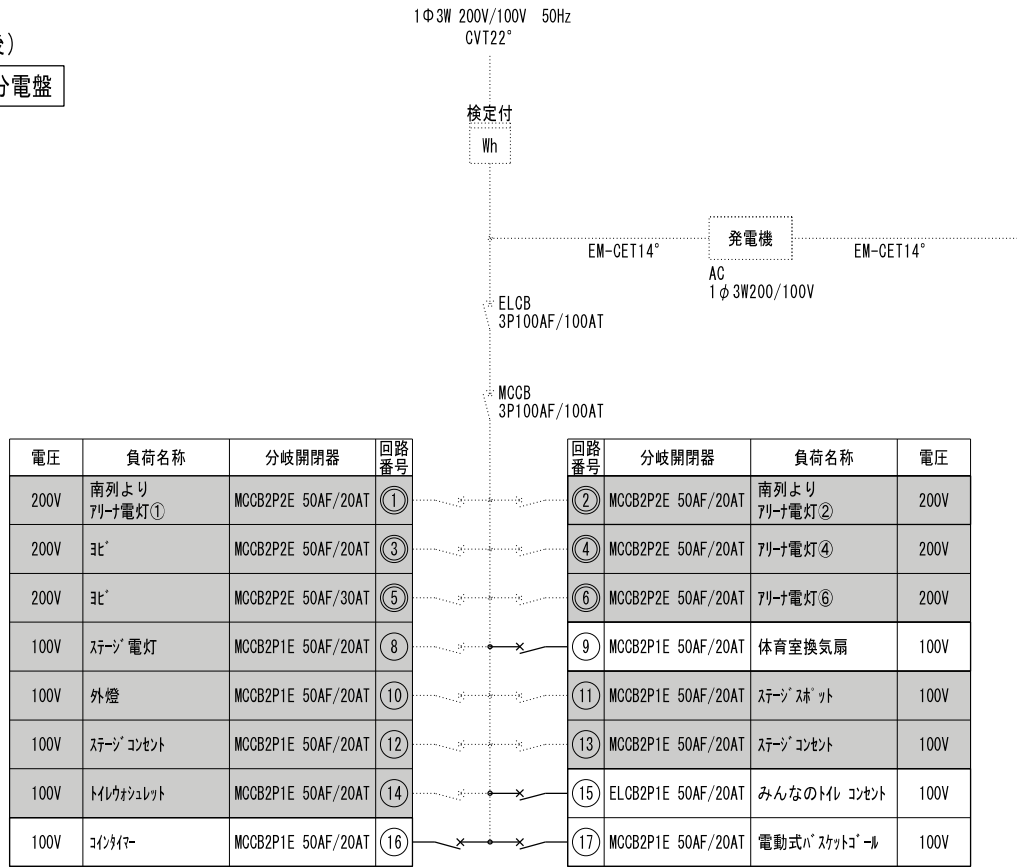
(既設)

分電盤L-2



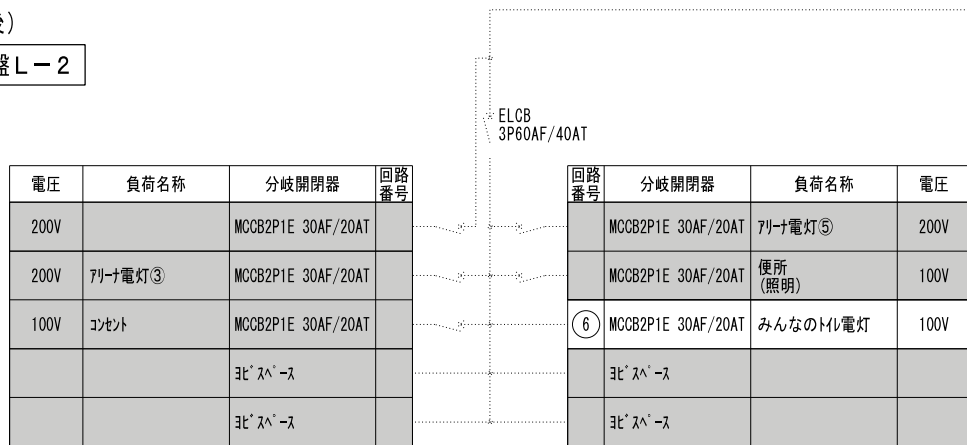
(改修後)

電灯分電盤



(改修後)

分電盤L-2



注1. 今回工事は太線を示す。

注2. 対象外とする。

注3. MCCB2P1E → AC-1Φ3W-100Vを示す。
MCCB2P2E → AC-1Φ3W-200Vを示す。



新設	結線図	回路 番号	電圧 (V)	分岐開閉器 MCCB AF/AT	付帯 機器	容量 (kW)	負荷名称
体育館空調分岐盤		①	200	ELCB3P 100/100		17.0	ACP-1
○形状、仕様 銅板製、壁掛形 屋外防水壁掛型 設置高さ H=GL+1400		②	200	ELCB3P 100/100		17.0	ACP-2

使用する屋内・屋外機の推奨トリップ値とすること。

特記なき配管配線は下記とする。	
	EM-CET60° E5.5 (G70)
	EM-EEF2.0-3C (冷媒配管共巻き)
	(G22) (配線は機械設備工事とする)

注1 図中露出配管の配線は、内装改修（壁仕上材げ張替え等）が伴う場合、可能な限り壁内配線とする。
※特記なき太線は新設とする。

- 凡例
- ⊠A : プレート鋼(150×150×100)銅板製 錆止め塗装
 - ⊠a : プレート鋼(150×150×100)溶融亜鉛めっき 防水型
 - ⊠B : プレート鋼(200×200×150)銅板製 錆止め塗装
 - ⊠b : プレート鋼(200×200×150)溶融亜鉛めっき 防水型
 - ⊠D : プレート鋼(300×300×200)銅板製 錆止め塗装
 - ⊠d : プレート鋼(300×300×200)溶融亜鉛めっき 防水型
 - ⊠E : プレート鋼(400×400×300)銅板製 錆止め塗装
 - ⊠e : プレート鋼(400×400×300)溶融亜鉛めっき 防水型
 - ⊠H : ハンドヘル(H1-6) 600° 600H(600φR8K鉄蓋)
 - : 地中埋設標(鉄製)
 - ⊠ : 個別リモコン (機械設備工事)
- ※()は接地端子付とする。

動力設備 改修 1階平面図 1/100

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

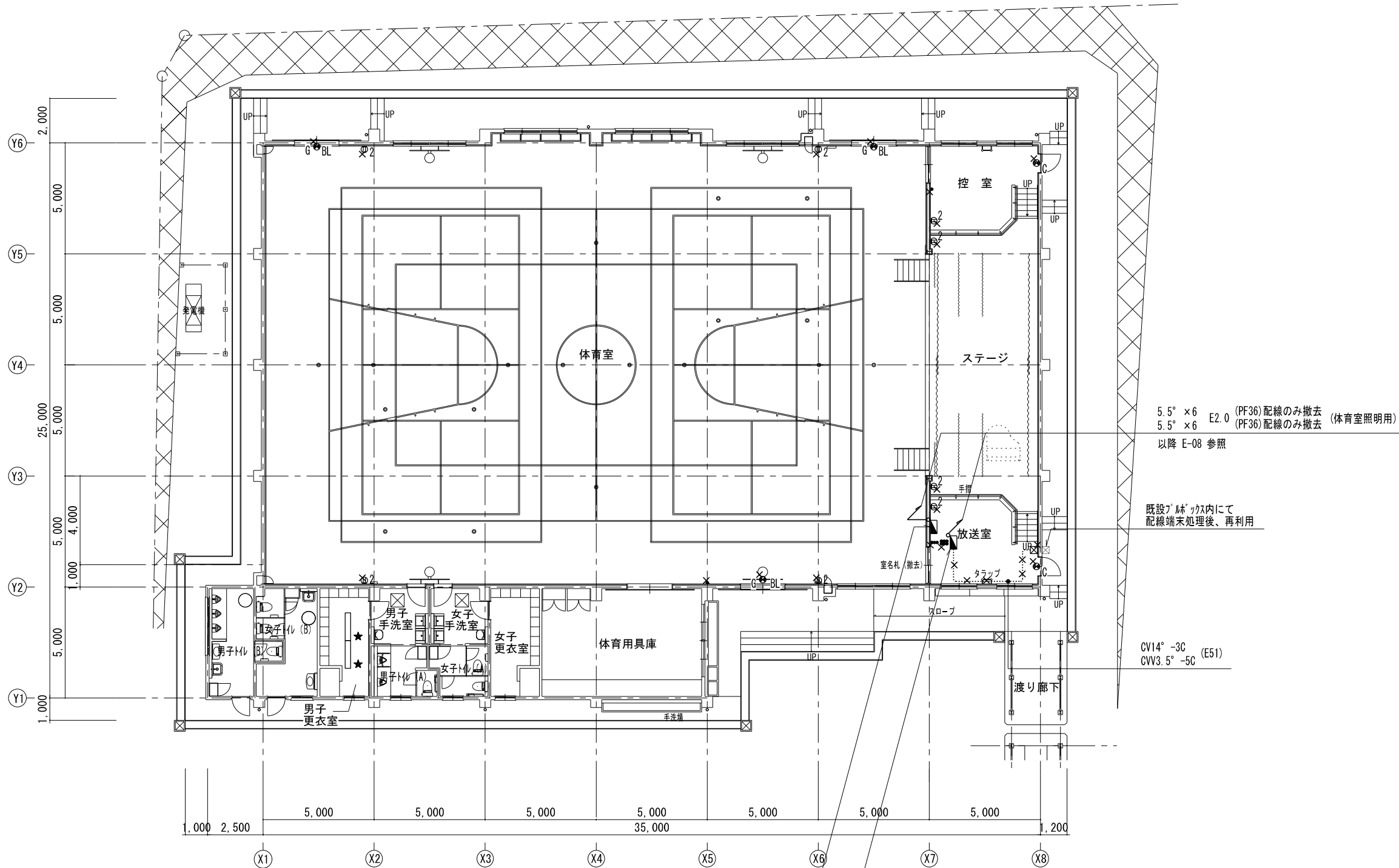
動力設備 改修 1階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 05



凡例	
	LED照明器具 FL40W-1灯相当
	避難口誘導灯 C級
	避難口誘導灯 BL級 ｶﾞｰﾄﾞ
	ｽｲｯﾁ 1P15A×1
	ｽｲｯﾁ 1P15A×3 (ｽﾃｰｼﾞ 照明用)
	ｽｲｯﾁ 1P15A×6 (体育室内 照明用)
	ｺﾝﾍﾞﾝﾄ 2P15A×2
	ﾌﾟﾛｯｸｽ(200×200×150)鋼板製
	取外し後、再取付を示す。
	撤去を示す。

※特記なき太線は撤去とする。

電灯設備 既存 1階平面図 1/100

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

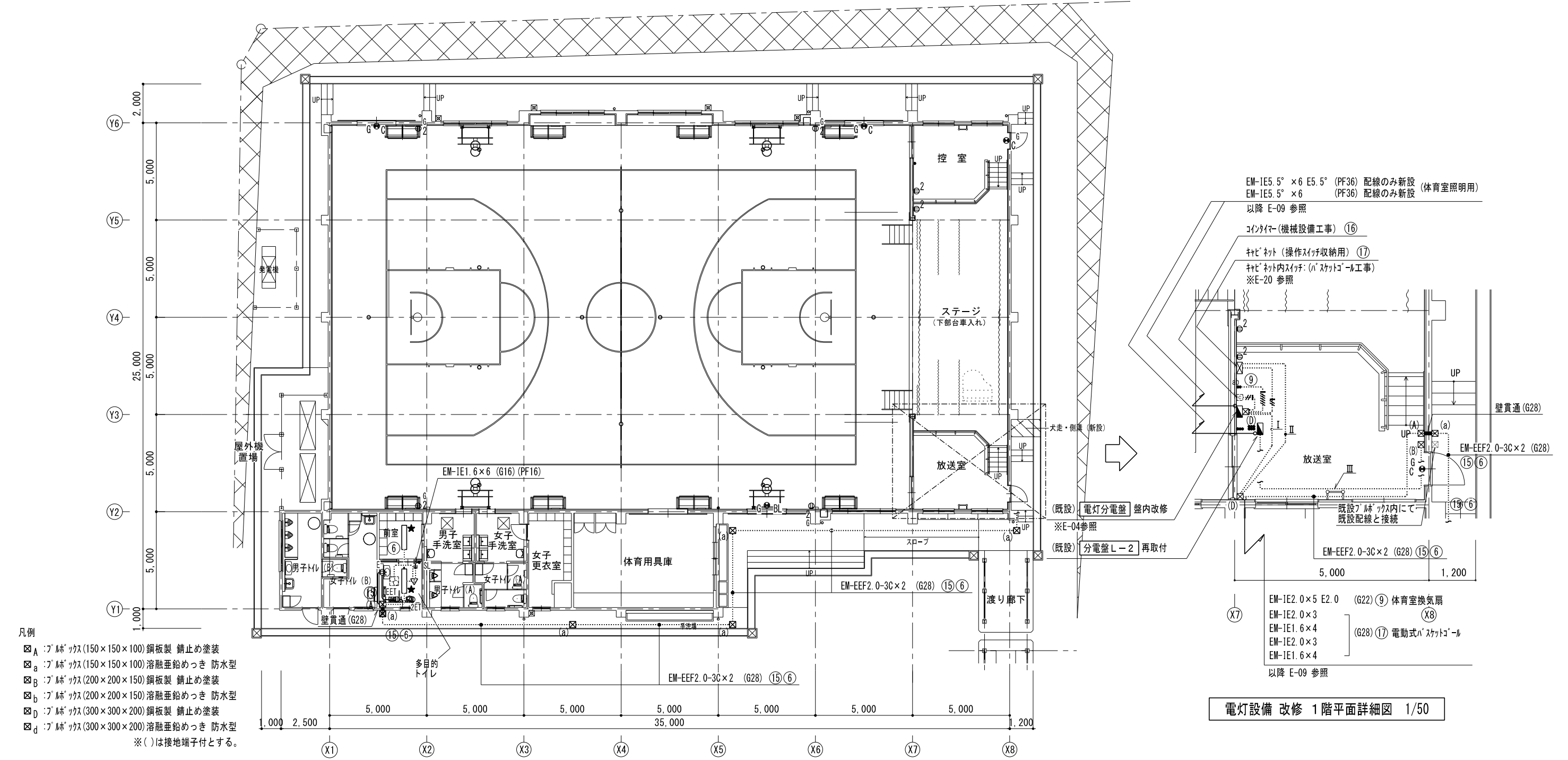
電灯設備 既存 1階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

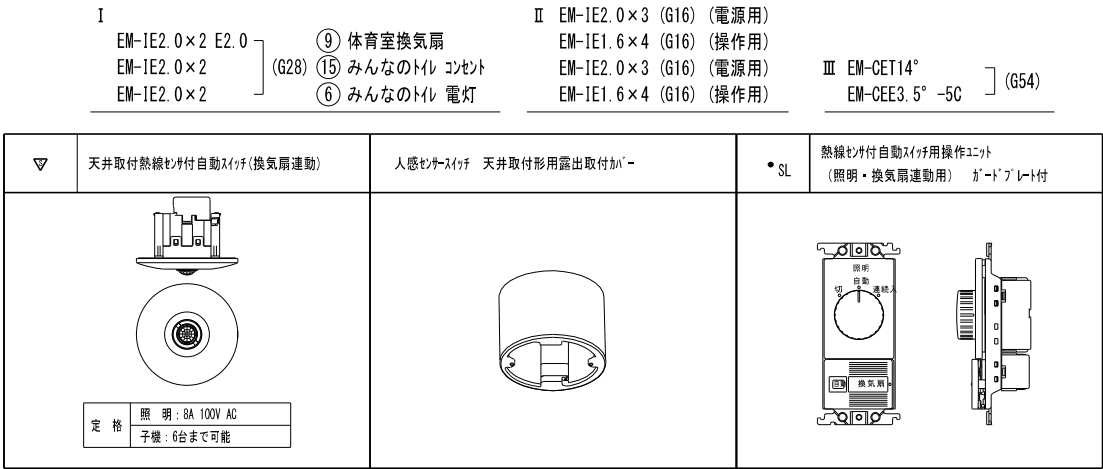
E- 06

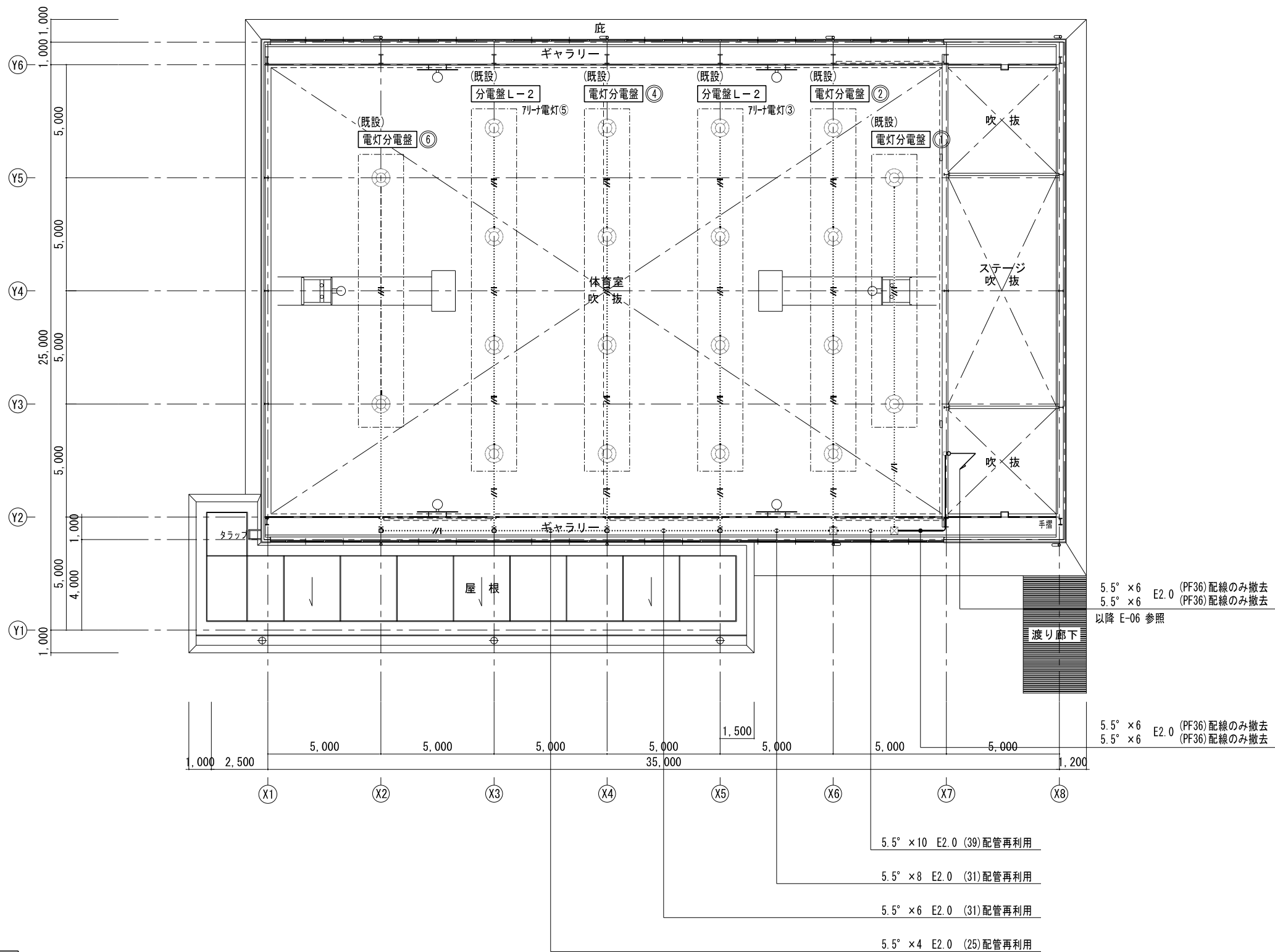


凡例			特記なき配管配線は下記とする。
	避難口誘導灯 C級 ガード付		コンセント 2P15A×1 接地極・接地端子付 H=300
	スイッチ 1P15A×1		天井取付熱線ヒザ付自動スイッチ(換気扇連動) 人感センサースイッチ 天井取付形用露出取付カバー
	スイッチ 1P15A×3		熱線ヒザ付自動スイッチ用操作ユニット (照明・換気扇連動用) ガードプレート付
	スイッチ 1P15A×6		再取付を示す。
	スイッチ 1P15A×2 PLランプ付・露出スイッチボックス 1個用 換気扇用		
	コンセント 2P15A×2		
	コンセント 2P15A×2 ガードプレート付		
	コンセント 2P15A×1 接地極 H=300		
	コンセント 2P15A×2 接地端子付 H=300		

注1. 図中露出配管の配線は、内装改修（壁仕上材げ張替え等）が伴う場合、可能な限り壁内配線とする。
※特記なき太線は新設とする。

電灯設備 改修 1階平面図 1/100





凡例	
	高天井LED照明器具(既設)
特記なき配管配線は下記とする。	
	5.5° × 2 E2.0 (25) 配管再利用

※特記なき太線は撤去とする。

電灯設備 既存 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

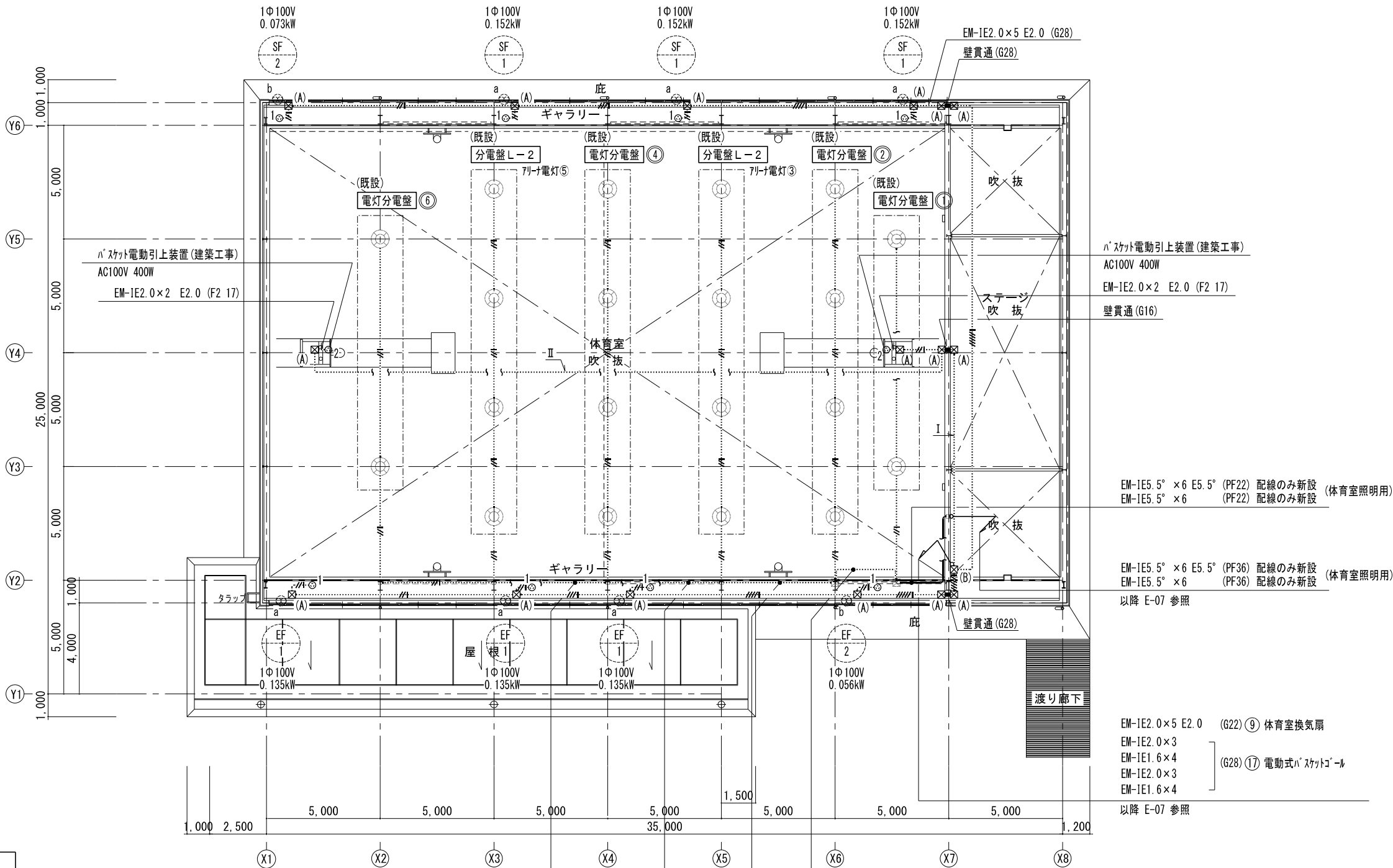
電灯設備 既存 2階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 08



凡例	
	高天井LED照明器具(既設)
	引掛コンセント 2P15A×1 接地極付 プラグ 共
	引掛コンセント 2P15A×1・70トレットプラグ 浅型 D44
	プラグ(150×150×100)塗装 接地端子付
	有圧換気扇(機器設備工事)
特記なき配管配線は下記とする。	
	EM-IE5.5° x2 E2.0 (39) 配管再利用
	EM-IE2.0x5 E2.0 (G28)
	EM-IE2.0x4 E2.0 (G28)
	EM-IE2.0x3 E2.0 (G22)
	EM-IE2.0x2 E2.0 (G22)

注1. 給気・排気ファンは運動運転とする。
※特記なき太線は新設とする。

凡例	
	高天井LED照明器具(既設)
	引掛コンセント 2P15A×1 接地極付 プラグ 共
	引掛コンセント 2P15A×1・70トレットプラグ 浅型 D44
	プラグ(150×150×100)塗装 接地端子付
	有圧換気扇(機器設備工事)
特記なき配管配線は下記とする。	
	EM-IE5.5° x2 E2.0 (39) 配管再利用
	EM-IE2.0x5 E2.0 (G28)
	EM-IE2.0x4 E2.0 (G28)
	EM-IE2.0x3 E2.0 (G22)
	EM-IE2.0x2 E2.0 (G22)

電灯設備 改修 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

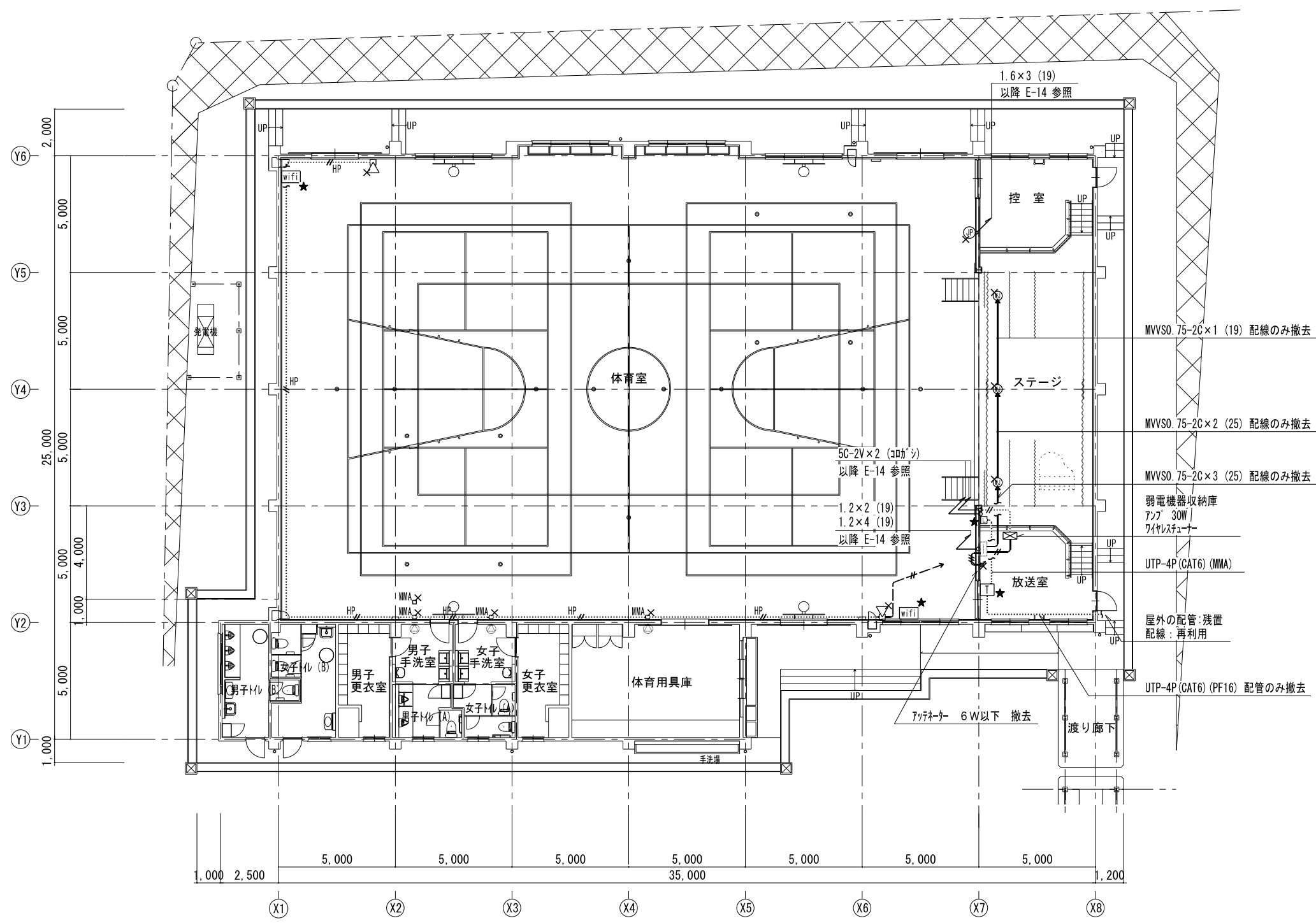
電灯設備 改修 2階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

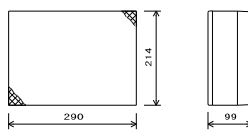
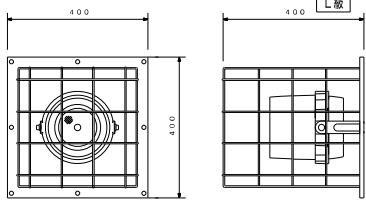
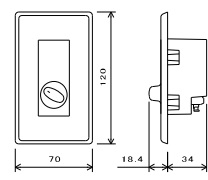
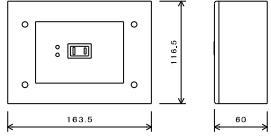
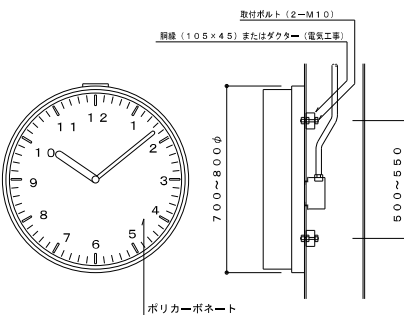
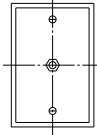
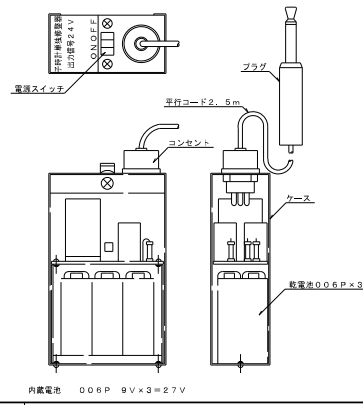
図面番号

E- 09

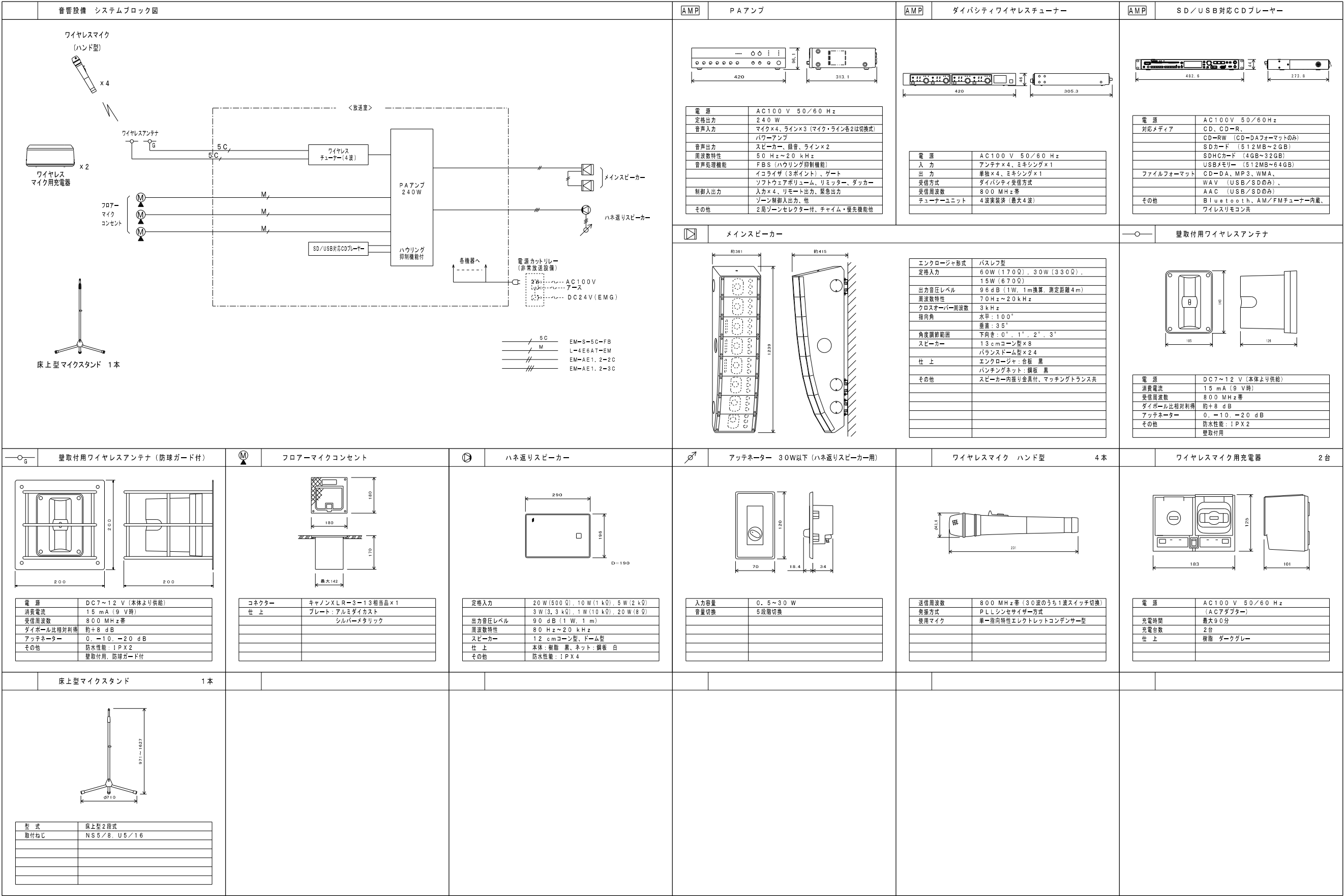


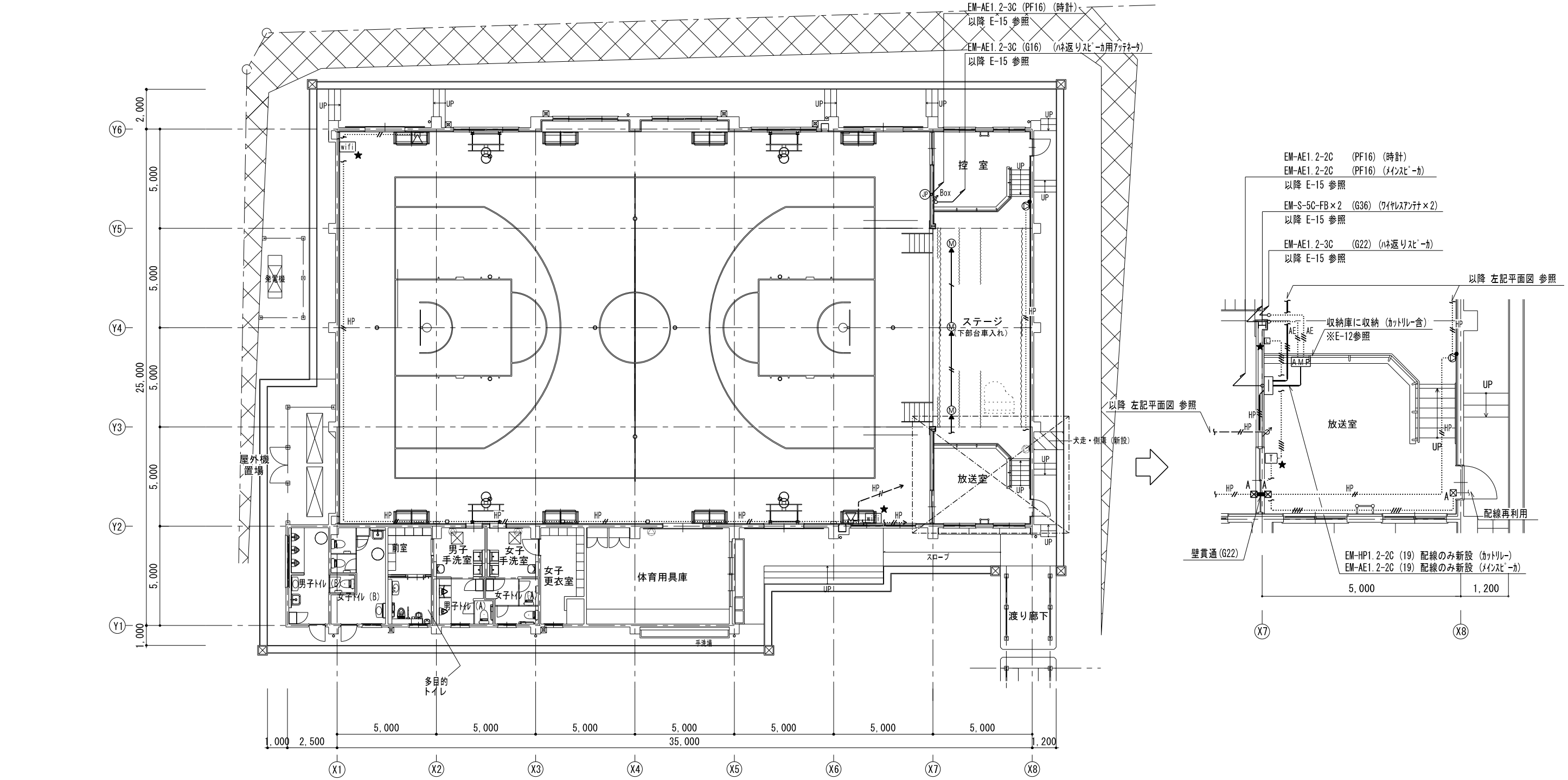
凡例			特記なき配管配線は下記とする。	
	既設端子盤	(拡声設備)	//.....	5C-2V×2 (コカ'シ)
	災害用特設公衆電話用端子盤		——//——	HIV1. 2×2 (19) 配線のみ撤去
	wifiアンテナ		- -// - -	HIV1. 2×2 (19) 配線のみ撤去
	モジュラージャック	(音響設備)	——//——	HIV1. 2×3 (19) 配線のみ撤去
	MMA用ボックス(1個用)		HP.....	HP1. 2-2C (MMA)
	再取付を示す。	(時刻表示設備)	※特記なき太線は撤去とする。	
			①P	調針器用ジャック

通信・情報設備 既存 1階平面図 1/100

	木製壁掛型スピーカー A T T付		ワイドホーンスピーカー（防球ガード付）		アッテネーター 6 W以下		電源カトリレー（露出ボックス付）																																																						
L級 <table><tr><td>定格入力</td><td>3 W (3.3 kΩ) , 1 W (10 kΩ)</td></tr><tr><td>出力音圧レベル</td><td>95 d B (1 W, 1 m)</td></tr><tr><td>周波数特性</td><td>160 H z ~ 17 k H z</td></tr><tr><td>スピーカー</td><td>16 c mコーン型</td></tr><tr><td>仕 上</td><td>本体：木製 ライトグレー</td></tr><tr><td></td><td>ネット：ジャージ ライトグレー</td></tr><tr><td>その他</td><td>差込型コネクターによるワンタッチ配線、音量調節器付</td></tr></table>		定格入力	3 W (3.3 kΩ) , 1 W (10 kΩ)	出力音圧レベル	95 d B (1 W, 1 m)	周波数特性	160 H z ~ 17 k H z	スピーカー	16 c mコーン型	仕 上	本体：木製 ライトグレー		ネット：ジャージ ライトグレー	その他	差込型コネクターによるワンタッチ配線、音量調節器付	L級 <table><tr><td>定格入力</td><td>6 W (1.7 kΩ) , 3 W (3.3 kΩ) , 1 W (10 kΩ)</td></tr><tr><td>出力音圧レベル</td><td>96 d B (1 W, 1 m)</td></tr><tr><td>周波数特性</td><td>130 H z ~ 13 k H z</td></tr><tr><td>スピーカー</td><td>12 c m防滴コーン型</td></tr><tr><td>仕 上</td><td>ホーン・カバー：樹脂 オフホワイト</td></tr><tr><td>その他</td><td>防水性能：防まつ形、防球ガード付</td></tr></table>		定格入力	6 W (1.7 kΩ) , 3 W (3.3 kΩ) , 1 W (10 kΩ)	出力音圧レベル	96 d B (1 W, 1 m)	周波数特性	130 H z ~ 13 k H z	スピーカー	12 c m防滴コーン型	仕 上	ホーン・カバー：樹脂 オフホワイト	その他	防水性能：防まつ形、防球ガード付	<table><tr><td>入力容量</td><td>0.5 ~ 6 W</td></tr><tr><td>音量切換</td><td>5段階切換</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>		入力容量	0.5 ~ 6 W	音量切換	5段階切換									<table><tr><td>電 源</td><td>AC100 V 50 / 60 H z</td></tr><tr><td>電力容量</td><td>最大800 W</td></tr><tr><td>電流容量</td><td>最大10 A</td></tr><tr><td>制御方式</td><td>制御電源によりAC100 V断制御</td></tr><tr><td>制御電流</td><td>DC24 V 0.3 mA</td></tr><tr><td>仕 上</td><td>パネル：アルミ</td></tr><tr><td>その他</td><td>露出ボックス付</td></tr></table>		電 源	AC100 V 50 / 60 H z	電力容量	最大800 W	電流容量	最大10 A	制御方式	制御電源によりAC100 V断制御	制御電流	DC24 V 0.3 mA	仕 上	パネル：アルミ	その他	露出ボックス付		
定格入力	3 W (3.3 kΩ) , 1 W (10 kΩ)																																																												
出力音圧レベル	95 d B (1 W, 1 m)																																																												
周波数特性	160 H z ~ 17 k H z																																																												
スピーカー	16 c mコーン型																																																												
仕 上	本体：木製 ライトグレー																																																												
	ネット：ジャージ ライトグレー																																																												
その他	差込型コネクターによるワンタッチ配線、音量調節器付																																																												
定格入力	6 W (1.7 kΩ) , 3 W (3.3 kΩ) , 1 W (10 kΩ)																																																												
出力音圧レベル	96 d B (1 W, 1 m)																																																												
周波数特性	130 H z ~ 13 k H z																																																												
スピーカー	12 c m防滴コーン型																																																												
仕 上	ホーン・カバー：樹脂 オフホワイト																																																												
その他	防水性能：防まつ形、防球ガード付																																																												
入力容量	0.5 ~ 6 W																																																												
音量切換	5段階切換																																																												
電 源	AC100 V 50 / 60 H z																																																												
電力容量	最大800 W																																																												
電流容量	最大10 A																																																												
制御方式	制御電源によりAC100 V断制御																																																												
制御電流	DC24 V 0.3 mA																																																												
仕 上	パネル：アルミ																																																												
その他	露出ボックス付																																																												
	子時計		子時計単独修正器ジャックプレート	子時計単独修正器																																																									
 取付ボルト (2-M10) 厚紙 (105×45) またはダケラ (電気工事) ポリカーボネート				 電源スイッチ 子時計単独修正器 出力音圧レベル 周波数特性 スピーカー 仕 上 その他																																																									



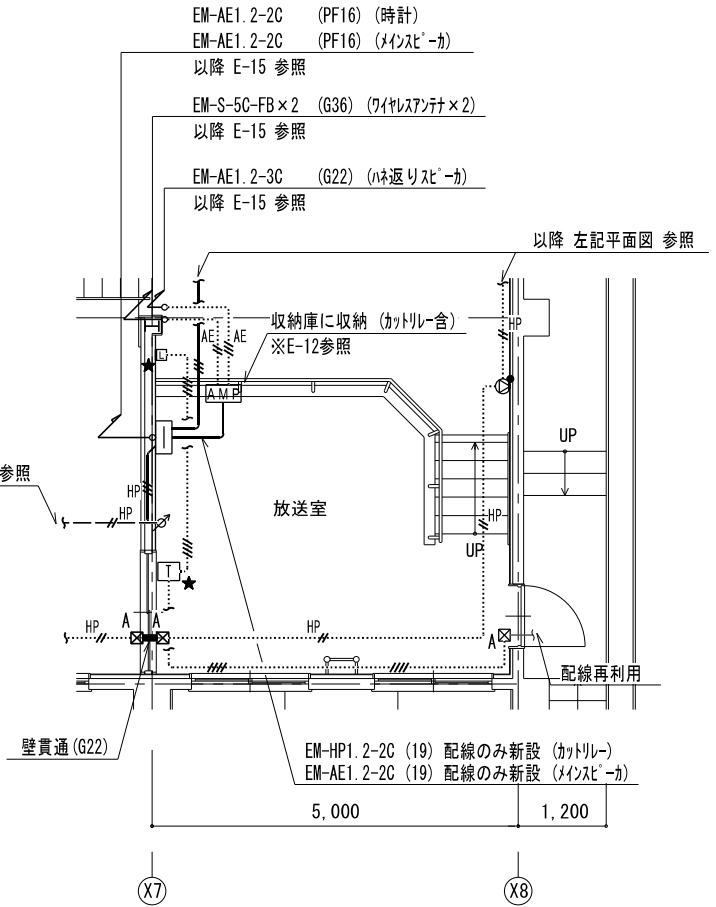


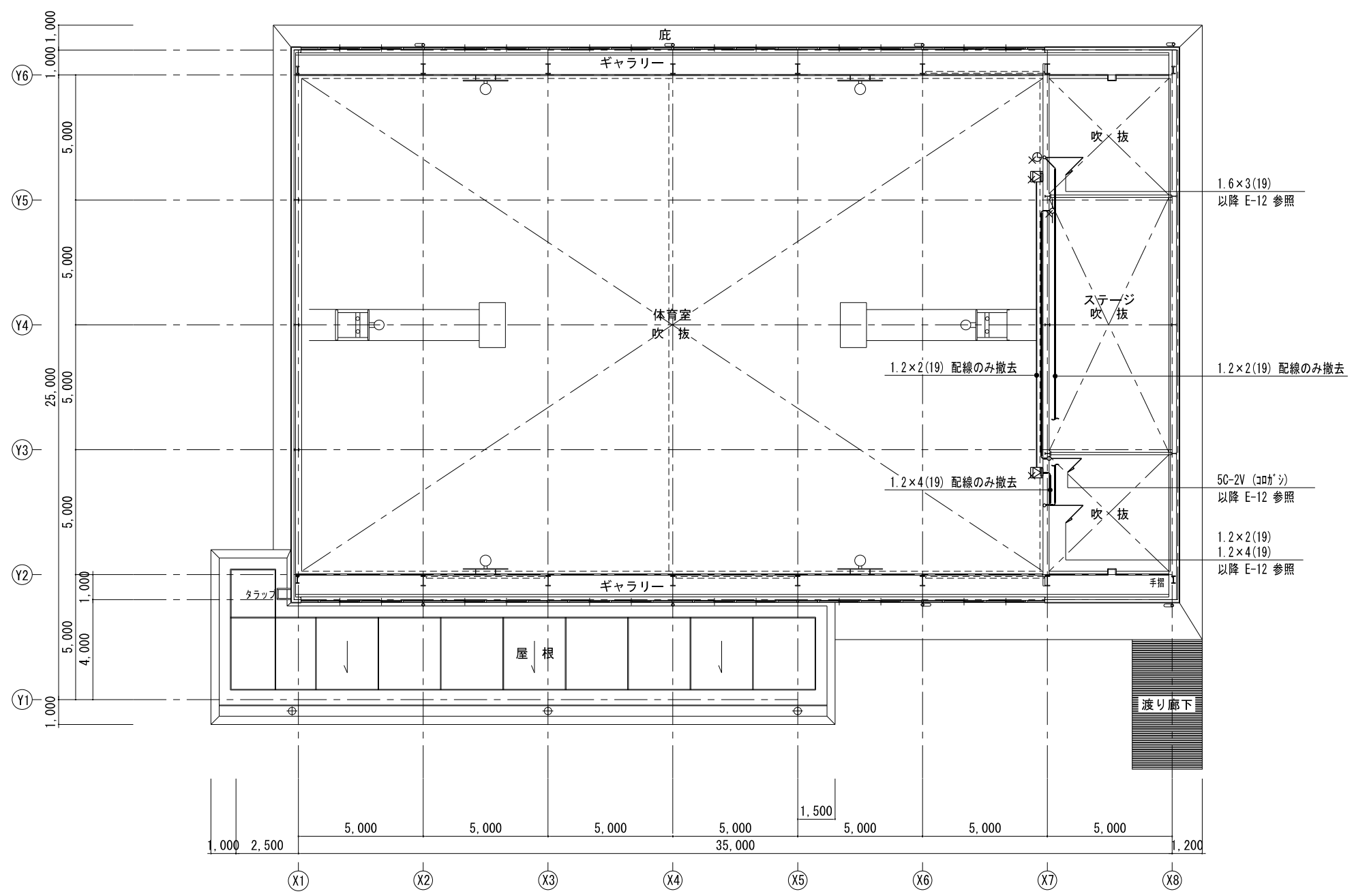


凡例		特記なき配管配線は下記とする。	
AMP	PA777 ダイナミックワイヤレスチューナー ワイヤレス混合分配器 SD/USB対応CDプレイヤー ※E-11参照	(拡声設備)	//..... EM-UTP-4P (CAT6) (G16)
		Speaker icon ワイド・ホーンスピーカー (防球ガード付)	—HP— EM-HP1. 2-2C (19) 配線のみ新設
		Microphone icon 木製壁掛型スピーカー ATT付	HP..... EM-HP1. 2-2C (G22)
Terminal icon	既設端子盤	Speaker icon 77777777 6W以下	—HP— EM-HP1. 2-3C (19) 配線のみ新設
Phone icon	災害用特設公衆電話用端子盤	(音響設備)	AE..... EM-AE1. 2-2C (G22)
Wifi icon	wifiアンテナ	Box icon 77777777 30W以下 スイッチング電源(1個用) (ハネ返りスピーカー用)	AE..... EM-AE1. 2-3C (G22)
Outlet icon	モジュラージャック・MMA用ボックス(1個用)	Microphone icon フロアマイクコンセント	——//—— EM-MEES0. 75-2C×1 (19) 配線のみ新設
★	再取付を示す。	(時刻表示設備)	——//—— EM-MEES0. 75-2C×2 (25) 配線のみ新設
		Clock icon 子時計単独修正器ジャックプレート 子時計単独修正器 共	——//—— EM-MEES0. 75-2C×3 (25) 配線のみ新設

※特記なき太線は新設とする。

- 凡例
- ⓐ : フloorボックス(150×150×100)銅板製 錆止め塗装
 - ⓐ_a : フloorボックス(150×150×100)溶融亜鉛めっき 防水型
 - ⓐ_b : フloorボックス(200×200×150)銅板製 錆止め塗装
 - ⓐ_b : フloorボックス(200×200×150)溶融亜鉛めっき 防水型
 - ⓐ_d : フloorボックス(300×300×200)銅板製 錆止め塗装
 - ⓐ_d : フloorボックス(300×300×200)溶融亜鉛めっき 防水型
- ※()は接地端子付とする。





凡例	
	メインスピーカ
	壁掛け時計
	ワイヤレスアンテナ
	撤去を示す。
特記なき配管配線は下記とする。	
	5C-2V×2 (19) 配線のみ撤去

※特記なき太線は撤去とする。

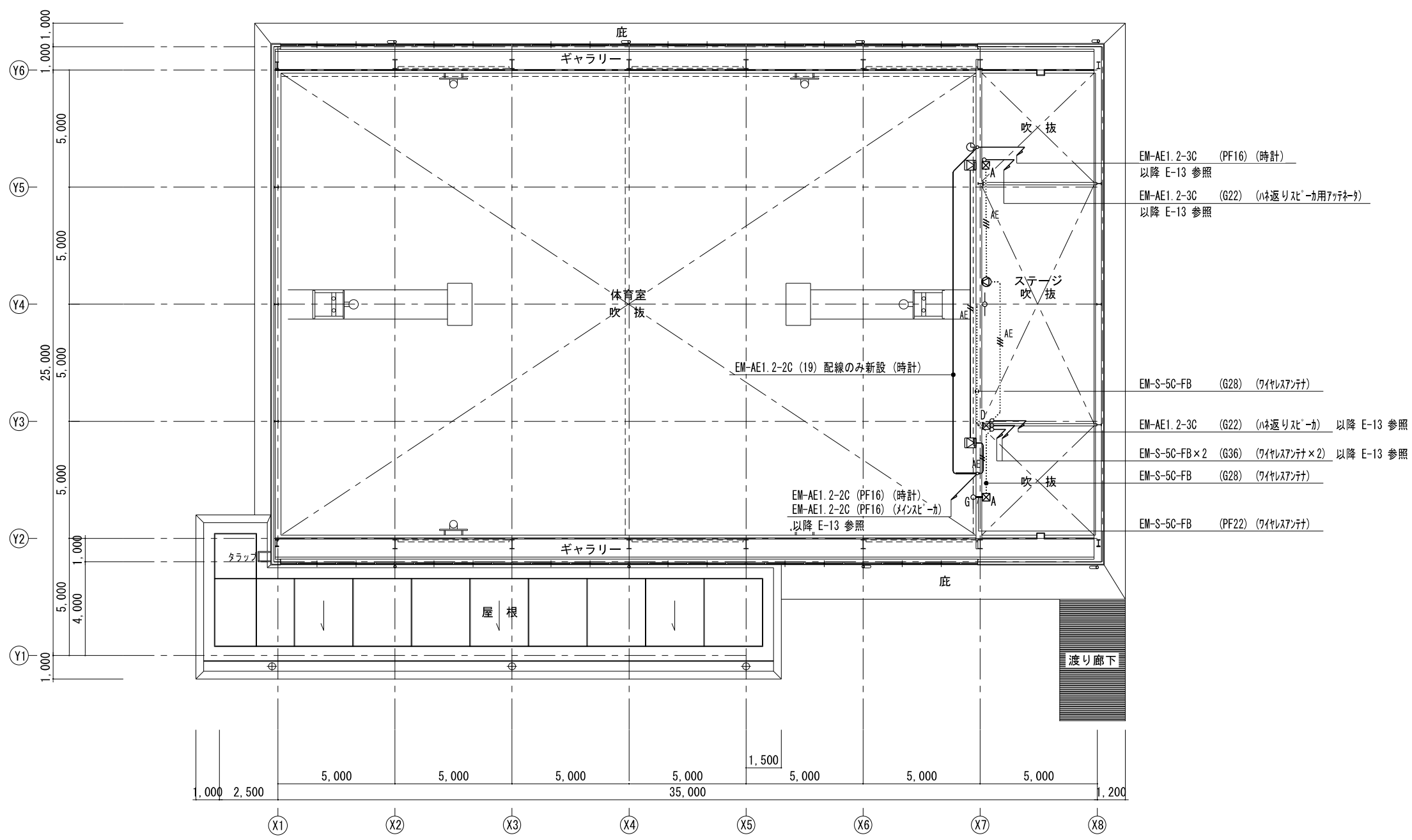
通信・情報設備 既存 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称		通信・情報設備 既存 2階平面図	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E- 14



凡例	
	メインスピーカー
	ハネ返りスピーカー
	ワイヤレスアンテナ
	壁取付用ワイヤレスアンテナ (防球ガード付)
	壁掛け時計
	ブレース(150×150×100)塗装
特記なき配管配線は下記とする。	
	EM-AE1. 2-2C (19) 配線のみ新設
	EM-AE1. 2-3C (G22)

※特記なき太線は新設とする。

通信・情報設備 改修 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

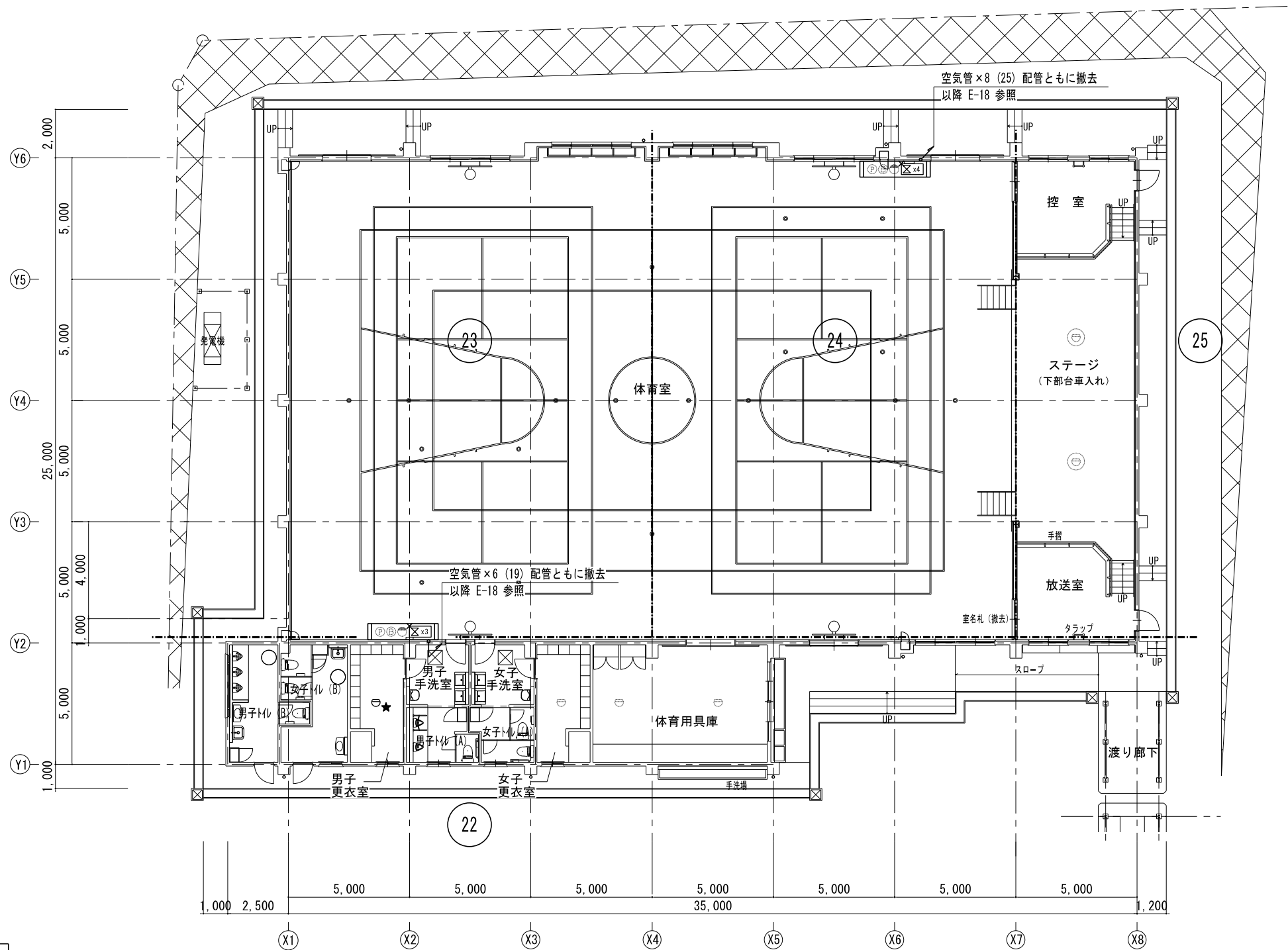
通信・情報設備 改修 2階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 15

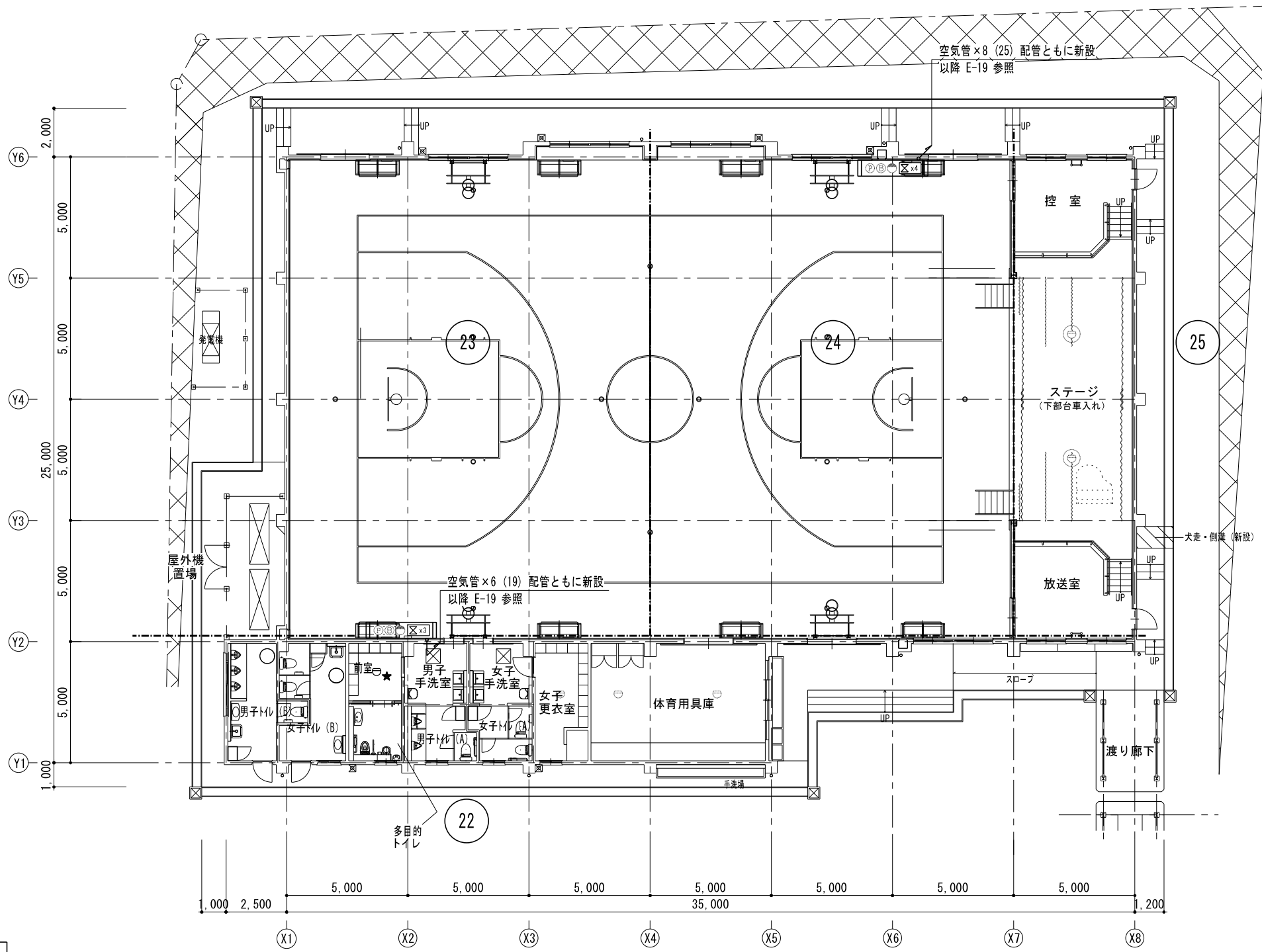


凡例	
⊖	差動式ｽﾏｰﾄ型感知器 2種
Ⓟ	発信機 P型1級
Ⓢ	電鈴 DC24V
●	表示灯 AC24V
□	機器収容箱
⊠	差動式分布型感知器の検出部
—	差動式分布型感知器（空気管式）
★	取外しを示す。
- - -	警戒区域境界線
Ⓝ	警戒区域番号
×	撤去を示す。

※特記なき太線は撤去とする。

自動火災報知設備 既存 1階平面図 1/100





凡例	
	差動式ｽﾏｰﾄ型感知器 2種
	差動式ｽﾏｰﾄ型感知器 2種 ﾏﾔｰｽﾞ下
	発信機 P型1級
	電鈴 DC24V
	表示灯 AC24V
	機器収容箱
	差動式分布型感知器の検出部
	差動式分布型感知器 (空気管式)
	再取付を示す。
	警戒区域境界線
	警戒区域番号

※特記なき太線は撤去とする。

自動火災報知設備 改修 1階平面図 1/100

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

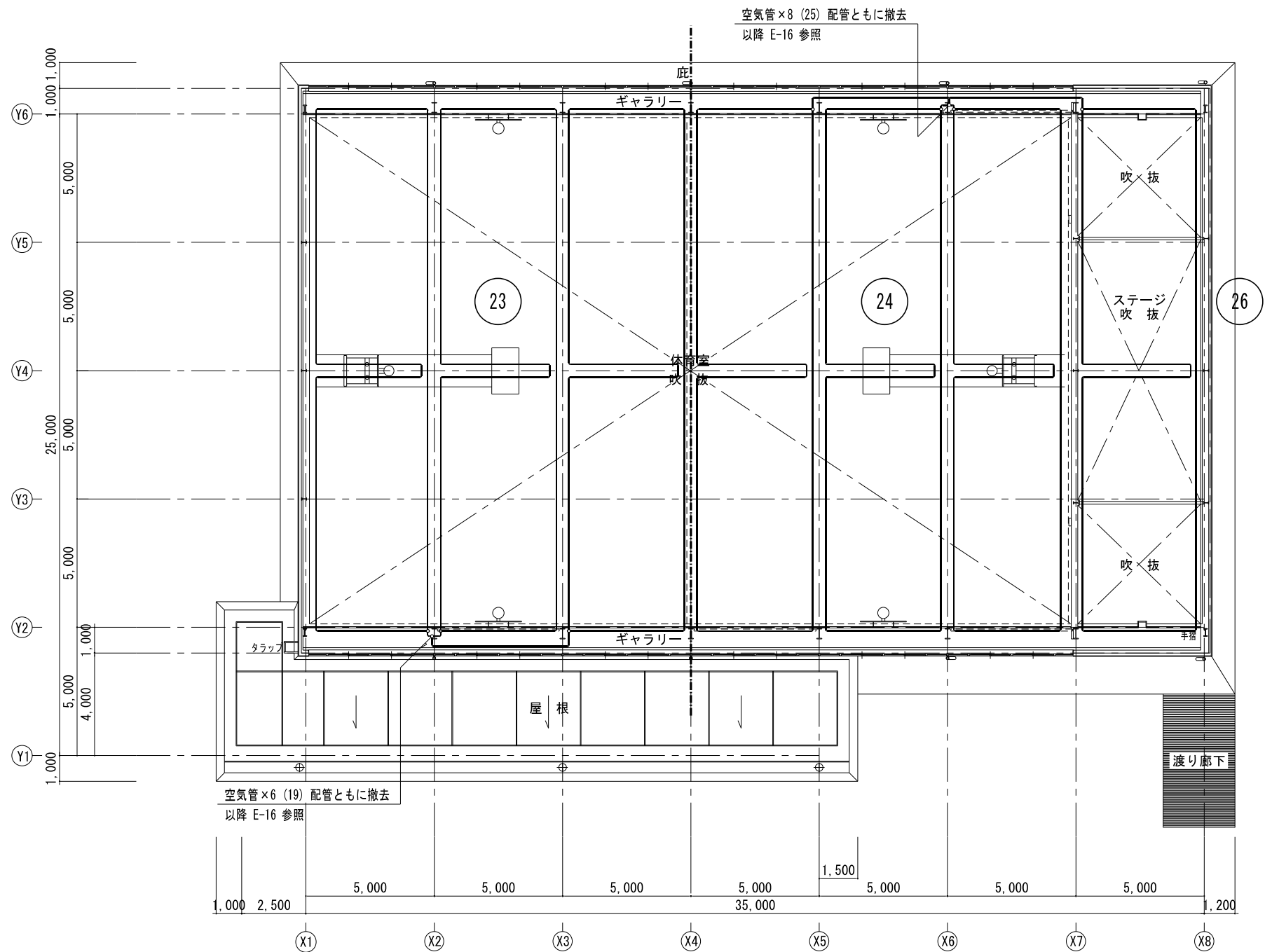
自動火災報知設備 改修 1階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 17



凡例	
	差動式分布型感知器（空気管式）
	警戒区域境界線
	警戒区域番号

※特記なき太線は撤去とする。

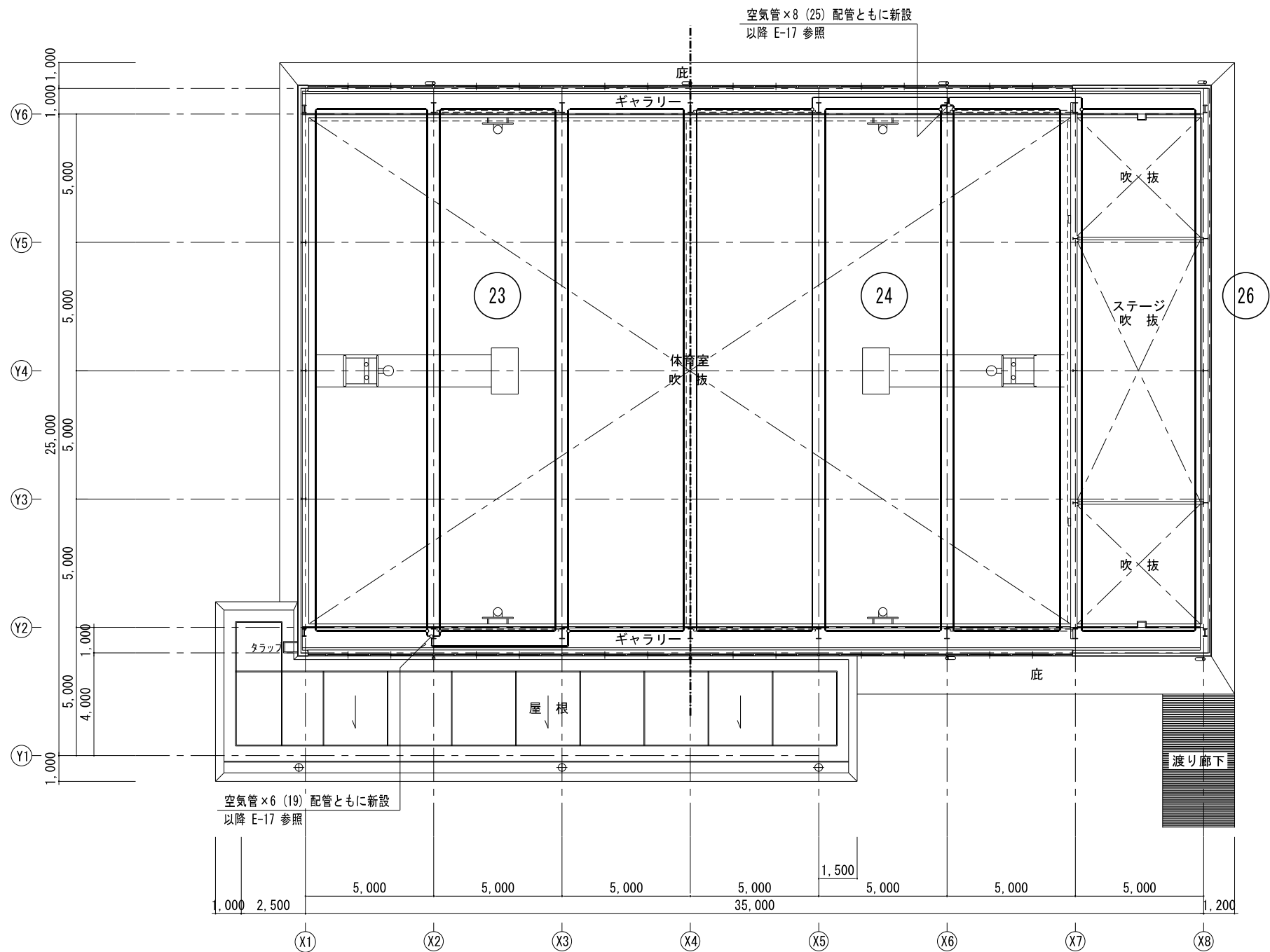
自動火災報知設備 既存 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称		自動火災報知設備 既存 2階平面図	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	E- 18



凡例	
	差動式分布型感知器（空気管式）
	警戒区域境界線
	警戒区域番号

※特記なき太線は撤去とする。

自動火災報知設備 改修 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

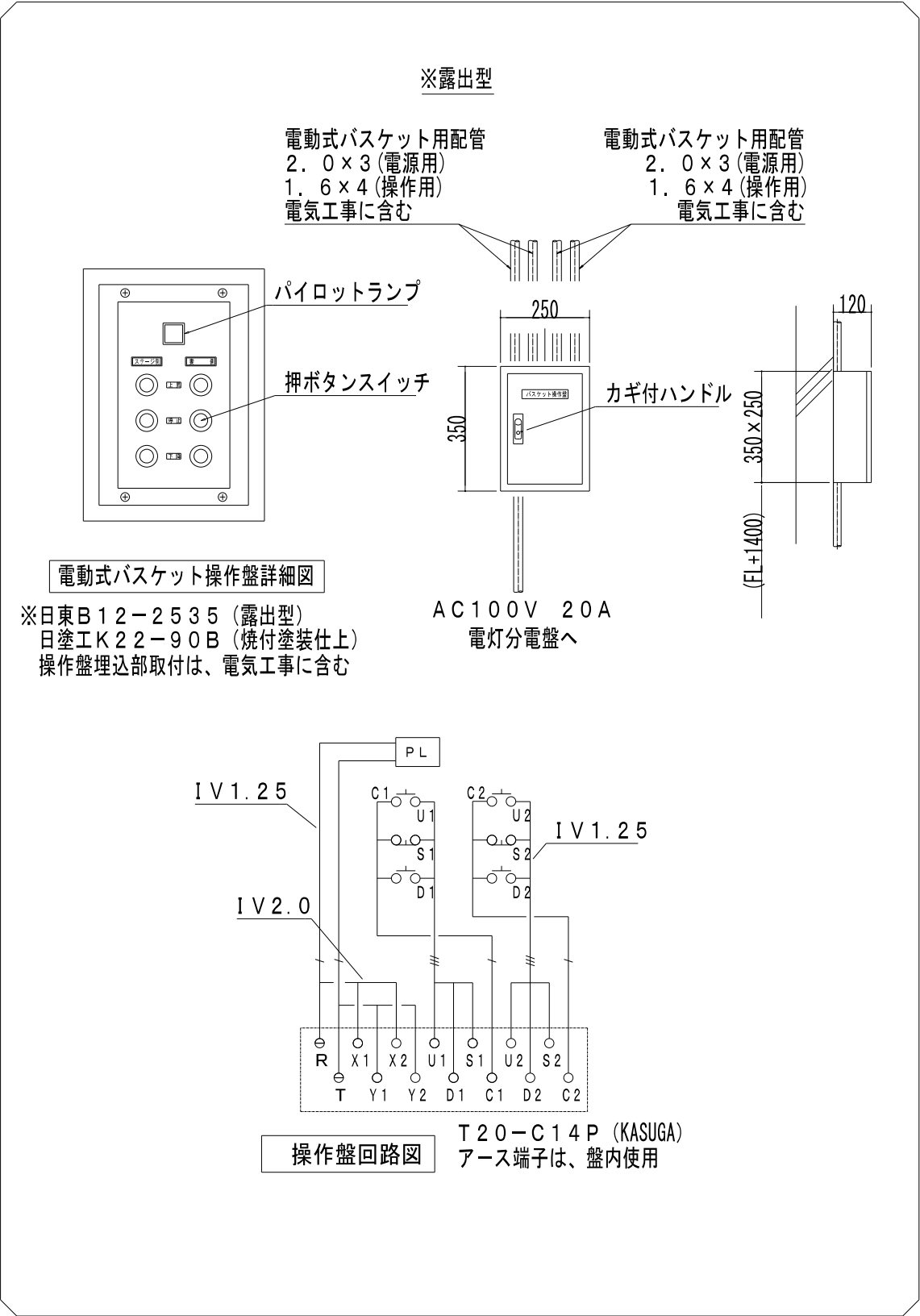
自動火災報知設備 改修 2階平面図

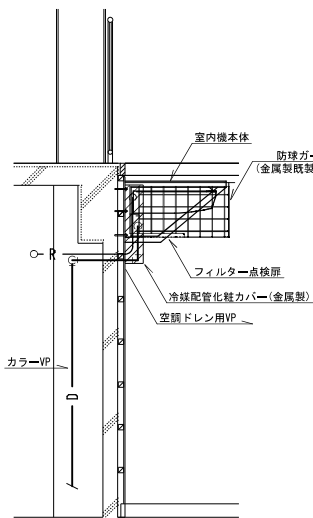
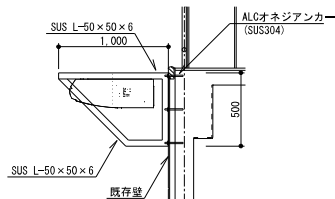
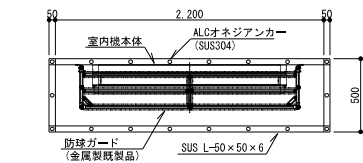
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

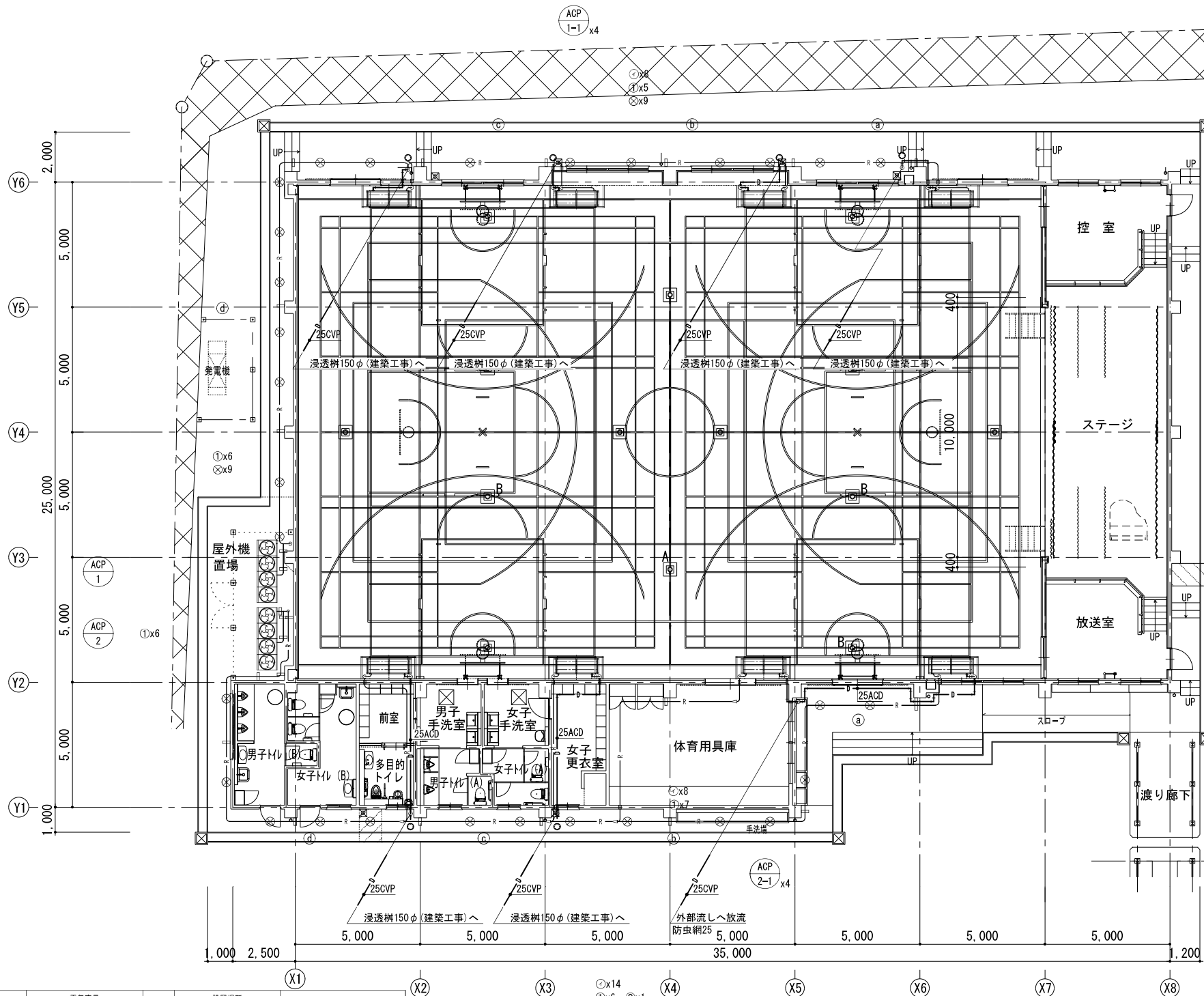
図面番号

E- 19





屋内機及び配管貫通部詳細図 1/30



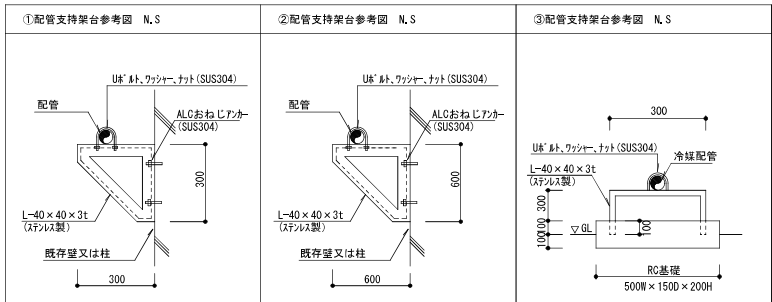
記号	冷媒管 (CUP) (液管/ガス管)	制御配線	電源配線
Ⓐ	9.5φ/15.9φ	EM-CEES-1, 25~2C	EM-EFF-2, 0~3C
Ⓑ	9.5φ/22.2φ	EM-CEES-1, 25~2C	EM-EFF-2, 0~3C
Ⓒ	12.7φ/28.6φ	EM-CEES-1, 25~2C	EM-EFF-2, 0~3C
Ⓓ	15.9φ/28.6φ	EM-CEES-1, 25~2C	EM-EFF-2, 0~3C

※注記
①は外壁貫通処理を示す
押し出し中空セメント成形板①15コアorサークルカッター貫通処理
②は配管吊り支持を示す
既設梁及び天井支持部材より鋼材用吊り金物にて支持を行う
上記に伴う既設天井撤去は建築工事

機器表

記号	機器名称	仕様	電気容量			台数	設置場所		備考
			相	電圧 (V)	出力 (kW)		階	室名	
ACP-1	屋外機	形 式 : 空冷ヒートポンプマルチエアコン (冷暖切替型高0Pタイプ)	3	200	15.66	2	1	屋外機置場	コンクリート基礎 (建築工事)
ACP-2		冷房能力 : 56.0kW 暖房能力 : 63.0kW							
		消費電力 : 冷房17.7kW 暖房15.9kW							
		冷媒 : R32							
		付属品 : SUS製基礎ボルト 防振ゴムパッド 冷媒分岐管×3							
		その他標準付属品共							
ACP-1-1	室内機	形 式 : 天吊形	1	200		8	1	体育館	金属製防球ガード
ACP-2-1		冷房能力 : 14.0kW 暖房能力 : 16.0kW							
		付属品 : ゴムパッド その他標準付属品共							
R	個別リモコン	形 式 : ワイヤードリモコン	1	100		2	1	放送室	
		機 能 : 運転・停止 温度・風量設定 異常・故障表示 週間タイマー							
		付属品 : 鍵付リモコンボックス							
C	コインタイマー	形 式 : コインタイマー	1	100	0.004	1	1	放送室	屋内機用中継基盤共
		仕様要項 : 100円硬貨 連続投入 50枚迄 運転時間 : 10分~180分 (10分単位)							電源供給は電気工事

空調設備 改修 1階平面図 1/100



工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

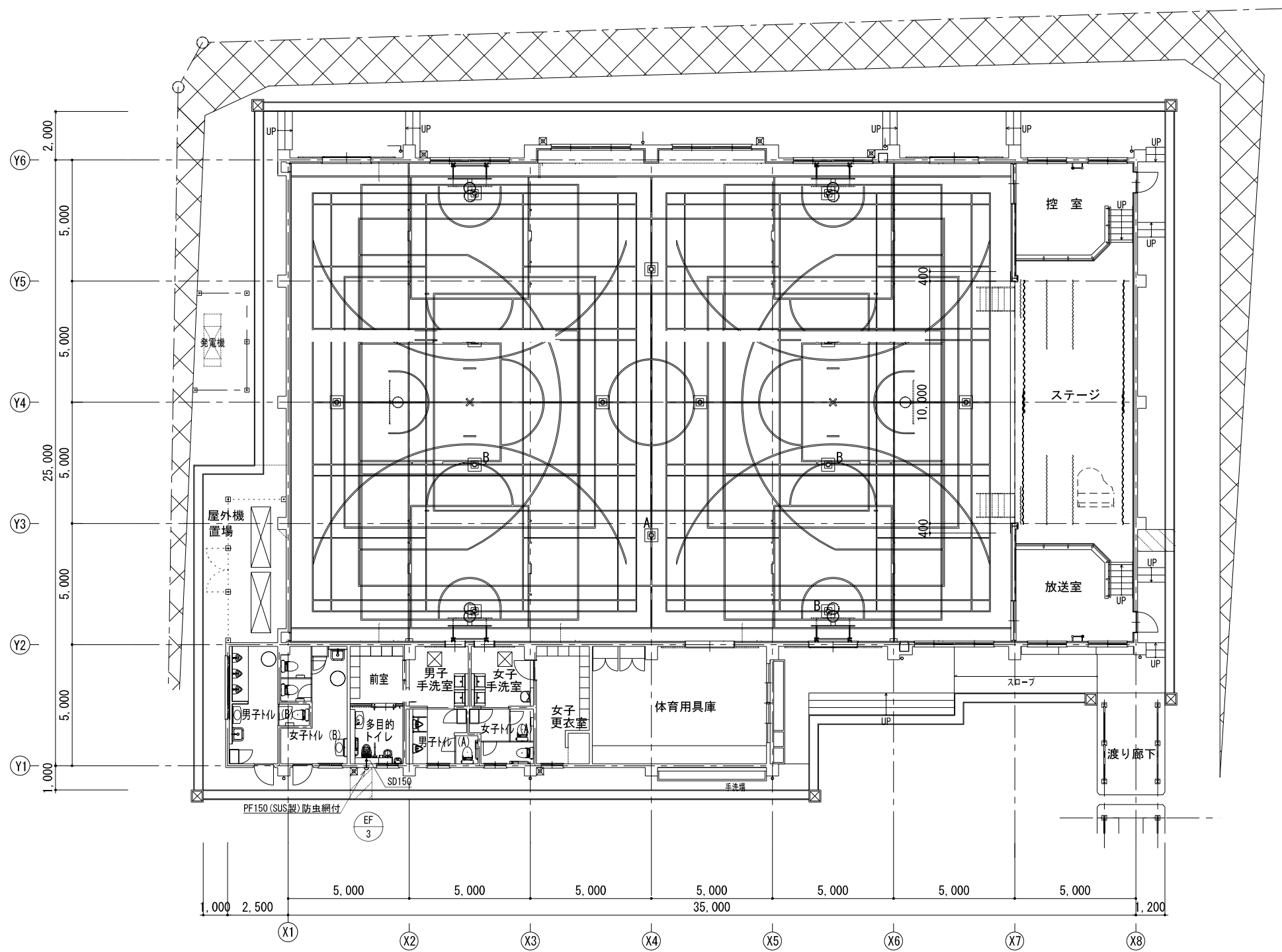
空調設備 改修 1階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

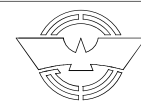
図面番号

M-02



換気設備 改修 1階平面図 1/100

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

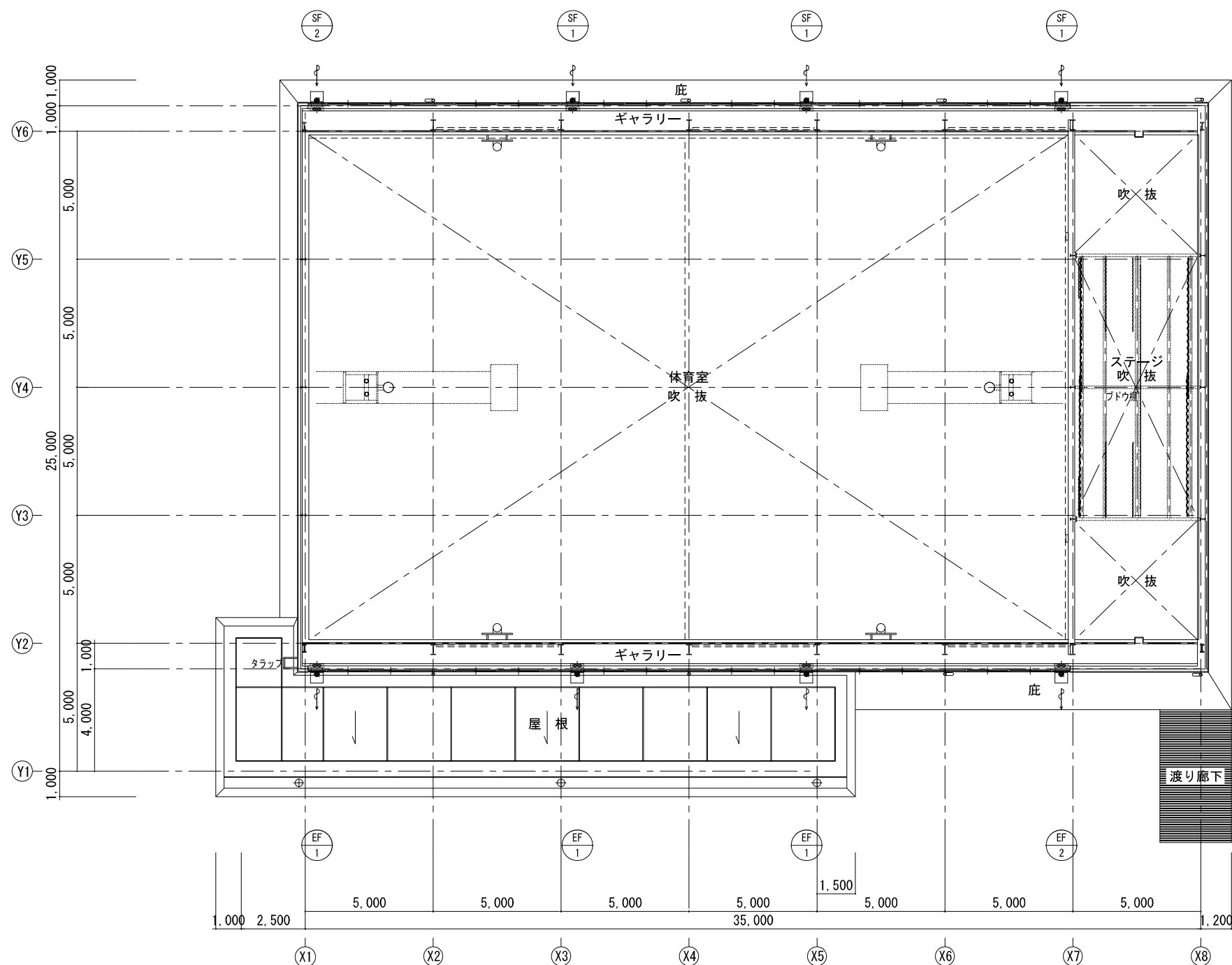
換気設備 改修 1階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

M-03



換気設備 改修 2階平面図 1/100

記号	機器名称	仕 様	電気容量			台数	設置場所		備 考
			相	電圧 (V)	出力 (W)		階	室名	
EF-1	排風機	形 式：銅板製有圧換気扇（低騒音形） 能 力：40cm × 2320m3/h × 50Pa 付属品：SUS製ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード、アタッチメント その他標準付属品共	1	100	135	3	2	体育場上部	（バックガードには電甲金網 巻き込み防止を施す。）
EF-2	排風機	形 式：銅板製有圧換気扇（低騒音形） 能 力：30cm × 1300m3/h × 40Pa （24時間換気 1300m3/h） 付属品：SUS製ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード、アタッチメント その他標準付属品共	1	100	56	1	2	体育場上部	（バックガードには電甲金網 巻き込み防止を施す。）
EF-3	排風機	形 式：天井扇 能 力：150φ × 170m3/h × 80Pa 付属品：天吊金具 その他標準付属品共	1	100	44	1	1	みんなのトイレ	

記号	機器名称	仕 様	電気容量			台数	設置場所		備 考
			相	電圧 (V)	出力 (W)		階	室名	
SF-1	排風機	形 式：銅板製有圧換気扇（低騒音形） 能 力：40cm × 2320m3/h × 50Pa 付属品：SUS製ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード、アタッチメント その他標準付属品共	1	100	152	3	2	体育場上部	（バックガードには電甲金網 巻き込み防止を施す。）
SF-2	排風機	形 式：銅板製有圧換気扇（低騒音形） 能 力：30cm × 1300m3/h × 40Pa （24時間換気 1300m3/h） 付属品：SUS製ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード、アタッチメント その他標準付属品共	1	100	73	1	2	体育場上部	（バックガードには電甲金網 巻き込み防止を施す。）

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

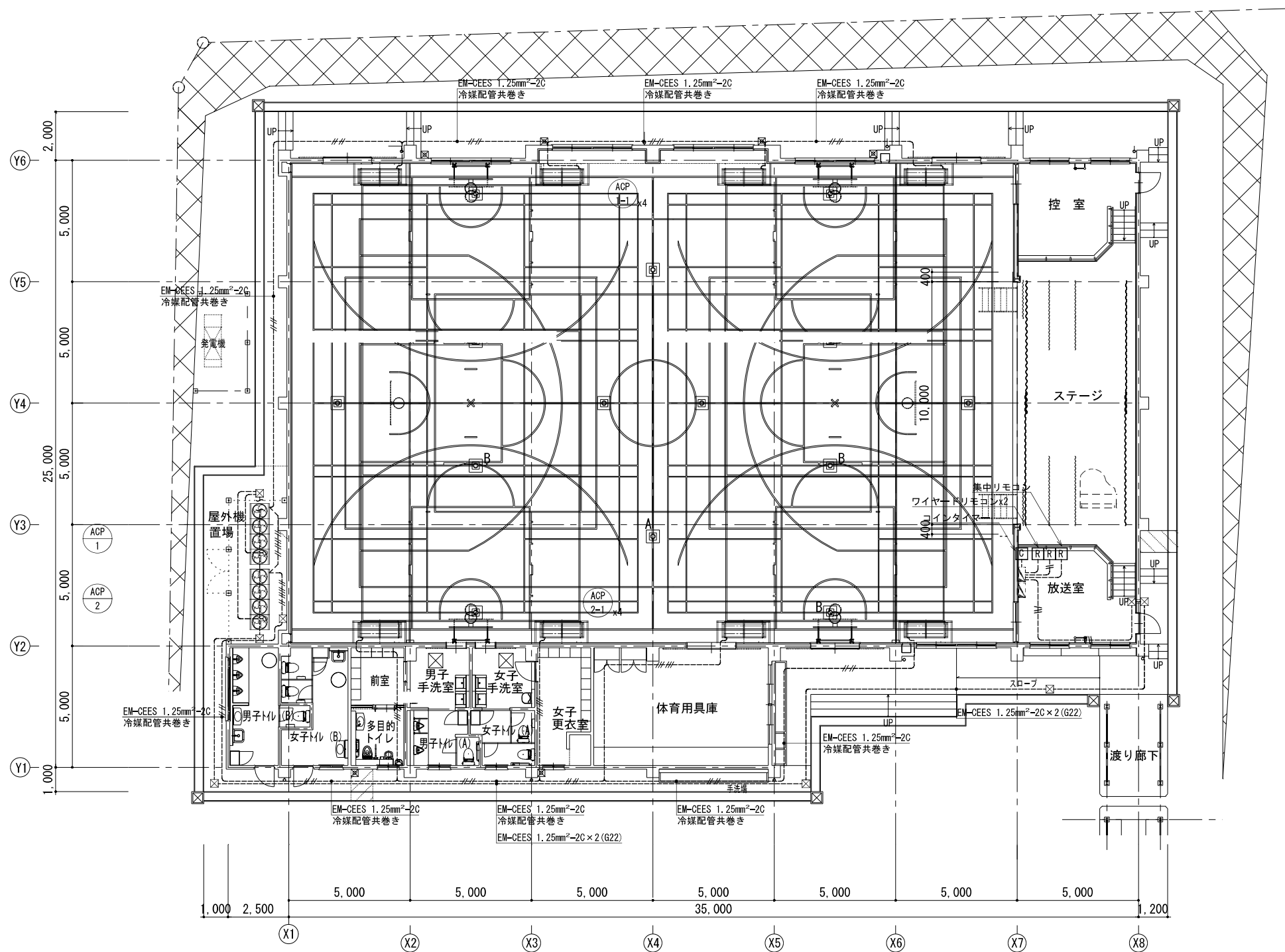
換気設備 改修 2階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

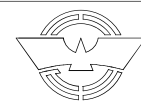
図面番号

M-04



計装設備 改修 1階平面図 1/100

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

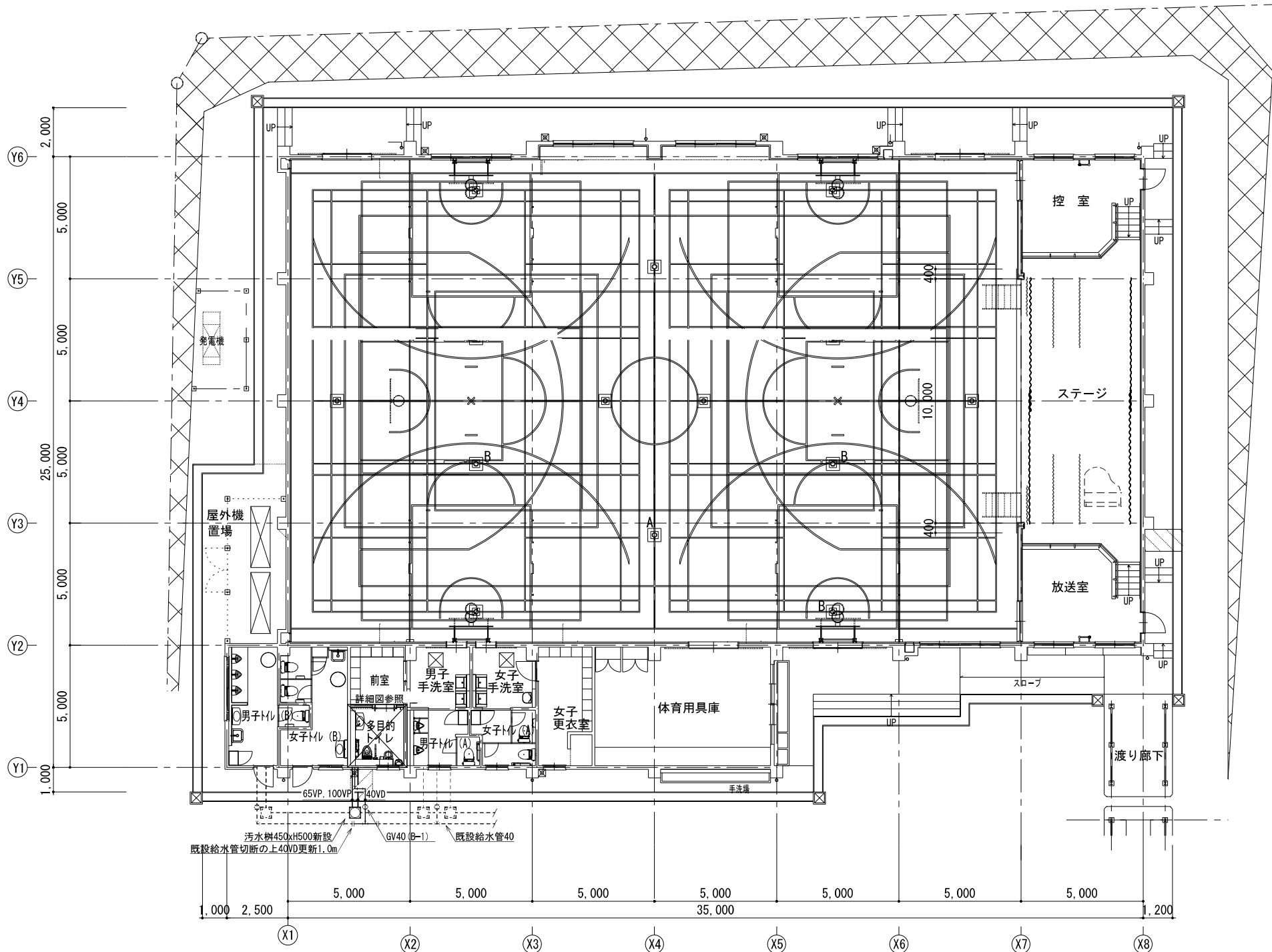
計装設備 改修 1階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

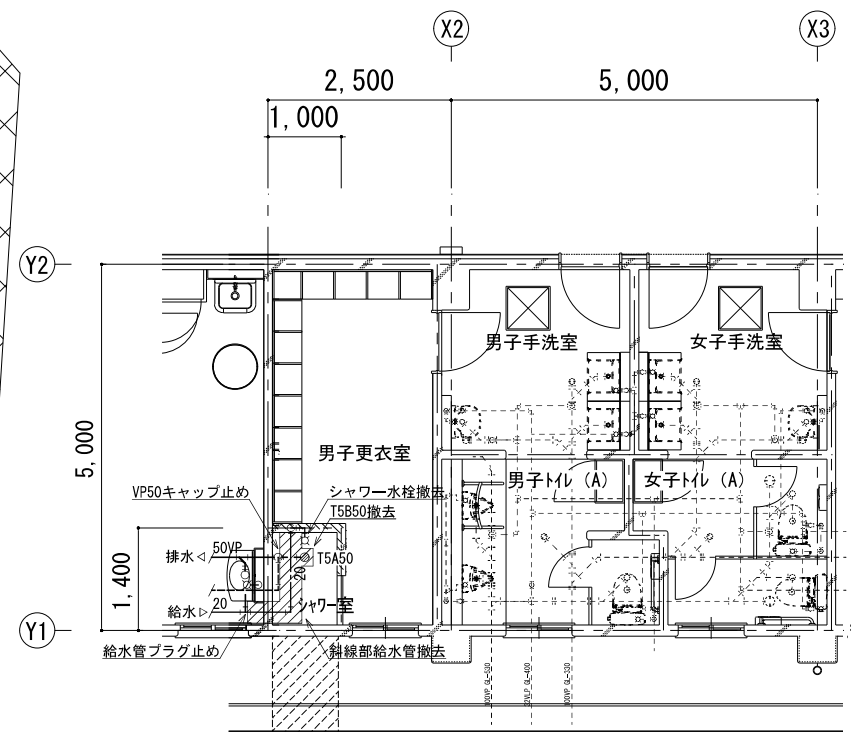
図面番号

M-05

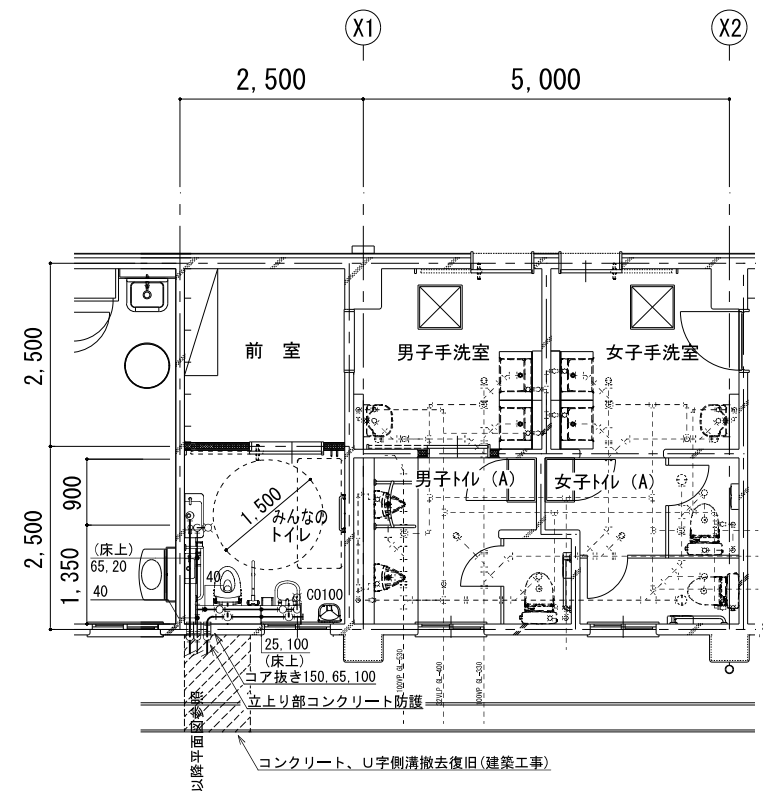


衛生設備 改修 1階平面図 1/100

名称	仕様及び付属品	品番 (A社)	品番 (B社)	みんなのトイレ	合計	備考
多機能トイレバック	洋風便器 洗面器 (1φ100V0.6W) 手洗器 (1φ100V0.6W)	UADAK21R1B1ANN1W	PTWC-HC103L1A1ANN	1	1	
	温水洗浄便座 (1φ100V409W) 紙巻器					
	跳ね上げ手すり L型手すり 化粧鏡	YM6090A	KF-5010AG			
コンパクトオストメイトバック	オストメイト (1φ100V30W) 電気温水器 (1φ100V600W)	UAS81LDB2N	PTOM-B210W	1	1	
	紙巻器					
ペビーチェア	建築工事			1	1	
多目的シート	建築工事			1	1	

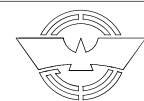


衛生設備 既存 詳細図 1/50



衛生設備 改修 詳細図 1/50

工事件名：海老名市立大谷中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称	衛生設備 改修 1階平面図		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	M-06